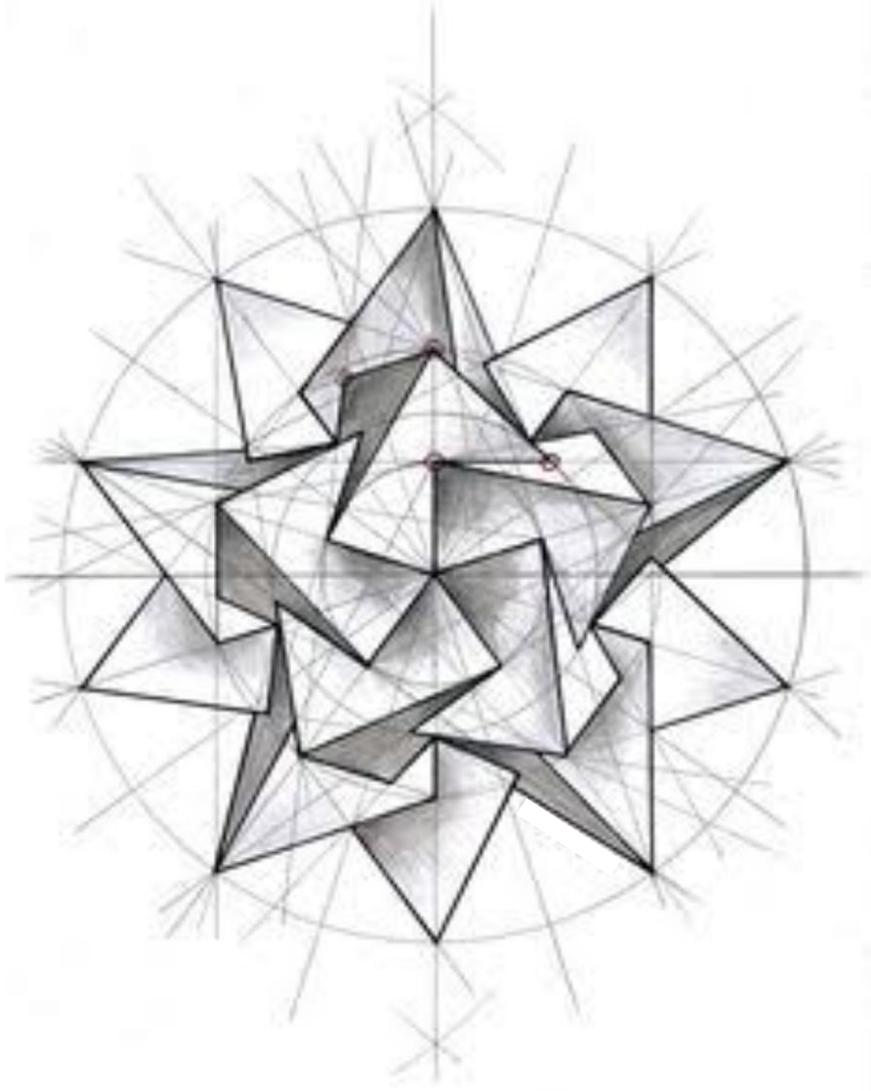


音叉によるセルフヒーリングテキスト

入門編 後編（実践編）

JIN HIROSE



スピリチュアルジャーニー サポート
皆さんの靈的巡礼の旅を支援する

いのち
音叉で生命の調律する意味と効果

人生の目的である靈性の進化のための実用書

スピリチュアリズムの地球人類救済計画の一翼、星信仰の復活

宇宙語一覧表

宇宙語	翻訳	意味
フゲーウコン FUGEHUKON	大靈 ^{たいれい}	大靈 ^{たいれい} 、神、創造主 森羅万象すべての存在の創造主であり、父であり母。宇宙最高の力であり、無限の叡智、神意 ^{あゐ} 、慈悲、あらゆる靈的本質の総合的化身。
フゲーエキン FUGEHEKIN	自然法則	「微生物≒精靈 ^{うんえい} 」、「ソマチッド≒妖精」が自然界の管理、維持、運営 ^{うんえい} をしている。光 ^{ひかり} 、空気、土、水、すべての元。時空を構成するものは全てフゲーエキンで成り立っている。
フネコン FUNEKON	靈	日本語で大靈 ^{たいれい} の「分靈 ^{わけみたま} 」を表す。本質的な意識。永遠に存在し続けるミニチュアの神。靈的成長し、大靈 ^{たいれい} に近づくように神に設計された。人間のみ大靈 ^{たいれい} の分靈 ^{わけみたま} が与えられている。
エハ ビーコ EXA PIECO	靈の心	日本語で「魂」を表す。本質的な意志。靈 ^霊 の心 ^心 。EXA PIECOが靈體 ^{れいたい} を構成している。誰しもが本来備えている「良心」であり、靈を感知するセンサーの役割。
ディカグ DIKAG	肉の心	日本語で「顕在意識」を表す。肉 ^肉 の心 ^心 。DIKAGが肉體 ^{にくたい} を構成している。肉體 ^{にくたい} を維持、管理、運営 ^{うんえい} するための役割。
フィク FIK	身体 ^{しんたい}	日本語で「潜在意識」を表す。靈體 ^{れいたい} 、幽體 ^{ゆうたい} 、肉體 ^{にくたい} の総称。シルバーコードを通して靈體 ^{れいたい} と肉體 ^{にくたい} を繋ぎ、過去の情報を記録し、肉體 ^{にくたい} の殆どの生命維持の働きを担っている。
デヴィック DEVIK	サポート	日本語で「靈的成長のためのサポート」を表す。靈的成長の原点は「調和」であり、「分かち合い」、「協調関係」が原則。別な表現だと「利他」、「奉仕」の実践であり、自然法則を学ぶという意味も含まれる。
セポウ SEPOUW	背後靈	背後靈は「守護靈」と「指導靈」の2種類が存在する。より重要なのは守護靈であり、生涯に渡る専属の教師。指導靈は自分自身の靈性の状態に入れ替わったり増加したりする。高次の入れ替わりが「入神」、低次の入れ替わりが「憑依」であり、本人の周波数次第。

宇宙語	翻訳	意味
フアルフ FALF	パワースポット	エネルギー蘇生装置・エントロピー減少装置 本来の時空から生み出される、自然の仕組みにあって調和のとれた存在物。自然法則である「微生物≡精霊」、「ソマチッド≡妖精」を蘇生させるもの。精霊と妖精は自然法則そのものであり、その頂点が霊の大海、すなわち大霊になる。
アルト ARUT	アート	アートの語源。フアルフと同じ意味 本来、真の科学とは「FALFの追窮」を意味し、その本質は「全存在物の蘇生化」にある。現代地球文化ではアルトと科学が分離してしまい、その結果としてここまで自然法則に反した文化を築き上げてしまった
トゥニング TUNING	チューニング	チューニングの真の意味は「直観」であり、直観の真の意味は「霊と霊のテレパシー通信」になる。チューニングの本質とは、霊的世界の波長に合わせ、より高次の存在から課題を乗り越えるためのヒントをもらうための行為。



宇宙語一覧表	3
第九章 音叉を扱う基本について	10
各タイプのサウンドツールの意味	11
チャクラバーの基本的な使い方について	15
フォークタイプの基本的な使い方について	19
ヘヴィーフォークタイプの基本的な使い方について	23
飲食物に導入編セットを使う意味と方法	27
サウンドツールと様々なものを複合して使う意味について	29
第十章 ^{EXA PIECO} ^{ハートブレイン} 霊の心、心臓脳と 528Hz	32
^{ハートマス 研究所} HeartMath Instituteの研究で明らかになった心臓脳	33
^{心臓脳} 霊の心と ^{大脳} 肉の心を繋ぐ細胞的知性、ニューロンについて	35
星々の周波数は、 ^{ニューロン} 細胞的知性（ ^{F I K} 潜在意識）に働きかける	37
平均律は ^{心臓脳} 霊の心と ^{大脳} 肉の心の ^{同期} シンクロを妨げ、不協和音を生み出す	39
平均律の音楽の恐ろしさ	41
アコースティックな 528Hz の音が、 ^{コヒネン} 心の調和が取れた状態を生み出す	43
^{心臓脳} 霊の心と ^{大脳} 肉の心の調和とバランスを回復させる	45

第十一章 古代よりの心理療法、東洋 <small>いがく</small> 醫學	48
陰陽五行を通して、靈、心、感情の動きを学ぶ	49
陰陽五行は、人間の深い部分を見通すことが出来るようになる	53
<small>FUGHEKIN</small> 自然法則についての正しい理解が鍵になる	57
十二経絡は、東洋思想の「血液」を司る	59
十二経絡の12のエネルギーの流れについて	61
心のシルバーコードと <small>しんたい</small> 身體のシルバーコード	69
第十二章 仙骨と蝶形骨と華佗 <small>かだきょうせき</small> 夾脊	72
仙骨と蝶形骨、 <small>クリスタルパレス</small> 水晶宮の活性化について	73
蝶形骨の <small>ツボ</small> 経穴、 <small>せいめい</small> 精明のネガティブエネルギーを <small>リリース</small> 解放する	77
仙骨は生命エネルギーを司っている	79
道教の思想にある仙骨 <small>ほつせんどう</small> 八仙洞と北斗八星のつながり	81
対面ヒーリングの基礎であり奥義である華佗 <small>かだきょうせき</small> 夾脊	83
第十三章 音叉による脳幹の調整法	88
脳幹の疲れによる悪影響について	89

脳幹の ^{ツボ} 経穴、 ^{てんちゆう} 天柱、 ^{ふうち} 風池、 ^{かんこつ} 完骨と、 ^{てんちゆう} 頸椎の調整の意味について	93
^{てんちゆう} 天柱、 ^{ふうち} 風池、 ^{かんこつ} 完骨のセルフヒーリングの方法	95
^{えいふう} 翳風、 ^{けいみやく} 瘰癧、 ^{るそく} 頤息の3つの ^{ツボ} 経穴について	97
^{SEPOUW} 背後霊との繋がりを強化する ^{てんゆう} 天牖の ^{ツボ} 経穴	98
第十四章 音叉によるフェイシャルケア	100
音叉でフェイシャルケアをする意味について	101
音叉フェイシャルケアの基本的な施術方法	104
音叉フェイシャルケアで刺激する ^{ツボ} 経穴一覧	109
呼吸を整え ^{しんたい} 身體をリラックスさせる ^{ツボ} 経穴「 ^{しんもん} 神門」	111
細胞修復とコミュニケーション力の向上の ^{ツボ} 経穴、「 ^{いんどう} 印堂」と「 ^{じょうせい} 上星」	112
鼻腔と副鼻腔について	113
視床と視床下部、 ^{C S F} 脳脊髄液について	114
三叉神経に關係する3つの ^{ツボ} 経穴	115
^{のうかすいたい} 脳下垂體を刺激する「 ^{たいよう} 太陽」の ^{ツボ} 経穴	116
大脳にある「感情脳」と「思考脳」をコントロールする ^{ツボ} 経穴	117
第十五章 音叉による喉の調整法	120

喉まわりの施術の意味について	121
入門編で使う喉まわりの ^{ツボ} 経穴一覧表	123
喉の最重要の ^{ツボ} 経穴、「天突」について	124
コミュニケーションに關係する ^{じんげい} 人迎と ^{ふとつ} 扶突の ^{ツボ} 経穴	125
前世、インナーチャイルドに關係する ^{てんよう} 天容と ^{てんそう} 天窓の ^{ツボ} 経穴	126
氣エネルギーの循環に關係する ^{けつぽん} 缺盆と ^{きこ} 氣戸の ^{ツボ} 経穴	127
第十六章 ハート、お腹のセルフヒーリング	128
氣エネルギーが集まる ^{ほけつ} 募穴を使ったセルフヒーリング	129
心臓のエリアの ^{ツボ} 経穴の意味について	137
腸心マップにより、自分自身の隠された感情と向き合う	141
お腹のセルフヒーリングの施術方法	151
第十七章 手と下半身のセルフヒーリング	160
アストロ・パーミストリーとトウリーディング	161
手を使うことが、そのままセルフヒーリングに繋がる	165
下半身の調整は ^{にくたい} 肉體の健康にとって一番重要	167
腎經の ^{ツボ} 経穴、 ^{ゆうせん} 湧泉と ^{たいけい} 太谿について	171

足の原穴の經穴について	177
手足の親指の付け根の經穴、四關穴について	181
下半身にある様々な經穴	183
足裏のセルフヒーリングに重要な「チャクラバー」	187
入門編で扱う主な足裏に反射区について	189
音叉セルフヒーリングで使う足裏一覧表	193
入門編最終章 地球という惑星の人類のために	194
古代の叡智に基づいた生活習慣への移行	195
自分自身を變化、進化させる力を養うこと	199
星の叡智により DNA の進化を促す	205
自然法則に適った正しい生活習慣を身につけること	209
手段の目的化を起こさないこと	211
何よりも地上人類が學ばなければならない「分かち合い」について	215
様々な質問に答える	218
あとがき	229



第九章

音叉を扱う基本について

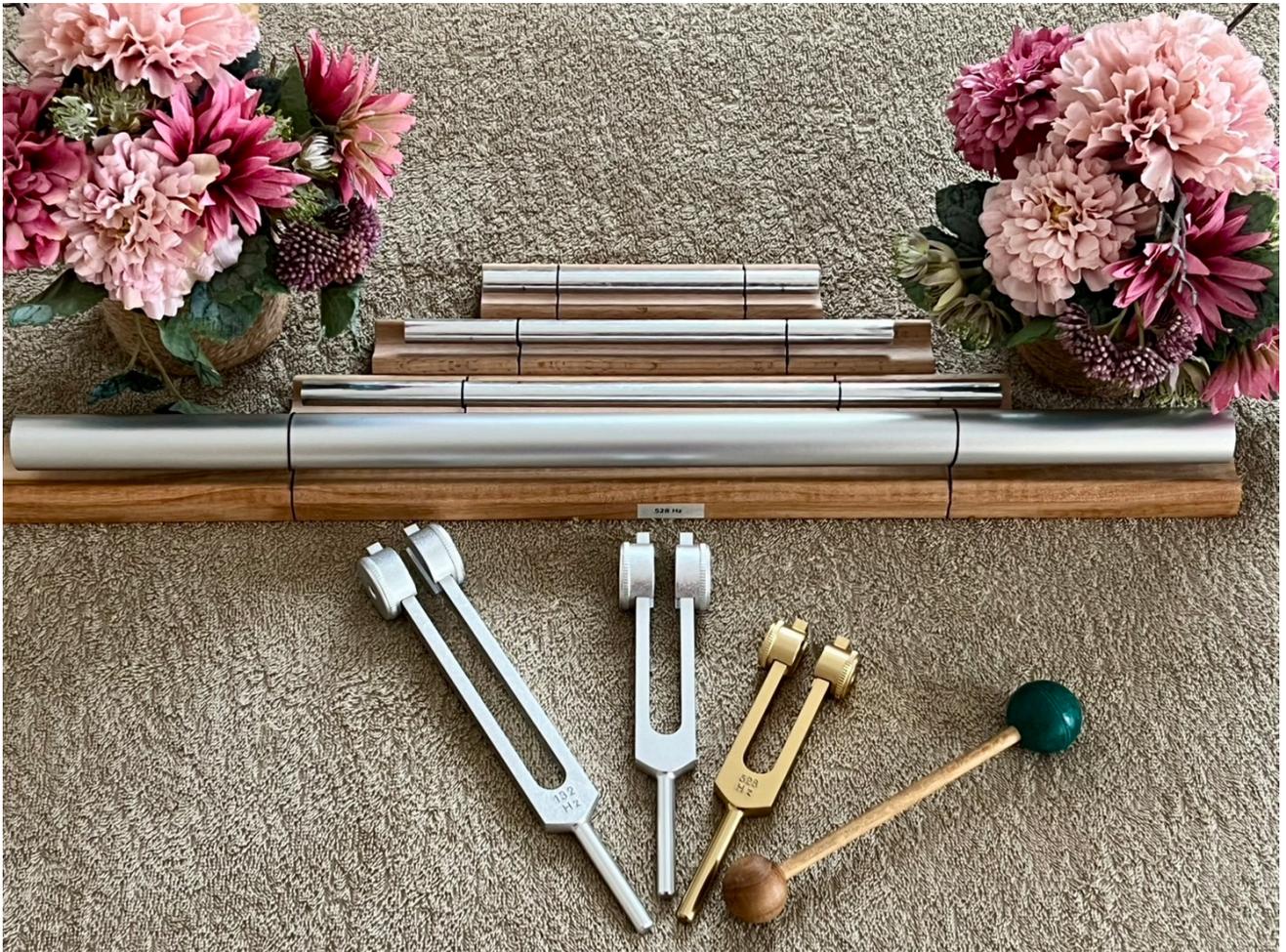
音叉の知識や技術を学びながらも
自分自身の意識や^{センス}感覚を磨くことが大切

霊とは生命であり、生命とは霊である

^{いのち}生命の調律とは、^{スピリチュアルジャーニー}霊的巡礼の旅への準備



各タイプのサウンドツールの意味



ここまでで音叉ヒーリングの基礎的な知識のおさらいをしますが、音叉による^{いのち}生命の調律が
スピリチュアリズム
靈的世界主導の「地球人類救済計画」の一端を担っていることが一番のポイントです。し
かし、音叉による^{いのち}生命の調律は「^{いのち}生命の演奏」ということも忘れてはなりません。^{いのち}生命すべ
ては「^{A R U T}アート」であり、人間は「神に似せて創られた最高峰の^{A R U T}アート」です。

シルババーチは「靈とは生命であり、生命とは靈である」と述べています。わたしは歌と
は「^{いのち}生命の表現」であり、「^{いのち}生命を音にして演奏している」と考えています。なので、音叉
による^{いのち}生命の調律は「^{いのち}生命のオーケストラによるコンサートをしている」と思ってください。
なので音叉は常に「アーティスティック」な感覚が必要になります。

1997年、アメリカの^{ケリーネット}keelynetという^{がくしゃ}考古学者が、^{がくしゃ}エジプトの考古学者と共に、エジプトの博物館倉庫の8フィート×10フィートの扉の内部で、音叉と名付けられた398本の音叉が隠されているのを発見しました。

古代エジプト時代には、「約400本」も音叉を使っていたということですが、^{じんたい}人體の「各臓器」、「各器官」、「各組織」の数も「約400」であり、それだけ音叉の種類があれば、ウイルス、細菌を始めとした病氣、神経細胞に関わる病氣など、あらゆる病氣に素早く対処できます。

また、自然界には必ず^{オクターブ}倍音の「^{バイブレーション}振動」が存在しますが、音叉も^{オクターブ}倍音の「^{バイブレーション}振動」が含まれています。「^{ホームトーン}基音」と「^{オクターブ}倍音」の関係性が「^{インターバル}音程」をつくります。入門編までのサウンドツールは「128Hz」、「132Hz」、「136.1Hz」の3つが「^{ホームトーン}基音」になります。

音叉セルフヒーリングにおいて^{インターバル}音程は「奏者の意志」を表します。^{インターバル}音程とは2つの音の隔たりのことであり、2つの音の響きを合わせたものが、「和音」や「倍音」の響きになり「^{インターバル}音程」は「^{ホームトーン}基音」との位置関係によって決まります。

入門編の基本的な ^{ホームトーン} 基音と ^{インターバル} 音程について			
^{ホームトーン} 基音	^{インターバル} 基本の音程	^{ホームトーン} 基音の作用	^{ホームトーン} 基音との組み合わせによる効果
① 128Hz	ソルフエジオ音叉	奇經八脈	EXA PIECO ^{れいたい} 靈の心、 ^{れいたい} 靈體、 ^{れいたい} 靈體オーラに働きかける
② 132Hz	264Hz、528Hz	チャクラ	各器官、各組織、各細胞に働きかける
③ 136.1Hz	ローオーム	十二経絡	D I K A G ^{にくたい} 肉の心、 ^{にくたい} 肉體、 ^{にくたい} 肉體オーラに働きかける

導入編、入門編からステップアップし、「初級編」で本格的に「^{オクターブ}倍音」を学び、「中級編」で「ソルフエジオ音叉」を学び、「上級編」で「惑星音叉」を学びますが、すべてのコースで「^{ホームトーン}基音」と「^{インターバル}音程」の関係性で音叉を選んでいく基本は^か変わりません。

音叉による「生命の演奏」は、複数の音（フォーク、ヘヴィーフォーク、エナジーバー、ヒーリングパイプ）を同時に鳴らすことで、独自の響きと個性を持つ音程インターバルが生まれます。こうした音が、自分自身の「生命の調律」へと繋がっていきます。ここで、各種サウンドツールの意味もおさらいします。

各タイプのサウンドツールの意味		
各種サウンドツール	ツールの主要な使い方	補足説明
フォーク	エネルギーワーク	ピアノの調律で使われる一般的なタイプ
ヘヴィーフォーク	ボディワーク	重りをつけることで、柄から振動がダイレクトに伝わる
エナジーバー	霊肉両方のオーラ	チャクラ、ソルフエジオ、惑星と各タイプが存在する
ヒーリングパイプ	空間、磁場	基本的には「ぶらさげ型」であり、「スタンド型」はない

各種サウンドツールは、基本的にこの4タイプに分類されます。そして、「用途」によって各種サウンドツールを使い分けていき、肉體にくたいの不調ならヘヴィーフォークを多用し、インナーチャイルドなど感情の癒しが必要な場合はフォークタイプを多用します。

世の中には様々なサウンドツールのタイプが存在しますが、当スクールは「ソルフエジオ音叉」と「惑星音叉」と「チャクラ音叉」をメインのサウンドツールにしております。これは人間の身體構造しんたいである「霊體れいたい、幽體ゆうたい、肉體にくたい」へのアプローチ別に區別しているからです。

人間の身體構造と、働きかける箇所			
霊體 <small>れいたい</small>	ソルフエジオ音叉	霊體 <small>れいたい</small> オーラに働きかける	原子レベルに働きかける
幽體 <small>ゆうたい</small>	チャクラ音叉	霊體 <small>れいたい</small> オーラと肉體 <small>にくたい</small> オーラを繋げる	分子レベルに働きかける
肉體 <small>にくたい</small>	惑星音叉	肉體 <small>にくたい</small> オーラに働きかける	中性子、陽子に働きかける



また、音叉の導入編ツールである「528Hz 倍音トライアルセット」のエナジーバー、ヒーリングパイプ、音叉の入門編ツールである「チャクラエナジーバー（レギュラータイプ7個セット）」は、「エネルギー（効果）の増幅」のために毎回使用します。

【音叉の導入編ツール、入門編ツールを使う基本的な流れ】

- ① チャクラエナジーバー「2個」を、「ウッドスティック」で鳴らす
- ② 528Hz ヒーリングパイプを優しく「ゴムマレット」で鳴らす
- ③ 528Hz、1056Hz、2112Hz のエナジーバーを「ウッドスティック」で鳴らす
- ④ 各種ヘヴィーフォークを「2本」振動させ、^{しんたい}身体に当てる

これにより、ヘヴィーフォークの^{たいかん}體感、効果が「 $10^3 \sim 10^{12}$ 」という「^{しすうかんすう}指數關數」のレベルで上昇し、^{こんしんしん}魂心身の調律が可能になってくる

「528Hz 倍音トライアルセット」は、「エネルギー増幅装置」の役割があるのです

チャクラバーの基本的な使い方について



フォークは先端をカラダに向けて音を聴かせます。

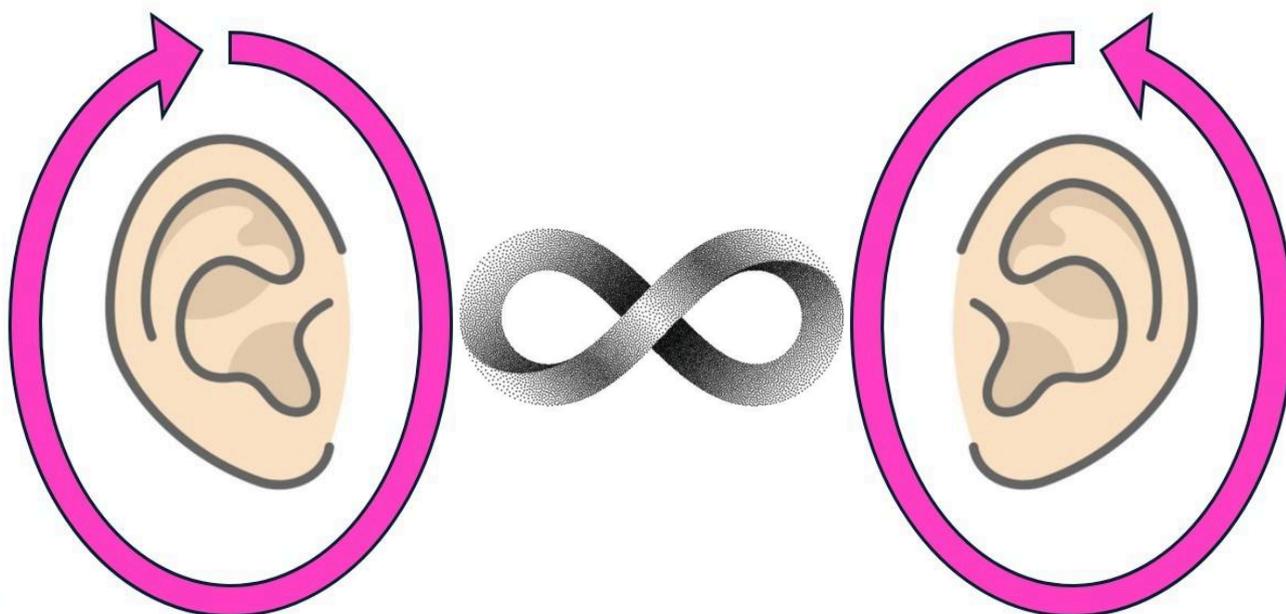
エナジーバーは、バーをカラダに向けて音を聴かせます。

導入編ツール、入門編ツールでのセルフヒーリングの基本は「エナジーバー」を耳元で鳴らす方法になります。導入編ツールなら「1056Hz エナジーバー」と「2112Hz エナジーバー」の倍音を組み合わせて、耳元にエナジーバーを鳴らします。

入門編ツールの場合、最初に「528Hzヒーリングパイプ、528Hz エナジーバー、1056Hz エナジーバー、2112Hz エナジーバー」の倍音^{オクターブ}の音を空間に響かせてから「各種チャクラバーを2個」を組み合わせて耳元で鳴らします。この手順でサウンドツールを使用することでチャクラバーの効果が増幅します。

大脳の90%は「水分」であり、脳の^{えいようそ}栄養素は「音」です。大脳は「肉の心」^{D I K A G}を司り、心臓脳は「^{EXA PIECO}霊の心」を司ります。アメリカの「ハートマス研究所」の研究により、「528Hz」は「心臓脳」^{EXA PIECO}に強く作用することが判明しています。

なので528Hz エナジーバーを日常生活で使えば使うほど、「大脳」^{マインド}優位の生き方から「心臓脳」^{ハート}優位の生き方にシフトします。



【サウンドツールを耳元で鳴らす方向について】

左耳は「左回轉^{かいてん}」でサウンドツールを使い、右耳は「右回轉^{かいてん}」でサウンドツールを使い、兩耳だと「∞回轉^{メビウスかいてん}」になります。∞回轉は「妖精^{メビウスかいてん ソマチッド}」が最も活性化する回轉^{かいてん}であり、「靈的世界^{形而上}」と「物質世界^{形而下}」を繋げる回轉^{かいてん}です。わかりやすい表現だと、サウンドツールを鳴らす回轉^{かいてん}は「自轉車のペダルの回轉^{かいてん}」と一緒に。

チャクラは「靈體^{れいたい}と肉體^{にくたい}を繋ぐ接合点^{ゆうたい}」であり、日本語で「幽體」^{ゆうたい}とといいます。チャクラと呼ばれる靈體^{れいたい}と肉體^{にくたい}を繋ぐ大きな接合点は「8つ」であり、「靈的世界と物質世界を繋ぐ接續点^{せつぞくてん}」は經穴^{ツボ}であり、人體に經穴^{じんたい ツボ}は「365個」あります。

チャクラは「エネルギーのアンテナ」の役割をしており、チャクラを活性化させると様々な「振動^{バイブレーション}」をキャッチできるようになります。反面、肉の心優位^{DIKAG}でチャクラを開いた場合、低級靈に「憑依」される危険性も高くなります。



しかし、「528Hz」は「^{EXA PIECO}心臓脳」に強く作用しますので、きちんと 528Hz のサウンドツールも使った上でチャクラを活性化させることです。

そうすれば「^{EXA PIECO}霊の心」優位でチャクラを活性化できるので、低級霊に憑依される危険性は格段に低くなり、安全に「^{いでんし}遺傳子の^{へんかん}構造變換」が可能になります。

【チャクラバーを耳元で鳴らす方法について】

まず、片手でチャクラバーを2個持ちます。ウッドスティックでチャクラバーを2個鳴らし、左耳からエナジーバーを「^{かいてん}左回轉」で使い、「3回」鳴らします。3回終わったら右耳は「^{かいてん}右回轉」で使い、「3回」鳴らします。

※基本的に 528 Hz ヒーリングパイプ、528Hz エナジーバー、1056Hz エナジーバー、2112Hz エナジーバーを鳴らしてからチャクラバーを鳴らします

これを、「¹C + ²D」、「²D + ³E」、「³E + ⁴F」、「⁴F + ⁵G」、「⁵G + ⁶A」、「⁶A + ⁷B」と、満遍なく全チャクラを均等に活性化させます。

エナジーバーを鳴らす際に注意が必要なことがあります。ゆったりめのリズムで音を鳴らしていき、音の余韻を残すのがポイントであり、^{せつち}性急に音を鳴らすと逆に煩雑な音により低級霊を引き寄せます。

そしてわざわざ憑依の餌食になっている人がいますので、焦らず音に浸ってください

エネルギーの組み合わせ一覧		
コース	チャクラバーとの組み合わせ	エネルギーの効果
初級編	チャクラレギュラータイプ チャクラハーモニックタイプ	レギュラータイプを2個鳴らしてから、ハーモニックタイプ2個を耳元に鳴らし、超音波を発生させる
中級編	ソルフェジオエネルギー オクターブ チャクラ倍音	ソルフェジオエネルギーを2個鳴らしてから、チャクラオクターブ倍音2個を耳元に鳴らす
上級編	惑星エネルギー オクターブ チャクラ倍音	オクターブチャクラ倍音2個を鳴らしてから、惑星エネルギー2個を耳元に鳴らす

また、チャクラバーは「 $C^1 + F^4$ 」、「 $D^2 + G^5$ 」、「 $E^3 + A^6$ 」、「 $F^4 + B^7$ 」といったエネルギーの組み合わせで使うことも可能です。初級編以降のステージになると、エネルギーの組み合わせパターンが膨大に増えます。

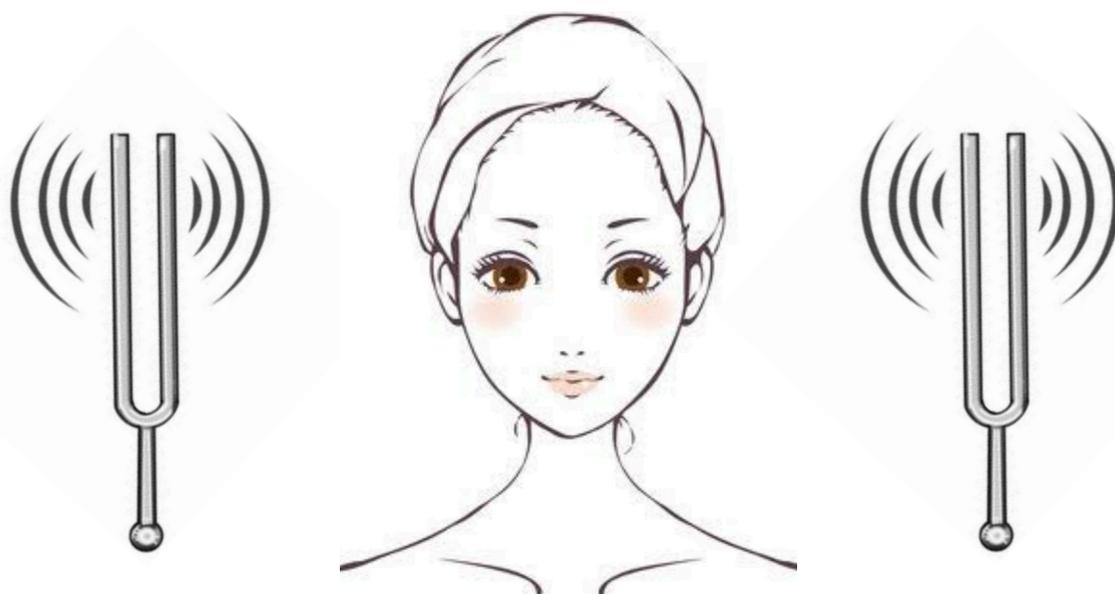
初級編ツールだとチャクラエネルギーの「レギュラータイプ」と「ハーモニックタイプ」を使うことで、耳に聴こえない「超音波」が発生し、振動が内部の深部に届くことで内臓の調整をダイレクトに行います。

中級編ツールの「ソルフェジオエネルギー」、上級編の「惑星エネルギー」と組み合わせて使うことも可能です。エネルギーを2個同時、複数と同時に使うことでチャクラ刺激効果が増幅し、振動がより心身の深くに響きます。

これらの音の組み合わせによる複合音は、「宇宙の^{インターバル}音程」を生み出します。宇宙の音は「^{形而上}霊的世界」と「^{形而下}物質世界」を繋げる暗号です。そして宇宙の音は眠っていた才能を目覚めさせる「鍵」になります。

^{インターバル}宇宙の音程を感じ、それを^{こんしんしん}魂心身に受け取ることで意識の覚醒が始まります

フォークタイプの基本的な使い方について



入門編ツールで最もパワフルな効果のある「聖なるソルフェジオ音階9本セット」はフォークタイプであり、音叉といえばフォークタイプを連想する人が大半です。ピアノの調律などにも使われており、最もポピュラーなタイプです。

フォークタイプを、ラバーマレット、ウッドスティック、アクティベーターなどで音を鳴らすことで、音叉の ^{バイブレーション} 振動を ^{しんたい} 身体中に響かせます。繊細な音であり、その精妙な音により心身を調律する効果があります。

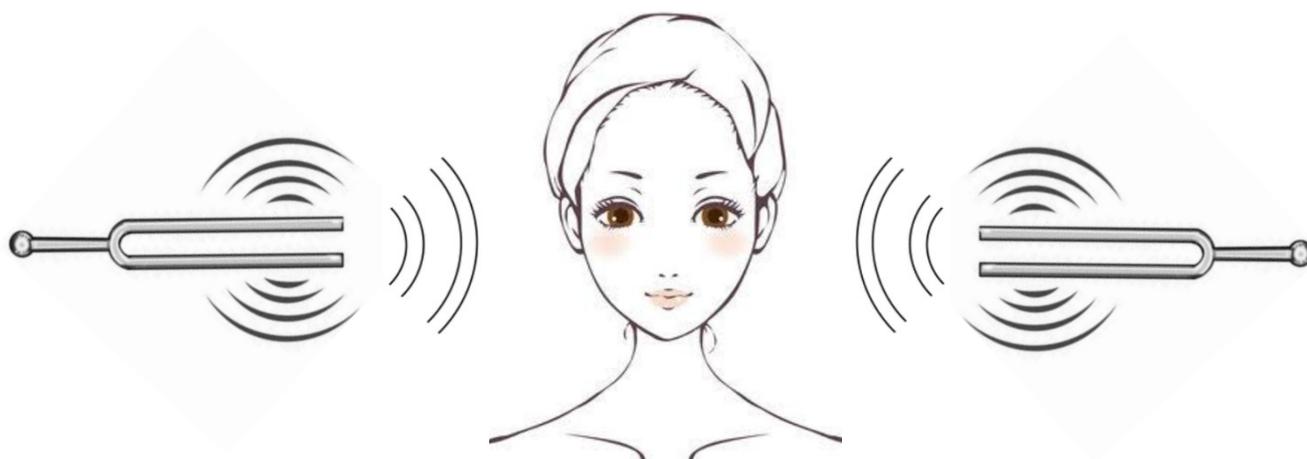
セルフヒーリングの場合、全身に音を浴びせるのではなく、「大脳」に音を響かせる使い方をして、「肉の心」^{D I K A G} 優位の状態から「霊の心」^{EXA PIECO} 優位の状態に「潜在意識」^{F I K} を調律します。

一般的に「腸」が「潜在意識」^{F I K} を司り、「脳」が「顕在意識」^{D I K A G} を司っているとされています。事実、「腸と脳は、^{F I K} 潜在意識と^{D I K A G} 顕在意識で相關関係」になっており、^{F I K} 脳を調整すれば潜在意識にも影響を与えます。

聖なるソルフェジオ音階同士の組み合わせ		
ソルフェジオ 組み合わせ	マップ 腸心	ソルフェジオ音叉の組み合わせの意味
① 174Hz + 285Hz	J	肉體から靈體へのエネルギーのシフトを行う
② 285Hz + 396Hz	F	前世療法、過去世と今世のいらぬ情報のクリアリング、カルマの浄化
③ 396Hz + 417Hz	H	胎内記憶、インナーチャイルドなど、無意識の悲しみを癒す
④ 417Hz + 528Hz	D	肉の心の思い込み、執着、行動の制限を外し、靈の心の自由を促す
⑤ 528Hz + 639Hz	A	赦し、慈悲の周波数により、自己否定から自己受容を促す
⑥ 639Hz + 741Hz	E	靈、靈の心、肉の心の一致、魂心身の統合した状態を促す
⑦ 741Hz + 852Hz	K	地球圏靈界と地球圏地上世界を繋ぎ、靈界と地上世界の協調関係を促す
⑧ 852Hz + 963Hz	M	大靈と自然法則と一致し、宇宙、星々と調和した生き方にシフトする
⑨ 174Hz + 417Hz	C	靈の心と肉の心の間の葛藤、優柔不断を解消し、魂の声に従わせる
⑩ 417Hz + 741Hz	B	嘘つきの状態から、本質と本音で生きられるように人生を導く
⑪ 285Hz + 528Hz	I	生命全般、鉱物、植物、どうぶつへの神意の思いを拡大させる
⑫ 528Hz + 852Hz	L	精靈（微生物）、妖精（ソマチッド）との繋がりを強める
⑬ 396Hz + 528Hz	O	被害者意識を取り除き、人を責める意識を改めさせる
⑭ 396Hz + 639Hz	N	前世、今世の人間関係、コミュニケーション全般の心の傷を癒す
⑮ 639Hz + 963Hz	G	背後靈（守護靈、指導靈）との一體化を促し、直観力を高める

フォークタイプの音叉は、入門編ツールであるソルフェジオ音叉、上級編ツールである惑星音叉を使用し、マスター編では「ソルフェジオ音叉＋惑星音叉」の組み合わせを学びます。

入門編では「15パターン」のソルフェジオ音叉の組み合わせを、大脳に音を鳴らして響かせて使う方法がメインになります。他にも、ヘヴィーフォークとフォークを組み合わせ、経穴にフォークを使う方法もあります。



フォークは先端をカラダに向けて音を聴かせます

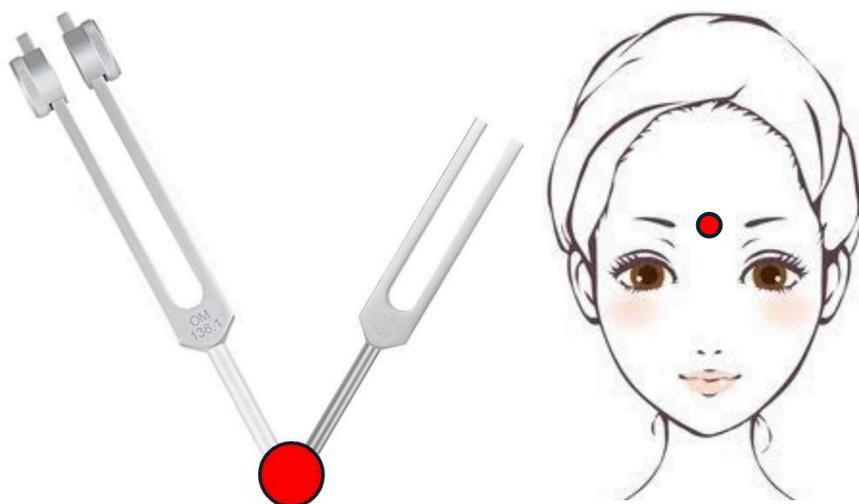
【フォークタイプを頭部で鳴らす基本的な方法について】

ソルフェジオ音叉を2本選び、片手で2本を持ち、「ゴムマレット」で音叉を鳴らします。そして両手で音叉を持ち、耳元で音叉を鳴らします。フォークタイプの音叉を鳴らす回轉は「自轉車のペダルの回轉」と一緒です。

フォークタイプの回轉を、毎回音叉をゴムマレットで叩くたびに變えていき回轉スピードに「緩急」をつけます。脳はシンプルな音ばかりではマンネリ化します。シンプルな刺激と複雑な刺激による多重構造の音を聞くことにより、脳内は活性化されます。

- (1)普通スピード (2)速いスピード (3)音叉を水平にして動かさない
- (4)音叉を縦にして、2本の音叉を共振共鳴させ、脳全體を調整する
- (5)後頭部（脳幹）に音叉の振動を數回響かせ、全身を調整する

これが入門編のフォークタイプの基本的な使い方になります



【例】^{いんどう}印堂の^{ツボ}経穴

※他の^{ツボ}経穴に当ててもOKであり、カラダの各^{ツボ}経穴に使っていくことで溜め込んでいた感情を解放させていく

【各^{ツボ}経穴にフォークタイプを使う場合】

- ① 128 Hz、132Hz、136.1Hz いずれかのヘヴィーフォークを「^{ホームトーン}基音」に選ぶ
- ② ソルフェジオ音叉9本のいずれかのフォークを「^{インターバル}音程」に選ぶ
- ③ ヘヴィーフォークとフォークを合わせて、^{ツボ}経穴に音叉の^え柄の部分当てる

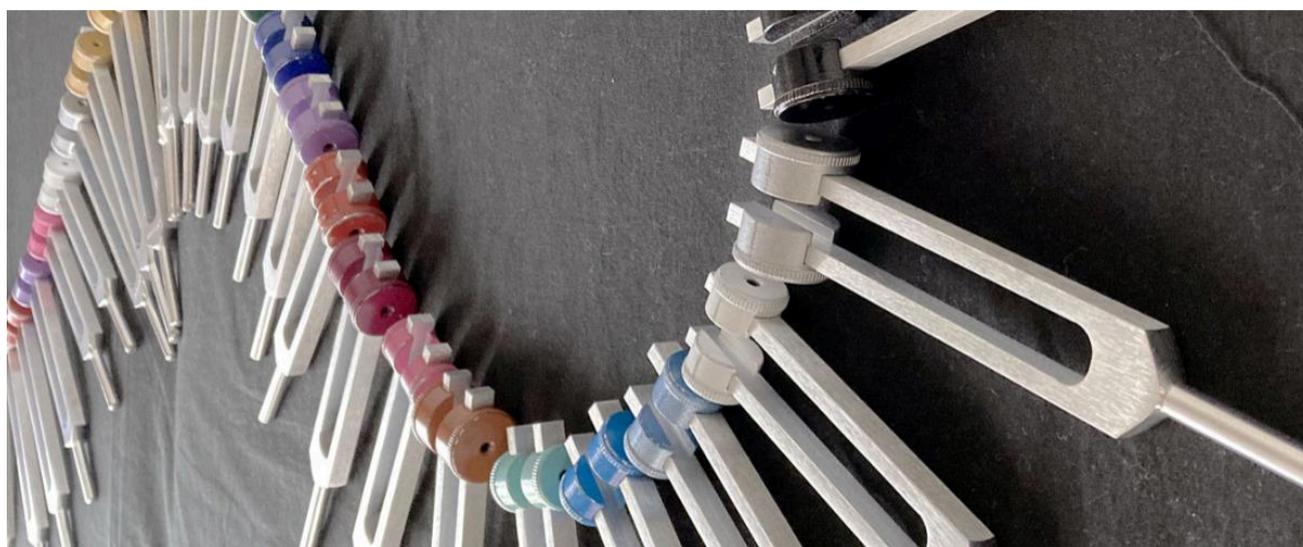
ヘヴィーフォークとフォークの2本の音叉を^{ツボ}経穴に当てる方法も、奇経八脈、十二経絡、^{ツボ}経穴を覚えていくに従って使用頻度は増えていきます。

ここでの注意点は、「督脈」と「任脈」以外の経絡は、左右対称に^{ツボ}経穴が存在しますが、「片方の^{ツボ}経穴のみを音叉で刺激する」という点です。

フォークの振動はヘヴィーフォークに比べて弱いので、両方のタイプを合わせないとフォークの振動はすぐに止まってしまうからです。

人體の^{じんたい}経穴は365個ありますが、それぞれの^{ツボ}経穴ごとに^{たいおう}対応する周波数は^か変わります。また、^{ホームトーン}基音と^{インターバル}音程の組み合わせも膨大な数に及びます。なので、各^{ツボ}経穴ごとにソルフェジオ音叉の様々なパターンを試していくことが大切になります。

ヘヴィーフォークタイプの基本的な使い方について



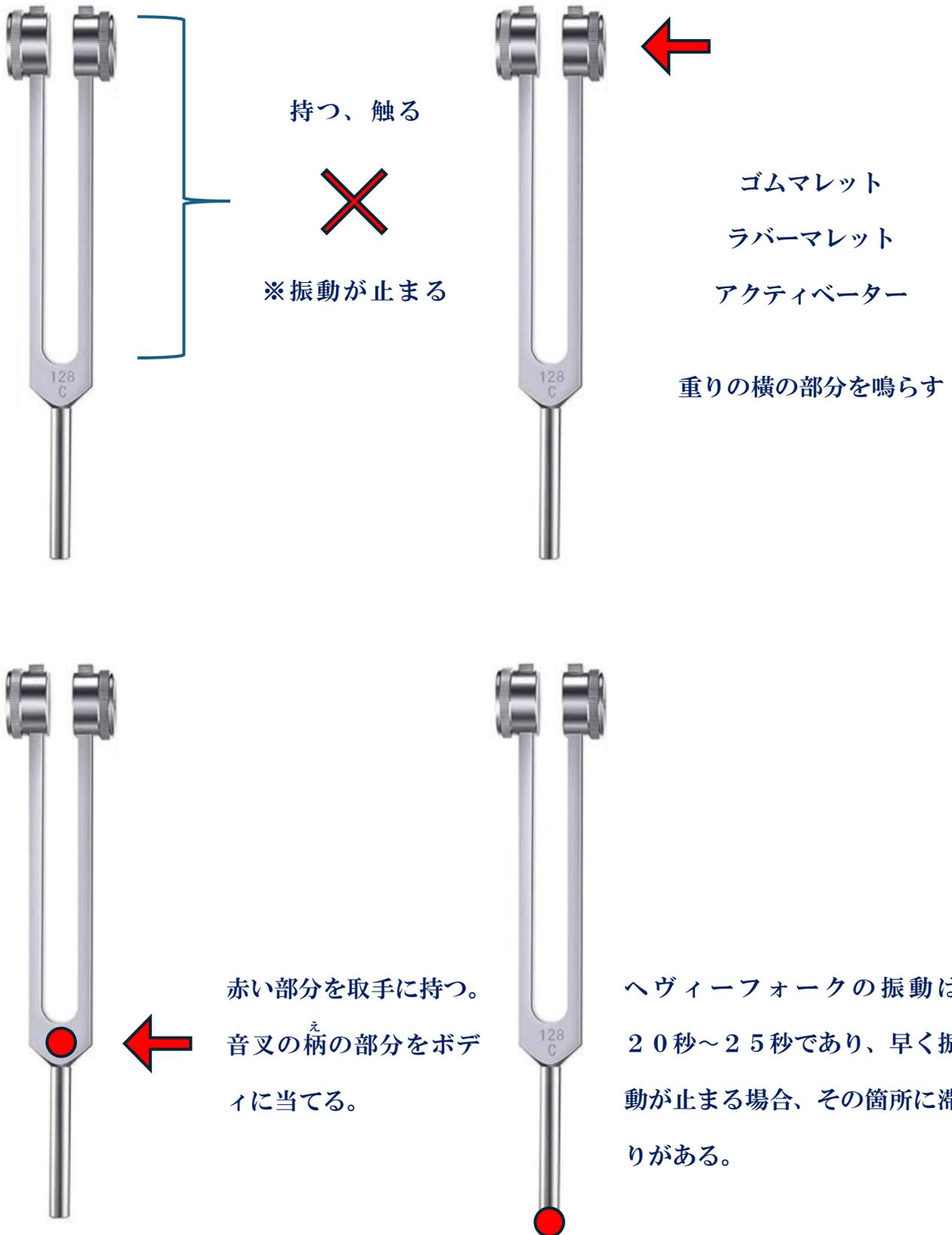
先端に重りのついているヘヴィーフォークは、物理的な振動を身體に響かせるタイプです。フォークより低い周波数が多く、肉體的な刺激が強く「即効性」にすぐれ、短時間で骨、筋肉、細胞の奥深くまで響きます。

フォークの効果は「遅効性」であり、ヘヴィーフォークの効果は「即効性」の作用の違いがあり、フォークが靈體に強く作用し、細胞に働きかけるのに対し、ヘヴィーフォークは肉體に強く作用し、骨、筋肉、血液に働きかけます。

ヘヴィーフォークタイプの音叉は、当スクールでも「ソルフェジオ音叉」と「惑星音叉」を合わせて約40本近くを扱います。世の中に販賣されている様々な周波数の音叉も含めると約200本近くのヘヴィーフォークタイプが存在します。

ヘヴィーフォークは奇經八脈、十二經絡、經穴の本質を理解しているかが扱いこなせる鍵です。そのためには「經穴」が「奇經八脈」と「十二經絡」を繋ぐ接續点であるとの認識が重要になります。ヘヴィーフォークで各經穴を刺激していくことで靈的世界への扉を開くことが可能です。

ヘヴィーフォークの基本的な扱い方



ツボ せつぞくてん
【経穴が接続点のイメージの例】

靈的世界
奇經八脈 = 高速道路



ツボ
經穴 = インターチェンジ

物質世界
十二經絡 = 一般道路

そもそも靈的世界と物質世界を分けて考えること自體がナンセンスであり、両方の世界は深く結びついており、靈的世界と物質世界は分離しておりません。

地上世界の認識だと物質世界が「生の世界」であり、靈的世界が「死の世界」ですが、本来は逆です。靈的世界が「生の世界」で、地上世界が「死の世界」です。その両方の世界を繋ぐ「ゲートウェイ」が「經穴」になります。

ツボ
經穴にヘヴィーフォークの振動を直接注入すると、カラダの深いところにある細胞的知性とのコミュニケーションが可能になります。そしてヘヴィーフォークの振動により奇經八脈と十二經絡のエネルギーを結びつけます。

入門編ツールならば「132Hz ヘヴィーフォーク + 264Hz ヘヴィーフォーク」および「264Hz ヘヴィーフォーク + 528Hz ヘヴィーフォーク（ゴールド）」を各經穴に当てて「細胞に空白」を作ります。

この空白は、新たな靈的エネルギーを受け取るために必要な過程であり、この準備があつてこそ「ヘヴィーフォークの基音」と「ソルフエジオ音叉による音程」によって「遺傳子の構造變換」が始まります。そして、「惑星音叉の音程」まで組み合わせることで、細胞レベルで靈的新次元に向かっていきます。



ヘヴィーフォークの振動^{バイブレーション}は、正常な場合は「20秒～25秒」であり、不調や異常のある箇所だと「5秒～15秒」で振動^{バイブレーション}が止まります。その場合、その箇所^{すうかい}に数回ほど振動^{バイブレーション}を響かせることで、段々と振動の時間が長くなってきます。

また、経穴^{ツボ}に適合するヘヴィーフォークの周波数を知ることが大切になります。例えば喉まわりの経穴^{ツボ}は何個か存在しますが、「天突^{てんとつ}」という経穴^{ツボ}は、基音^{ホームトーン}が「741Hz」か「水星 (141.Hz)」になり、その代替^{だいたい}の周波数だと「417Hz」や「新月 (210.42Hz)」も天突^{てんとつ}に効きます。

「關元^{かんげん}」という経穴^{ツボ}の場合、基音^{ホームトーン}が「417Hz」になり、デトックスの場合は「オーム」が音程^{インターバル}になり、エネルギーをチャージする場合は「128Hz」が音程^{インターバル}になります。

惑星音叉の場合は複数の周波数の基音^{ホームトーン}があり、慢性疲勞^{ひろう}の症状の場合、「ローオーム (68.05Hz) + 太陽 (126.22Hz)」で生命エネルギーをチャージし、不妊や生殖の症状の場合、「満月 (227.43Hz)」や「金星 (221.23Hz)」が基音^{ホームトーン}になります。

飲食物に導入編セットを使う意味と方法



導入編セットである「528Hz 倍音トライアルセット」の「528Hz ヒーリングパイプ、528Hz エナジーバー、1056Hz エナジーバー、2112Hz エナジーバー」の4つを使い、飲食物の調整をすることも可能です。

【飲食物に 528Hz 倍音トライアルセットを使う手順】

- ① 1056Hz エナジーバー、2112Hz エナジーバーを片手に持つ
- ② 528Hz ヒーリングパイプ、528Hz エナジーバーを飲食物の近くで鳴らす
- ③ 1056Hz、2112Hz を手で持った状態で鳴らし、飲食物の近くで鳴らす
- ④ これらをすうかい数回繰り返し、飲食物をオーガニックのレベルに戻していく

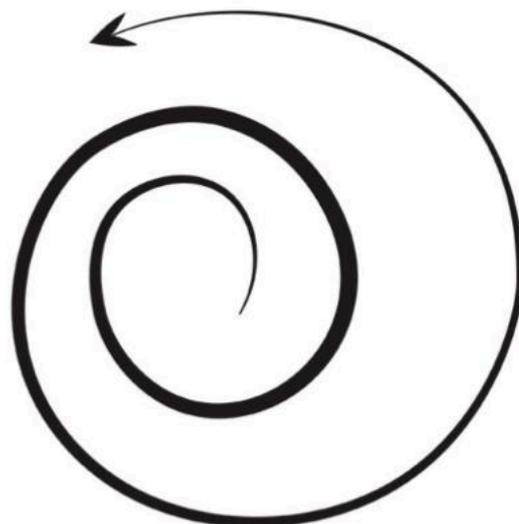
人間の肉體にくたいは、食事によって造られています。古来より「食が血となり、血が肉となる」と言われていますが、これは肉體面にくたいに関して正しい情報です。日々の食事が赤血球、白血球、リンパ球をつくり、それが細胞をつくります。

肉體にくたいの健康學で重要なのは「血液學」と「酵素學」と「適度な運動」の3つになりますが、これは「万病一元、血液の汚れから生ずる」という思想が根底にあり、正しい食事、酵素、運動により肉體にくたいの健康は維持できることを表しています。



エナジーバーは、食事や飲料に対して2 cm～3 cm の距離で、水平にして「左回轉」で鳴らす。

数回繰り返すことで、農薬、添加物、化学物質の害が「無害化」されていく。



サウンドツールを使用すると、飲食物の味が「無農薬、無肥料、在来種」に近づいていきます。元々528Hzは、生物学者が「傷ついたDNAを修復するために使用していた周波数」であり、飲食物に適用できても不思議ではありません。

実際アメリカでは、農業に音叉やサウンドツールを使用し、食物が周波数によりどのような変化があるのかを研究し、分子レベルの構造に変化があるのが認められています。

身体しんたいの健康学は、東洋醫學いがくの思想では「氣、血、水」の循環とされていますが、「靈、幽、肉」の3つの調和とバランスが健康学の真髓であり、音叉セルフヒーリングは靈、幽、肉の調和とバランスを回復させるための方法論のひとつです。

サウンドツールと様々なものを複合して使う意味について



導入編セット、入門編セットでセルフヒーリングをする場合、「チャクラバー 2 個、528Hz ヒーリングパイプ、528Hz エナジーバー、1056Hz エナジーバー、2112Hz エナジーバー」を鳴らしてから、フォークないしヘヴィーフォークを使う手順で、サウンドツールを「複合」して使う方法をなるべく習慣にしていきたいと思います。

地球上で「エナジーバー」、「ヒーリングパイプ」、「フォーク」、「ヘヴィーフォーク」のサウンドツールすべてを複合して音叉ヒーリングを教えているスクールは当スクールのみであり、「音」と「音」の複合波、^{ホームトーン}基音と^{インターバル}音程の組み合わせが大切になります。

「サウンドツールを三位^{いったい}一體で使用すること」により、音叉セルフヒーリングは^{こんしんしん}魂心身の調律、^{いのち}生命の調律という効果を發揮します。音叉はフォーク、ヘヴィーフォークのみの使用だと、酷い詰まりがある部分だと浄化に時間がかかります。



しかし、サウンドツールを複数同時に奏でることで、異なる周波数はもちろん、同じ周波数でも「多重波」が生まれ、複雑に入り組んだ古い情報や思考習慣を「短時間」で粉碎、突破できるようになります。

音叉の ^{バイブレーション}振動に加え、エナジーバーの音の波動を同時に使うことで、ヘヴィーフォークなどの「物理的な ^{バイブレーション}振動」とエナジーバーの「^{ひかり}光の ^{バイブレーション}振動」が繋がり、ヘヴィーフォークやフォークではカバーできない領域へのアプローチを可能にします。

また、「^{ひかり}光の ^{バイブレーション}振動」に属するのは「宝石」であり、ヘヴィーフォークに宝石を後付けでつける「^{バイブレーション}ジェムフット」というものが存在します。音叉の ^{バイブレーション}振動を宝石で増幅させることが可能であり、それによってより ^{こんしんしん}魂心身の深い部分をヒーリングできます。

音叉は、「^{こんしんしん}鉱石（精霊）×音叉（妖精）」、「^{こんしんしん}植物（精霊）×音叉（妖精）」という組み合わせなども出来ます。自然界の力を借りることでより相乗効果を発揮します。

シュタイナーは、山羊座の時代を「鉱物の時代」と呼び、^{しんびがく}神祕學概論の中で「人間は、^{にくたい}肉體を鉱物と共有し、エーテル^{たい}體は、植物と共有する……」と記されています。

音叉も鉱物であり、^{にくたい}肉體に強く作用し、植物は「^{ゆうたい}幽體（エーテル^{たい}體）」に強く作用するということです。そして、「音は^{れいたい}靈體（^{こーざる}コーザル^{たい}體）」に強く作用します。

^{いりょう}鬻療の始まりは、5000年前の新石器時代の「^ふ巫（Wu）」と呼ばれる療術師であり、^ふ巫が鍼灸治療をしていた形から「^い鬻」になりましたが、「^{れい}靈」と「^い鬻」の文字が似ているのは偶然ではありません。

^い鬻の本質とは「^{いりょう}シャーマンが音を通して^{いりょう}鬻療をすること」が「^い鬻」であり、「妖精」の力を借りて当時の^{いりょう}鬻療は成り立っていました。そして3000年前から薬草などが^{いりょう}鬻療の主流に^か變わり、療術師の「^{いりょう}鬻療」から、薬草學の「^{いりょう}醫療」に時代が^{へんせん}變遷していきました。

発酵食品に必要なものの基本は「水、塩、食物（穀物、植物）」であり、「酉」とは「酒つぼ」を表しますが、これは「植物の発酵」を表します。植物の発酵に欠かせないのが、「土器」と「水」と「塩」であり、塩が海水の意味に繋がります。

妖精の力を借りて病人を治療する存在が「^{いしや}鬻者」であり、精靈の力を借りて病人を治療する存在が「^{いしや}醫者」です。文字の「^{かくしがまえ}匚 + ^や矢 + ^{とう}爿」は、各臓器、各器官、各組織などの^{じんたい}人體に音を注入する者が「^い鬻」、薬草を注入する者が「^い醫」と區別されていました。

新次元の^{いがく}鬻學は「^い鉱物×^い植物×^い音のコラボレーション」であり、「^{せいりょう}精靈は、海水と^い鉱物と^い植物」を通して人間に力を貸し、「^い妖精は、^{しゅうは}周波數、^い音、^{ばいぷれいしょん}振動」を通して人間に力を貸します。この原理が分かると、音こそが靈的世界の扉を開く鍵であることに深い理解が及びます。

万物すべての蘇生に、音の叡智は繋がっていることに気づきましょう



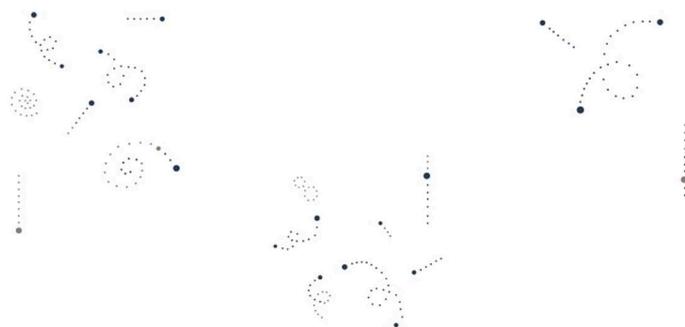
第十章

EXA PIECO ハートブレイン
霊の心、心臓脳と 528Hz

スピリチュアリズムが明らかにした

EXA PIECO D I K A G
霊の心と肉の心の二重構造

心かがくの構造の秘密に迫る科学的根拠



HeartMath Instituteの研究で明らかになった心臓脳

1991年、^{アメリカ}米国カリフォルニア州で設立された「^{HeartMath Institute}HeartMath Institute」は、スタンフォード大学と連携して、脳と心臓の関係、感情の調整、ストレスマネジメント、パフォーマンス向上に関する研究を行っています。

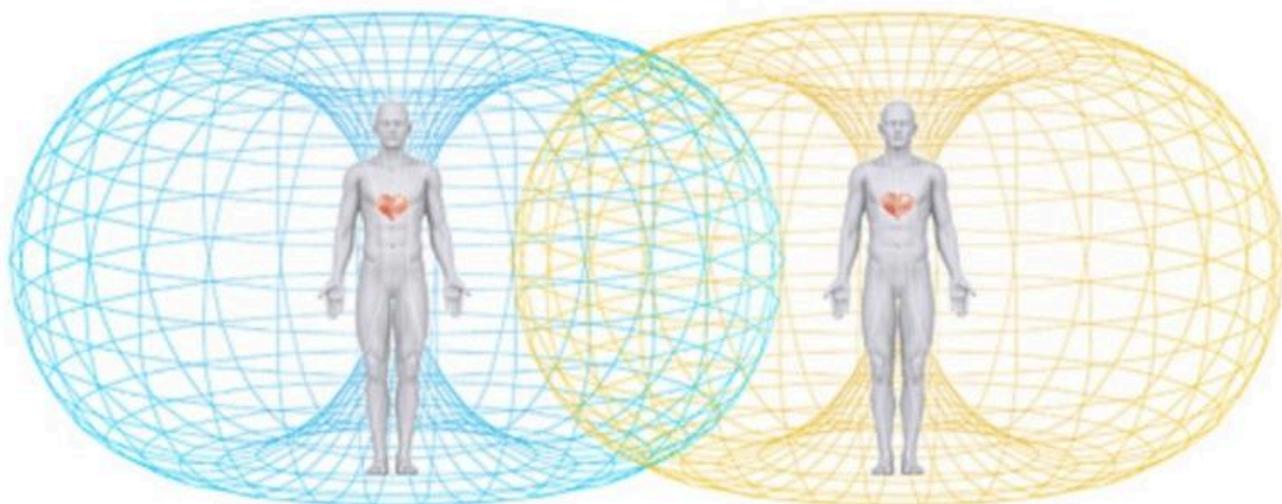
^{HeartMath Institute}HeartMath Instituteの研究により、心臓にも神経細胞組織である「ニューロン」があることが研究で明らかになり、ニューロンの働きとして学習したり、記憶したり、何かを決定したりする能力を、大脳と同じように心臓も持っていることが判明しています。

同時に、直観、インスピレーションと呼ばれるものは心臓からもたらされること、または、心臓が入口になっていることも研究で明らかになっています。現代科学は^{かがく}大脳が^{にくたい}肉體をコントロールとしていると捉えています。

しかし、^{HeartMath Institute}HeartMath Instituteの研究により、心臓にも脳があり「^{HeartBrain}心臓脳」と呼ばれるものが存在し、「^{Heart}心臓脳」と「^{Mind}大脳」が連携していることが明らかになっています。これは、スピリチュアルリズムにより明らかにされた^{EXA PIECO DIKAG}霊の心と肉の心の情報と一致しています。

大脳と心臓脳は、「太い神経」で結ばれていて常に情報を交換しています。^{Mind}大脳から^{Heart}心臓脳にいく情報量と、^{Heart}心臓脳から^{Mind}大脳にいく情報量を比べてみると、^{Heart}心臓脳から^{Mind}大脳にいく情報量の方が100倍も多いということが明らかになっています。

人間の^{EXA PIECO}心臓脳は強力な「電磁場」を発生させており、この電磁場は「^{れいたい}霊體のオーラ」として半径1.5m～3mほど広がり、他の人々のオーラとも相互作用します。^{EXA PIECO}心臓脳の電磁場はグループの中で一人が「^{コヒーレンス}心の調和が取れた状態」になると、その場にいる他の人々の感情的な状態だけではなく、実際に心拍が安定し、呼吸や脈拍まで同調することがわかっています。これが「共感力の拡大」の意味にも繋がってきます。



^{EXA PIECO} 霊の心の判断基準とは、「宇宙や自然の法則に適っているか」であり、「自らの^{EXA PIECO} 霊の心に聞けば、すべて^{SEOPUW} 霊界通信で背後霊が答えてくれる」ので、あくまでも外部からの情報というのは参考程度にしなければなりません。自分に必要な答えは、すべて自分自身の^{EXA PIECO} 霊の心に問い、^{D I K A G} 顕在意識の判断で何事も決めるのが大切です。

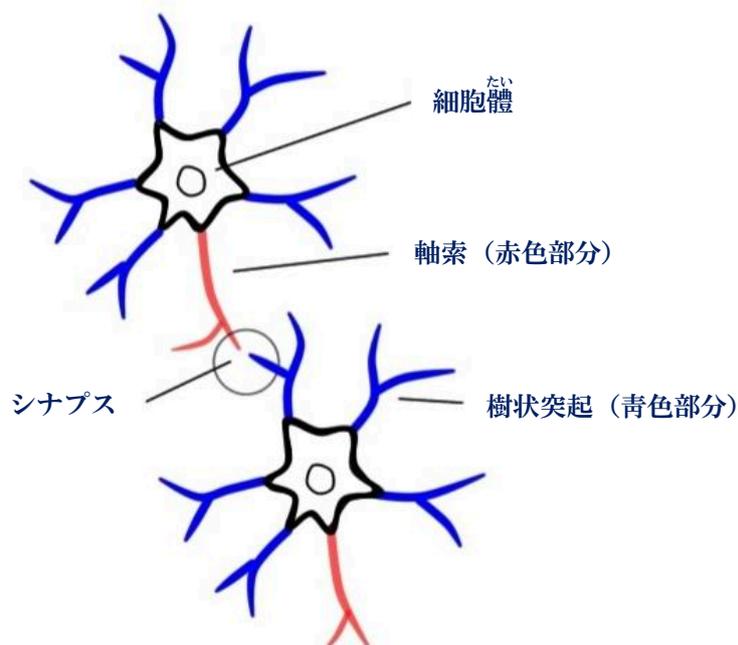
しかし、殆どの人間は^{D I K A G} 顕在意識が^{エゴ} EGH0意識に支配されています。それを肉の心と表現します。まずは^{エゴ} EGH0意識を滅却させ、物事を正しく判断できる洞察力や直観力を日々の習慣で養わなければなりません。そのためにも地上世界のあらゆる洗脳を解くことが必要です。

528Hz というのは、最も重要なハートのチャクラを活性化させる効果があり、心臓の上部にある^{ハートブレイン} 心臓脳を活性化できます。^{ハートブレイン} 心臓脳の磁気エネルギーは大脳の 5000 倍であり、この磁気エネルギーが「遠隔治療」における念を飛ばす原動力となっています。

^{いの} 祈りを中心に、^{かがく} 昨今の科学的な研究で人間の意志や想念にはエネルギーがあって、人を癒すことも呪うことも出来ることが証明されてきていますが、踏み込んだ世界になると、これを^{ハートブレイン} 実際に行っているのは心臓脳であり、^{EXA PIECO} 霊の心と^{EXA PIECO} 霊の心の磁気エネルギー同士を共鳴させることで遠隔ヒーリングも実現できるのです。

心臓脳 大脳
霊の心と肉の心を繋ぐ細胞的知性、ニューロンについて

ニューロンのイメージ^ず図



心臓脳 大脳
霊の心と肉の心は共に「電磁場」を発生させています。その2つの電磁気のフィールドのことを「^{れいたい}霊体のオーラ」、「^{にくたい}肉体のオーラ」といいます。そして、その2つの心を繋ぐ細胞的知性のことを「ニューロン」といいます。

ハートマス 研究所
HeartMath Instituteの研究により、心臓はわたし達の臓器の中で一番最初にできて、大脳はその後からできると判明しました。神経細胞とは、ニューロンと呼ばれる神経組織を構成する細胞で、^{心臓脳 大脳}霊の心と肉の心が「電気信号」を發して、ニューロンを通して相互に情報をやりとりします。^{心臓脳}霊の心には、約4万個のニューロンが存在しています。

^{心臓脳}霊の心は感情の安定/不安定、さらには心臓自身と神経系統や^{大脳}肉の心をつなぐ、交信の調和/不調和の根本だということが確認されています。つまり、心臓と精神と感情は^{いったい}三位一體であり、この3つの同期が崩れたとき、人間の調和とバランスが崩れるということになります。

^{心 臓 脳} 霊の心は、^{大 脳} 肉の心の50倍の電界の強さと、5000倍の磁界の強さを持っています。その電磁気のフィールドは3mぐらいまで発信することができます。^{心 臓 脳} 霊の心は電気信号を送る器官でもあり、いろいろな電気信号を受信する器官でもあります。

^{心 臓 脳} 霊の心から^{大 脳} 肉の心に向かう神経の方が逆方向のものよりも多いのは、神経系統・電磁場・ホルモンなどの^{はんのう} 化学反応・^{大 脳} 血圧波を通して、^{にくたい} 肉の心を通して肉體と常に交信しているのが理由になります。さらに^{心 臓 脳} 霊の心は内分泌器官でもあり、そこから分泌されるホルモンは、癌を含めた多くの病気を治す力を持っています。

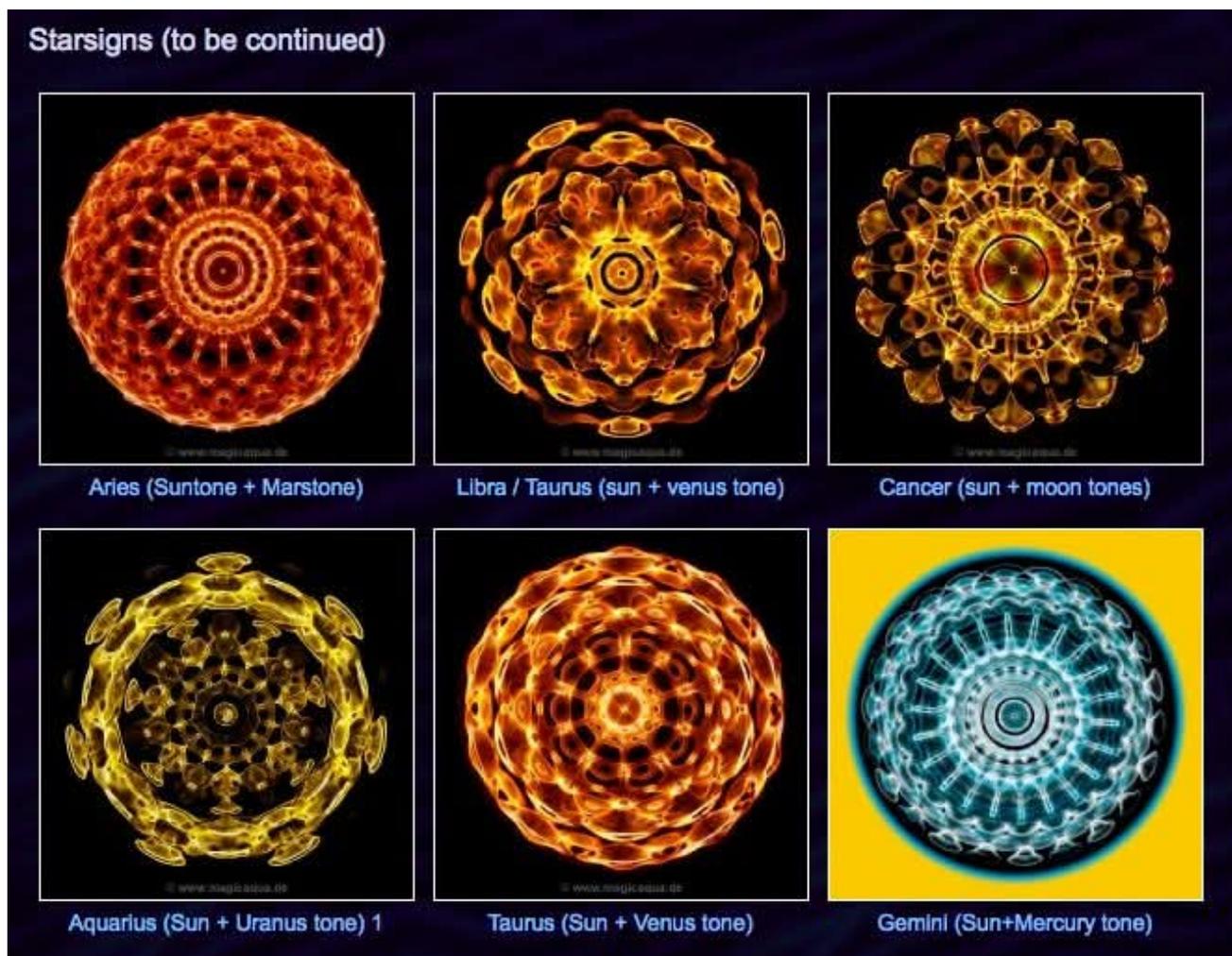
^{しんたい} わたし達の身體構造は、^{心 臓 脳} 霊の心と^{大 脳} 肉の心を「^{ニューロン} 細胞的知性」が複雑にネットワークを形成し、思考、記憶、感覚、運動など、^{しんたい} 身體のあらゆる機能を維持しています。そうした^{しんたい} 身體の仕組みを「^{F I K} 潜在意識」といいます。

日常生活において必要な機能の多くは自動的であり機械的です。筋肉、神経、細胞、繊維等々がいったん「^{心 臓 脳} 霊の心→^{大 脳} 肉の心→^{にくたい} 肉體」と、^{ニューロン} 細胞的知性が指示を受け、さらに連繫的に働くことを覚えたら、その後の繰り返し作業は^{F I K} 潜在意識に委託されます。

たとえば、物を食べる時皆さんは「無意識」の内に口を開けています。それは、アゴが動く前にそれに関連した神経やエネルギーの相互作用があったことを意味します。精神の^{ばいたい} 媒体である^{大 脳} 肉の心から^{ニューロン} 細胞的知性を通して神経的刺激が送られて、それから口を開け、物を入れ、そして噛むという一連の操作が行われます。

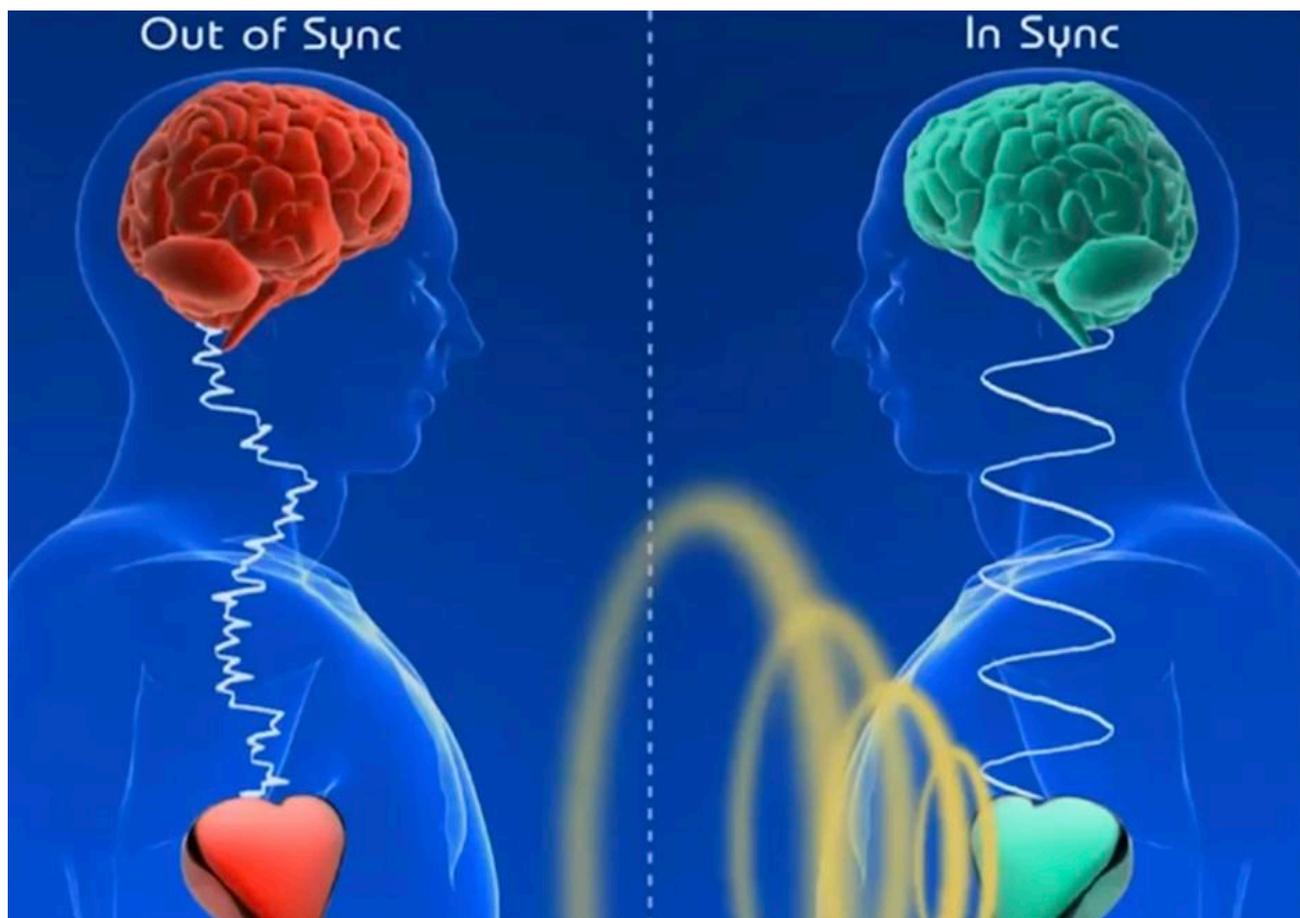
これらは「^{ニューロン} 細胞的知性（^{F I K} 潜在意識）」がすべてが自動的に行っています。赤ん坊の時はその一つひとつを意識的にやりながら^{しんたい} 身體に記憶していく必要がありました。しかし成長したらいちいち^{大 脳} 肉の心で考えないで純粹に機械的に行います。人間の^{しんたい} 身體上の、そしてかなりの程度の精神的機能も、大部分を^{F I K} 潜在意識がコントロールしています。

星々の周波数は、ニューロン（F I K）^{F I K}（潜在意識）に働きかける



音叉による^{いのち}生命の調律は、星々の音が^{ニューロン}細胞的知性を刺激し、^{心臓脳 大脳}霊の心と肉の心の「^{同調}シンクロ」を促していく地上世界最先端の叡智です。悟りとは「^{心臓脳 大脳}霊の心と肉の心の電位差を取ること」であると^{かがく}科学的に言われており、悟りの本質的意味とは「悟り＝差取り」なのです。

^{心臓脳 大脳}霊の心と肉の心が「^{同期}シンクロ」した瞬間というのが「インスピレーション」の本質であり、^{心臓脳}霊と^{心臓脳}霊によるテレパシー通信になります。地上人生の最大の目的である^{心臓脳}霊性の進化は^{心臓脳}霊の心のメッセージに従わない限り絶対に不可能です。なので、音叉により^{心臓脳 大脳}霊の心と肉の心の電位差を取るとは誰しも必要なことです。



心臓脳大脳同期、^{でんたつ}神経伝達というのは「電気の量」で測れることがHeartMath^{ハートマス}研究所の研究で明らかになっています。心臓脳大脳の電気の量は 50 倍以上違い、その差を電位差といいます。

心臓脳大脳の電気を繋いでいるシステムが、^{ニューロン}細胞的知性を通した「自律神経」になります。自律神経は「ミネラル」を通して働くので、役割でいうならば「電気を通す電流」の役割であり、人間はミネラルがなければ心臓脳大脳を繋ぐことが出来ません。

心臓脳は「副交感神経」を司り、静寂、リラックスの状態働きます。「432Hz」を通して「理性」が働き、「528 Hz」を通して「直観」が働く仕組みになっています。大脳は「交感神経」を司り、基本的に緊張、ストレスの状態です。肉の心は「思考、感情」を司ります。

この「心臓脳大脳同期」が、^{心臓脳大脳同期}霊優位の人生を歩む絶対条件なのです

心臓脳 大脳 同期
平均律は^あ霊の心と肉の心のシンクロを妨げ、不協和音を生み出す



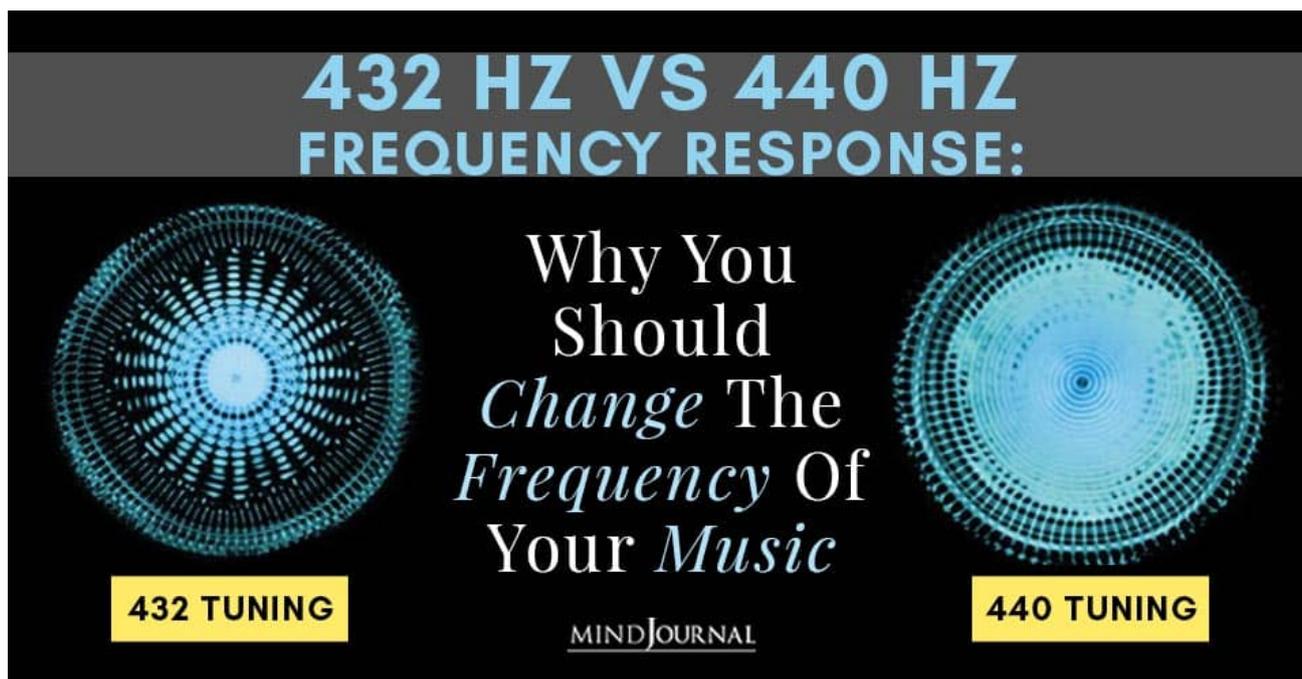
誰を^あ神意すか、どこを^あ神意すか、なぜ^あ神意すか、いつ^あ神意すか、どう^あ神意すか、
そんなことはどうでもいい。大切なのは、^あ神意すってことだけさ。

ジョン・レノン

多くの方がジョン・レノンは暗殺されたことを認知していますが、しかし、なぜ暗殺されたのか、その本当の理由を知る人は殆どいません。

ジョン・レノンは反戦活動家であり、税制を批判し、反政府主義と認定されていました。腐敗した政治の^{たいせい}体制を批判した曲『ワーキング・クラス・ヒーロー』の発表以来、ビートルズはアメリカの敵と見なされていました。

レノンは暗殺される直前、不公平な世界を^あ神意によって終わらせるため、大規模な平和運動を展開しようとしていました。しかし、それだけで暗殺まではされるはずがありません。問題になるのは、ジョン・レノンは^{いとてき}意圖的に『432Hz』で音楽を制作していたことにあります。



イルミナティと呼ばれる秘密結社が、1938年以降、^{こくさい}国際標準音として『平均律 A=440Hz』を制定しました。この平均律の調律に逆らったのがビートルズでありジョンレノンになり、その結果が暗殺の大きな理由にも繋がっています。それは、秘密結社にとって不都合な結果を生むからです。

【ヴェルディとモーツァルトの調律】

平均律 A=440Hz に基づいたチューニングは、宇宙の動きやリズム、自然のバイブレーションとは全く調和しません。モーツァルトとヴェルディは、ともに自然のバイブレーションに基づいた作曲を行いました。A=432Hz は『ヴェルディ・ピッチ』と呼ばれています。

ポピュラーなニューエイジミュージックを含め、殆どの西洋音楽は不自然な A=440Hz に設定され、440Hz と 432Hz の差は 1 秒間にわずか 8 振動ですが、人間が認識できる違いがあります。そして画像の水の動きを見ても 432Hz と 440 Hz の違いは明らかです。

432Hz は^{心臓}心の信頼と調和に導き、平均律 A=440Hz は^{大脳}肉の心を疑いと渾沌に導きます

【平均律の音楽の恐ろしさ】

様々な研究から、440Hz は肉の心大脳の松果腺とEGHO意識エゴを刺激し、靈の心心臓脳の神意あいと信仰を抑圧するという研究結果が出ており、それにより地球人類が心理的戦争、心の病になるように邪悪な勢力が普及させたとされ、その結果、安らぎが奪われているという現状があります。

周波数の研究者によると、幅広い再考察の結果、A=432Hzの周波数は広く宗教界で使われてきたことが判明しています。A=432Hzは靈の心心臓脳の神意あいと信仰を強化し、人間が調和と理性で生きれるように促していたのです。

「もっとも古い音の使用法の一つは、儀式的、宗教的用途であった。ヒンドウのマントラ詠唱やユダヤ主唱者の榮唱、キリスト教の讚美歌、イスラム教の礼拝時刻告知係の呼びかけと、聖なる音は世界の様々な宗教で聞くことができる」と言われております。

薔薇十字團じゅうじだんの學生がくせいであったロバート・ルイスによると、『礼拝における音楽の目的は、倍音の繰り返しによって、集まった人々の波動をスピリチュアルなレベルから上昇させることにある』と述べています。

しかし、いつの時代からか音楽は「純正律」から「平均律」に移行し、現代地球文化ではあらゆる西洋音楽が平均律で作曲されるようになりました。純正律は和音が美しくハモる、平均律は和音が微妙にズレて不協和音になります。元々、昔は平均律「A=440Hz」で音楽をずる決まりなどありませんでした。

432Hzのヴェルデピッチしかり、カラヤンは445Hzの高めの調整をしていた然り、割りと自由でした。しかし、イルミナティと呼ばれるような裏組織が音により人類をマインドコントロールできるという実態を知り、長い年月をかけて1938年に平均律A=440Hzを國際標準音こくさいとして制定させてしまいました。

平均律の調律は、その不協和音の ^{バイブレーション} 振動により ^{心 臓 脳} 霊の心に働きかけることが出来ません。また、心を躍らせたり、感情を揺さぶったりする作用に乏しく、音楽として創造性や即興性の余地に欠けます。そして、「天球の音楽」を受け取ることが不可能にさせます。

平均律で作曲された音楽はワンパターンであり、平均律は無理にドレミファソラシドの音階に音を当てはめようとするために、音に無理が生じてしまい、微妙な和音のズレが出てくるようになっています。その僅かなズレが、^{心 臓 脳} 霊の心と^{大 脳} 肉の心のズレに大きな影響を与えているのです。

平均律と純正律のドミソの音をチェックしてみても、純正律はそれぞれの和音が重なりあって透き通った美しい音を奏でるのに対し、平均律は和音にした時に周波数が僅かにずれているため、濁った音になってしまいます。このズレが^{心 臓 脳} 霊の心に多大なストレスを与えるのです。

現代地球文化は、「平均律」と「A=440Hz」により、人々の^{D I K A R アゴ} 顕在意識のEGHO意識を増大させるようになり、「殺したくなる」、「争いたくなる」、「奪いたくなる」といった方向に^{大 脳} 内の心をマインドコントロールで誘導されています。

音を使って病的人間を増やすことが目的だということも秘密結社の内部機関にいた研究者により暴露されていますが、その通りに心身の病的人間の数が地上世界中で増加しているのは間違いありません。

ミツバチも 440Hz で凶暴になり、528Hz を聞かせると穏やかになることは、一部では知られていることですが、まだまだ一般には知られていません。

日本では、1948 年に A=440Hz が導入され、^{ぜんこく がっこう} 全国の学校のチャイムの音でも取り入れられるようになりました。NHK の時報の低い方は 440Hz、高い方は 880Hz に設定しておりますが、長い間この周波数を聞いてきた日本人の細胞や心身は、見えないところで傷ついています。

アコースティックな 528Hz の音が、^{コヒーレンス}心の調和が取れた状態を生み出す

細胞の実験で「^{アコースティック}電氣的な増幅なしに演奏される楽器」を演奏した時、528Hz を同時に鳴らすと、健康な細胞の「^{電磁氣}電磁氣のフィールド」は音を吸収し、統合するように呼吸したことが^{かがく}科学的に判明しています。健康な細胞はアコースティック・サウンドの影響によって活性化し、細胞が修復していきましたが、その鍵は「電氣を通さない音」でした。

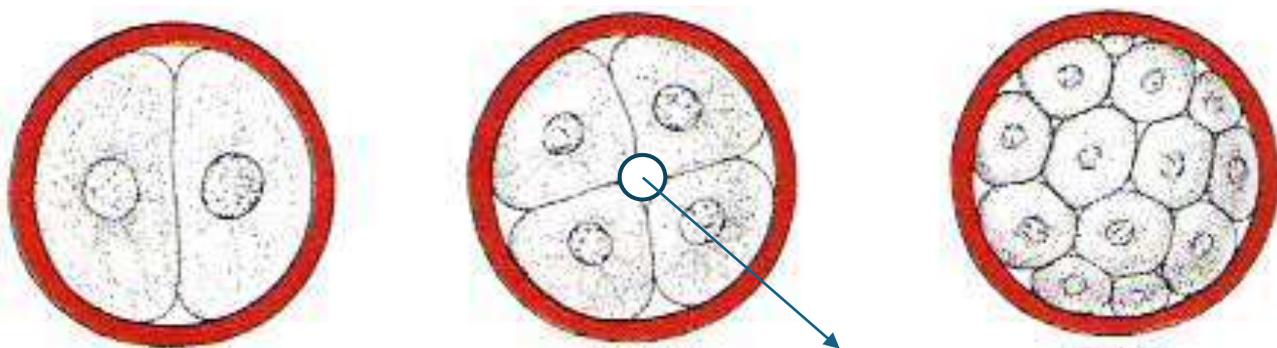
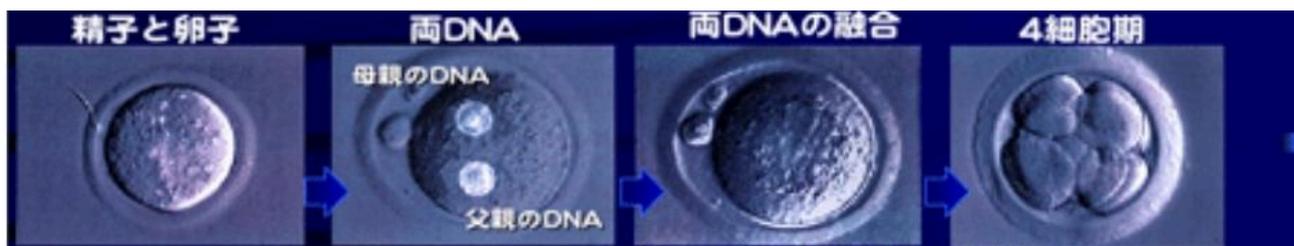
電氣を通さない音は、倍音を通じて、それぞれの音の間に生じる時間と空間を生み出します。Youtube などのヒーリングミュージックは、電子的な手法で様々な音色を「^{合成}synthesize」して、多様な音を生成していますが、そうした「^つ氣の抜けたスープ」みたいな音楽を浴び続けると間違いなく^{大脳}肉の心は狂っていき、^{カオス}複雑怪奇な言動と行動をする人間に向かっていきます。

倍音のヒーリングは電子音と音量という2つの容赦ない敵によって、わずか2秒で破壊されてしまいます。「電子技術者」（現代の音楽家のことです）は、電子音楽でハーモニーが作り出せると主張します。確かにアンプによって生み出される残響は倍音によく似た音を出しますが、こうした偽物の音は自然の調和音とは無関係なのです。

タオ・オブ・サウンド（ヒカルランド出版） p.136

倍音は自然の波のように^{ホームトーン}基音から外に向かって広がっています。波が広がっていくとき、わたし達は「音と音の間」で呼吸をしています。倍音の空間で本当の癒しは起こりますが、その倍音を奏でられるのは^{アコースティック}電氣的な増幅なしに演奏される楽器だけです。

この、「それぞれの音の間に生じる時間と空間を生み出す音が 528Hz」であり、原型細胞の隙間に 528Hz の^{バイブレーション}振動が「高時空元と低時空元が交わるスポット」を生み出します。



※細胞の隙間が重要である

倍音は、アコースティック楽器、自然素材の楽器、人間の声、そして自然そのものにしか奏でられません。自然の楽器には、石、水、木なども含まれます。また、自然そのものとは、風や木々や鳥のさえずりや小川の水の中にも倍音は見いだすことができます。

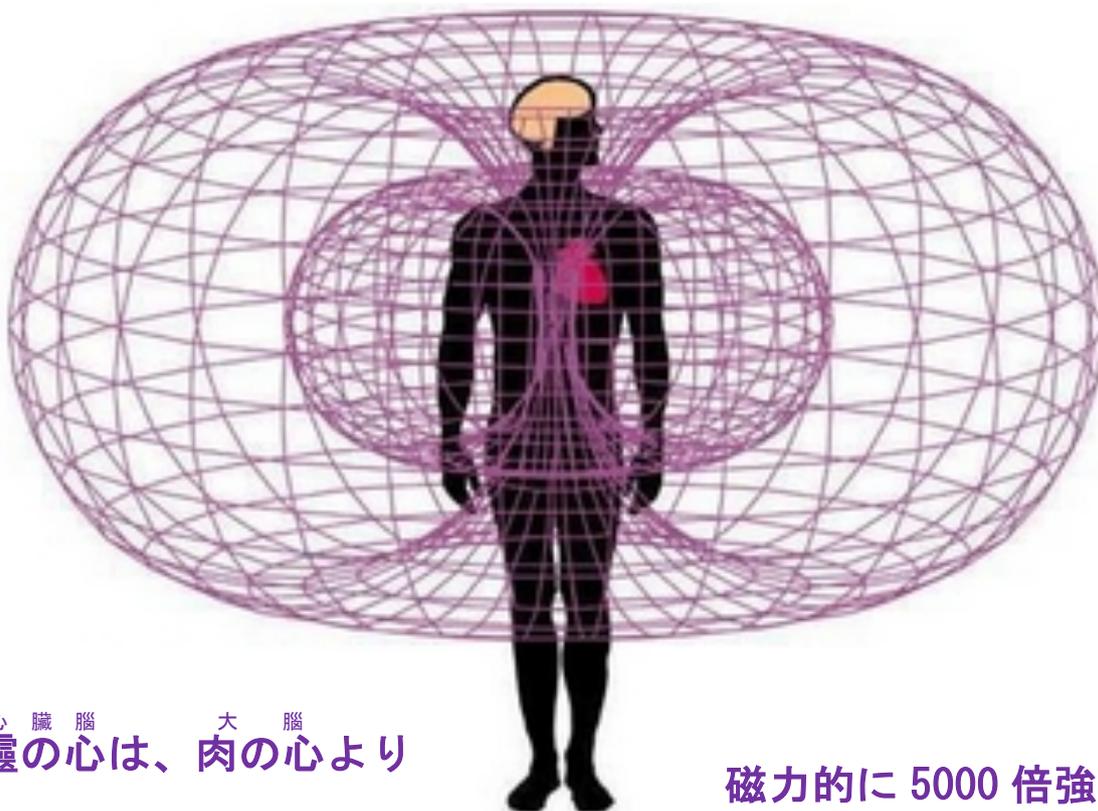
「調和の本質とは、^{たいりい}大霊の自然法則である、自然界の音楽と人間の^{しんたい}身体の2つの共鳴するバイブレーション振動の中で起こる“倍音による共鳴現象”です」

528Hz 倍音トライアルセットは、「132Hz、264Hz、528Hz、1056Hz、2112Hz」の「^{オクターブ}5倍音により、霊的世界と物質世界が交わる磁場を生み出す」ことに本質があります。528Hzの倍音は、^{心 脳 大 脳}霊の心と肉の心の電位差を無くし、音のうねり場を作って^{へんいさ}変位差による隙間を作ります。

また、^{心 脳 大 脳}霊の心と肉の心の電位差を無くし、音のうねり場を作って^{へんいさ}変位差による隙間を作るもうひとつの要素は「^{そくどく}速読、^{そくちよう}速聴、早口」であり、「暗唱」が^{心 脳 大 脳}霊の心と肉の心を一致させる上でも重要になります。「^{心 脳}霊の心は右脳」、「^{大 脳}肉の心は左脳」、これらを繋ぐ「^{のうりよう}脳梁」を活性化させることで、「^コ心の調和が取れた状態」が保たれるようになるのです。

心臓脳 大脳
霊の心と肉の心の調和とバランスを回復させる

心臓脳 大脳
霊の心は、肉の心より はるかにパワフル！



心臓脳 大脳
霊の心は、肉の心より
電氣的に 10 万倍強く

磁力的に 5000 倍強い

心臓脳 大脳
霊の心、肉の心は電気を生み出しており、
霊は人工的な電子音をなによりも嫌い、ストレスを与える
電気を通さない 528Hz の倍音は心の調和が取れた状態を生む

病気の原因の9割は、「心臓脳 大脳 霊の心と肉の心のアンバランス」によって引き起こされます。それが、細胞を傷つけ、骨を痛め、筋肉を弱らせる原因となり、^{しんたい}身体を維持できなくなる。それが病気であり、心臓脳 大脳 霊の心と肉の心の調和とバランスを回復することが眞の健康學になります。

心 臓 脳 靈の心は別名「コズミックハート」とも表現し、大 脳 肉の心は別名「ヒューマンハート」とも表現します。そもそも^{D I K A G}顯在意識は、自己の^{にくたい}肉體の生存を可能にするために^{たいれい}大靈から与えられたものです。

「^{にくたい}大脳は^{にくたい}肉體の心」であり、「^{にくたい}肉體の健康、生活必需品の確保、維持、管理」をするために存在するという本質があります。^{D I K A G}肉の心とは、自分自身の健康、生活必需品の確保のために働くようになっています。^{D I K A G}肉の心は、^{にくたい}肉體の^{そんぞく}存續を^{はか}圖るという目的で必ず必要になります。

しかし、それが過剰になり、自分さえよければ、人間さえよければという^{D I K A G}顯在意識の^{エゴ}EGHO意識の増大が問題なのです。人間は、^{大 脳}肉の心で「依存」、「自我」、「感情」、「欲望」などの^{エゴ}EGHO意識をコントロールできなければ、醜い存在に堕ちてしまいます。

^{EXA PIECO}靈の心により、健康と生活必需品の確保で十分という「^{D I K A G}顯在意識の欲望の一定のコントロール」のもとに置かれる限り、^{D I K A G}肉の心はその役割を果たして人間に貢献することになります。しかし、そうした健康と生活必需品の確保という必要最低限を限度を越えて求めるようになると、^{EXA PIECO}靈の心という本来の人間の心の在り方から逸脱することになります。

^{EXA PIECO}靈の心が求めているものは「調和」と「^{あい}神意」による「^あ靈性の進化」であり、そのために「無償の奉仕」と「滅私奉公」を求めており、それを通して「^{たいれい}大靈の^{わけみたま}分靈が成長し神聖化していくこと」が可能になります。

自己の健康、生活必需品の確保、^{にくたい}肉體の生存を最優先にする^{D I K A G}肉の心の役割と^{EXA PIECO}靈の心の役割はまさしく「正反対」です。この正反対の心を、^{いのち}生命の調律を通して一致させることを「^靈FUNEKON優位」、「^靈EXA PIECO優位」の努力とといいます。

^{いのち}生命の調律は、音叉の基本となる周波数である 528Hz によって「^{心 臓 脳}靈の心と^{大 脳}肉の心が^{同期}シンクロし、^{コヒーレンス}心の調和が取れた状態」が日常で可能になってきます。

東洋^{いがく}醫學では「陰陽五行」についてを学びますが陰陽五行のシステムの本質に気づいている人は殆どいません。奇經八脈、チャクラ、十二經絡を管理し、統合しているのは統括するの^{EXA PIECO}が「^{EXA PIECO}靈の心」と「^{DIKAG}肉の心」です。

陰とは「^{EXA PIECO}靈の心」、^{EXA PIECO}「靈的世界」を表します。陽とは「^{DIKAG}肉の心」、^{DIKAG}「物質世界」を表します。奇經八脈で「衝脈」と「督脈」のみ五行に含まれていませんが、それは「衝脈が陰（闇）」、「督脈が陽（^{ひかり}光）」であり、五行を管理し、コントロールしている中樞だからです。

陰（ ^{EXA PIECO} 靈の心）と陽（ ^{DIKAG} 肉の心）の本質			
^{EXA PIECO} 靈の心	第8チャクラ	^{DIKAG} 肉の心	第7チャクラ
（ハート 心臓脳）	アンタスカラーナ・チャクラ	（マインド 大脳）	サハスラーラ・チャクラ
衝脈	十二經の海	督脈	陽經の海
（腎臓）	^{れいたい} 靈體の管理、維持	（臍臓）	^{にくたい} 肉體の管理、維持

五行は、「5つの感情の動き」とも言われ、「5つに分類した感情のエネルギーの方向性」を表します。^{EXA PIECO}靈の心の感情とは「信頼」であり、「安心感」に支配されます。^{DIKAG}肉の心の感情とは「疑い」であり、「焦燥感」に支配されます。

感情とは、^{EXA PIECO}「靈の心」に向かっているか、^{DIKAG}「肉の心」に向かっているのかの指標であり、感情をシグナルとして捉えなくてはなりません。そして、そのシグナルが、5つに分類した感情のエネルギーの方向性によって管理された「奇經八脈、十二經絡、^{ツボ}經穴」によって分かるようになるのです。

病氣はメッセージと言われていますが、正確には「^{EXA PIECO}靈の心と^{DIKAG}肉の心のバランスを表すシグナル」であり、シグナルが崩れると「^{ツボ}經穴」にメッセージが來ます。そのサインの意味を正確に知るために東洋^{いがく}醫學、十二經絡、陰陽五行を通して心の仕組みを学ぶ必要があります。



第十一章

古代よりの心理療法、東洋^{いがく}醫學

東洋思想の^き氣、^{けつ}血、^{すい}水の本質

音叉による^{いのち}生命の調律と東洋^{いがく}醫學の融合により

EXA PIECO D I K A G
靈の心と肉の心の調和とバランスを回復させる



陰陽五行を通して霊、心、感情の動きを学ぶ

東洋^{いがく}醫學の成り立ちとは、「自然界への観察」から生まれました。宇宙が自然に展開していくプロセスと、それが人生に及ぼしている影響を深く観察していく中で「奇經八脈」と「十二經絡」と「^{ツボ}經穴」を見つけ出したのです。

奇經八脈、十二經絡、^{ツボ}經穴は単なる東洋^{いがく}醫學ではなく、その本質は靈性を培うためのものであり、^{EXA PIECO D I K A G}靈の心と肉の心のバランスを取るための方法論のひとつです。

東洋^{いがく}醫學の叡智、奇經八脈、十二經絡、^{ツボ}經穴は、「陰陽五行」を通して「^{心 臟 脳 大 脳}靈の心と肉の心の2つの心の動き、感情の動き」を知るために存在します。2つの心の動きを「陰陽五行」として^{たいけいか}體系化し、東洋^{いがく}醫學の理論は完成しました。

五行は英語で「^{ファイブ エナジー トランスフォーメーションズ}Five Energy Transformations」と呼ばれており、日本語に翻訳すると「5つのエネルギーの^{へんよう}變容」といいます。五行説の基礎が出来たのは、地球の約5000年ほどの文化では2000年以上前に遡ります。

五行説をまとめたのは、^{ちゅうごく}中國の思想家、^{すうえん}鄒衍と言われています。紀元前300年頃、シャーマニックなシンボルだった五行が^{てつがく}哲學的思想へと進化しました。しかし、陰陽五行の本質は^{てつがく}哲學などではなく、「^{マップ}魂の地圖」という表現が的確になります。

奇經八脈、十二經絡、^{ツボ}經穴を学ぶことは、宇宙の仕組みを学ぶことと同じ意味を持ちます。その基本的原理とは、「本質の自分自身を知るため」にあります。東洋^{いがく}醫學は、人間の複雑な「心理」から「眞理」に通じる道であり、人生の羅針盤であり、正しい人生への導き、指針を得るための叡智であり知性です。

靈と心と身體^{しんたい}の声に耳を傾けること、それが本当の意味での心理學の始まりです



しかし、現代の東洋^{いがく}醫學は「十二經絡」しか情報が残されていないため、殆どの東洋^{いがく}醫學に従事している人間が、肉の心と肉體^{にくたい}しか見なくなっています。そして^{心臓}靈の心である奇經八脈について本氣で追窮している方は殆どいないのが現状であり、東洋^{いがく}醫學において一番重要な情報が抜け落ちています。

『奇經を用いぬ^{いしゃ}醫者は中醫學の究極の奥義を眞に實踐しているとはいえない』と当時、^{りじちん}李時珍が語ったと記されている。

~Leon Hammer, MD

經絡^{ツボ}や經穴のエネルギーの流れは、「感情のエネルギーの流れ」として、その感情のエネルギーの流れに異常が出ると「病氣はメッセージ」という結果になって表れます。しかし、正確に表現するならば、「病氣は靈、心、感情を無視しているサイン」と表現します。

奇經八脈と十二経絡の相關關係			
陰 心 腦 腦 靈の心	しょうみやく 衝脈 (174Hz、285Hz) 十二經の海 (靈體の管理、維持)	陽 大 腦 肉の心	とくみやく ウラナス 督脈 (天王星) 陽經の海 (肉體の管理、維持)
金	ようきょうみやく 陽蹻脈 (852Hz) 膀胱經の別脈 (男性エネルギー)	金	ネプチューン 肺經 (海王星) フルート 大腸經 (冥王星)
土	よういみやく 陽維脈 (741Hz) 諸陽の会 (外側のネットワーク化)	土	サターン 脾經 (土星) マーキュリー 胃經 (水星)
火	いんきょうみやく 陰蹻脈 (639Hz) 腎經の別脈 (女性エネルギー)	火	サン 心經 (太陽) セドナ 小腸經 (セドナ)
木	たいみやく 帶脈 (528Hz) 横方向に流れる経脈 (靈肉の接合点)	木	ジュピター 肝經 (木星) マーズ 胆經 (火星)
火	にんみやく 任脈 (417Hz) 陰經の海 (生殖器の管理、維持)	火	ヴィーナス 心包經 (金星) フルート 三焦經 (冥王星)
水	いんいみやく 陰維脈 (396Hz) 諸陰の会 (内側のネットワーク化)	水	マーキュリー 腎經 (水星) サターン 膀胱經 (土星)

五行は「Five Energy Transformations」、^{へんよう}「5つのエネルギーの變容」、「5つの感情の動き」とも言われ、「5つに分類した感情のエネルギーの方向性」を表しますが、奇經八脈を通じたエネルギーの動き、十二経絡を通じたエネルギーの動きを知るために必要です。

大 腦
肉の心はウソをつきますが、^{しんたい れいたい ゆうたい にくたい}身體 (靈體と幽體と肉體) はウソをつかないし、誤魔化せません。その^{しんたい}身體の声に耳を傾けること、それが本当の意味での心理学の始まりです。また、歴史的に^{いがく}東洋醫學が元々重視していたのは、「人が自分の人生の道を見つける」ことを助けることです。^{いがく}東洋醫學を學ぶことは、^{スピリチュアルジャーニー}「靈的巡礼の旅」に向かう始まりになります。人生の目的である「靈性の進化」のためにも必要な情報なのです。

【東洋^{いがく}醫學とスピリチュアリズムが明らかにした人間観の融合】

- (1) 靈とは生命であり、生命とは靈である。
- (2) 靈が肉體^{にくたい}に宿ることを「生命體^{せいめいたい}」と定義する。
- (3) 靈^{EXA PIECO}の心とは、「FUNEKON^靈の表現機関」であり、別名を「魂」と表現する。
- (4) 靈^{EXA PIECO}の心は奇經八脈がコントロールし、肉^{D I K A G}の心は十二經絡がコントロールする。
- (5) 靈^{EXA PIECO}の心が靈體^{れいたい}を創り出し、靈體^{れいたい}を腎臓がコントロールする。
- (6) 肉^{D I K A G}の心が肉體^{にくたい}を創り出し、肉體^{にくたい}を膀胱がコントロールする。
- (7) 靈肉を繋ぐのはチャクラであり、チャクラは靈體^{れいたい}と肉體^{にくたい}を繋ぐ接合点である。
- (8) 經穴^{ツボ}が靈的世界と物質世界を繋ぐ接續点^{せつぞくてん}である。

そもそも人生の目的は至って単純です。靈の世界から物質の世界へ来て、再び靈の世界へ戻った時に自分自身を待ち受けている仕事と楽しみを享受する資格を身につけるために、さまざまな^{たいけん}體驗を積み「学ぶ」ことです。

人生の本質は「学び」です。学びこそが生きる意味ですが、「自分自身の生きる意味とは何か？人間とはそもそも何か？生きるとは何か？死ぬとは何か？」この4つの本質の追窮は地球人の誰しもが必要なことなのにも関わらず、殆どの方が眞剣にこの4つの本質的テーマを追窮しておりません。

^{D I K A G} 大 腦
顯在意識（肉の心）で組み立てた知識や情報を理解することにエネルギーが費やされていますが、あらゆる分野で本質的テーマを追窮していないので、生きる上での必須項目である「自分自身が生まれてきた意味と役割」を自覚しないまま生きている状態です。

人間として地球に生まれた本来のプログラムは、本質的な教育には必要不可欠なものです

陰陽五行は、人間の深い部分を見通すことが出来るようになる

現代地球人の殆どが、地上世界で生きる上での基本的教育が欠如しております。それを「靈的無知」といい、それが靈的世界での悲劇にも直結しています。死と生、人間の役割、生きる意味、それらは全て繋がったテーマであり、常に追窮が必要なことです。

その基本的なことを東洋^{いがく}醫學、奇經八脈、十二經絡、^{ツボ}經穴、それらをベースにした「音叉セルフヒーリング」を通して學んでいくということです。

東洋^{いがく}醫學の叡智の本質は、「宇宙の法則を學ぶ」ことにあり、正しい人生觀を養い、正しい人生を歩む上で誰しもが學ぶべき叡智であり、本來は^{いがく}醫學の分野ではありません。

そして、東洋^{いがく}醫學として自分自身を知るためのツールの一つは「陰陽五行」を學ぶことです。陰陽五行のエレメントタイプが意味することとは、「今回の人生で學ぶレッスンのテーマ」が反映されています。

東洋精神^{いがく}醫學において、症状は、その人の靈的な人生と信念^{たいけい}體系の奥深くを指し示すサインとされていました。そのサインと五行のシステムは一連の^{たいおう}對應關係があり、五行のエレメントを知ることは^{スピリチュアルジャーニー}靈的巡礼の旅に人々を導くために必要なこととされてきました。

五行のエレメントは、「先天（^{心 臟 腦}靈の心）」と「後天（^{大 腦}肉の心）」の2つが存在します。この2つに音叉セルフヒーリングでアプローチし、心の調律をすることが毎日の基本になります。

自分や他人の五行のエレメントを見分けるには、サインを見逃さない注意力、觀察力、洞察力、研ぎ澄まされた「^{心 臟 腦}靈の心を通した直觀」と「^{大 腦}肉の心を通した五感の感覺」を驅使する必要があります。自分自身の五行のエレメント、クライアントの五行のエレメントを知ること、人間の深い部分を見通すことが出来るようになります。

スピリチュアリズムの地球人類救済計画の一翼、星信仰の復活

陰陽五行チャート(1)						
五行	木	火 (太陽究線)	火 (地熱)	土	金	水
奇經八脈	帯脈	陰 躡脈	任脈	陽維脈	陽 躡脈	陰維脈
チャクラ	3	4	2	5	6	1
ソルフェジオ	528Hz	639Hz	417Hz	741Hz	852Hz	396Hz
陰經	肝經	心經	心包經	脾經	肺經	腎經
(原穴)	太衝	神門	大陵	太白	太淵	太谿
主な症状	循環器系、眼の疾患、慢性頭痛	心臓、心不全、血液の循環不良	気管支、胸の圧迫感、胸骨の痛み	自律神経失調症、痙攣、痺れ	呼吸器系、電磁波過敏症	生殖器系全般、不妊症
マイナスの性格	猪突猛進、他人の感情に鈍感	肉の心のワクワクだけを求める	楽しみがない、冷めてる	取り越し苦労、グルグル思考	夢想家、現実を見ない	他人と距離を取りたがる
対応する惑星の 基音と音程	木星 海王星	太陽 ローオーム	金星 火星	水星 天王星	海王星 水星	土星 金星
陽經	胆經	小腸經	三焦經	胃經	大腸經	膀胱經
(原穴)	丘墟	腕骨	陽池	衝陽	合谷	京骨
主な症状	筋肉、足の末端冷え性	血液の造血、五十肩、急性の頭痛	下腹部の痛み、生理痛	消化器系、カラダのだるさ	皮膚の疾患、アトピー	新陳代謝、肥満や抜け毛
マイナスの性格	優柔不断、鬱、復讐心が強い	自己否定、自分への怒り	感情のコントロールがきかない	心配性、おせっかい、過保護	不平不満を溜め込みがち	物事全般に批判的になりがち
対応する惑星の 基音と音程	火星 冥王星	地球 オーム	月 キロン	水星 オーム	冥王星 土星	セドナ ゾディアック

5つの感情の動きは「五行」として「経絡のエネルギーの流れ」に反映されます。そして病氣のメッセージとは、「5つの感情の動きに滞り」があることが原因です。その流れを正常にさせることが病氣、不快、異常のサインをなくすことに繋がります。

陰陽五行チャート(2)						
五行	木	火 (太陽究線)	火 (地熱)	土	金	水
五神	Hun 魂	Shen 神	Shen 神	Yi 意	Po 魄	Zhi 志
気エネルギー	精神を司る魂	スピリット	スピリット	思考	肉體を司る魂	意志
調和時の状態	自己表現	喜び	感謝	思いやり	尊敬	希望
一番の長所	信念の強さ	人生への情熱	欲望が少ない	氣配り	礼節を重んじる	正直
不調和時の状態	怒り	脅え	ヒステリー	心配	悲しみ	恐怖
一番の短所	思慮が浅い	圧倒されやすい	バランスを失う	支配してくる	正しくありたい	不寛容
ストレス反応	爆発する	ボロボロになる	攻撃的になる	過剰反応する	人間関係を断ち 切って撤退する	社会から離れ る、内にこもる
感覚器 (五感)	目 (視覚)	舌 (味覚)	唇 (肌)	口 (触覚)	鼻 (嗅覚)	耳 (聴覚)
分泌する津液	涙	汗 (味覚性)	汗 (温熱性)	唾液	粘液	尿
カラダの部位	筋肉、腱、靭帯	血管	顔の色つや	筋肉	皮膚	骨、髪
代謝するもの	脂肪	アミノ酸	たんぱく質	炭水化物	ミネラル/酵素	水
アーキタイプ 元 型	パイオニア	魔法使い	心理療法士	仲裁者	錬金術師	哲學者
一番の関心事	仕事	刺激	人間の感情	詳細	習慣、慣習	宇宙の法則
徳	意志の強さ	所有	分かち合い	誠實さ	正義	叡智、知恵
本質的テーマ	成長と拡大 好奇心と冒険心 で人生を切り開 いていく	忍耐と神意 耐え忍ぶことで 人々への神意を 具現化する	赦しと受容 自他の罪を赦し、 前向きに人生を 歩むエネルギー	他者への援助 人と人のご縁を 繋いでいくこと で變容を促す	経験と完成 人生の経験から 異質を融合させ 完成させる	眞理と統合 眞理を明らかに することで人々 に希望を与える

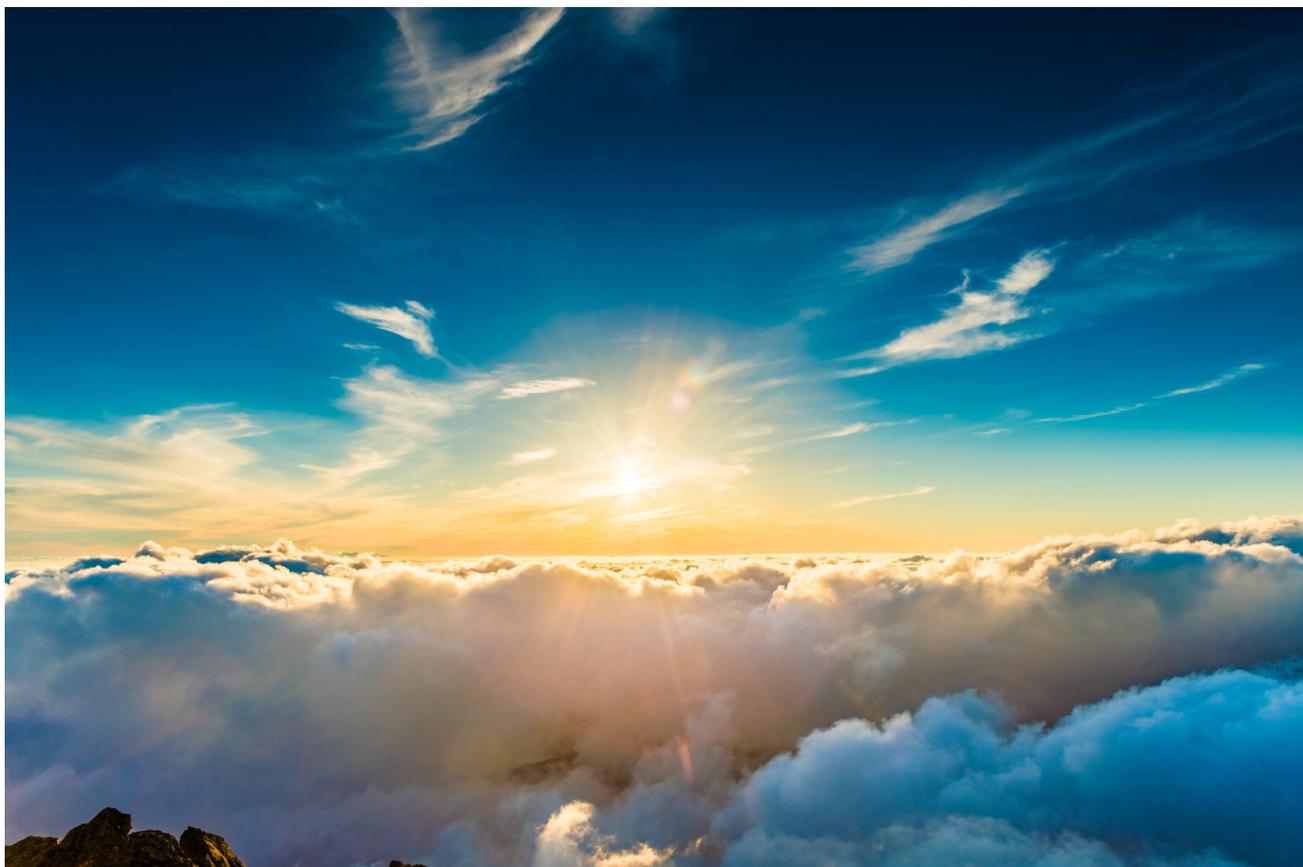
また、五行は「魂の地圖」でもあり、正しく五行を読み解くことで「人生の青写真」を知ることになります。五行とは「何のために生きる、何のために生きるのか、自分自身とは何者なのか、更なる靈的向上をするためには何が必要なのか」を知る方法論です。

スピリチュアリズムの地球人類救済計画の一翼、星信仰の復活

陰陽五行チャート(3)

五行	木	火	土	金	水
干支	甲/乙	丙/丁	戊/己	庚/辛	壬/癸
容姿の特徴	眼鏡率が高い、身長が高い傾向にあり	笑いに特徴あり、歯が大きい傾向	短足、背が低い、どんぐり鼻	痩せ型、筋肉質、アスリートが多い	細長い、猫背、白髪、髪に特徴あり
エレメント	人の話を聞かない	話がぶっ飛んでる	話の相槌が多い	普段は無口	話が理屈っぽい
見分け方	酒が大好きが多い お祭り騒ぎを好む	火の通った食を好む 感情の好き嫌い優先	甘い物中毒が多い 社会との迎合を好む	辛いものが好き 一匹狼タイプ	魚介類を好む傾向 理路整然としている
漫画のキャラ (代表例)	ワンピース ルフィ	スラムダンク 桜木花道	ナルト うずまきナルト	ブリーチ 黒崎一護	デスノート 夜神月
周囲の評価	言うことがコロコロ変わるから大變	話は面白いが、マシンガントーク	話が無限ループし、くどい傾向にある	ストイックに自分の好きなことに集中	頭はいいが、まわりを見下しがち
開運 アドバイス	未知の世界を切り開く能力を開花させた場合、ビジネスマンとして成功する。コツは、人のアドバイスを素直に聞くことが鍵になる	人を魅了するエンターテイメント。とにかく熱が入ると周りが見えない。エネルギーの無駄遣いをしがちなので、方向性を見失わないこと	食や農業関係に進み、自然食に目覚めると人生が好轉する。正しい食を通して社会貢献する選択をすれば、能力を遺憾なく発揮できる	すでに存在しているものをアレンジして進化させる能力が高い。オリジナリティではなく、アレンジ能力を磨いたら人生の道が開ける	科学者、研究者として引きこもって没頭した場合、世紀の大発見が可能。無気力人間が多いが、意欲的に人生を歩めるようになる必要がある

また、陰陽五行は「母子関係」の法則とも呼ばれ、^{でんとうてき} 伝統的な^{ちゅういがく} 中醫學では、「子が泣いたら、母を癒せ」という「ことわざ」があります。ある要素が虚弱して、母親が子どもにエネルギーや^{えいよう} 栄養を与えないために子どもに症状が出た場合など、問題の根本原因は「母親」の要素です。従って、子どもを癒すと同時に、母親も癒す必要があります。陰陽五行は、古代よりの「コミュニケーション術」として使われていたのです。



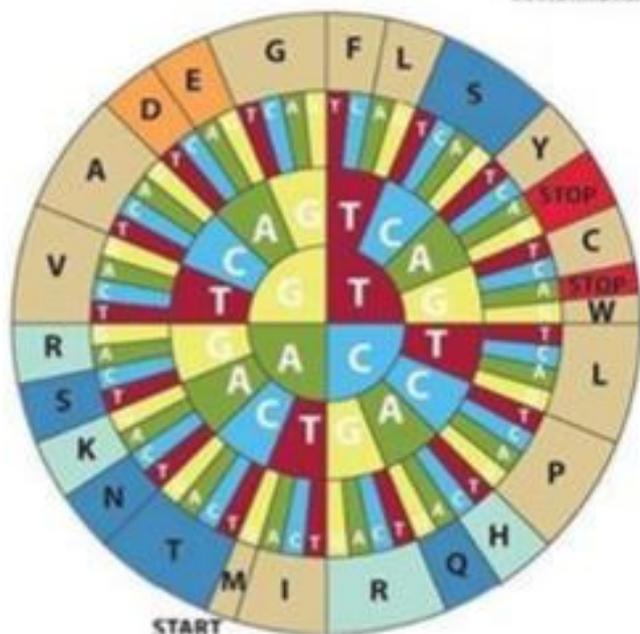
東洋思想でのエレメントは「五行（木、火、土、金、水）」になり、西洋思想でのエレメントは「火、風、土、水」になり、あまりエレメントの考え方に大きな違いはありませんが、東洋思想の場合、エレメントに「木」が含まれるのが大きな違いになります。

DNAのプログラマーは「^{微生物}精霊」であり、生命を構成する根源的な元素は「酸素（火）」、「窒素（風）」、「炭素（土）」、「水素（水）」であり、これが「DNAの塩基配列（^{コード}遺傳暗号）」に関わってきます。

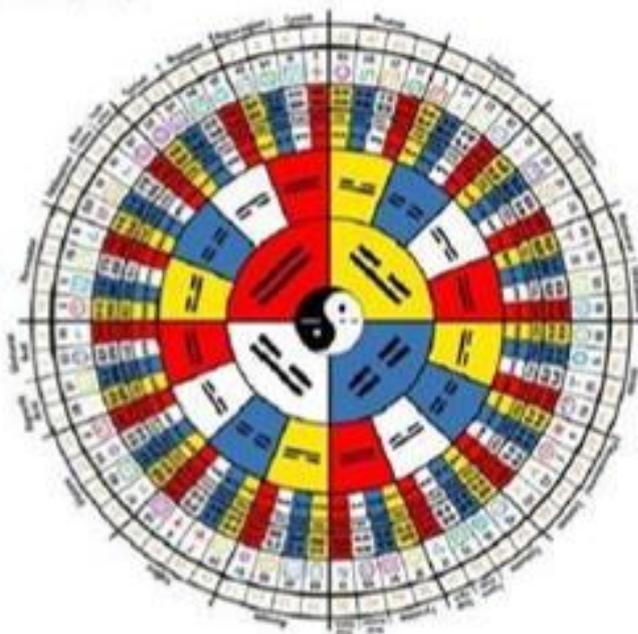
DNAのクリエイターが「^{ソマチッド}妖精」であり、「^{いでんし}遺傳子の^{へんかん}構造變換」に直接関わってきますが、^{ソマチッド}妖精が東洋思想でいう「木」の部分に該当します。東洋思想だと^{ソマチッド}妖精もエレメントに含まれてきて、西洋思想だと^{ソマチッド}妖精がエレメントに含まれないだけの違いです。

COINCIDENCE

www.facebook.com/TravisWhitby236094



DNA codon wheel



ANCIENT CHINESE
ASTROLOGY CHART

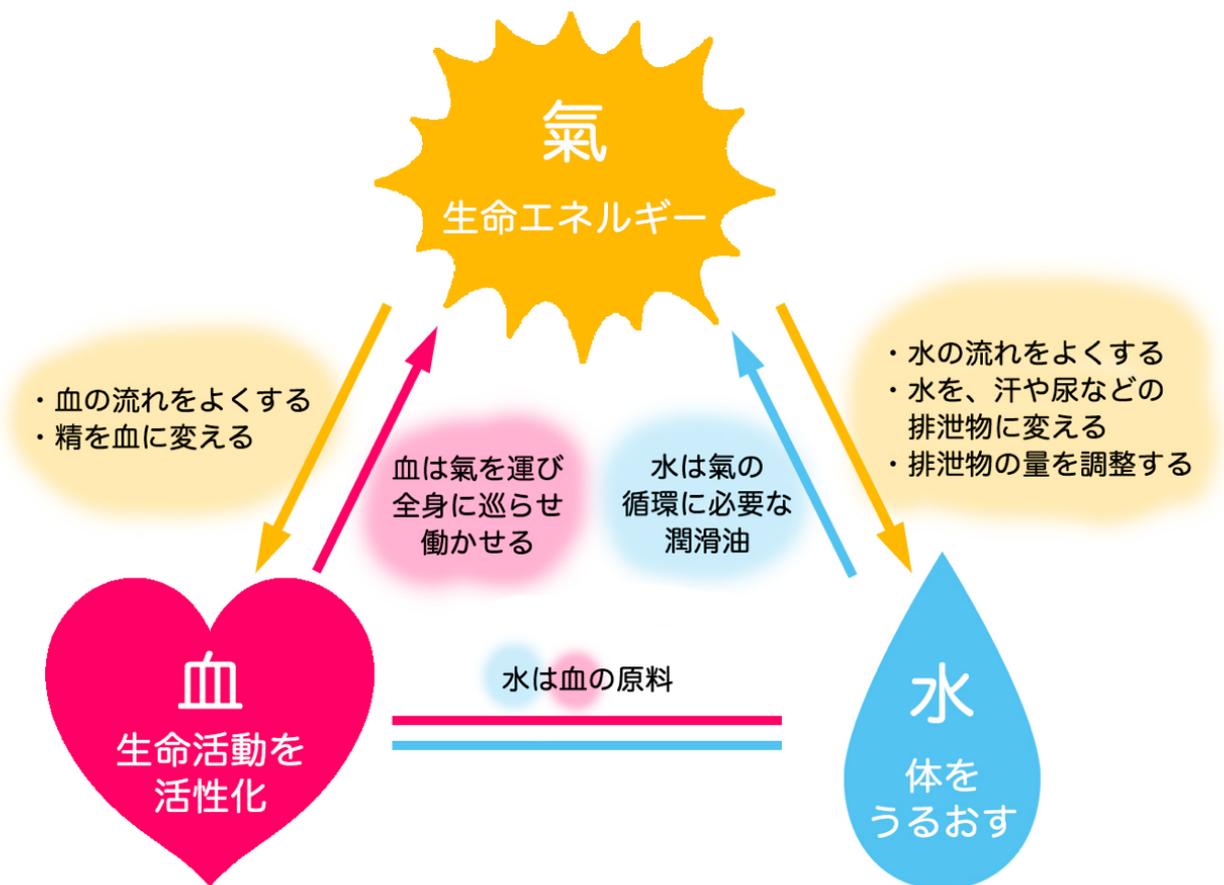
エレメントの「木」は本来は「氣」と翻訳する必要があります。東洋思想では、「氣、血、水」の循環、バランスが崩れると病氣、不快、異常のメッセージが始まるとされています。この考え方は、人間の身體構成である「靈、幽、肉」の考え方と一致しています。

音叉による生命の調律では、こうした「自然法則」についての正しい理解が、正しい健康學に繋がります。「528Hzの倍音」は、「妖精」が喜び活性化する周波数であり、「幽」に一番作用します。「128Hz」は「靈」、「136.1Hz」は「肉」に一番作用します。

木のエレメントと火のエレメントの性質は「靈體」、土のエレメントと金のエレメントの性質は「肉體」、水のエレメントの性質は「幽體」、このように五行の性質を分類できます。この性質の細分化が「5つに分類した感情のエネルギーの方向性」になります。

五行は自然界のエネルギーの流れ、人間の感情のエネルギーの流れと一緒なのです

十二経絡は、東洋思想の「血液」を司る



東洋思想の、「^き氣、^{けつ}血、^{すい}水」の循環、バランス、この思想が奇經八脈、十二経絡に直結しています。十二経絡は氣エネルギーを元に「血液」を司るとされ、血液は現代^{いがく}醫學だと「^{こつずい}骨髓造血説」がベースになります。

しかし、それに異を唱えたのが、千島・森下學として「^{ちようかん}腸管造血説」を提唱していた「故・森下敬一先生」です。しかし、森下敬一先生は後年になってからは實は「^{けいらく}経絡造血説」を新たに唱えていました。

^き氣エネルギーは「^き奇經八脈」、^{けつ}血エネルギーは「^{じふに}十二経絡」、^{すい}水エネルギーは「^{ちやくくら}チャクラ」が管理、コントロールしていますが、東洋思想はスピリチュアリズムが明らかにした人間の^{しんたい}身體構成の考え方と一致しています。

★森下敬一

医学博士



1950年東京医科大学卒業。お茶の水クリニック院長、国際自然医学会会長、中国・瀋陽薬科大学客員教授、吉林省気功保健研究所客員教授（名誉所長）、グルジア・トビリシ国立医科大学名誉教授、旧ソ連グルジア・アブハジア・アルメニア各長寿学会名誉会員。

新しい血液生理学を土台にした自然医学を提唱し、国際的評価を得ている。慢性病、難病に苦しむ数多くの人々を根治させた実績をもつ、わが国自然医学の最高権威。

【奇經八脈と十二經絡の要点】

- (1) 奇經八脈は靈體、靈體オーラの健康學。細胞に働きかける
- (2) 十二經絡は肉體、肉體オーラの健康學。血液に働きかける
- (3) チャクラは「半物質、半幽質」であり、水を通して細胞と血液に働きかける
- (4) 血液の浄血、デトックス、細胞修復を「新陳代謝」という
- (5) 氣、血、水の新陳代謝の循環、バランスが崩れると、病氣、不快、異常が始まる
- (6) 睡眠は細胞修復、運動は血液の新陳代謝、食事は2つのバランスを保つ働きである

靈體は肉體が睡眠中、靈界にいます。その間、靈體は肉體の「細胞修復」をしています。そして起床してから「血液の新陳代謝」を通して肉體の管理、維持をしています。そして幽體であるチャクラと經穴を通して「血液のデトックスと細胞修復」を繰り返しています。

十二經絡を知ることは、「万病一元、血液の汚れから生ずる」という思想では最も大切です。肉體は「血液の汚れ、循環不良」により病氣になるからです。血液の汚れ、循環不良は肉食、白砂糖、質の悪い脂、運動不足により引き起こされます。

十二経絡の12のエネルギーの流れについて



十二経絡とは？

十二経絡は、その名の通り「12本」あり、手に6本、足に6本のルートの合計12本になります。そして、五行説に基づき、陰陽のルートは裏表の関係として、内側と外側の対の関係性になっております。

カラダの内側が「陰」のルート

カラダの外側が「陽」のルート

木 肝経—胆経

火 心経—小腸経（心包経、三焦経）

土 脾経—胃経

金 肺経—大腸経

水 腎経—膀胱経

これらの十二経絡、五臓六腑を管理、コントロールしているのが「腠臓」であり、腠臓には霊體れいたいと肉體にくたいを繋ぐ「シルバーコード」が存在します。腠臓に位置する「太陽神経叢しんけいそう」はみぞおちの辺りにある神経細胞の集まりであり、自律神経のコントロールセンターです。

腠臓と十二経絡が肉體にくたいを管理しており、太陽神経叢しんけいそうは胃や腸、肝臓、腠臓などの消化器系の臓器と密接に繋がり、それらが正常に働くように調整しています。

げんけつ
【原穴】

特徴：奇經八脈からの流れ出る氣エネルギーの留まる^{ツボ}經穴で、臟腑経絡の状態を伺うのに優れています。また、遺傳子の構造^{いでんし}變換^{へんかん}の時に重要になる^{ツボ}經穴です。

主な位置：手首や足首の周辺に存在することが多いです。

げきけつ
【郄穴】

特徴：急性の症状の診断点や治療点とされます。

主な位置：骨や筋肉の間にある溝状の部位に存在します。

らくけつ
【絡穴】

特徴：対になる他經と連絡し合う^{ツボ}經穴で、慢性症状や臨床で幅広く用いられます。

主な位置：肘や膝より末端に存在し、經脈から絡脈が分かれる部位です。

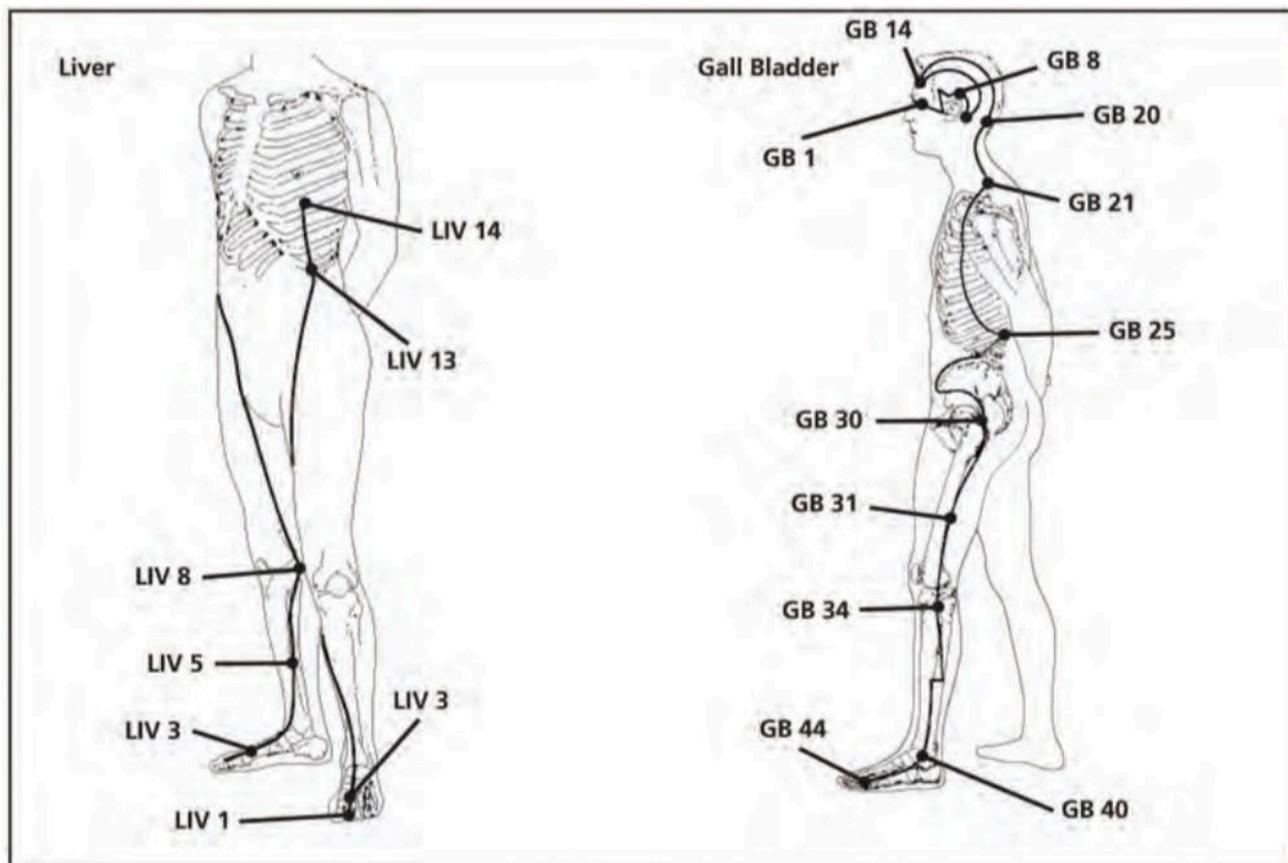
十二經絡でよく使う^{ツボ}經穴は、「原穴」、「郄穴」、「絡穴」になります。臓器、臟腑の調整によく使う^{ツボ}經穴は、必ず經絡上にある訳ではない「募穴」と「愈穴」になります。これらは東洋醫學で「五要穴」と呼ばれています。

原穴は慢性疾患の症状に用いるケースが多く、「奇經八脈」から流れてる氣エネルギーの貯蔵庫の役割があり、「132Hz オクターブ」および「オームオクターブ」で生命エネルギーを補充するのが基本です。

郄穴は主に急性疾患の症状に用います。喘息や咳などに「孔最」、ぎっくり腰など急性の痛みには「金門」など、突然の症状に^{げきけつ}郄穴は効果的であり、「自宅の救急箱」的な使い方をします。

十二經絡を学ぶことは、必ず日常生活でプラスになります

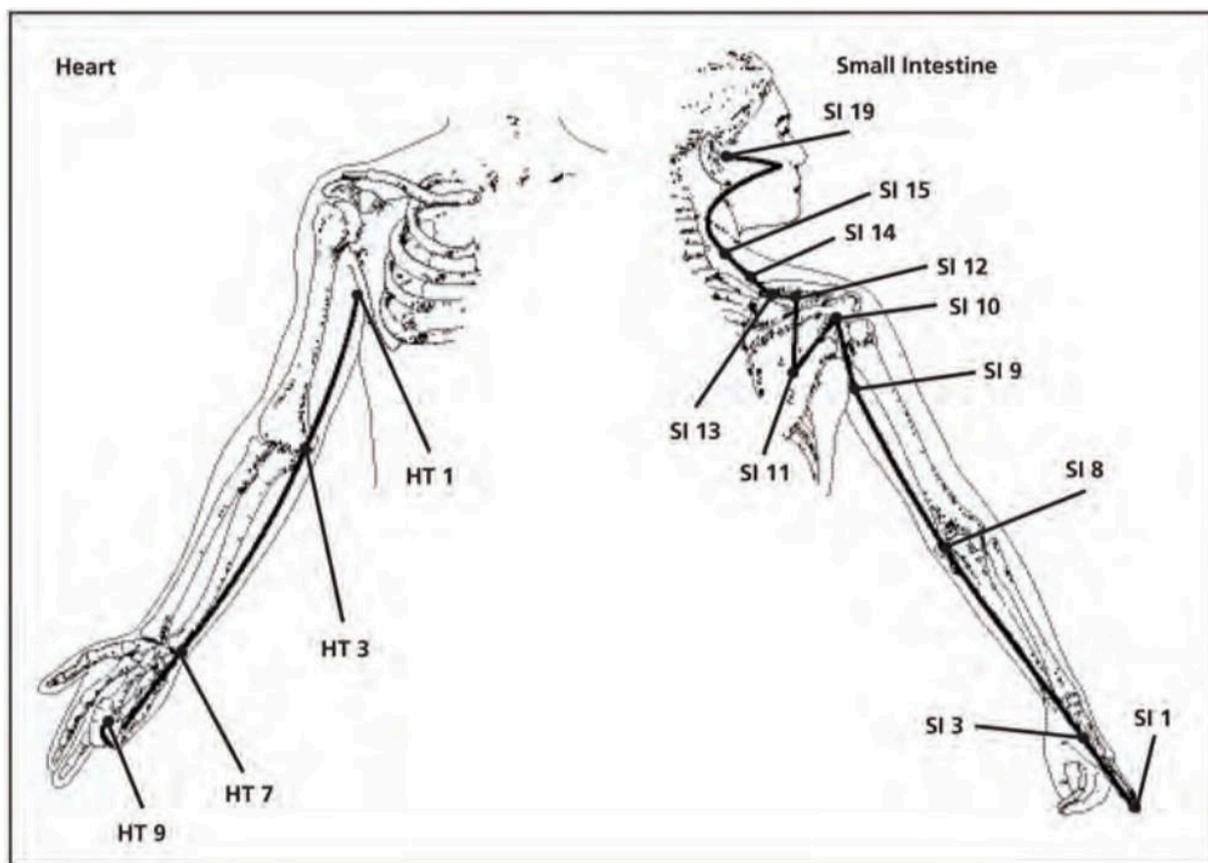
【木の元素、肝経と胆経】



【足の厥陰肝経】と【足の少陽胆経】

	肝経	惑星	ソルフエジオ	胆経	惑星	ソルフエジオ
けんけつ 原穴	たいしょう 太衝	木星、火星	528Hz、285 Hz	きゅうきよ 丘墟	火星、木星	417Hz、528Hz
げきけつ 郄穴	ちゅうと 中都	海王星、土星	528Hz、639Hz	がいききゅう 外丘	火星、天王星	174Hz、417Hz
らくけつ 絡穴	れいこう 蠡溝	天王星、火星	528Hz、852Hz	こうめい 光明	木星、太陽	852Hz、963Hz

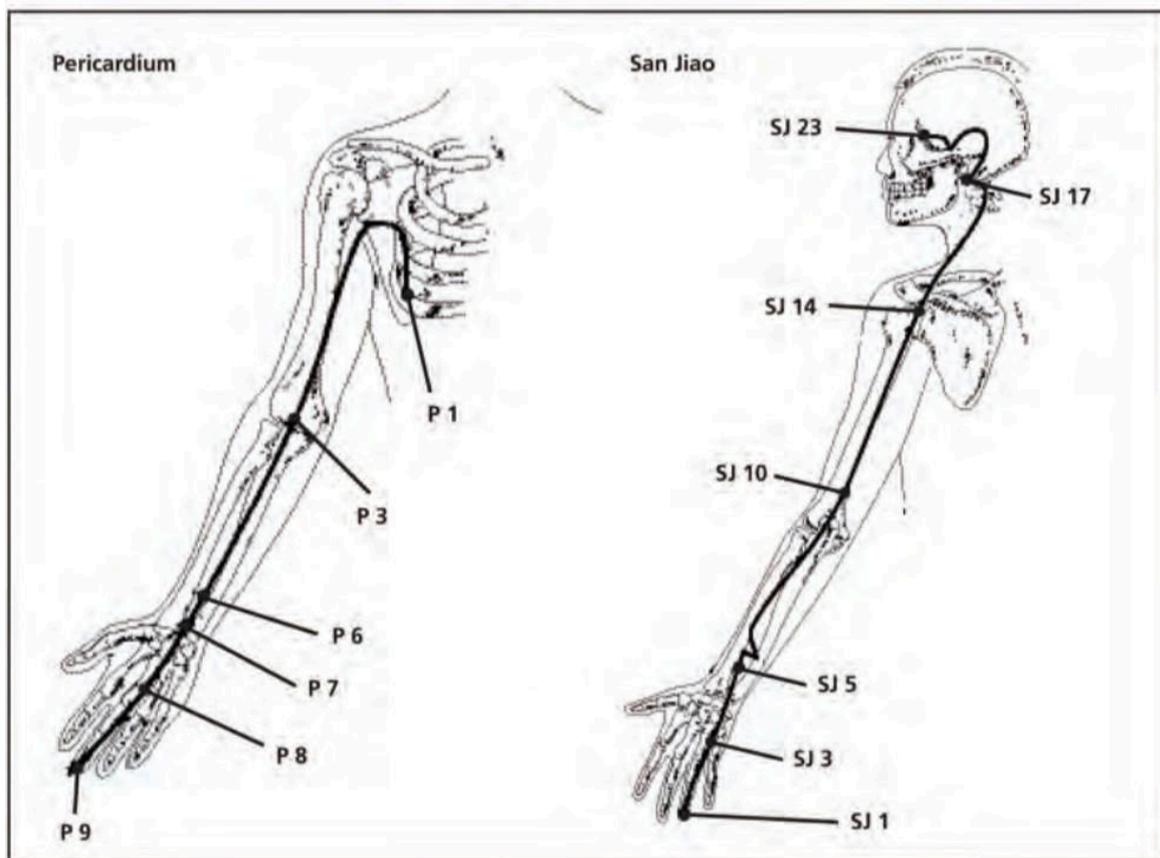
こうせん
【火(太陽光線)の元素、心経と小腸経】



しょういん
【手の少陰心経】と【手の太陽小腸経】

	心経	惑星	ソルフェジオ	小腸経	惑星	ソルフェジオ
けんけつ 原穴	しんもん 神門	太陽、ニビル	639Hz、852Hz	わんこつ 腕骨	水星、天王星	963Hz、174Hz
げきけつ 郄穴	いんげき 陰郄	金星、火星	396hz、639Hz	ようろう 養老	天王星、海王星	528Hz、852Hz
らくけつ 絡穴	つうり 通里	木星、天王星	852Hz、963Hz	しせい 支正	水星、冥王星	741Hz、852Hz

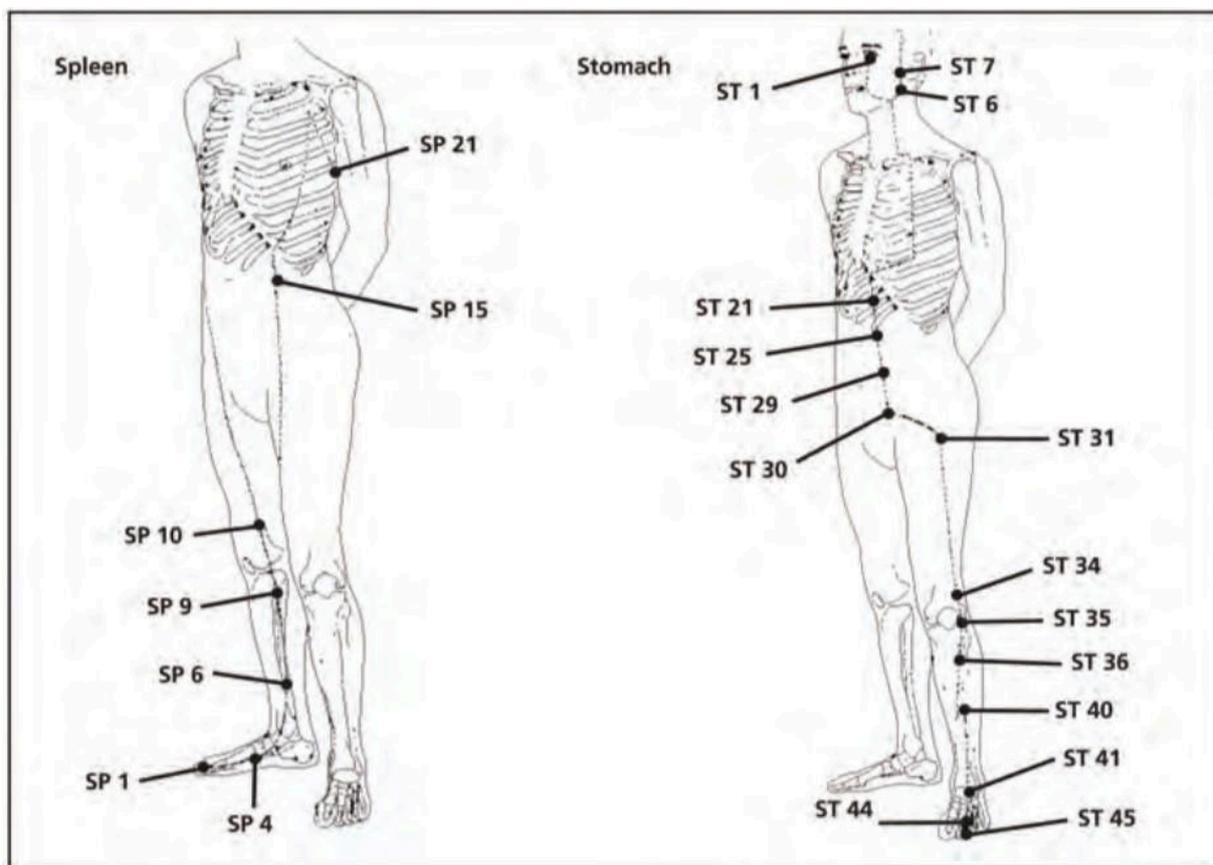
【火(地熱)のエLEMENT、心包経と三焦経】



【手の厥陰心包経】と【手の少陽三焦経】

	心包経	惑星	ソルフエジオ	三焦経	惑星	ソルフエジオ
けんけつ 原穴	だいろう 大陵	金星、太陽	639Hz、741Hz	ようち 陽池	太陽、満月	528Hz、285Hz
げきけつ 郄穴	げきもん 郄門	新月、水星	417Hz、639Hz	えそう 会宗	冥王星、海王星	396Hz、852Hz
らくけつ 絡穴	ないかん 内關	土星、太陽	396Hz、639Hz	がいかん 外關	水星、太陽	741Hz、963Hz

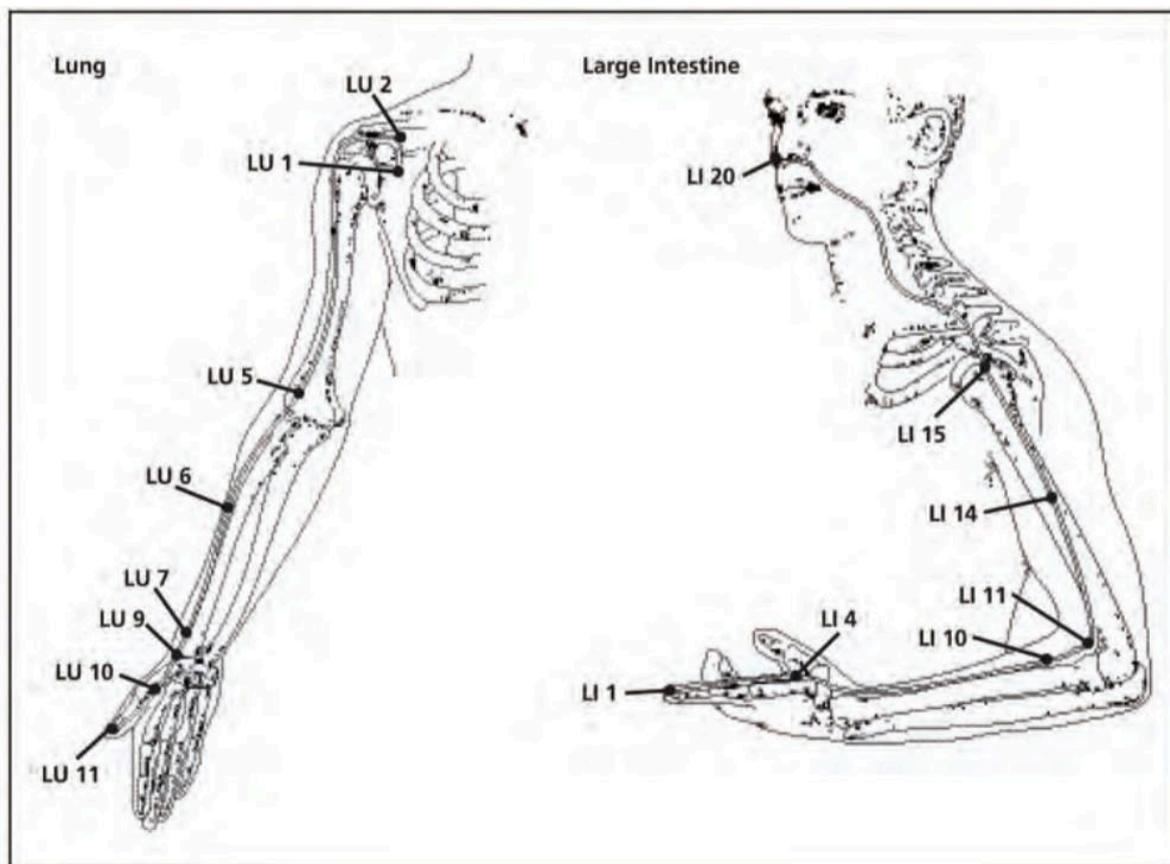
【土のエレメント、脾經と胃經】



【足の^{けついん}厥陰脾經】と【足の^{ようめい}陽明胃經】

	脾經	惑星	ソルフエジオ	胃經	惑星	ソルフエジオ
けんけつ 原穴	たいはく 太白	土星、太陽	639Hz、174Hz	しょうよう 衝陽	水星、土星	741Hz、285Hz
けきけつ 郄穴	ちき 地機	火星、満月	396Hz、417Hz	りょうきゅう 梁丘	土星、冥王星	528Hz、417Hz
らくけつ 絡穴	こうそん 公孫	太陽、ニビル	174Hz、285Hz	ほうりゅう 豊隆	天王星、水星	963Hz、741Hz

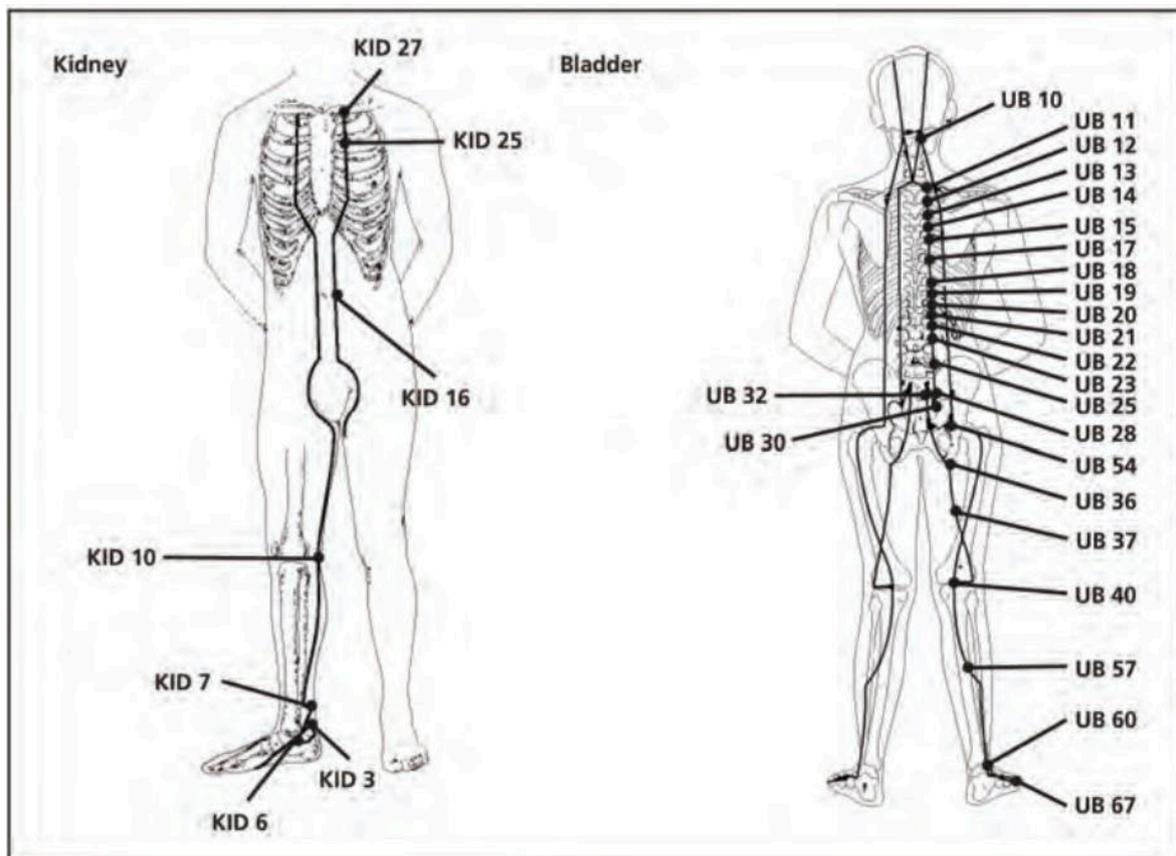
【金のエレメント、肺経と大腸経】



【手の^{たいいん}太陰肺経】と【手の^{ようめい}陽明大腸経】

	肺経	惑星	ソルフェジオ	大腸経	惑星	ソルフェジオ
けんけつ 原穴	たいえん 太淵	海王星、水星	852Hz、741Hz	ごうこく 合谷	冥王星、海王星	417Hz、528Hz
けきけつ 郄穴	こうさい 孔最	海王星、満月	852Hz、528Hz	おんる 温溜	冥王星、水星	417Hz、741Hz
らくけつ 絡穴	れっけつ 列缺	海王星、金星	852Hz、396Hz	へんれき 偏歷	冥王星、天王星	417Hz、852Hz

【水のエレメント、腎経と膀胱経】



【足の^{しょういん}少陰腎経】と【足の^{たいよう}太陽膀胱経】

	腎経	惑星	ソルフェジオ	膀胱経	惑星	ソルフェジオ
けんけつ 原穴	たいけい 太谿	キロン、ニビル	396Hz、528Hz	けいこつ 京骨	太陽、天王星	174Hz、963Hz
けきけつ 郄穴	すいせん 水泉	金星、火星	528Hz、285Hz	きんもん 金門	金星、土星	396Hz、528Hz
らくけつ 絡穴	たいしょう 大鍾	天王星、木星	528Hz、852Hz	ひよう 飛揚	海王星、キロン	174Hz、852Hz

心のシルバーコードと^{しんたい}身體のシルバーコード

何度も繰り返しますが、「^{靈的世界}奇經八脈（氣）」と「^{物質世界}十二經絡（血）」を繋ぐ^{せつぞくてん}接續点が「^{ツボ}經穴」です。^{れいたい}靈體と^{にくたい}肉體を繋ぐ接合点は「^{ゆうたい}幽體（チャクラ）」です。

このシステムを成立させているのは、奇經八脈の「督脈」と「任脈」です。督脈は「^{ひゃくえ}百会（蝶形骨）」が管理し、任脈は「^{えいん}会陰（仙骨）」が管理、コントロールしています。

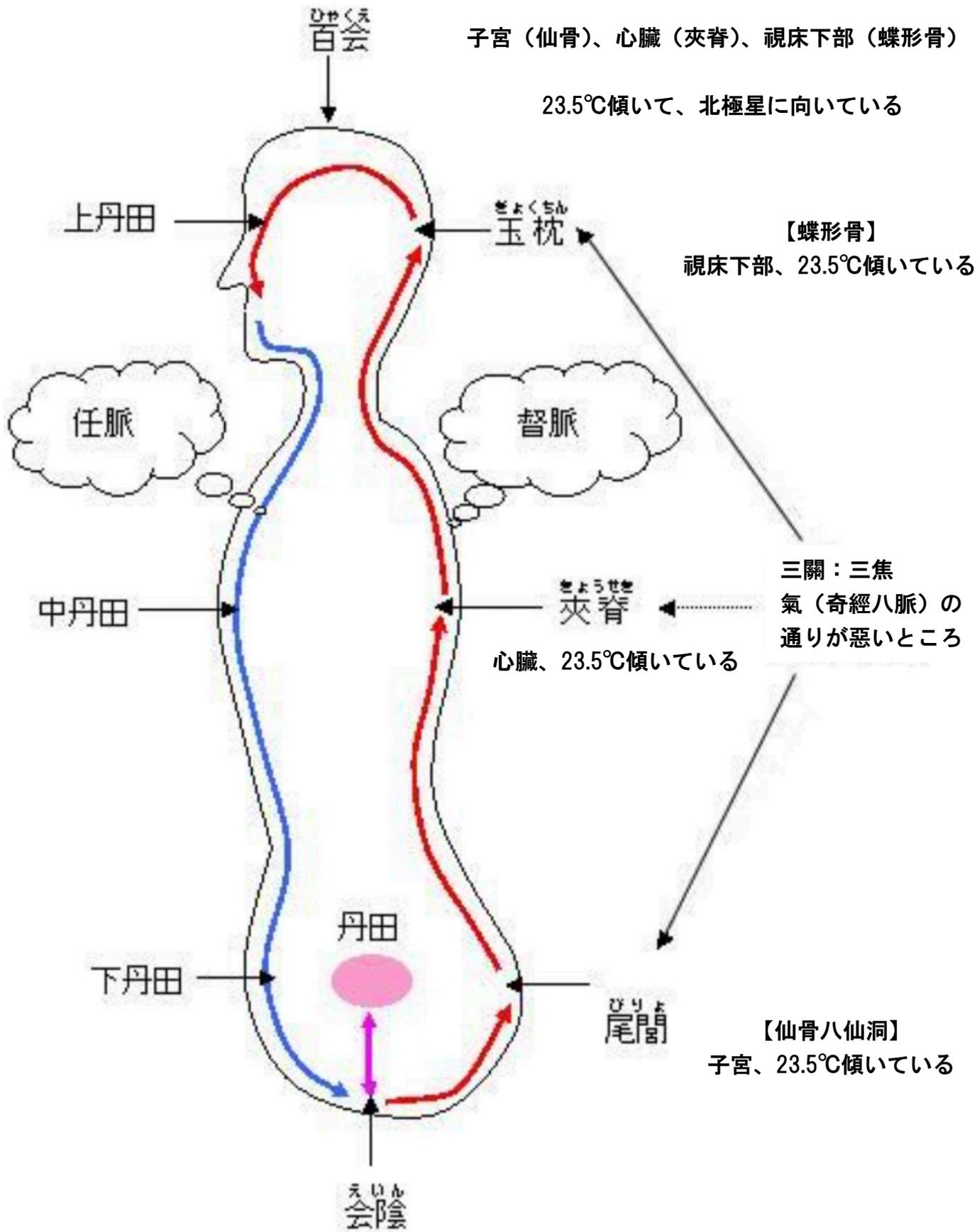
^{れいたい}靈體と^{にくたい}肉體を繋ぐものは「シルバーコード」ですが、そのシルバーコードで最も大切な役割をしている箇所が、「^{心臓脳}靈の心と^{大脳}肉の心を繋ぐ^{しょうかたい}松果體」と「^{れいたい}靈體と^{にくたい}肉體を繋ぐ^{しんけいそう}太陽神經叢」の2箇所です。

しかし、^{れいたい}靈體と^{にくたい}肉體を繋ぐ^{しんけいそう}太陽神經叢は「^{えいん}仙骨」とも同期しており、^{心臓脳}靈の心と^{大脳}肉の心を繋ぐ^{しょうかたい}松果體は「^{しょうかたい}蝶形骨」とも同期しています。そして、「^{えいん}仙骨」は「^{じんぱん}腎臓」を通して生命エネルギーを溜め込み、「^{しょうかたい}蝶形骨」は「^{しんぞう}脾臓」を通して生命エネルギーを流しています。

督脈と任脈は、東洋思想で「^{すい}水」を司ります。また、任脈は満月から新月への移行期で影響を受け、督脈は新月から満月への移行期で影響を受けます。督脈と任脈は「月の満ち欠けのリズム」と連動しており、そのサイクルは「生理周期」と連動しています。

督脈の別名は「^{ようけい}陽經の海」、任脈の別名は「^{いんけい}陰經の海」と呼ばれています。二大脈が「母なる創造主の海」として「月のサイクル」と連動しているのを古代人は直観的に理解していました。まさに宇宙の神祕のひとつです。

奇經八脈、仙骨と蝶形骨、十二經絡、これが東洋思想の、「^き氣、^{けつ}血、^{すい}水」の循環、バランスの本質です。「^{靈的世界}奇經八脈（氣）、^{チャクラ}仙骨と^{すい}蝶形骨（水）、^{物質世界}十二經絡（血）」、この三位一體の關係性を知らなければ正しく^{こんしんしん}魂心身のヒーリングをすることは難しいでしょう。



人間は、「^大FUGE^霊HUKON」の「^自FUGE^然HEKIN」が「^靈FUNEKON」を形成し、陰陽という靈的世界と物質世界に分けて創られた存在です。

FUGE^神HUKON がFUGE^自HEKINという^理ルールを^理創り、そのルールを設定し、人間が管理、維持し、それを「具現化」するに従ってFUGE^神HUKOに近づけるようにした、これが生きる意味の本質である「^靈性の進化」の意味です

FUGE^大HUKONは「^霊心」というものを重要視しています。なので、どの惑星も靈的世界と物質世界に分けて創造し、地上世界で人間のみ「^大肉の^脳心」の「自由意志」によって何事も判断し決定できる権利を与えました。

心の^{しょうかたい}シルバーコードは、「^心松果體（^霊の心と^大肉の心）と^{蝶形骨}」が管理し、^{しんたい}身體の^{しょうかたい}シルバーコードは「^{しんけいそう}太陽^{れいたい}神^{にくたい}經^そ叢（^腎臟と^膝臟）と^{仙骨}」が管理しています。これが「^{接合点}」の本質であり、^{しんたい}身體（^{れいたい}靈^{にくたい}體と^{にくたい}肉^そ體）のメカニズムは「^{単純}」でもあり「^{複雑}」でもあります。

シルバーコードは、心が「^{しょうかたい}松果體≡^{蝶形骨}」、^{しんたい}身體が、「^{しんけいそう}太陽^{れいたい}神^そ經^そ叢≡^{仙骨}」という形でコントロールされています。人間が^心脳死になる時とは、^心靈の心と^大肉の心を繋ぐ^心シルバーコードが切れた時です。しかし、これは^{厳密}には死ではありません。地上世界での死とは、^{しんたい}身體の^{しょうかたい}シルバーコードが切れた時です。

古代の^{いがく}東洋^{いがく}醫學は、そうした^靈的本質に気づいていた可能性が高いです。だからこそ、東洋思想を「^{奇經八脈}」と「^{十二經絡}」に分類していたのでしょう。しかし2000年ほど前に^{奇經八脈}の情報が途絶えた結果、^{にくたい}肉體の健康のみしか意識しない考え方になってしまいました。

音叉による^{いのち}生命の調律は、スピリチュアリズムが明らかにした「^靈的真理」と、人間の「^霊と^{しんたい}心と^{しんたい}身體のメカニズム」を明らかにして、ようやく^眞眞価を發揮します。この人間の^{本質}的構造を知り、人生に活かすかは皆さん次第です。



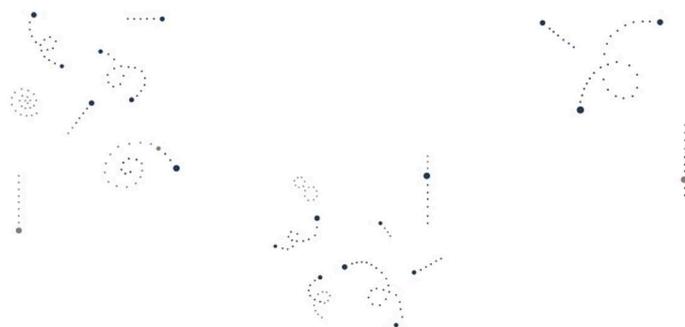
第十二章

仙骨と蝶形骨と華佗夾脊^{か だきょうせき}

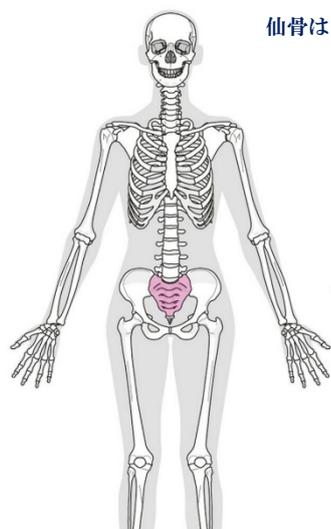
れいたい にくたい
靈體と肉體を繋ぐ仙骨

EXA PIECO D I K A G
靈の心と肉の心を繋ぐ蝶形骨

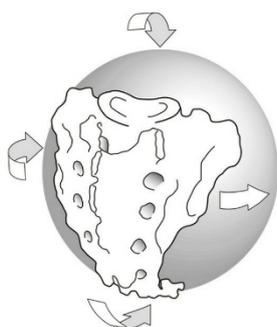
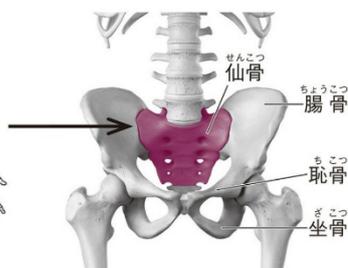
マクロコスモス ミクロコスモス
大宇宙と小宇宙の流路、華佗夾脊^{か だきょうせき}



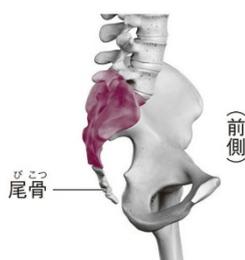
クリスタルパレス 仙骨と蝶形骨、水晶宮の活性化について



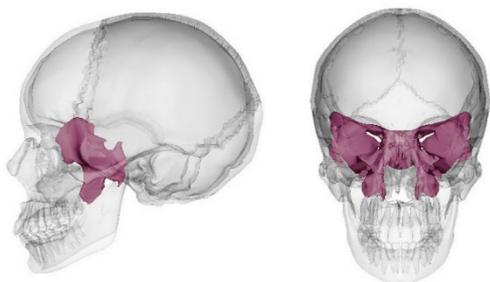
仙骨はカラダの中心にある



仙骨は球體を包む形をしている



蝶形骨（色の濃い部分）



仙骨と蝶形骨は、同じ形をしており
督脈と任脈としてリンクしている

仙骨は全身約 200 個の骨とは全く違った働きがあり、カラダ^{ぜんたい}全体のバランスを常に正常に保つ、いわば「守護神的」な役割を担っている特別に重要な骨です。

仙骨は英語では、

「sacrum（セイクラム）」

「sacred bone（セイクリッド・ボーン）」

といわれており、いずれも語源は「神聖な」という意味のラテン語から来ています。

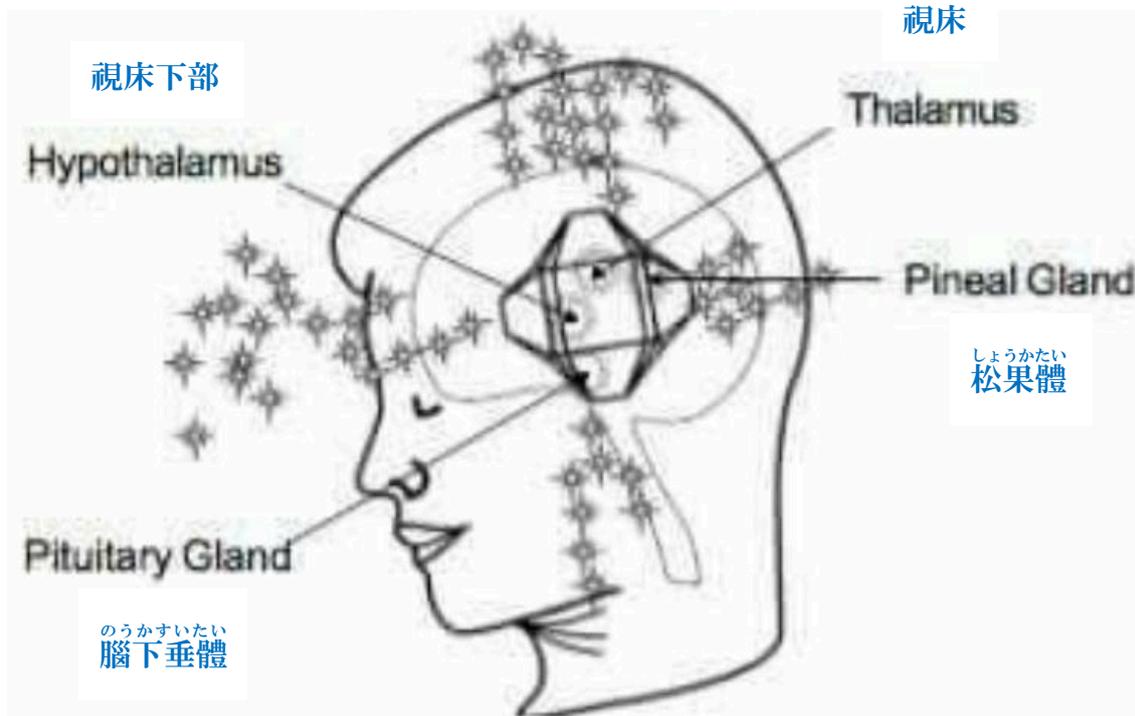
日本では、江戸時代にオランダ語の解剖學書『ターヘル・アナトミア』を翻訳した『解体新書』（重訂版）が出たときに、「護神（神）骨」と訳されています。

「神を護る骨」と日本語で表現され、昔から仙骨は神が宿る神聖な骨と考えられてきました。

また、仙骨で受信したエネルギーを全身に送る際に重要な働きをするのが「蝶形骨」です。

蝶形骨に関する^{ツボ}経穴は「^{しんもん}神門」、「^{せいめい}晴明」、「^{ぎょくちん}玉枕」、「^{のうこ}腦戸」などの^{ツボ}経穴になります。

クリスタルパレス 水晶宮

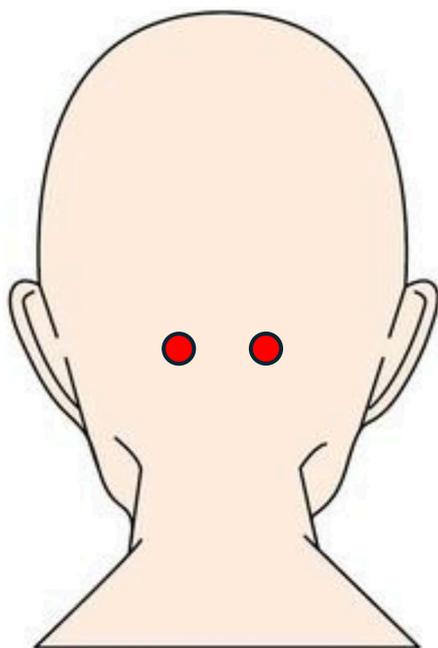


蝶形骨に關係する經穴の「玉枕」^{ツボ}、「腦戸」^{ぎよくちん}の經穴は、「水晶宮」^{のうこ}を活性化させる上でも大切です。小腦の經穴である玉枕^{ツボ}は別名「神口」^{かみくち}と呼ばれており、十二經絡を管理、コントロールし、呼吸を制御しています。

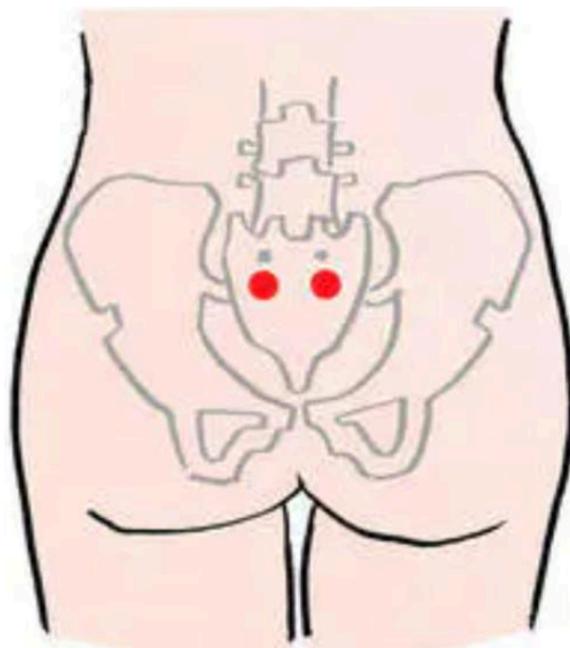
水晶宮^{クリスタルパレス}は大脳の真ん中に存在しています。水晶宮^{クリスタルパレス}は、「松果體」^{しょうかたい}、視床、視床下部、脳下垂體^{すいたい}のすべてを包み込んでいます。肉の心と靈の心を繋ぐ水晶宮^{クリスタルパレス}は知覺、運動神經線維と神經組織が織り交ざり、密集したネットワークを形成しています。

玉枕^{ぎよくちん}の經穴の基音^{ツボ}は「海王星」^{ホームトーン}であり、玉枕^{ぎよくちん}を刺激すると水晶宮^{クリスタルパレス}を活性化し、カラダの外にある様々な靈的エネルギー、生命エネルギーを體內^{たいない}に引き込むことが容易になります。

水晶宮^{クリスタルパレス}の活性化は、靈^{心 臟 腦}の心の内奥^{ないおう}の知恵、深遠な潜在能力を目覚めさせる鍵です



ぎよくちん
玉枕

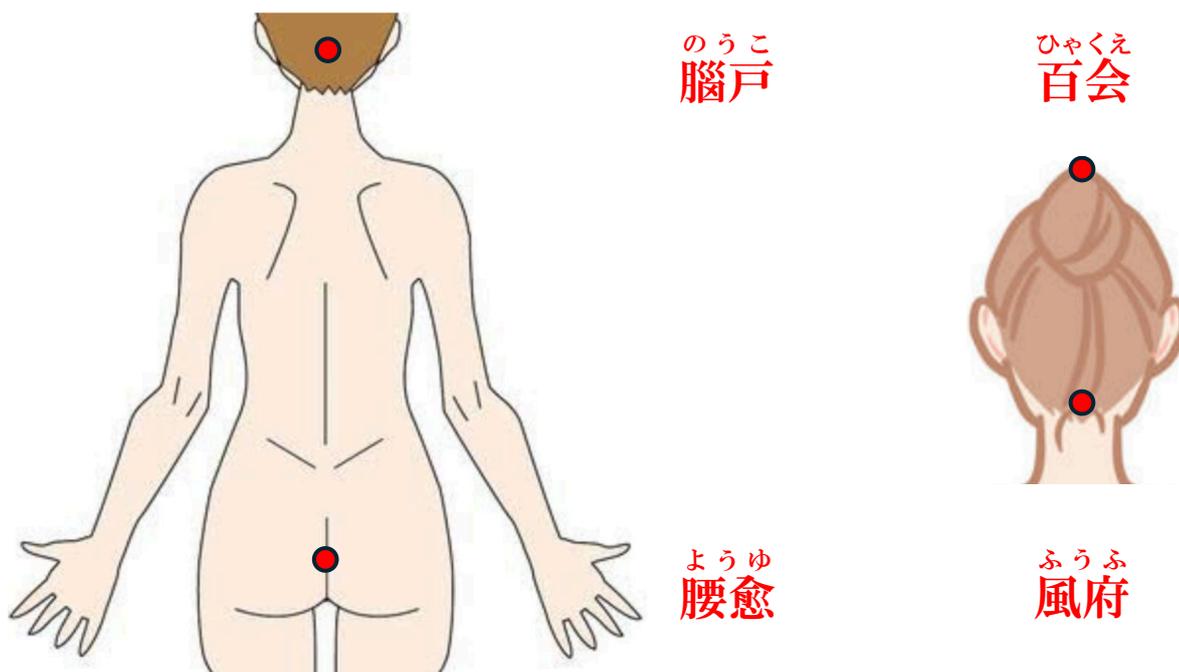


じりょう
次髎

クラニオセイクラルセラピー
頭蓋仙骨療法では、^{ぎよくちん} 玉枕の^ツ 経穴や^ボ 仙骨にソフトタッチで触れ、^{C S F} 脳脊髄液の循環を促し、
^{たいない} 体内の緊張を解放して自律神経やホルモンのバランスを整えます。これは音叉セルフヒーリングでも可能であり、是非とも日課にしてほしい方法のひとつです。

クラニオセイクラルセラピー
【音叉で頭蓋仙骨療法をやる基本的な方法①】

- (1) ^{ぎよくちん} 玉枕の^ツ 経穴は、チャクラバー「 $A + B$ 」、528Hz 倍音セットを鳴らす
- (2) 導入編セットならば、「132Hz」と「264Hz」を左右の^{ぎよくちん} 玉枕の^ツ 経穴に^{すうかい} 数回当てる
- (3) 片方ずつ、^{ぎよくちん} 玉枕の^ツ 経穴に「132Hz」と「264Hz」を^{すうかい} 数回当てる
- (4) ^{ぎよくちん} 玉枕と^{じりょう} 次髎の^ツ 経穴は、チャクラバー「 $C + A$ 」、528Hz 倍音セットを鳴らす
- (5) 左右どちらかの^{ぎよくちん} 玉枕に「264Hz」、^{じりょう} 次髎の^ツ 経穴に「132Hz」を^{すうかい} 数回当てる
- (6) 反対側の^{ぎよくちん} 玉枕に「264Hz」、^{じりょう} 次髎の^ツ 経穴に「132Hz」を^{すうかい} 数回当てる



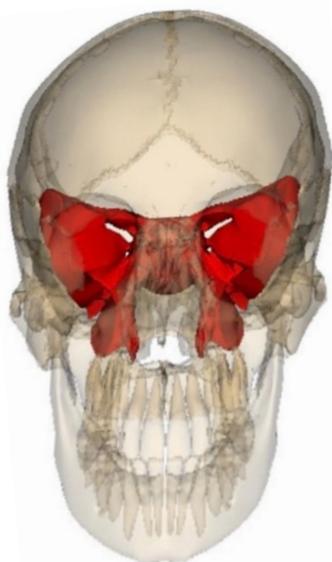
クラニオセイクラルセラピー
【音叉で頭蓋仙骨療法をやる基本的な方法②】

- (1) 脳戸、腰愈の経穴は、チャクラバー「 $C + G$ 」、528Hz 倍音セットを鳴らす
- (2) 導入編セットならば「264Hz」を脳戸、「132Hz」を腰愈の経穴に数回当てる
- (3) 風府と百会の経穴は、チャクラバー「 $A + B$ 」、528Hz 倍音セットを鳴らす
- (4) 風府の経穴に「132Hz」、百会の経穴に「264Hz」を数回当てる

仙骨と蝶形骨は、心臓脳 大脳、いのち 霊の心と肉の心の接合点なので、音叉による日々の生命の調律は欠かせません。また、「腰愈」、「脳戸」、「風府」、「百会」も頭蓋仙骨療法では大切な経穴です。特に風府と玉枕は、ふうふ 霊の「入神」ないし「憑依」の出入り口であり、この経穴から霊媒現象が始まります。

こうして、頭部の様々な経穴を刺激することで水晶宮を活性化し、大脳 肉の心と心臓脳 霊の心を繋ぐことで、霊的世界からのインスピレーションを受け取りやすくなります。

ツボ せいめい リリース
蝶形骨の経穴、清明のネガティブエネルギーを解放する



じんたいの仕組みも、宇宙と^{ひと}靈止の仕組みも必ず^{いがく}相關關係というものが存在します。東洋醫學ならば、^{靈的世界}奇經八脈と^{物質世界}十二經絡が相關關係になっています。経穴も督脈と任脈以外の^{ツボ}経穴は必ず^{いつい}一對の關係で成り立っています。

督脈と任脈は、^{れいたい}靈體と^{にくたい}肉體の^{いつい}接合点という一對の關係性です。督脈は蝶形骨が管理し、任脈は仙骨が管理しています。蝶形骨は「満月 (227.43Hz) のエネルギー」、仙骨は「新月 (210.42Hz)」であり、ソルフエジオ音叉だと「417Hz」が月の周波数の代替になります。

口と肛門も^{いつい}一對の關係性です。口は「水星 (141.27Hz)」、肛門は「冥王星 (140.25Hz)」であり、ソルフエジオ音叉だと「285Hz」が口と肛門の代替の周波数になります。^{じんたい}人體の仕組みを知れば知るほど、^{ひと}靈止は^{たいれい}大靈の創造物だと實感させられます。

蝶形骨のくぼみの位置に該当する^{ツボ}経穴は「^{せいめい}清明」であり、蝶形骨は^{えいん}会陰の^{ツボ}経穴を通して^{心臓脳}靈の心のシルバーコードと繋がっており、「仙骨の八髎穴」と連動しています。^{せいめい}清明には長年のネガティブエネルギーが溜まっており、それを^{リリース}解放する必要があります。

【入門編セットで^{せいめい} 睛明の^ツ 経穴^ポを刺激する方法】

- (1) ^{ホームトーン}基音を「128Hz」「132Hz」「136.1Hz」「264Hz」からひとつ選定する
- (2) ^{ホームトーン}基音と組み合わせるソルフェジオ音叉の^{インターバル}音程を3パターン選定する
- (3) 睛明の^{せいめい} 経穴^ツは、チャクラバー「A + B」、⁶ 528Hz 倍音セットを鳴らす
- (4) 片方の^{せいめい} 睛明の^ツ 経穴^ポに自分が選んだ^{ホームトーン} 基音と^{インターバル} 音程の組み合わせを^{すうかい} 数回当てる
- (5) 違う^{ホームトーン} 基音と^{インターバル} 音程の組み合わせを2パターン、同じように^{すうかい} 数回当てる
- (6) 反対側の^{せいめい} 睛明の^ツ 経穴^ポに、(4)～(5)の手順を同じようにやる

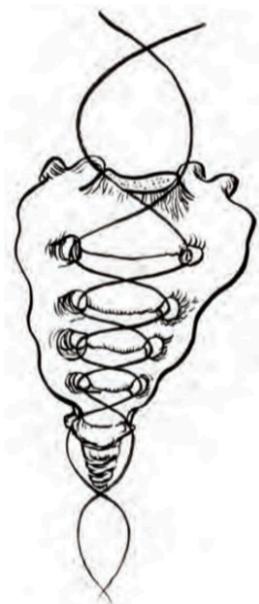
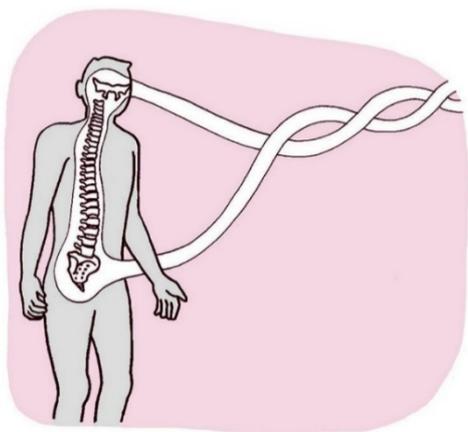
蝶形骨は頭蓋骨の中央、目の奥に位置しており、その名の通り正面から見ると蝶が羽を広げたような形をしています。^{せいめい} 睛明の^ツ 経穴^ポは、蝶形骨の目の奥に位置そのものであり、長年の蓄積されたネガティブエネルギーが溜まっている箇所です。

全身の中でも、仙骨と蝶形骨はネガティブなエネルギーが溜まりやすいポイントであり、ここを中心に音叉で刺激をし、^{リリース}解放していくことで、肌ツヤやハリが良くなる事に加え、顔の印象が明るくなり、思考がポジティブに^{へんか}変化する人が多い傾向にあります。

^{せいめい} 睛明の^ツ 経穴^ポは、仙骨の八髎穴と連動しているため、「すべてのソルフェジオ音叉」、「すべての惑星音叉」でアプローチすることが可能です。なので、自分自身で^{ホームトーン} 基音と^{インターバル} 音程を選定することが大切であり、様々な音叉の組み合わせのパターンを試すことです。

音叉導入編セットから音叉上級編セットまで、^{せいめい} 睛明の^ツ 経穴^ポにアプローチ出来るパターンは膨大に存在しますが、導入編セットならば、「132Hz」と「264Hz」の組み合わせを5回ほど当て、「264Hz」と「528Hz」の組み合わせを5回ほど当てる方法が有効です。それだけでも思考や感情がクリアリングされ、正しい判断力を身につけるための下地が培われます。

仙骨は生命エネルギーを司っている



はちりょうけつ

八髎穴

左右対称の以下の4組のツボ

UB 31 第1仙骨孔にある上髎
(Upper Bone Hole, Shong Liao)

UB 32 第2仙骨孔にある次髎
(Second Bone Hole, Ci Liao)

UB 33 第3仙骨孔にある中髎
(Central Bone Hole, Zhong Liao)

UB 34 第4仙骨孔にある下髎
(Lower Bone Hole, Xia Liao)

心のシルバーコードは、「松果體（^{しょうかたい}霊の心と^{たい}肉の心）と蝶形骨」が管理し、^{しんたい}身體のシルバーコードは「太陽^{しんけいそう}神経叢（腎臓と膵臓）と仙骨」が管理しています。^{しんたい}身體のシルバーコードが切れた時が、地上世界でいう死の本質になります。イエスの教えである『シルバーバーチの^{しんけいそう}靈訓』では、どのように述べられているかを記載してみましょう。

いにしへの賢人が指摘している“第3の目”とか“太陽^{しんけいそう}神経叢”などを使用することもあります。そこが^{いくたい}霊と精神と肉體の三者が合一する場なのです。

『シルバーバーチの靈訓（六）』 p.39

そこから（ヒーラーのエネルギーが）患者の^{しょうかたい}松果體ないしは^{しんけいそう}太陽神経叢を^{たいない}通って体内に流れ込みます。

『シルバーバーチの靈訓（六）』 p.40

これは翻訳に誤訳がありますが、正しくは「いにしへの賢人が指摘している“第3の目”とか“太陽^{しんけいそう}神経叢”などを使用することもあります。そこが霊と心と^{しんたい}身體の三者が合一する場なのです。そこから（ヒーラーのエネルギーが）患者の^{しょうかたい}松果體ないしは太陽^{しんけいそう}神経叢を^{たいない}通って體內に流れ込みます」と翻訳しなければなりません。

シルバーバーチの靈訓を正しく読み解くならば、ヒーリングのエネルギーの流れは2種類存在します。^{しょうかたい}松果體と^{しんたい}蝶形骨を^{しんけいそう}通る流れは「直観力」という力になります。太陽^{しんけいそう}神経叢と^{しんたい}仙骨を^{しんけいそう}通る流れは「生命力」という力になります。

腎經は任脈と連動し、膀胱經は督脈と連動している。これが東洋思想の「^き氣、^{けつ}血、^{すい}水」の中で、「^き氣=奇經八脈」、「^{けつ}血=十二經絡」を接合する「^{すい}水=チャクラ」の本質です。これは本当ならば、「^{すい}水=心と^{しんたい}身體のシルバーコード」と翻訳しなければなりません。

そして太陽^{しんけいそう}神経叢と^{しんたい}仙骨のエネルギーの流れは「膀胱經」を^{にくたい}通して肉體に^{しょうかたい}流れ込み、^{しょうかたい}松果體と^{しんたい}蝶形骨のエネルギーの流れは「腎經」を^{にくたい}通して肉體に^{しんたい}流れ込みます。こうした人體の^{じんたい}仕組みが^{てんたい}天體の仕組みと「^同シンクロ」していることが、神の存在の証明になります。

仙骨は生命エネルギーを受振し、膀胱經を^{にくたい}通して肉體に最適なエネルギーに^{へんかん}變換し、全身にエネルギーを運んでいます。仙骨と子宮も連動しているので、これは不思議なことではありません。胎児が逆さまになるのは、仙骨と子宮から送られてくる生命エネルギーを^{しんたい}蝶形骨で受け取るためなのです。

^{さかご}逆子は、母親の生命エネルギーが低くなり、胎児がそれを嫌って頭を反対の方向に向けます。なので^{さかご}逆子というのは、必ず人生で母親と対立するようになります。これは子どもが悪いのではなく、母親の^{バイブレーション}振動が悪いのです。

^{バイブレーション}仙骨の振動は、ここまで人生に影響を与えているのです

タオ^{タオ}の思想にある仙骨^{はっせんどう}八仙洞と北斗八星のつながり

仙骨は、脊髄を通して小脳（脳幹を含む）や脳の上部和つながり、さらにはそのつながりは脳髓にまで届いています。仙骨が活性化されると、強力な氣の流れが引き起こされ、その力は丹田の元氣にもつながります。

仙骨には「八仙洞^{はっせんどう}」と呼ばれている八つの穴が開いています。そのうち、左の四つの穴は陽の側、右の四つが陰の側です。八つの穴は、宇宙を司る八つの力を意味する易の先天八卦の形をしています。仙骨の八つの穴は、北斗七星とも密接なつながりがあります。

（訳注：北斗七星は、時によって輔星^{アルコル}を加えて北斗八星と称することもある。日本ではキトラ古墳^{てんもんず}の天文圖に見える北斗八星が有名。タオでは、この八星と先天八卦との照應^{しょうおう}関係を想定しているわけである）

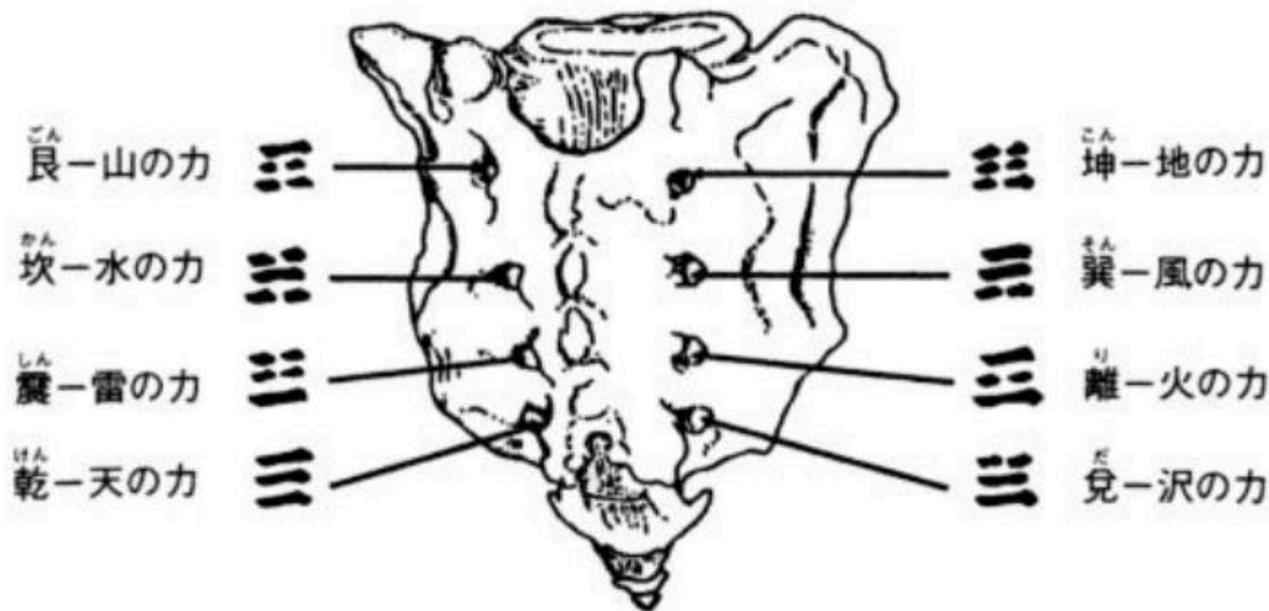
八つの穴はそれぞれ、北斗の各星のエネルギーを吸収し、それらを頭頂^{ひやくえ}の百会に蓄えられた北極星からのエネルギーと結び合わせるのです。

『タオ人間鑿學^{いがく} ～天地と融合するヒーリング・サイエンス』 p.222～p.223

タオ人間鑿學^{いがく}では、仙骨の情報はこのように記載されています。仙骨が活性化されると、奇經八脈から流れでる強力な氣エネルギーが全身に流れるようになります。また、星信仰の復活に関係してくる「北極星」や「北斗八星」^{しょうおう}との照應^{しょうおう}関係も興味深い情報です。

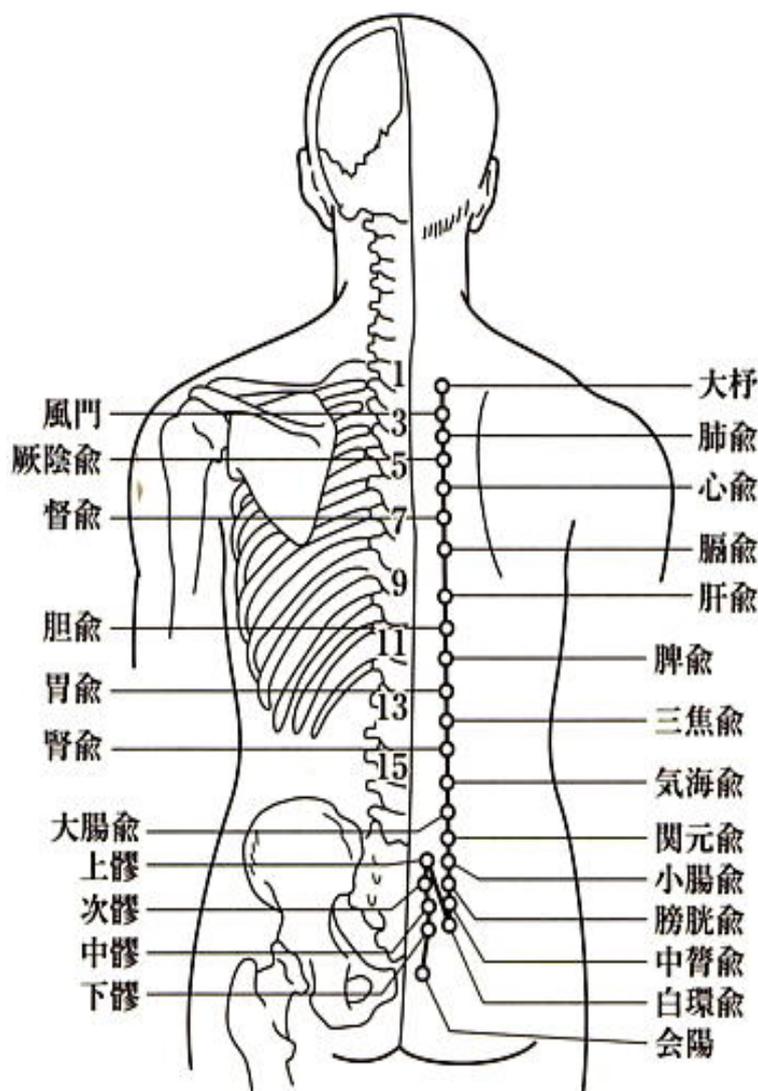
星信仰の復活の全貌は、音叉セルフヒーリングの初級編以降に本格的に学び始めます。これは宇宙、地球、靈止^{ひと}の照應^{しょうおう}関係に繋がってくる話であり、壮大な話だからです。なので仙骨に直接ヒーリングする方法も初級編以降での講座から学ぶことになります。

【仙骨、八卦、奇經八脈の關係性】



仙骨八髎穴と奇經八脈の相關關係			
ようきようみやく 陽 驕 脈 (6 チャクラ) 艮 こん	852 Hz NEPTUNE 海王星	417Hz PLUTO VENUS 冥王星、金星	にんみやく 任 脈 (2 チャクラ) 坤 こん
いんいみやく 陰 維 脈 (1 チャクラ) 坎 かん	396Hz SATURN 土星	741Hz MERCURY 水星	よういみやく 陽 維 脈 (5 チャクラ) 巽 そん
しょうみやく 衝 脈 (8 チャクラ) 震 しん	174Hz、285Hz NIBIRU ニビル	639Hz SUN SEDNA 太陽、セドナ	いんきようみやく 陰 驕 脈 (4 チャクラ) 離 り
とくみやく 督 脈 (7 チャクラ) 乾 けん	963Hz URANUS 天王星	528Hz MARS JUPITER 火星、木星	たいみやく 帶 脈 (3 チャクラ) 兌 だ

対面ヒーリングの基礎であり奥義である^{か だきょうせき}華佗夾脊



背中側にある膀胱經の別名を、「^{か だきょうせき}華佗夾脊」といいます。^{か だきょうせき}華佗夾脊の^{か だ}華佗は、およそ紀元190年～265年に^{ちゅういがく}實在する^{めいいい}中醫學の父と称される名醫の名前からつけられています。^{ちゅうごく}中國古代四大名醫でも、^{へんじゃく}扁鵲、^{ちようき}張機、^{か だ}華佗、^{りじちん}李時珍として名を連ねている人物です。

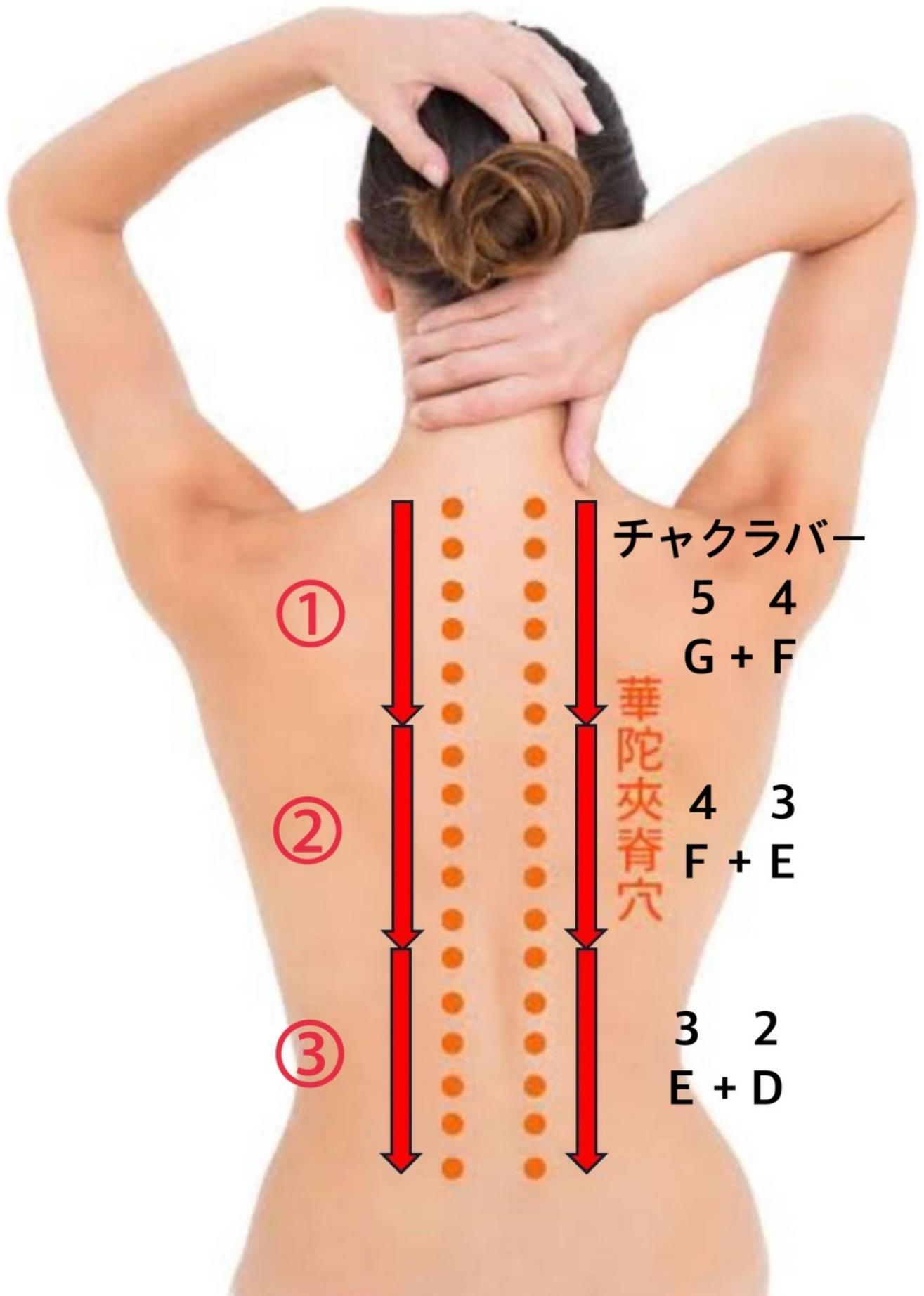
^{か だきょうせき}華佗夾脊で最も重要なのは「^{ゆけつ}愈穴」です。背骨の左右に沿って位置するツボの集まりで、「^{はいぶゆけつ}背部愈穴」とも呼ばれ、各内臓の「^{はんのう}氣の注ぎ口」とされる場所です。臓腑の疾患がある場合に^{はんのう}反應が現れやすく、刺激することで氣の巡りを整え、臓腑の機能回復を促すとされています。



十二経絡に關係する愈穴以外だと、「督愈」、「膈愈」、「氣海愈」、「關元愈」、「中膂愈」、「白環愈」という愈穴が、脊髓を挟んだ兩側、各椎骨の間にあります。椎骨は、ひとつひとつが臓器とも關連しているため、それぞれの經穴を通して、全身にエネルギーを補充できます。

この脊髓の流路こそ、惑星の軌道、四季のサイクル、その他の宇宙的事象に見られるような大宇宙の軌道の映し鏡です。華陀夾脊は變化變容のサポートも含め、カラダのメンテナンスや健康面でも極めて重要な役割を果たしています。

脊髓は、督脈と任脈が「DNA」を司り、華陀夾脊などの椎骨ひとつひとつが「RNA」を司っています。遺傳子の構造變換は、脊髓の構造が變わり、チャクラが自然に開くことで靈的世界からの精妙な振動をキャッチ出来るようになることを意味しています。対面ヒーリングにおいて、華陀夾脊は「基本」でもあり「奥義」でもあります。



か だ きょうせき
【華陀夾脊の基本的な施術方法】

- ① のエリアは、チャクラバー「 $G + F$ 」を鳴らす
- ② のエリアは、チャクラバー「 $F + E$ 」を鳴らす
- ③ のエリアは、チャクラバー「 $E + D$ 」を鳴らす

か だ きょうせき
※華陀夾脊の施術の場合、「528Hz ヒーリングパイプ」や「528Hz 倍音エナジーバー
セット」は鳴らさない。理由は、か だ きょうせき
華陀夾脊の施術の場合、余計な手間だからである

- (1) 左側の華陀夾脊のラインが「低い周波数」、右側の華陀夾脊のラインが「高い周波数」を「ホームトーン基音」と「インターバル音程」に選定する。
- (2) 導入編セットならば、「132Hz」と「264Hz」、入門編セットならば「128Hz」と「136.1Hz」、初級編以降のセットならば「50Hz」と「68.05Hz」がスタンダードの選定になる。
- (3) チャクラバーを鳴らしてから、①～③のエリアを音叉で刺激していく。1本ずつ音叉を動かしながらか だ きょうせき ツボ
華陀夾脊の経穴を、エリア別に3～5箇所刺激する。
- (4) 下まで刺激したら、次は左側の華陀夾脊のラインが「高い周波数」、右側の華陀夾脊のラインが「低い周波数」にして、①～③のエリアを音叉で刺激していく。エリア別に3～5箇所刺激する。

アキュトニクス か だ きょうせき
Acutonics式の別な華陀夾脊の施術法は、初級編以降に教えます



華陀夾脊^{か だきょうせき}は、^{ゆけつ} 兪穴を通して各臓器、各器官、各組織のチェックが可能であり、触診により五行のエLEMENTの特定も出来ます。また、頸椎、仙骨のエリアまで含めたならば、^{はいぶ} 背部の触診だけで、8割以上の症状診断が可能です。

対面ヒーリングの基礎は「^{か だきょうせき} 華陀夾脊」、「仙骨と腎臓」、「^{か だきょうせき} 脳幹（後頭部）」になり、^{か だきょうせき} 華陀夾脊以外はすべてセルフヒーリングが出来ます。そしてこの基礎を徹底して習得したならば、8割以上の病氣は自分自身で治せるレベルになるでしょう。



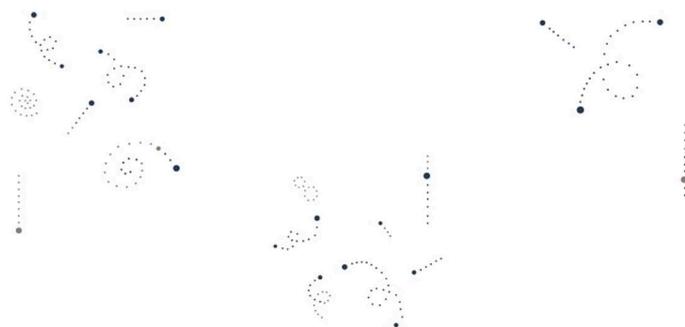
第十三章

音叉による脳幹の調整法

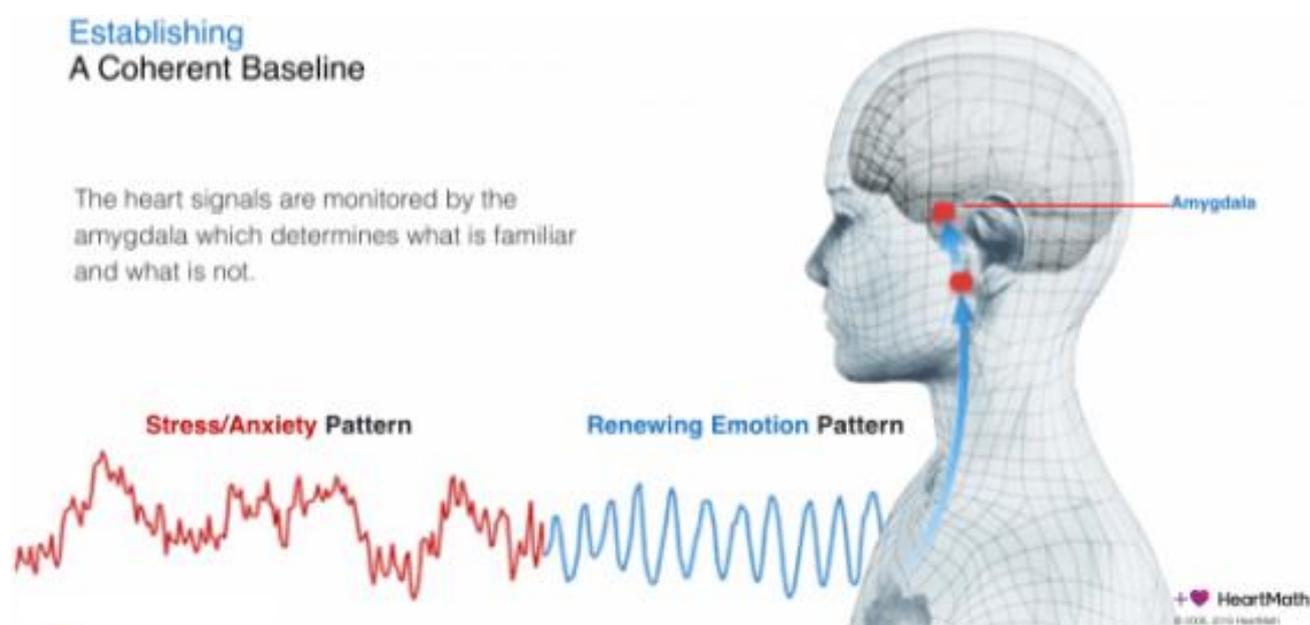
にくたい
肉體の生命維持の要、脳幹

頸椎の歪みを正していき

人生の姿勢の正していく



脳幹の疲れによる悪影響について

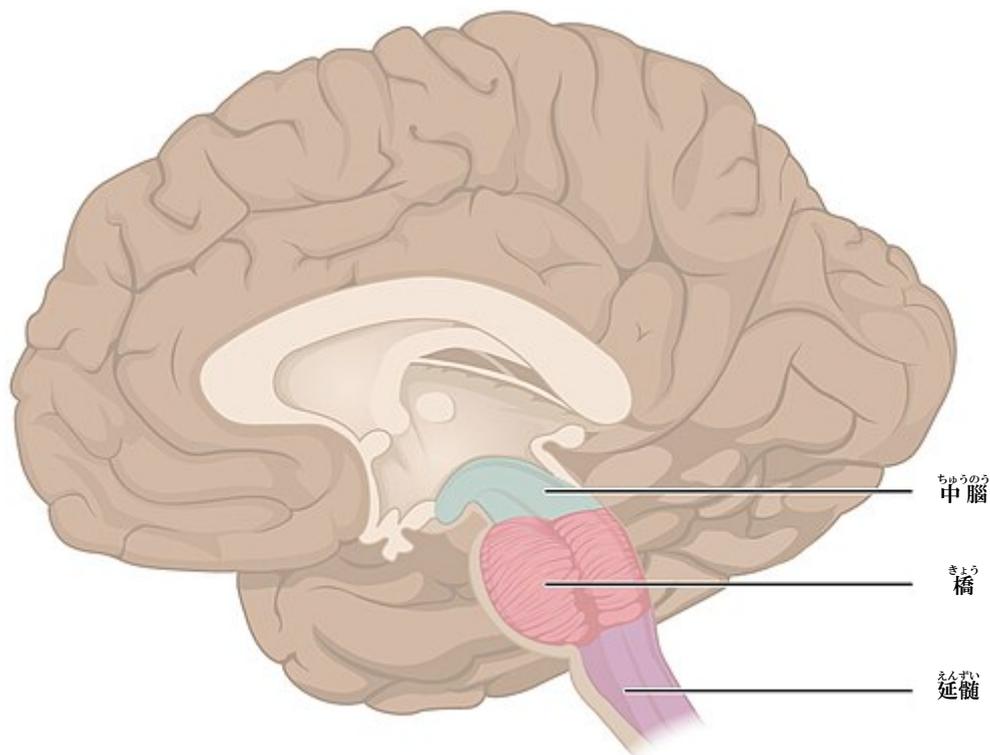


対面ヒーリングの基礎は「華陀夾脊」、^{か だ きょうせき}「仙骨と腎臓」、「脳幹（後頭部）」と述べましたが、脳幹は、「^{DIKAG}大脳」と「^{ちゅうのう}脊髄」をつなぐ脳の一部で、「^{ちゅうのう}中脳、^{きょう}橋、^{えんずい}延髄」から構成されます。脳幹が、「蝶形骨」と「仙骨」をつないでいる中心部分です。

^{ちゅうのう}中脳は、視覚、聴覚の中継や、眼球運動の調節、意識、覚醒の維持に重要な役割を担っています。^{きょう}橋は、上部の^{ちゅうのう}大脳や^{ちゅうのう}中脳と、下部の^{えんずい}延髄をつなぐ連絡路であり、呼吸調節に関わります。^{えんずい}延髄は、呼吸、心臓、嚥下、咳など、生命維持に不可欠な機能を司る神経核が含まれます。

脳幹は、「大脳」と「小脳」を除いた「^{にくたい}脳の根幹をなす部分」です。^{にくたい}肉體の生命活動に脳幹が重要であり、「^{EXA PIECO}心臓脳」と「^{DIKAG}大脳」を通して^{にくたい}肉體の生命維持を司る部分であり、何かしらの障害が起こると、四肢麻痺、呼吸障害、意識障害が出ることがあります。

大脳 ^{にくたい}肉の心と肉體を繋ぐ脳幹は、生命活動の重要な部分のひとつになります

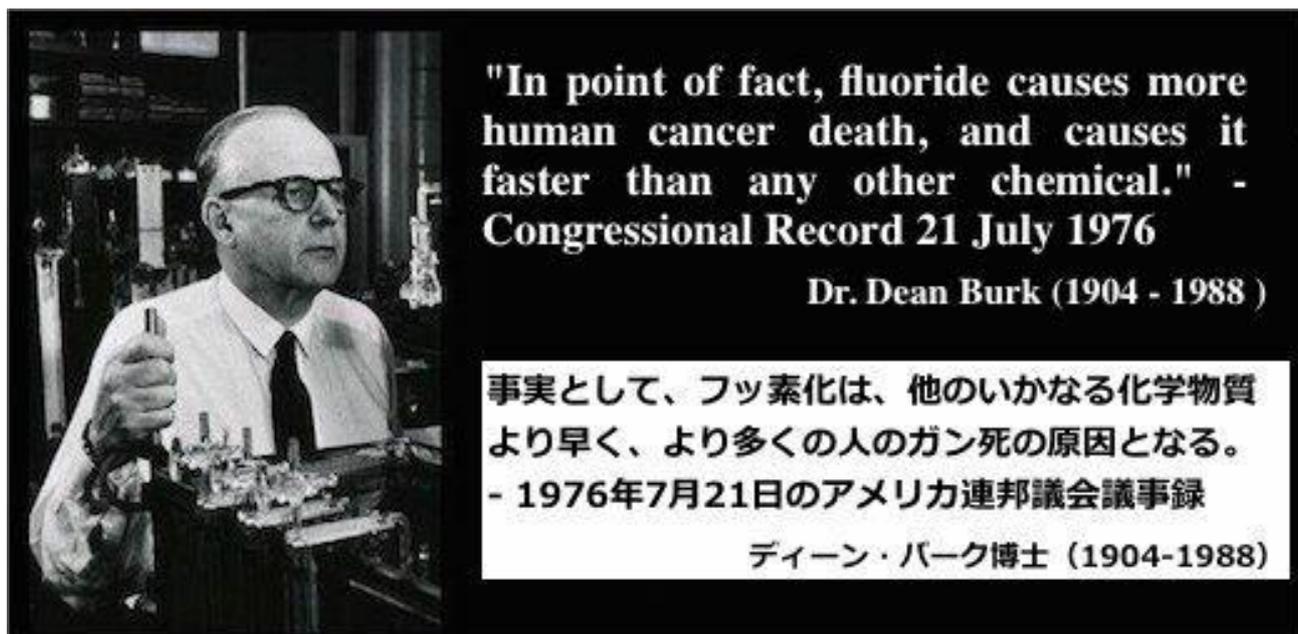


脳幹の疲れは肉體の疲れにもなり、自律神経の働きも鈍化させてしまい、臓器の歪みも引き起こし、鬱状態や精神面の疲勞となります。脳幹の疲れを取らなければ、いくら肉體のメンテナンスをしても根本的解消とはなりません。

脳幹の經穴は、「腰愈」、「腦戸」、「風府」、「百会」、「玉枕」を刺激するのが基本で、蝶形骨のセルフヒーリングと同じパターンを使います。しかし、脳幹への刺激の場合、追加で刺激する經穴が「天柱」、「風池」、「完骨」の3つの經穴を使います。

DIKAG
大脳と脳幹の一番のストレスは「電子音」と「平均律 A=440Hz」であり、イライラ、不安、洗脳の周波数によりダメージを受けています。また悪性の電磁波、食べ物も大きな原因になっています。

農薬、添加物、化學物質、放射能や電磁波、遺傳子組み換え種、ワクチン、クスリなど多岐にわたる反自然物によるホルモン異常、自律神経の異常、悪性の音、睡眠不足によって脳幹の異常が引き起こされると言われています。



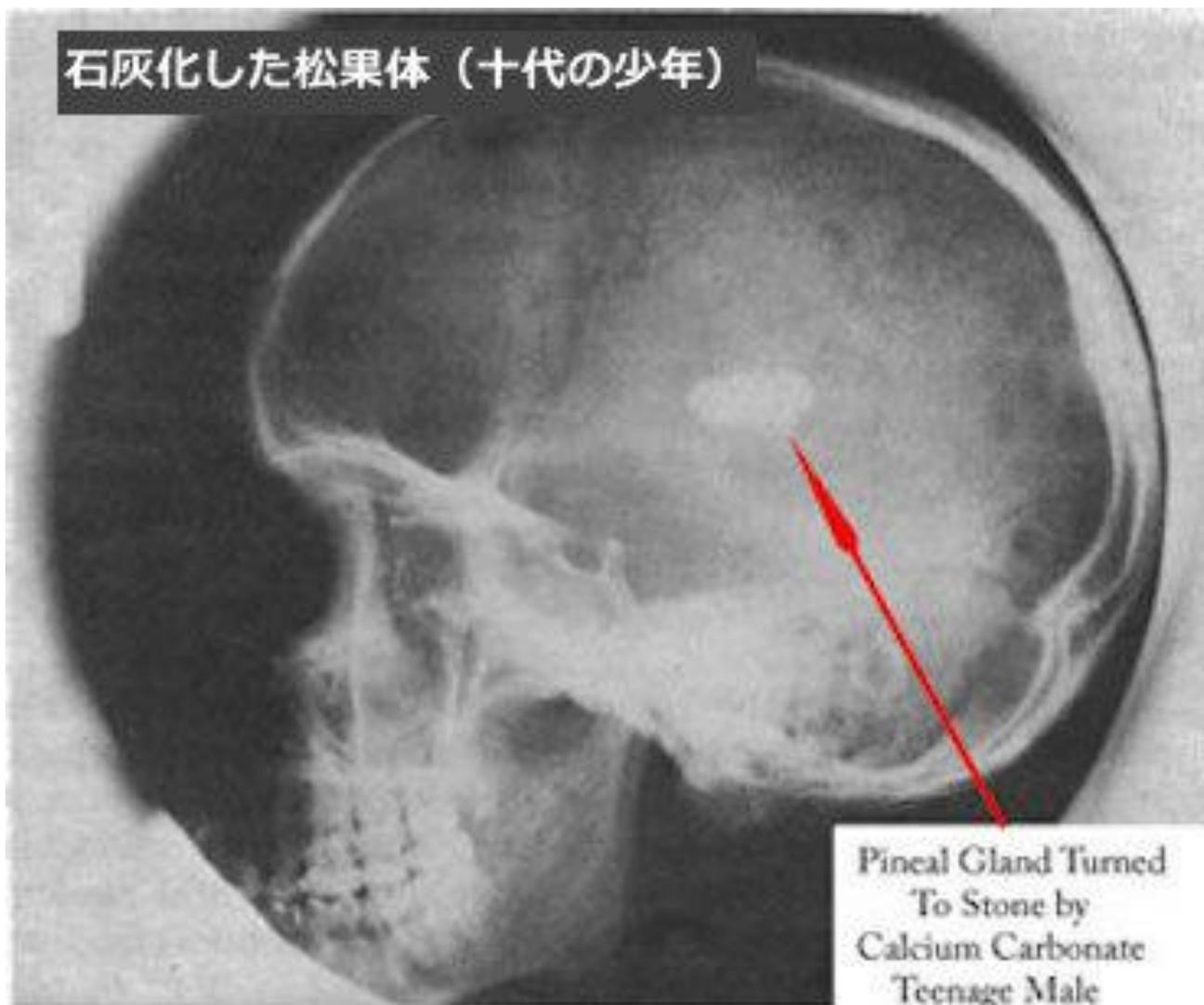
脳幹の主な働きとして、現代^{いがく}医学は「中樞神経系を構成する器官^{しゅうごうたい}集合体」とされていますので、中樞神経も含めて脳幹の役割になります。

また、脳幹の役割に「髄液^{ずいえき}」のコントロールが挙げられます。髄液^{ずいえき}の分泌による呼吸の調整、血液の調整、毒素排出調整、運動機能調整、ホルモン調整、メンタル調整などが脳幹の主な働きに挙げられます。

脳幹には生命維持のために必要な神経が集中しているため、脳幹が正常に働かないと、人間^{にくたい}の肉體は正常に動くことが難しくなります。

歯磨き粉、調理器具に使われるフッ素は^{DIKAG}大脳の器官である「松果體^{しょうかたい}」を石灰化させます。日本の水道水に含まれる塩素、正式な名称は「次亜塩素酸ナトリウム」はキッチンハイターなどにも使われる成分で猛毒であり、^{DIKAG}大脳の神経系を壊し、「細胞膜」を萎縮させます。

更には5Gによる電磁波汚染、高圧電線の被害も深刻です。電子レンジやドライヤーのよって日々の生活で、気づかぬうちに脳細胞を破壊していることも問題です。現代地球人類は絶えず^{DIKAG}大脳が電磁波の攻撃を受けている状態であり、^{DIKAG}大脳の異常化に拍車をかけています。

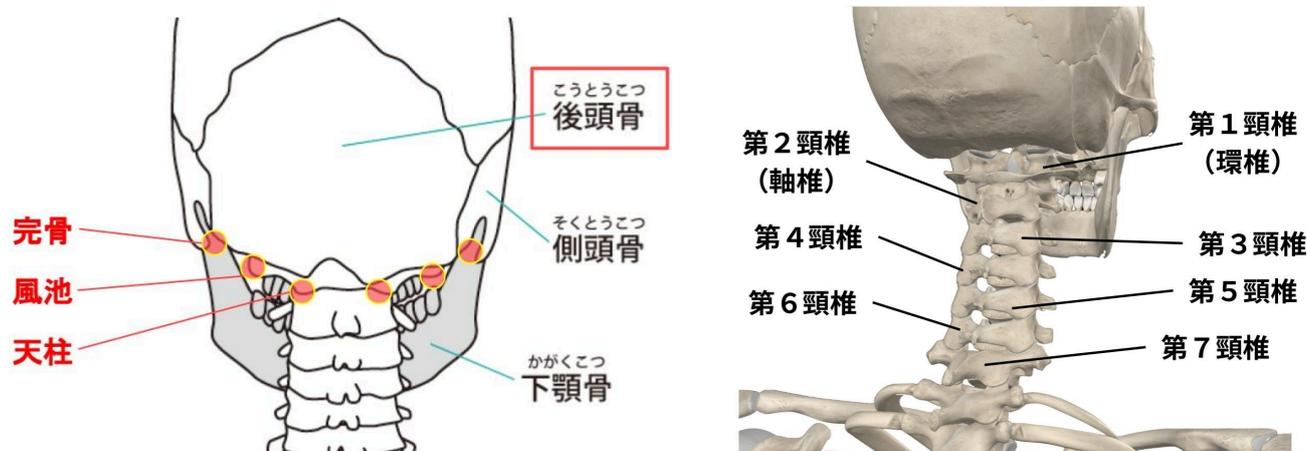


霊と心と身体^{しんたい}の病氣の原因は、こうした反自然による「無意識レベルの心のストレス」が大きな原因と言えます。

そもそもFUNEKONを構成している根本的な粒子は「微生物」と「ソマチッド」ですが、微生物とソマチッドはFUGEHUKONのFUGEHEKINに反するものを嫌います。

わたし達が自然界に触れることで癒され、活力を頂ける理由は、自然界の發する耳に聴こえない領域の高周波により、「魂心身^{こんしんしん}」を整えるからです。サウンドヒーリングや音叉ヒーリングはこの耳に聴こえない領域の高周波を人為的に生み出します。その高周波により魂心身^{こんしんしん}を癒し、大脳^{DIKAG}のストレスを淨化していきます。

脳幹の経穴、^{ツボ}天柱、^{てんちゅう}風池、^{ふうち}完骨と、^{かんこつ}頸椎の調整の意味について



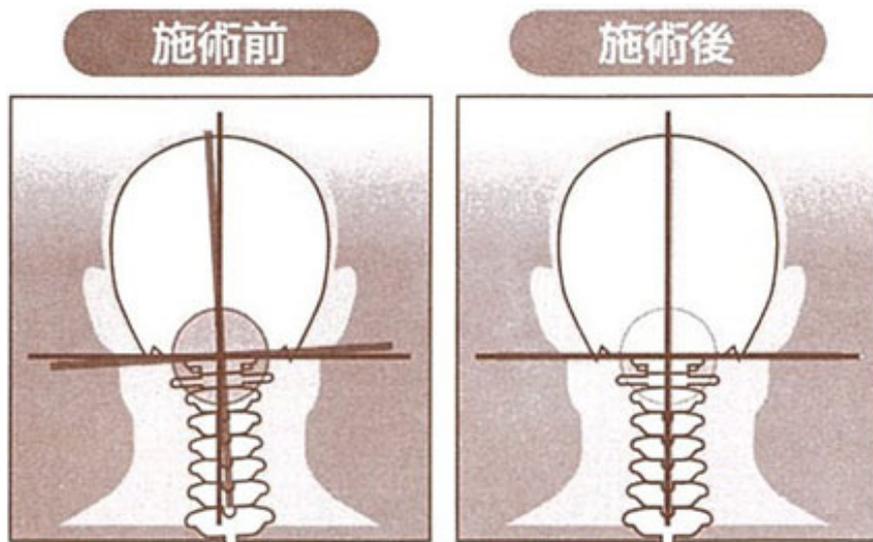
音叉による脳幹への刺激は、「腰愈、^{ようゆ}風府」、^{ふうふ}「風府、^{ひやくえ}百会」の順番で経穴^{ツボ}を刺激をしてから「^{てんちゅう}天柱」、^{ふうち}「風池」、^{かんこつ}「完骨」の3つの経穴^{ツボ}を使います。

^{てんちゅう}天柱という名前は、首と僧帽筋を、^天「頭」を支える柱に見立てたものです。背筋を真っ直ぐ伸ばして胸を張り、対立や逆境に落ちていて、公平に対処する力を与えてくれます。背筋を伸ばし、首の不調を和らげます。

^{ふうち}風池の経穴は、病気の外的要因の一つである「^{ふう}風」、^{たいない}体内に入った^{ふう}風の邪氣（ウイルス、細菌など）が最も溜まるツボであり、風邪による頭痛や咳、節々の痛みに効果があります。風は五行では木のエレメント、肝臓に關係し、眼の疾患にも有効です。

^{かんこつ}完骨の経穴は自律神経を整える効果があるため、幸せホルモン「セロトニン」の分泌を安定させる効果があります。頭痛、眼の疲れ、めまい、顔のむくみなどの症状をやわらげ、首の凝りを解消します。眠気を払う効果もあるので、気分をスッキリさせたいときや頭が疲れているとき、集中したいときにも有効です。

音叉セルフヒーリングの入門編では、^{てんちゅう}天柱、^{ふうち}風池、^{かんこつ}完骨を通して脳幹活性をしていきます



脳幹は「頸椎」という首の骨とも繋がっているので、「頸椎の歪み＝脳幹の歪み」と表現することも可能です。なので、脳幹の調整をすることは、頸椎の歪みを調整することと同じ意味であり、脳幹の経穴である天柱、風池、完骨は、頸椎の歪みも調整します。

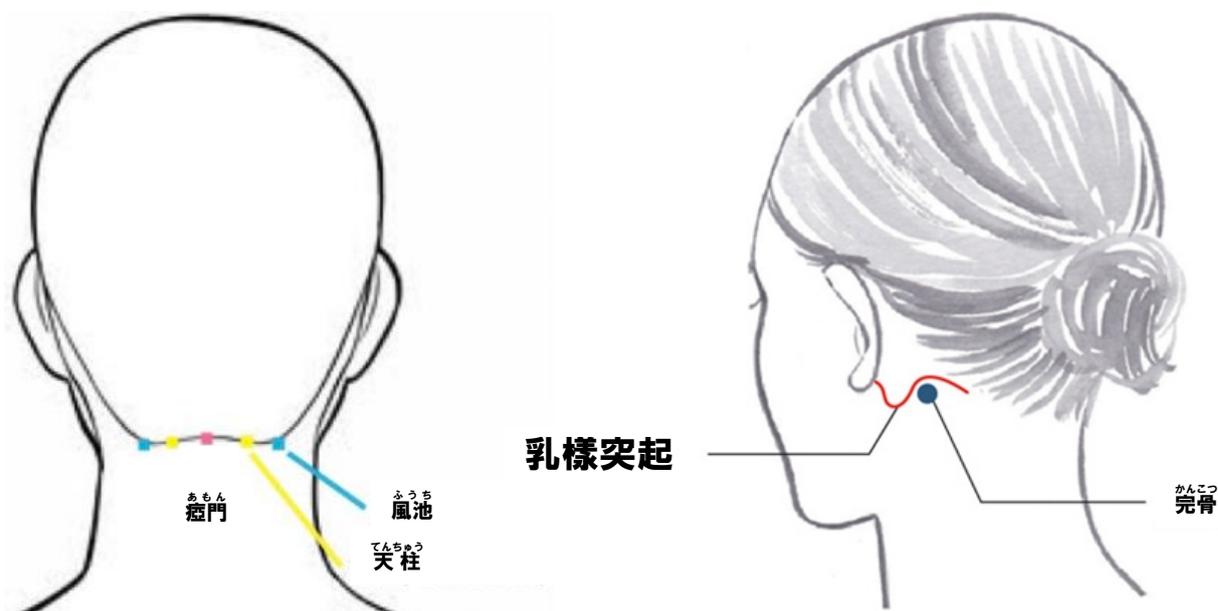
むち打ち症などあるように、頸椎の歪みというのは身体に多大な影響を与えます。脳幹の詰まりに関する症状は多くあり、認知症、アルツハイマー、パーキンソン病、てんかん、手足の痺れ、痙攣などの症状は、脳幹の不調からスタートしているケースが多くあります。

脳幹が詰まる原因は「化学物質」です。特に「認知症」の原因となるものは「アルミニウム」です。これが脳幹に溜まると深刻な症状を発症します。アルミニウムにより脳の神経細胞の急激な破壊により、物忘れが激しくなり、物事全体がすっぱりと抜け落ち、ヒントを与えても思い出すことが出来なくなります。

本人の顕在意識での自覚はありませんが、進行性であり、日常生活に支障をきたします。脳幹にアルミニウムが蓄積されると、息切れ、胃腸障害、痙攣、食欲不振、筋肉痛、物忘れ、そういった症状がでます。

記憶障害の方にも、脳幹調整は有効な方法になります

てんちゅう ふうち かんこつ
天柱、風池、完骨のセルフヒーリングの方法



音叉セルフヒーリングでは脳幹を通して頸椎を自分で調整できるので、整形外科や整骨院などに通わずに自力で頸椎、首の症状を改善させることが可能です。脳幹が活性化することにより、脳幹の機能である自律神経、呼吸中樞、^{たいおん}体温調節中樞、食欲、睡眠など生命の根源を司る機能の働きのバランス回復の手助けとなります。

また、^{しんたい}身体^の中心軸が努力することなく即座に安定しますので、姿勢が良くなり歩行や動作が安定します。運動選手には非常に有効性が確認されます。脊椎、骨盤、各関節の歪みや筋肉のアンバランスが整っていきますので、痛みやコリなどの不快症状がなくなっていくます。

また、脳幹を活性化させることで「^{心臓脳}霊の心」と「^{大脳}肉の心」が一致することで、潜在的に眠っている霊能力が目覚め始めます。ネガティブ思考からポジティブ思考へと自動的に^{へんかん}変換し、ポジティブなインスピレーションを受振しやすくなります。

脳幹を調整することにより、脊椎や各関節、筋肉に細胞レベルからしなやかさと柔軟性が戻ってきます。内臓諸器官の働きが活性化していきます。

てんちゅう ふうち かんこつ ホームトーン インターバル 天柱、風池、完骨の基音と音程				
ツボ 各経穴	ホームトーン 入門編の「基音」	インターバル 入門編の「音程」	インターバル 惑星音叉の音程①	インターバル 惑星音叉の音程②
てんちゅう 天柱	128Hz	417Hz	SEDNA NEPTUNE セドナ、海王星	ローオーム、SUN 太陽
ふうち 風池	132Hz	174Hz	MERCURY JUPITER 水星、木星	MARS VENUS 火星、金星
かんこつ 完骨	136.1Hz	285Hz	SATURN URANUS 土星、天王星	MARS SATURN 火星、土星

【入門編セットで脳幹の経穴を刺激する基本的な方法】

(1) ホームトーン
基音を「128Hz」「132Hz」「136.1Hz」からひとつ選定する

(2) ホームトーン インターバル
基音と組み合わせる音叉の音程を「128Hz」「132Hz」「136.1Hz」「264Hz」
の中から選定する

(3) てんちゅう ふうち かんこつ ツボ
天柱、風池、完骨の経穴は、チャクラバー「G + A」、528Hz 倍音セットを鳴らす

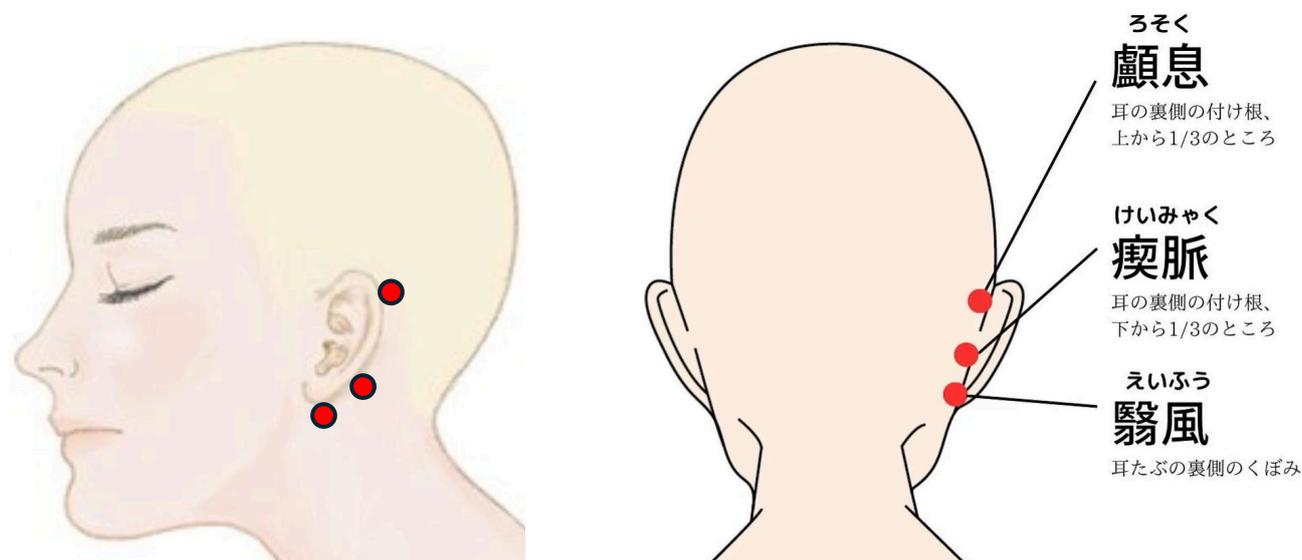
(4) ツボ
両側の「脳幹」の経穴に、「天柱→風池→完骨」と音叉を1本ずつ動かしていき、3
つの経穴を刺激する

(5) ツボ すうかい
1回ごとに左右の音叉を持ちかえながら、両側の脳幹の経穴を数回以上、繰り返し
刺激していく

てんちゅう ツボ
天柱の経穴は「膀胱経」であり、えんずい
延髄を刺激し、ふうち かんこつ ツボ
風池と完骨の経穴は「胆経」であり、ちゅうのう
中脳を刺激します。「天柱」「ふうち」「かんこつ」の経穴の片側ずつ、「3つの基音」と「ソル
フェジオ音叉のインターバル
音程」の組み合わせで刺激していくことも有効な方法です。

様々なインターバル
音程を使い、是非ともにくたい
肉體の働きを正常に戻してください

えいふう けいみやく ろそく ツボ
翳風、瘰癧、頤息の3つの経穴について



音叉セルフヒーリング入門編ではあまり扱いませんが、三焦経の「^{えいふう}翳風、^{けいみやく}瘰癧、^{ろそく}頤息」の3つの^{ツボ}経穴も脳幹調整で本来は使います。入門編であまり使わない理由は、3つの^{ツボ}経穴の位置がわからない人が多いからです。

三焦経の3つの^{ツボ}経穴は、耳たぶの後ろのくぼみに位置し、耳鳴り、難聴など、「耳の疾患」の場合、必ず使います。耳の疾患の場合、惑星音叉での「^{ホームトーン}基音」と「^{インターバル}音程」は「冥王星」と「海王星」になります。また、「オーム」と「ゾディアック」の組み合わせも有効です。

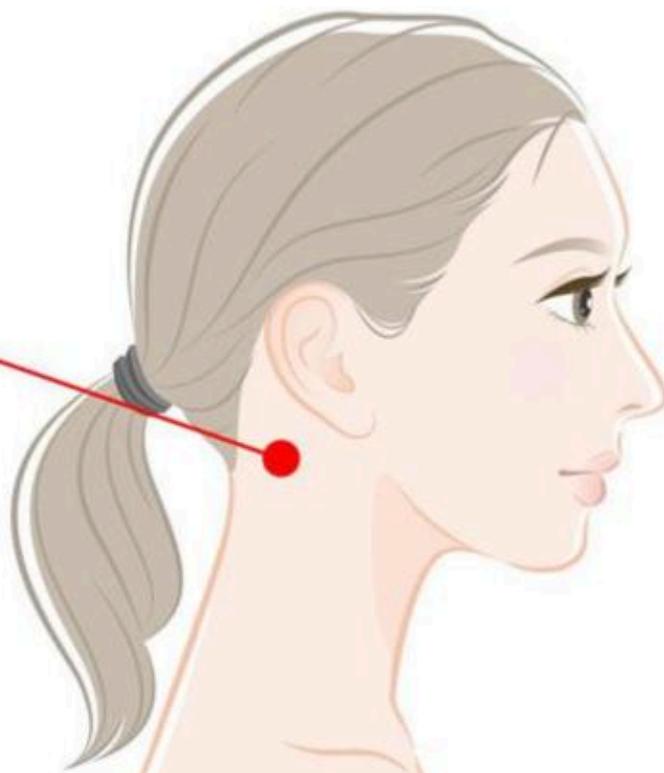
入門編セットでは、3つの^{ツボ}経穴の^{ホームトーン}基音は「136.1Hz」が多くなります。入門編セットで、ソルフェジオ音叉で^{インターバル}音程を考えるならば、冥王星の代替は「285Hz」、海王星の代替は「417Hz」、ゾディアックの代替は「174Hz」です。

ただ、耳たぶの裏に^{ツボ}経穴が位置するので、セルフヒーリングで片側に音叉を2本当てるのが難しいことも、入門編であまり扱わない理由になります。

SEPOUW
背後霊との繋がりを強化する天牖の經穴

てん ゆう
天牖

あごの側面を斜めに走っている太い筋肉（胸鎖乳突筋）を下からたどって行って突き当たるくぼみの部分

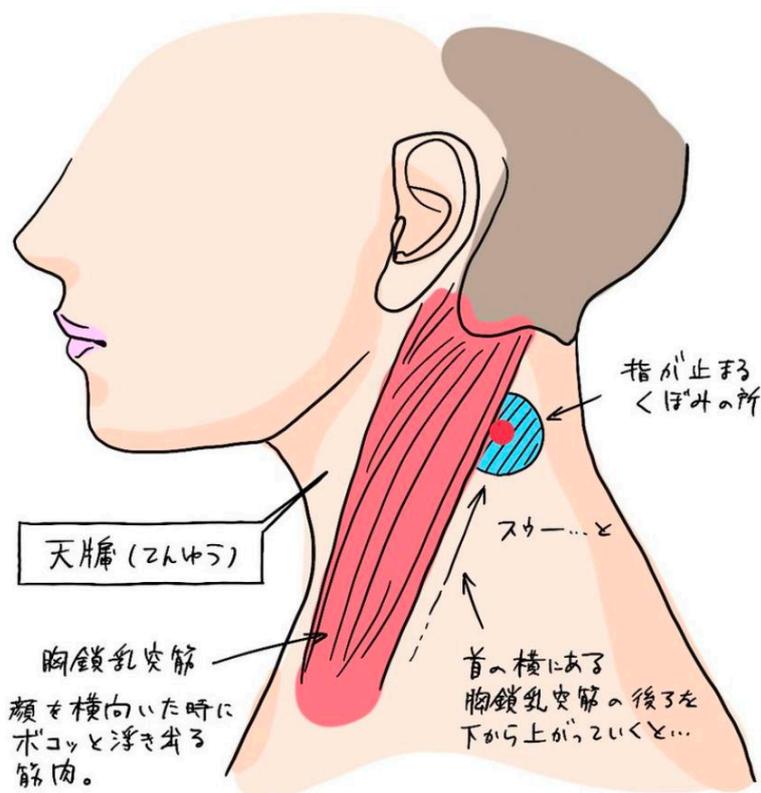


脳幹で他に使う經穴は、三焦經の「天牖」の經穴です。天牖は、脳幹の橋の位置にある經穴で、上部の大脳や中脳と、下部の延髄をつなぐ連絡路であり、呼吸調節に関わります。

主な症状として、頭部と首のこわばり、かすみ目、突発性難聴、視力低下に用います。入門編でも天牖の經穴はセルフヒーリングで頻繁に使います。

天牖の經穴は、靈の心の声に、肉の心の恐怖心により耳を傾けない方に、靈の心の声を聴くことの大切性を説いてくれています。天牖の經穴は、社會システムへの奴隸状態を弱め、内なる滋養と癒しの泉と繋がり、背後霊と繋がりやすくします。

靈の心の声に耳を傾けず、顯在意識で凝り固まった「自己保身」に走りがちな行動パターンの脱却を促します。特に、肉の心の自己保身から、念のために「現状維持」の道を残しておこうとする優柔不斷な人間に必要な經穴です。



【入門編セットで天牖^{てんゆう}の經穴^{ツボ}を刺激する基本的な方法】

(1) 基音^{ホームトーン}を「128Hz」「132Hz」「136.1Hz」からひとつ選定する

(2) 基音^{ホームトーン}と組み合わせる音叉の音程^{インターバル}を「128Hz」「132Hz」「136.1Hz」「264Hz」の中から選定する

(3) 天牖^{てんゆう}の經穴^{ツボ}は、チャクラバー「 $G + A$ 」、528Hz 倍音セットを鳴らす

(4) 両側の「天牖^{てんゆう}」の經穴^{ツボ}に音叉を当て、1回ごとに左右の音叉を持ちかえながら、両側の天牖^{てんゆう}の經穴^{ツボ}を数回以上、繰り返して刺激していく

(5) 基音^{ホームトーン}を重りつき音叉、音程^{インターバル}をソルフェジオ音叉にして、片側ずつ天牖^{てんゆう}の經穴^{ツボ}を刺激していく



第十四章

音叉によるフェイシャルケア

人相は、本質を写す鏡

人の第一印象は人相で8割決まってしまう

ポジティブエネルギーを招きよせるための基盤



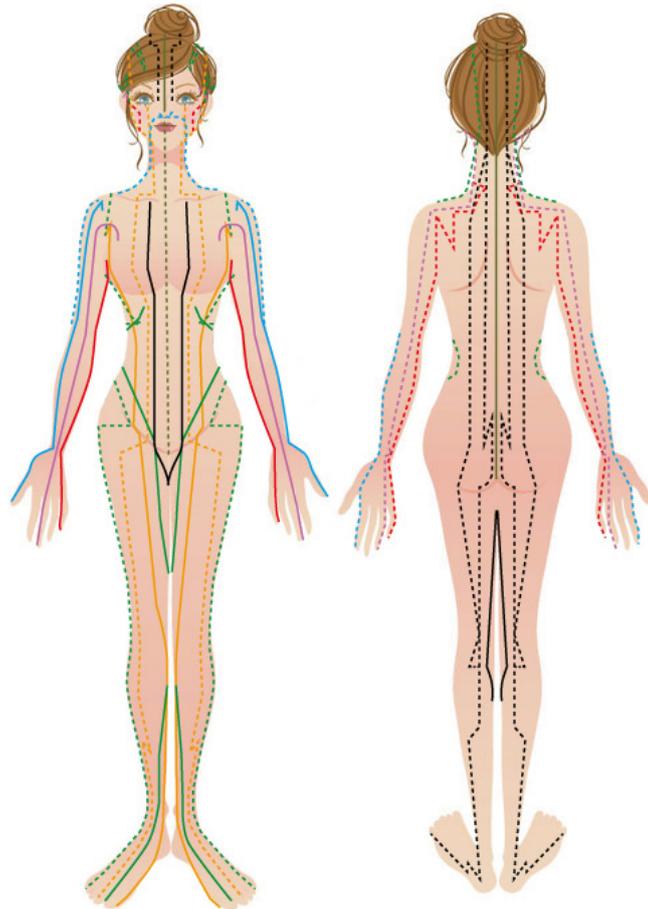
音叉でフェイシャルケアをする意味について



音叉セルフヒーリングでは「蝶形骨」、「脳幹」、「^{フェイス}顔」を通して、美しくなり、若返ることも目的に含まれています。初級編以降では「^{ヘッド}頭部」も受講に含まれてきます。首から上を通して「^{大脳}肉の心」を調整することは非常に大事なことです。

地上世界で必要なことは、第一に「コミュニケーション力の向上」です。第二に「健康」であり、第三に「生活必需品の確保」です。そして、外見を磨くことは、「コミュニケーション力の向上と、若々しい健康の維持」という2つの側面があります。

フェイシャルケアは、男女問わず現代^{しゃかい}社会で生きている限り必須です。何故なら、人の第一印象は「人相」で8割決まってしまうからです。逆に人相を良くするだけで第一印象は格段に良くなり、その後の人間関係にも多大な影響を与えます。

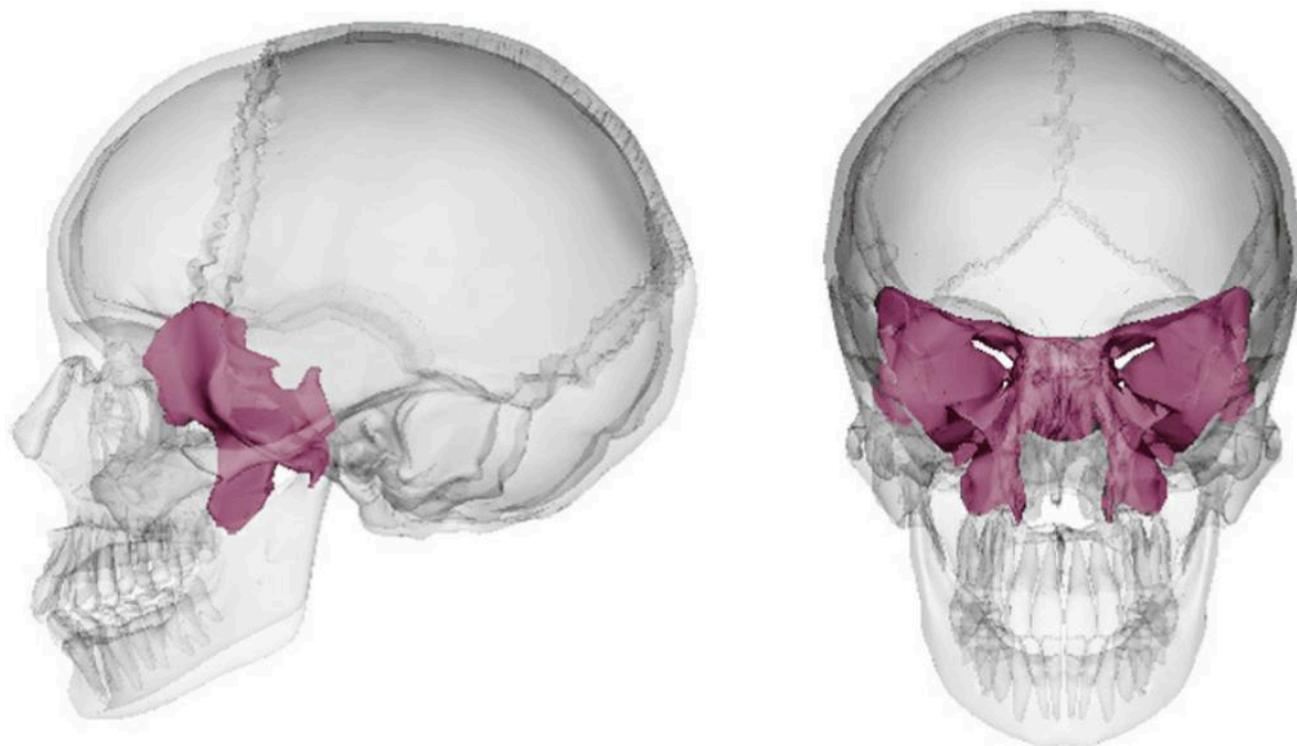


顔は経絡だと、「陽經の海」と言われています。それを管理しているのが「督脈」です。陽經の海理由は、^{しんたい}身體の手足の陽經すべてが頭に集まっているからです。「^{ずかんそくねつ}頭寒足熱」という四字熟語がありますが、頭は陽エネルギーの集まりなので冷やさなければなりません。

頭に陽エネルギーが集まっていると、睡眠の質が低下し、夜中に眠れなくなります。こうした場合、下半身にエネルギーを流すことでエネルギーを沈める必要があります。また、手は第二の脳と呼ばれていますが、腕、手の治療は顔を施術する必要があります。

古代より「^{にんそうがく}人相學」という人の顔の特徴や^{しんたい}身體の形から、その人の性格、氣質、そして運命を読み解き、予測しようとする占術が存在します。「人相」と「^{しやうおう}手相」は照應関係であり、左手は右腦の反映であり、右手は左腦の反映です。

手相とは「^{かがく}腦科學」であり、人相も手相も本質は「腦相」なのです。



特に「蝶形骨」は、念入りにフェイシャルケアすることをオススメします。蝶形骨に関する経穴は「晴明」、^ツ「瞳子膠」、^ホ「承泣」、^{せいめい}「四白」、^{どうしりょう}「太陽」、^{しょうきゅう}「絲竹空」、^{しはく}「下關」、^{たいよう}「聽宮」、^{しちくくう}「聽宮」などの経穴になります。

蝶形骨は肉の心から出る電気信号を、^大脳幹を通して全身に送る役割があり、それが滞ると認知症、アルツハイマー、パーキンソン病、てんかん、手足の痺れ、^{けいれん}痙攣などの症状に繋がります。腕、手の治療は顔を施術する理由は、蝶形骨を通して全身に電気信号を送るためです。

蝶形骨は仙骨と連動していますが、全身で最もネガティブエネルギーが溜まりやすいポイントであり、蝶形骨を中心に音叉で刺激しエネルギーを^{リリース}解放していきます。音叉によるフェイシャルケアは美容だけではない深いレベルの癒やしが可能なメソッドなのです。

本質的には「メイクアップ」と「フェイシャルケア」で顔のイメージが^か変わることで、自分への自信やポジティブなエネルギーを招きよせるための基盤になり、皆さんの人生が開運することが目的のひとつです。

音叉フェイシャルケアの基本的な施術方法

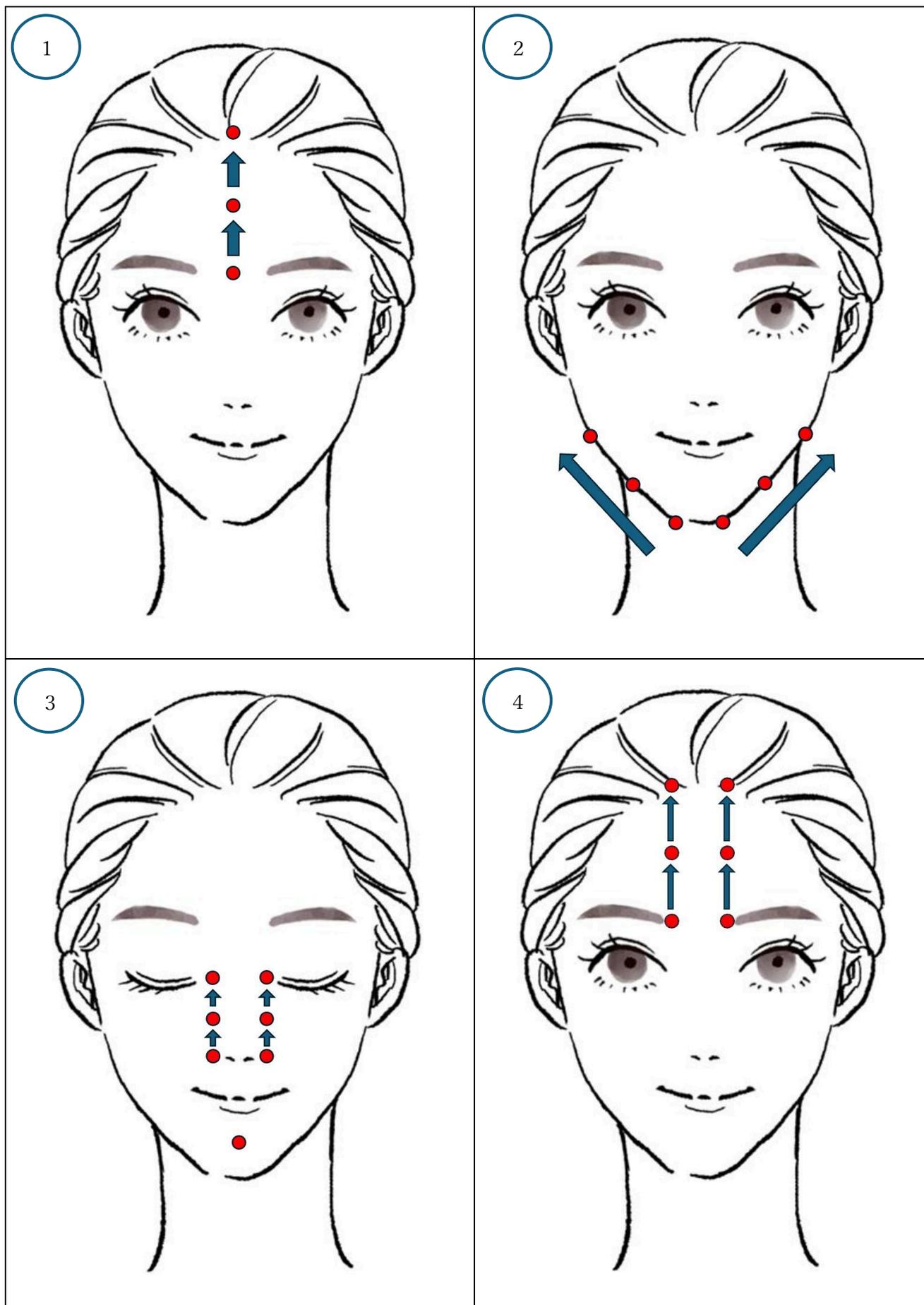


音叉フェイシャルケアは、海外の高級エステサロン（メキシコなど）でも取り入れられ、現地でも大人気のエステです。フェイシャルケアと聞くと、女性特有のもの、慣れていない方に縁遠いものという印象を持たれがちですが、実際には男女問わず魅力的な内容です。

音叉フェイシャルケアのやり方は、^{ホームトーン}基音と^{インターバル}音程の組み合わせ次第で無限大に等しいほど施術方法が^か変わります。音叉を1本ずつ動かしていく方法、^{ツボ}両側の経穴を音叉で刺激する方法、片側の^{ツボ}経穴にヘヴィーフォークとフォークを組み合わせる刺激する方法など、フェイシャルケアのやり方は多岐に渡ります。

音叉でフェイシャルケアをすることによる効果は、肌が若返り、美しくなり、目尻のシワ、ほうれい線が薄くなります。顔の蝶形骨などに溜まったネガティブエネルギーを^{リリース}解放し、顔の反射区を通して、内臓を活性化させます。^{大脳}肉の心を刺激することで、眼の疲れ、頭痛、肩こり、鼻の詰まりの改善、不眠の改善、カラダに溜まった電磁波の除去などが出来ます。

基本的には、音叉を1本ずつ動かして顔を刺激していく方法が有効です。肌、皮膚への振動が気持ちよく、全身に^{つた}伝わっていく^{たいかん}感触を^{たいかん}体感できます。そして音叉でフェイシャルケアをすることでストレスが軽減し、沈んでいた^{たいかん}気持ちが前向きになれます。



【フェイシャルケアで音叉を動かす方法】

導入編セットの^{ホームトーン}基音と^{インターバル}音程は「132Hz」と「264Hz」。毎回528Hzヒーリングパイプ、528Hzエナジーバー、1056Hzエナジーバー、2112Hzエナジーバーを鳴らしながら、顔に音叉を当てていく

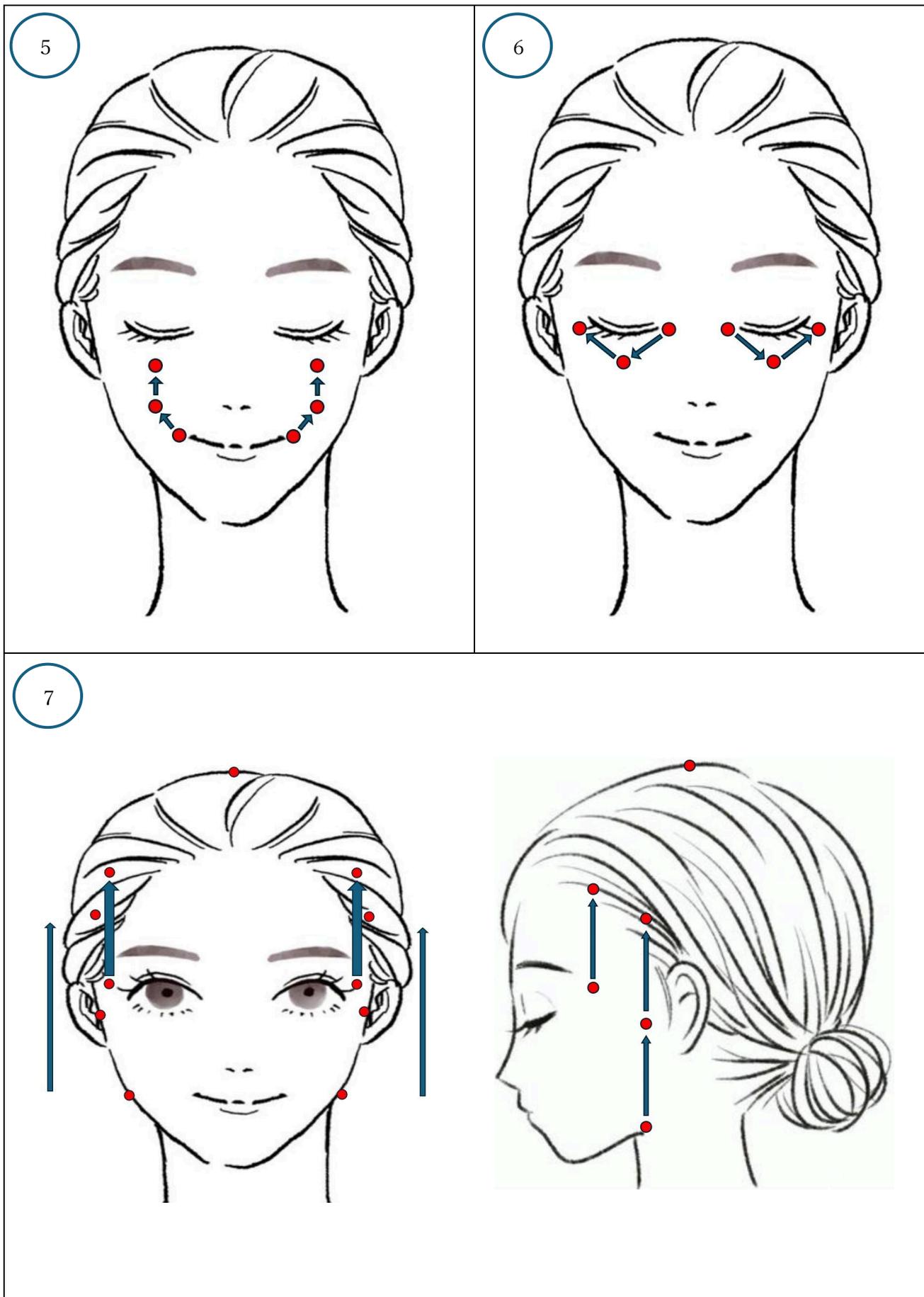
入門編編セットの^{ホームトーン}基音と^{インターバル}音程は「128Hz」と「136.1Hz」。毎回⁶Aチャクラバー、⁷Bチャクラバー、1056Hzエナジーバー、2112Hzエナジーバーを鳴らしながら、顔に音叉を当てていく

(1) 1のエリアの^{いんどう}「印堂」～^{じょうせい}「上星」の^{ツボ}経穴に、印堂に音叉を2本当て、1本ずつ動かしながら^{じょうせい}上星の^{ツボ}経穴まで刺激するを数回繰り返す

(2) 2のエリアは、エラの^{フェイス}顔ラインに音叉を1本ずつ動かしていく。1回ずつ音叉を左右入れ替えながら、エラの^{フェイス}顔ラインを^{すうかい}数回刺激し、リフトアップしていく

(3) 3のエリアは、^{しょうしょう}「承漿」の^{ツボ}経穴を^{すうかい}数回刺激した後、^{けいこう}「迎香」、^{びつう}「鼻通」、^{せいめい}「晴明」の^{ツボ}経穴に、音叉を1本ずつ動かす方法で3つの^{ツボ}経穴を刺激していく。1回ずつ音叉を左右入れ替えながら鼻の^{フェイス}顔ラインを^{すうかい}数回刺激し、花粉症、鼻詰まり、副鼻腔炎など鼻に関するの症状を改善していく

(4) 4のエリアの^{さんちく}「攢竹」～^{びしょう}「眉衝」の^{ツボ}経穴に、音叉を1本ずつ動かす方法で膀胱経のラインを刺激していく。1回ずつ音叉を左右入れ替えながら膀胱経のラインを^{すうかい}数回刺激し、^{デトックス}化学物質の毒素排泄を促していき、生殖器の症状の改善を促していく



(5) 5のエリア、「胃經」のラインである「地倉」^{ちそう}、「巨髎」^{こりょう}、「四白」^{しはく}の經穴^{ツボ}に、音叉を1本ずつ動かす方法で刺激していく。1回ずつ音叉を左右入れ替えながら3つの經穴^{ツボ}を刺激していく。胃經は「潜在意識」^腸と「顯在意識」^腦を繋ぐ唯一の經絡であり、肉の心の「思考」と「感情」によって、同じことを何度も繰り返すパターンに囚われている人間に有効なラインである

(6) 6のエリアは蝶形骨のまわり、眼のエリアである「睛明」^{せいめい}、「承泣」^{しょうきゅう}、「瞳子髎」^{どうしりょう}の經穴^{ツボ}に音叉を1本ずつ動かす方法で刺激していく。1回ずつ音叉を左右入れ替えながら3つの經穴^{ツボ}を刺激していく。主な症状として、眼の疲勞^{ひろう}、視力の低下、頭痛、偏頭痛などの症状の改善有効になる

(7) 太陽^{たいよう}、本神^{ほんじん}の經穴^{ツボ}に、音叉を1本ずつ動かす方法で刺激していく。1回ずつ音叉を左右入れ替えながら2つの經穴^{ツボ}を刺激していく。本神^{ほんじん}の經穴^{ツボ}は、胆經と陽維脈^{よういみゃく}の交わる場所であり、スピリットを押し込めた結果として生じる顎關節症などに有効。心の不調を癒す經穴^{ツボ}であり、病の根本原因や根源に働きかける。前世を含む性的虐待の心の傷を癒すのに役立つ

(8) 「胃經」のラインである「頬車」^{きょうしゃ}、「下關」^{げかん}、「頭推」^{ずい}の經穴^{ツボ}に、音叉を1本ずつ動かす方法で刺激していく。1回ずつ音叉を左右入れ替えながら3つの經穴^{ツボ}を刺激していく。胃經なので消化吸収に関係しており、皮膚という意味では、アトピー、乾癬^{かんせん}などの症状を抑える重要なライン。3つの經穴^{ツボ}は顔のむくみ、齒の痛み、顎關節症、三者神経痛、顔面神経麻痺、頭部の骨の歪みなどの症状^{たいおう}に対応している

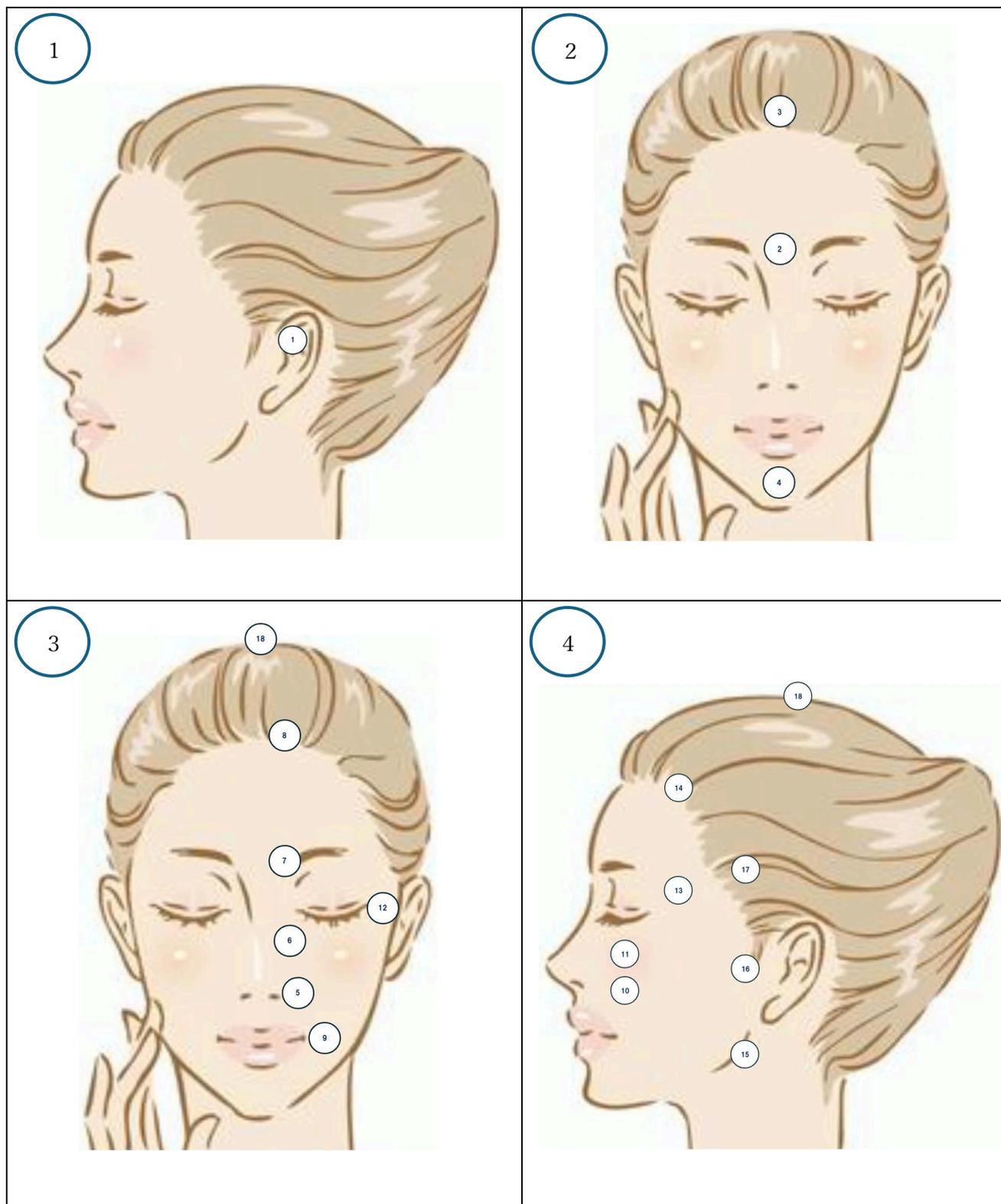
(9) 百会^{ツボ}の經穴^{すうかい}を數回刺激する。このままだと、エネルギーが靈的世界に行き過ぎているので、物質世界にエネルギーを戻すため、湧泉^{ツボ}の經穴^{すうかい}を數回刺激してグラウディングを促して終了

音叉フェイシャルケアで刺激する経穴一覧

フェイシャルケアで刺激する経穴一覧				
番号	経穴の名称	入門編セットの基音	ソルフェジオの音程	惑星音叉の音程
1	神門	136.1Hz	852Hz	満月（蝶形骨）
2	印堂	128Hz	852Hz	天王星（メラトニン）
3	上星	264Hz	852Hz	セドナ（脳梁）
4	承漿	136.1Hz	396Hz	土星（顎の骨）
5	迎香	128Hz	417Hz	冥王星（化学物質のデトックス）
6	鼻通	128Hz	852Hz	金星（副鼻腔炎の改善）
7	攢竹	132Hz	528Hz	海王星（視床、視床下部）
8	眉衝	264Hz	528Hz	海王星（脳脊髄液）
9	地倉	136.1Hz	396Hz	水星（歯の神経系の治療）
10	巨膠	136.1Hz	174Hz	木星（顔の骨に響かせる）
11	四白	132Hz	285Hz	金星（肌の透明感）
12	瞳子膠	132Hz	639Hz	木星（眼の症状の改善）
13	太陽	136.1Hz	285Hz	太陽（熱エネルギーの注入）
14	本神	136.1Hz	417Hz	火星（筋肉記憶の解放）
15	頬車	132Hz	741Hz	天王星（顎関節症）
16	下關	136.1Hz	741Hz	金星（三半規管）
17	頭推	128Hz	174Hz	土星（頭蓋骨）
18	百会	128Hz	963Hz	ニビル（宇宙エネルギー）

もうひとつのフェイシャルケアの方法は、各経穴を刺激していく方法があります

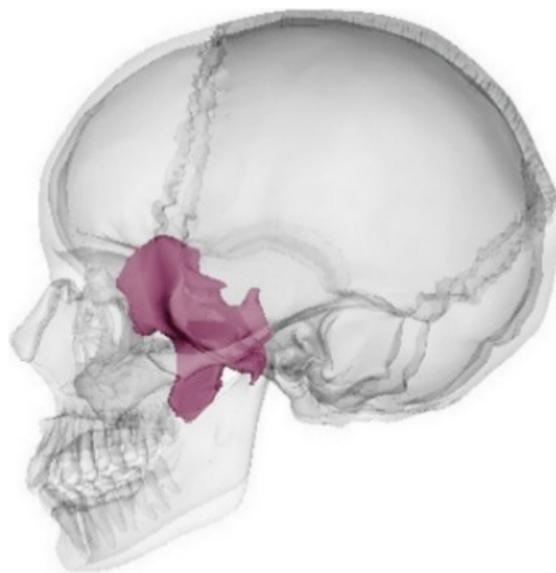
音叉で ^{フェイス}顔 の ^{ツボ}経穴を刺激する方法は、かなり膨大なパターンが存在します。そして、本当に必要な情報は、「頭をめぐる奇経八脈、十二経絡のルート」を覚えることです。それがフェイシャルケアの極意につながってきます。



呼吸を整え^{しんたい}身體をリラックスさせる^{ツボ}経穴「^{しんもん}神門」

^{しんもん}神門のツボの位置

耳の上部にあるY字形の軟骨のくぼみにあります。



日本には「^{しんもん}神門メソッド」というものが存在します。別名を「自律神経調整メソッド」といいます。このメソッドの創始者の飯島さんは、仙骨調整を安全にやる方法として^{しんもん}神門メソッドを完成させています。

^{しんもん}神門は、蝶形骨を刺激する^{ツボ}経穴のひとつです。蝶形骨は電気信号を送る器官であり、自律神経は「副交感神経」と「交感神経」のバランスで成り立ちます。自律神経のバランスが乱れるということは、「^{心臓脳}霊の心と^{大脳}肉の心のバランスの乱れ」を意味します。

^{心臓脳}霊の心は「副交感神経を通した静寂の状態」で働き、^{大脳}肉の心は「交感神経を通した緊張の状態」で働きます。この2つが乱れる状態とは「中途半端な状態」を表します。精神疾患とは中途半端な状態を指し、それが心、言動、行動の矛盾に繋がります。

^{しんもん}神門の^{ツボ}経穴は、呼吸を整えます。人間の呼吸は1日平均が「25920回」であり、呼吸の^{かいすう}回数が寿命にも関係してきます。また、電磁波の害を防ぎ、^{れいたい}霊体オーラと^{にくたい}肉体オーラのバランスを整えます。^{しんたい}身體が力を抜いて脱力するために必要な^{ツボ}経穴です。

細胞修復とコミュニケーション力の向上の経穴、「印堂」と「上星」



松果體の経穴「印堂」は、「心のシルバーコード」のある重要な箇所であり、「メラトニン」というホルモンの分泌に関係してきます。

メラトニンは睡眠に関係し、「眠気を促すホルモン」です。睡眠中、誰もが^{れいたい}靈體は靈界を訪れており、その間に^{にくたい}肉體は細胞修復を行います。

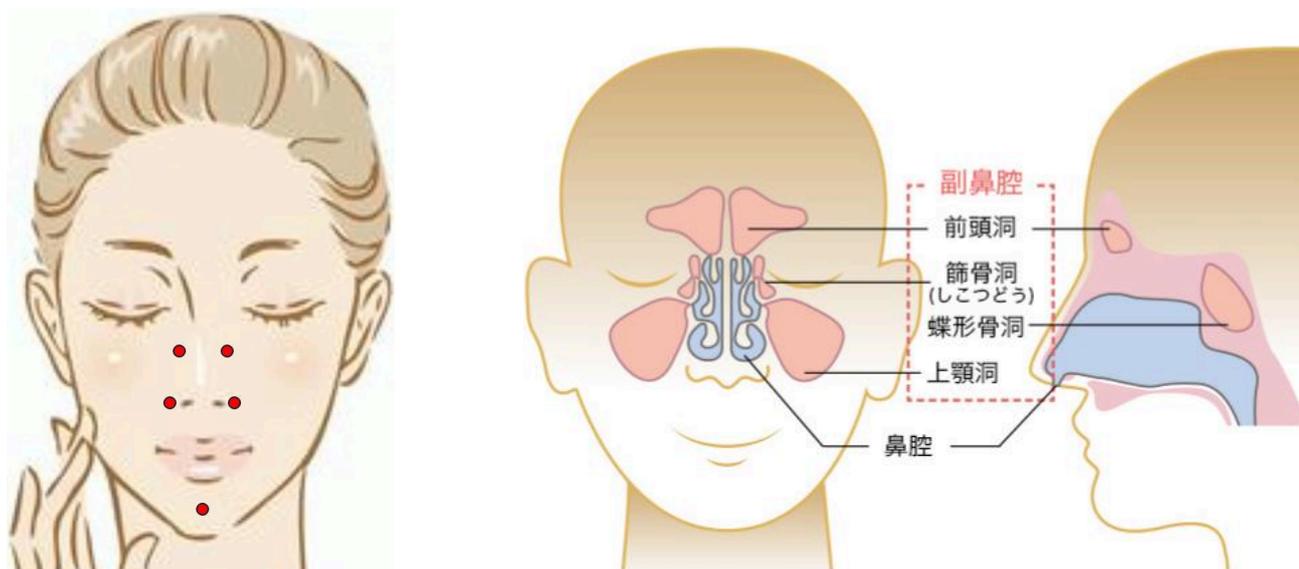
また、感情の抑揚もメラトニンがコントロールしており、メラトニンが電磁波により破壊されると、コミュニケーションに障害が起こるようになります。

脳梁の経穴「上星」は、「右脳」と「左脳」を繋いでいる箇所であり、左右の大脳半球をつなぐ太い神経線維の束で、約2億本以上の神経線維が集中しており、左右の脳の情報連絡を担う重要な役割を果たします。

印堂の経穴を刺激し松果體が活性化されれば、メラトニンの分泌も促進され、全身の細胞の若返りにつながります。メラトニンは電磁波、放射能、騒音などのストレスで破壊されていき、感情の抑揚などを失うことにも繋がってきます。

上星の経穴は「コミュニケーション力」に関係しており、右脳は「振動波でのコミュニケーション」、左脳は「言語でのコミュニケーション」を司ります。2つのツボを刺激する意味とは、既存の概念や構造を打ち砕く力を持つ自由と独立のエネルギーを表現することであり、^{D I K A G}顕在意識の革新、新しい生命とインスピレーションの創造を促す意味があります。

鼻腔と副鼻腔について



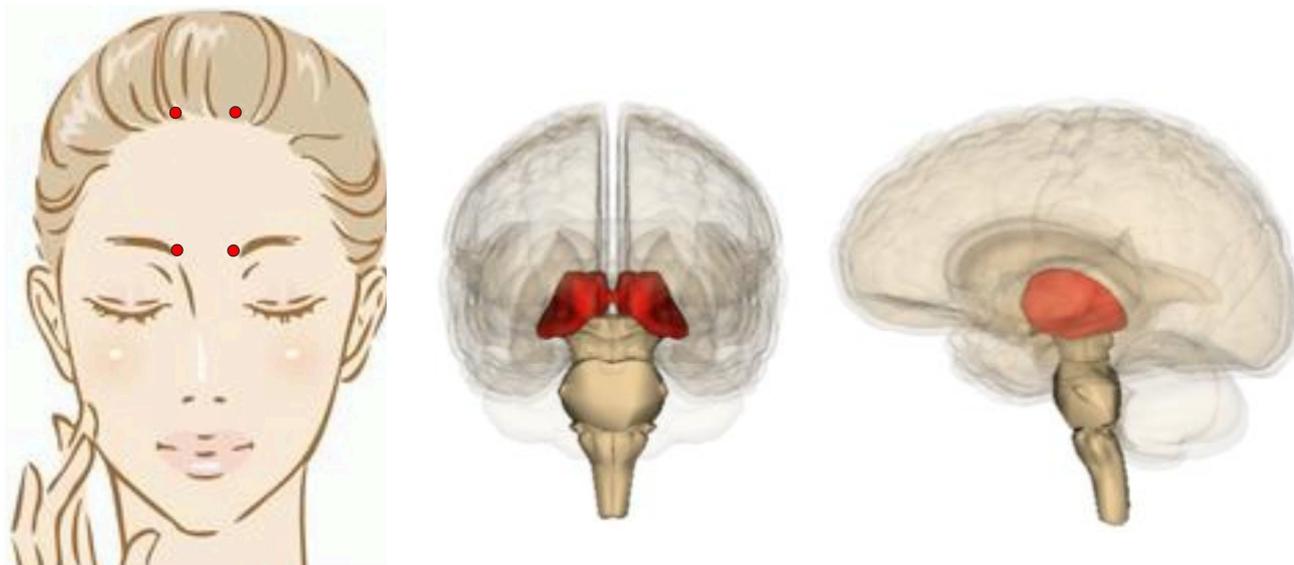
承漿^{しょうしょう ツボ}の經穴は、頭部で唯一の「陰經」であり、すべての陰經と繋がる「任脈」の經穴^{ツボ}です。下顎の中心の位置に經穴^{ツボ}があり、任脈として「生殖器」までのエネルギーの通り道になっています。漿^{しょう}の文字は、腦の組織から出る液體^{えきたい}（腦脊髄液^{C S F}）を表します。

承^{しょう}の文字は、上から下へのエネルギーの流れを表します。任脈は、蝶形骨から仙骨までのエネルギーの通り道（満月から新月のサイクル）です。承漿^{しょうしょう}は、腦脊髄液^{C S F}を上から下に流すという意味の名称になります。

迎香^{げいこう}と鼻通^{びつう}の經穴^{ツボ}は、迎香^{げいこう}が「鼻腔」、鼻通^{びつう}が「副鼻腔」と連動しています。鼻腔は鼻の内部の通り道であるのに対し、副鼻腔は鼻腔の周囲にある顔の骨の中に存在する空洞の総称です。副鼻腔は「視床と視床下部」とも連動しています。

どちらの經穴^{ツボ}も「鼻」に關係する經穴^{ツボ}であり、花粉症や鼻づまり、鼻水、肌荒れの改善に効果があります。迎香^{げいこう}は「大腸經」の經穴^{ツボ}ですが、大腸は「重金属」の蓄積が病氣に關わっており、如何に重金属のデトックスを促せるかが鍵になります。

視床と視床下部、^{C S F}脳脊髄液について

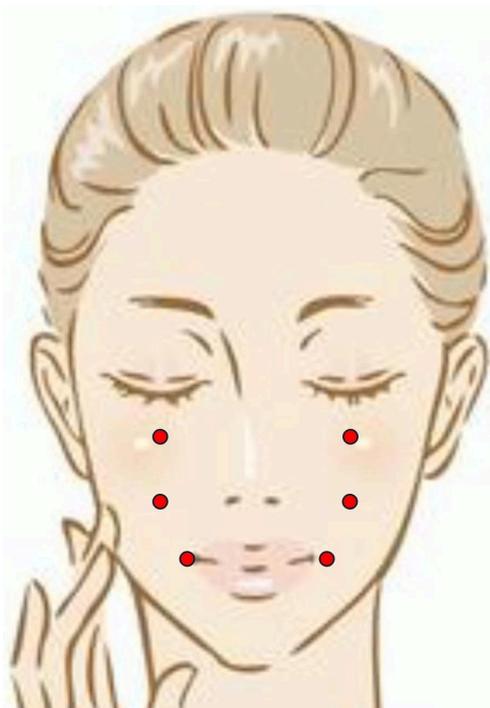


^{さんちく}攢竹と^{びしょう}眉衝は「膀胱経」の^{ツボ}経穴です。^{さんちく}攢竹は「視床」を刺激し「視床と視床下部」を活性化させます。視床は、「^大肉の心」と「^{にくたい}肉體」を通した「五感（味覚、嗅覚、視覚、触覚、聴覚）」の「中継地点」であり、「五感をコントロールしている器官」です。視床下部は、「^大肉の心」と「^{にくたい}肉體」を通した「生命活動をコントロールする司令塔」の役割をしています。

^{さんちく}攢竹を刺激すると、様々な要因で鈍っていた^{にくたい}肉體と五感が正常な感覚に甦ってきます。^{にくたい}肉體は五感が生命活動の命綱であり、五感が鈍るといことは生命活動の危機に直結してきます。五感が鈍る要因のひとつは「フッ素」です。また、「肉食」と「白砂糖」も五感が鈍る要因であり、日々の音叉による^{いのち}生命の調律は、五感を正常に戻すことが大切です。

^{びしょう}眉衝は、「^{のうしつ}脳室」を通して「^{C S F}脳脊髄液」を刺激します。^{たいえき}體液は主に「^{C S F}脳脊髄液」、「血液」、「リンパ液」の3種類に分類しますが、一番^{じんたい}人體で重要な^{たいえき}體液は「^{C S F}脳脊髄液」になります。しかし、現代地球文化では^{C S F}脳脊髄液について何も分かっていない状態に等しいレベルです。

^{C S F}脳脊髄液は、「DNA/RNA」のクリエイターであり、「^{いでんし}遺傳子の^{へんかん}構造變換」に関係しています

三叉神経に關係する3つの^{ツボ}經穴

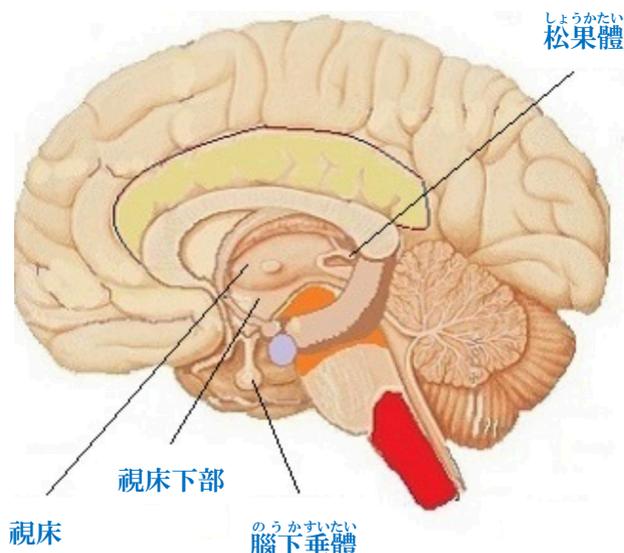
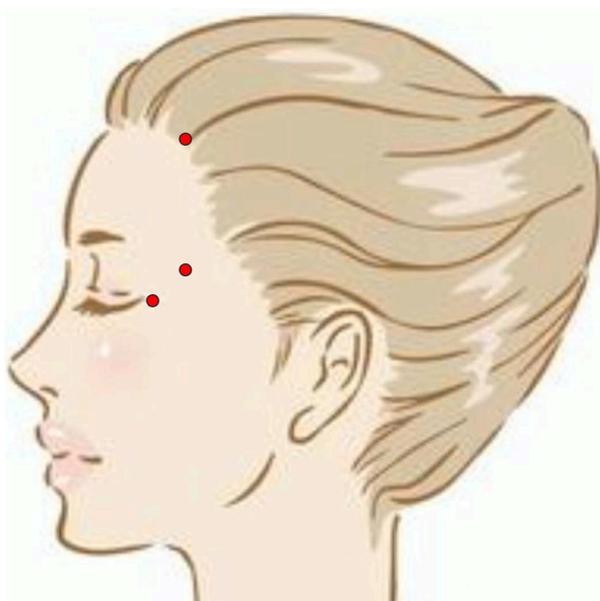
「^{ちそう}地倉」、「^{こりょう}巨髎」、「^{しはく}四白」は、「胃經」のラインの^{ツボ}經穴になります。3つの^{ツボ}經穴の中で特に重要な^{ツボ}經穴は「眼窩下孔」に位置する「^{しはく}四白」です。眼窩下孔は、顔面の皮膚や粘膜に感覚を支配する神経や、^{えいよう}營養を供給する血管が通る重要な解剖學的構造です。

^{ちそう}地倉、^{こりょう}巨髎、^{しはく}四白は、「三叉神経」に直結している^{ツボ}經穴でもあり、三叉神経をコントロールしている^{ツボ}經穴が「^{たいよう}太陽」になります。^{たいよう}太陽は「^{すいたい}脳下垂體」を刺激する^{ツボ}經穴であり、三叉神経は^{すいたい}脳下垂體を通してコントロールされていることに^{いがく}現代醫學は気づいていません。

三叉神経は、顔の感覚（痛覺、触覺、冷熱感）を^{つた}大脳に伝える役割を担っています。また、^{そしゃく}咀嚼に関わる筋肉の運動も担当します。顔の神経麻酔や、顔面部の外傷の診断、治療において、この構造への理解は不可欠です。

顔の痛覺、触覺、冷熱感、口の筋肉を正常に戻すための3つの^{ツボ}經穴です。

のう かすいたい
脳下垂體を刺激する「太陽」の經穴



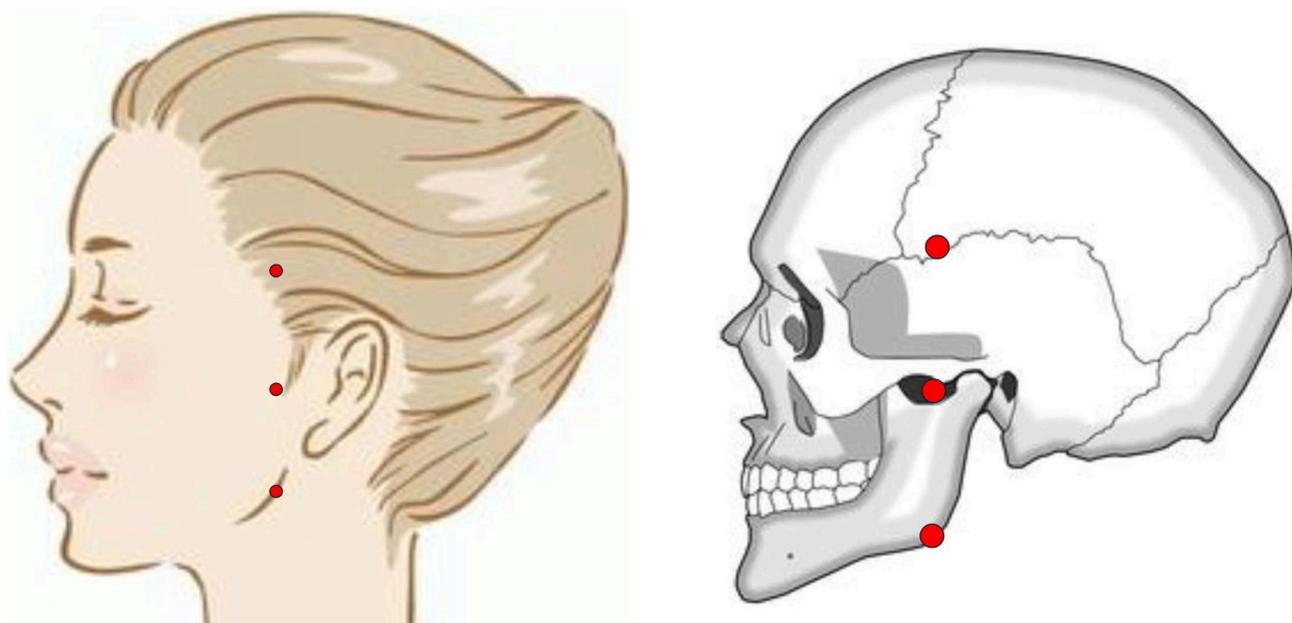
どうしりょう たいようほんじん ツボ
瞳子膠、太陽、本神の3つの經穴は、主な症状として、眼の疲労、視力の低下、頭痛、偏頭痛などの症状の改善有効になります。太陽は脳下垂體を刺激する經穴ですが、太陽は水晶宮を活性化させる上でも重要な經穴のひとつです。

クリスタルパレス
水晶宮は大脳の真ん中に存在しています。水晶宮は、「松果體、視床、視床下部、脳下垂體」のすべてを包み込んでいます。肉の心と靈の心を繋ぐ水晶宮は知覺、運動神經線維と神經組織が織り交ざり、密集したネットワークを形成しています。

すいたい
脳下垂體の主な働きは、視床下部からの命令を受けて、成長、代謝、生殖機能、ストレス反應など、体内の様々な機能を制御する多様なホルモンを分泌することです。これらホルモンが体内の特定の臓器に作用し、肉體の調子を維持する「内分泌中樞」として機能します。

大脳 にくたい
視床下部は、「肉の心」と「肉體」を通した「生命活動をコントロールする司令塔」であり、そこからホルモン生成をする器官が脳下垂體なのです。

大脳にある「感情脳」と「思考脳」をコントロールする^{ツボ}経穴



きょうしゃ げかん ずい ^{ツボ}の3つの経穴は、顔の「胃経」ラインのひとつです。主にカラダの消化吸収に関係してきます。3つの^{ツボ}経穴は、顔のむくみ、歯の痛み、顎関節症、三者神経痛、顔面神経麻痺、頭部の骨の歪みなどの症状^{たいおう}に対応しています。

^{大脳}肉の心の思考と感情は、「胃経」によりコントロールされています。本来、正常に機能すれば^{大脳}肉の心というのは迷いません。答えは必ずあるのですが、混乱しているとそれがわからなくなります。これは、思考が混乱しているという意味ではありません。^{大脳}肉の心そのものが混乱しているのです。

^{大脳}肉の心には「感情脳」と「思考脳」と呼ばれる部分があります。感情脳が何かの出来事でネガティブに^{はんのう}反応すると、思考脳は正常に働かなくなります。お互いがフィードバックシステムでつながっているので、感情脳が過剰な^{はんのう}反応をすると思考脳も停止してしまうのです。

^{大脳}肉の心が正常に機能していない状態でどんなに明晰に答えを考えようとしても、出てくる返事は混乱した答えしか返って来ません。

100人の人が混乱した^{大 脳}肉の心でどんなに議論しても、混乱した答えしか出てきません。それが地上世界の人間の殆どに起きてることです。地上世界の^{D I K A G}顯在意識の^{エゴ}EGHO意識に基づいた文化の中に生きているので、地上人は基本的に混乱していると言えます。

^{心 臓 脳}霊の心と^{大 脳}肉の心が一致していた場合、混乱という現象は起こりません。ハートマス研究所の研究により、「^{ハート}心臓脳」「^{マインド}大脳」、「感情」がエネルギー的に調和している状態になると、感情脳も思考脳も正常に機能し始めることが明らかにされています。

その3つの調和の鍵が「精神」です。精神とは、^{心 臓 脳}霊の心と^{大 脳}肉の心を繋ぐものであり、精神の反映が「星」になります。音叉セルフヒーリングが何故星々の音を使うのか、それは^{心 臓 脳}霊の心と^{大 脳}肉の心と感情を調和させるためです。

^{にくたい}肉體は^{にくたい}精神の従僕です。^{にくたい}精神は^{にくたい}肉體に隷属しているのではありません。^{にくたい}肉體は束の間の存在であり^{にくたい}精神は永遠の存在です。^{にくたい}肉體はいずれ朽ち果てます。精神が宿っている間だけ現在の形態を維持している一時的な存在です。それがその人ではありません。その人^{ひょうげんたい}の表現體であり、道具であり、地上で認識してもらうための手段です。

『シルバーバーチの靈訓 (五)』 p.122～p.123

また、感情は馬と同じです。手綱をうまく操っている間は役に立ちますが、いったんコントロールを失うと危険が生じます。抑えることができなくなると自分だけでなく他人をも傷つけるようになります。

感情は、^{心 臓 脳}霊の心の「理性」によりコントロールできます。感情は理性の働かせ方で抑えられるものです。理性という、感情を抑えようとする意志の欠如が感情を暴走させてしまうのです。残念ながら地上世界には理性で感情をコントロールする人が少なすぎます。

胃経は、潜在意識と顕在意識を繋ぐ唯一の経絡であり、胃経の眞の役割とは「情報（顕在意識）と経験（潜在意識）の統合」であり、情報と経験の統合が、「学びの本質的意味」です。

潜在意識の機能とは、過去の情報の管理、身體の各臓器、各器官、各組織のコントロール、靈界通信の靈媒現象など多岐に渡る用途が存在します。そして、靈媒現象をする上で最も重要な経絡が胃経なのです。

頰車、下關、頭推の3つの経穴は靈的世界と地上世界の橋渡しの役割をします。胃経は靈界通信をする上で「靈的世界」と「地上世界」を繋げるための経絡です。頰車、下關、頭推の3つの経穴は本質（靈的世界）と現實（地上世界）の差を取るために必要な経穴といえます。

頭の声（顕在意識）とカラダの声（潜在意識）は違います。本質と現實を結びつけ、再統合することが悟りの本質的意味です。眞理は顕在意識で様々な知識、情報を調べるだけでは絶対に身につけません。眞理を顕在意識で決心、實行、實體験して、ようやく気づき、學びに繋がります。

眞理とは「靈の心優位の努力」と「調和の實踐」のことで、潜在意識は気づき、顕在意識は理解を司ります。人間は顕在意識の情報の理解だけだと、潜在意識を通じた経験がないので、かえって眞理から遠ざかります。

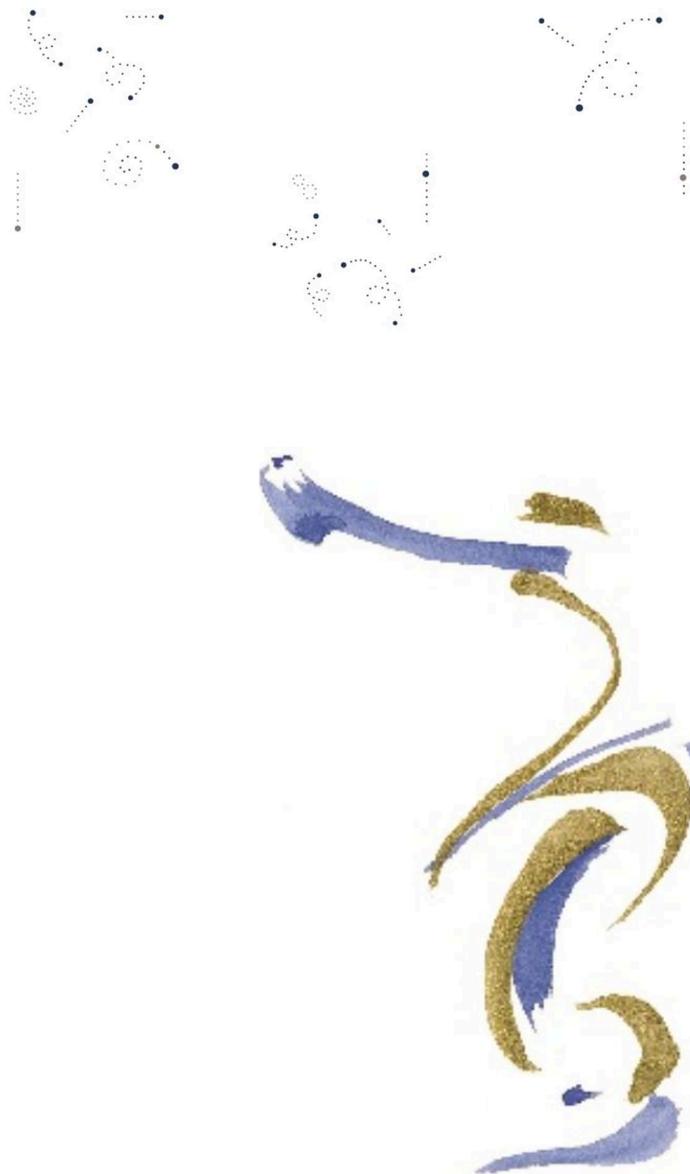
思考脳は直線にエネルギーが動き、感情脳は曲線にエネルギーが動きますが、それが顕在意識で結びついて脳内でリピートしてしまうと混乱という症状が起こります。3つの経穴への刺激は、理性と直観、感情と思考を結び、混乱状態をなくさせます。



第十五章

音叉による喉の調整法

再び大靈と繋がるための隠されたゲート
星々の音から無限のパワーを受け取る箇所
靈的世界と物質世界を超越したゲートウェイ



喉まわりの施術の意味について

^{まど}窓 (Window) : 内にあるものと、外にあるものを見ることができるようになる開口部
^{まど}窓は、存在の内的世界と外的世界の間に行き来を可能にし、探求と深い洞察の機会を与えます。

^{でんとうてき}伝統的な^{いがく}東洋^い醫學の書物を見渡しても、「(Windows to the Sky Points)」と呼ばれる「天の名前」のつく^{ツボ}經穴の用途に関する記述はほとんど見当たりません。天の名称のつく^{ツボ}經穴は、「靈的世界」と「物質世界」を超越した「ゲートウェイ」です。

靈的世界と物質世界の「ゲートウェイ」となる天の名称のつく^{ツボ}經穴は、主に「首」や「喉」の辺りに多くあります。歴史的に喉のチャクラは、コミュニケーション、声、つまり自己表現に関係してきます。

首は十二經絡で「膀胱經、胆經、三焦經」と繋がっており、首の經絡は、「脳幹の調整法」で使います。喉は十二經絡で「胃經、大腸經、小腸經」と繋がっており、「喉の調整法」で使います。

喉は、^{EXA PIECO D I K A G}靈の心と肉の心を結ぶ細い道であり、^{EXA PIECO}靈の心の中に眠る調和、^{あい}神意の心が、^{D I K A G}顯在意識の^{エゴ}EGHO意識を乗り越えて地上世界で具現化する上でのゲートウェイであり、自己表現、コミュニケーションにおいて喉は重要な箇所になります。

現代^{いがく}醫學で喉は非常に扱うのが難しい箇所であり、喉の手術は非常に成功率が低い箇所として^{いしゃ}醫者の中では共通認識されています。車の事故による「むち打ち」など、頸椎に打撃があるだけで様々な症状に見舞われることを考えても、非常にデリケートな部位です。

喉の原理と首の原理の違い		
奇経八脈	任脈（陰經の海）	督脈（陽經の海）
陰陽	喉	首
十二經絡	胃經、大腸經、小腸經	膀胱經、胆經、三焦經
影響する器官	生殖器	骨、筋肉、神経系統

首を管理しているのは「督脈」であり、「膀胱經、胆經、三焦經、胃經、大腸經、小腸經」という陽經すべてを管理コントロールしています。反対に喉を管理しているのは「任脈」であり、「胃經、大腸經、小腸經」を通して「生殖器」を管理コントロールしています。

喉の部位は、「任脈を通して感情と肉體が生殖器系に共鳴し、^{にくたい}幽體（^{ゆうたい}エーテル體^{たい}）と情報をフィードバックする関係」です。喉のエネルギーの歪みによる症状は、失声、甲状腺機能の^{こうしん}亢進、婦人科系のトラブル（子宮筋腫、卵巣嚢腫、子宮内膜症）、男性の場合は前立腺炎や泌尿生殖器系のトラブルとして表れます。

首のエネルギーの歪みによる症状は、首の凝り、こわばり、むち打ち、筋肉の緊張などを始めとして、頸椎や脳幹の歪みによる症状である認知症、アルツハイマー、パーキンソン病、てんかん、手足の痺れ、^{けいれん}痙攣などのトラブルとして表れます。

なので、「喉」と「首」は厳密には部位が異なり、セルフヒーリングの調整方法も違ってきます。また、歴史的にみて喉は女性にとって非常に傷つきやすい部位です。しかし、男女ともに前世はどちらの性別も経験しているので、これはエネルギーの流れに関係してきます。

喉には前世の舌切り、打ち首、生殖器切除、検閲、非難、迫害などの「細胞記憶」や「筋肉記憶」が残っており、その比重が女性のほうが多いというだけです。いずれにせよ喉はデリケートな部位であり、全身の部位の中で最も繊細なヒーリングが求められます。

入門編で使う喉まわりの^{ツボ}経穴一覧表

入門編で使う喉まわりの ^{ツボ} 経穴一覧表		
けいらく 経絡	^{ツボ} 経穴	^{ツボ} 経穴をセルフヒーリングする意味
任脈	てんとつ 天突	EXA PIECO D I K A G 霊の心と肉の心が一致した状態で、地上世界で理想を具現化させるために用いる
胃経	じんげい 人迎	人の機嫌ばかりとろうとして、他人に利用されて人間関係に憤りを感じている状態の改善
大腸経	ふとつ 扶突	過去の ^{たいけん} 体験を飲み込めない、消化できない状態から脱却する時に有効な ^{ツボ} 経穴
小腸経	てんそう 天窓	現実を直視できない、他人を責めるパターンに捕らわれている場合に用いる
小腸経	てんよう 天容	自分の ^{D I K A G} 顕在意識の勝手な解釈、思い込みを浮き彫りにし、誤解を解く場合に有効な ^{ツボ} 経穴
胃経	けつぽん 缺盆	^{れいたい} 霊體と深く結びつく ^{ツボ} 経穴で、 ^き 靈的エネルギーを補充し ^{しんたい} 氣力を回復するために用いる
胃経	きこ 氣戸	奇經八脈のエネルギーの ^{もんこ} 門戸のひとつであり、呼吸を深くし ^{しんたい} 身體をリラックスさせる ^{ツボ} 経穴

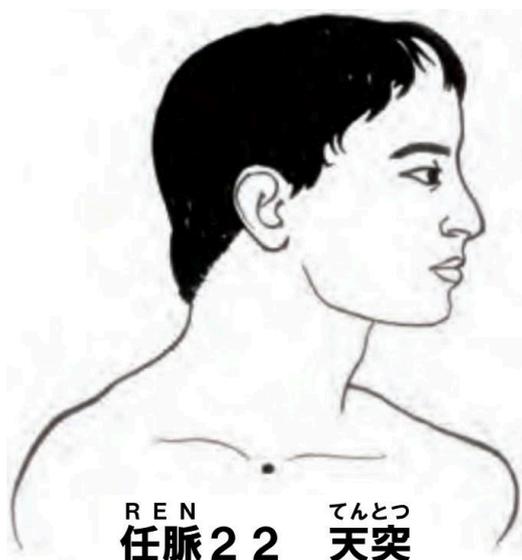
音叉によるセルフヒーリング入門編で使う喉まわりの^{ツボ}経穴は全部で「7個」です。最初の頃は喉まわりにヘヴィーフォークの音叉を当てるよりも、フォークの音叉を喉まわりに鳴らすことを推奨します。

何故なら喉の^{ツボ}経穴はあまり強靱な部位ではなく、痛みに弱いデリケートな部位だからです。喉の^{ツボ}経穴は、「督脈」と「任脈」のエネルギーの流れをクリアリングした状態でないと、喉まわりから^{ろうしゅつ}漏出したエネルギーから低級霊の憑依を招く危険性があるからです。

喉の^{ツボ}経穴は、低級霊や邪悪霊が簡単に取り憑ける部位であり、きちんと^き靈的エネルギーを^{しんたい}身體に循環させているかがヘヴィーフォークを使うかどうかのポイントになります。

入門編セットでの喉まわりの部位の^{ホームトーン}基音は、「128Hz」が基本であり、ソルフェジオ音叉での^{インターバル}音程は「417Hz」と「741Hz」が基本になり、惑星音叉での^{インターバル}音程は「水星（甲状腺）」と「金星（副甲状腺）」が基本です。

喉の最重要の経穴、^{ツボ}「天突」について



^{てんとつ}天突の経穴は、会話とコミュニケーションに関係している感覚器です。^{タオ}道教の生理學では「舌」は「心臓」と繋がる感覚です。心臓と繋がる経絡は「小腸経」であり、それが会話の鍵になります。

自分の持っている考えを、強力に、かつ明確に話す能力は、^{心臓}靈の心と^{大脳}肉の心と、任脈を通して喉の経絡が開いているかで決定されます。

^{てんとつ}天突の経穴は、「話をする」→「呼吸をする」→^氣「靈的エネルギーを循環させる」という風に^{タオ}道教では捉えられており、呼吸と^氣靈的エネルギーの循環と関連性があると考えられています。なので^{てんとつ}天突は、「^き氣エネルギーである^靈奇経八脈をコントロールする^{ツボ}経穴のひとつ」であると^{タオ}道教では見なされています。

また、「甲状腺」は^{てんとつ}天突のすぐ上にあり、「気管」を取り巻いている甲状腺は、カラダ中の「内分泌腺」の中で最も大きな腺です。内分泌腺とは「^{ホルモン}靈體オーラ」を作り出すことによって「^{れいたい}靈體」と「^{にくたい}肉體」の「新陳代謝」をコントロールしています。

^{てんとつ}天突をセルフヒーリングすると、^{心臓}靈の心の奥底にある、^{大脳}肉の心によって押し殺された悲しみや怒りを解き放ち、喉をすっきりさせます。他人に押し付けられた生き方から生じる行き場のない憤りを冷まし、思考に冷静さを与えてくれます。

そもそも「声」と「言葉」は違います。「声とは本質の音（火）」です。「言葉とは取り繕ったメッキ（金）」です。喉は、それらを「統合（土）」して自己表現をするために存在します。

コミュニケーションに關係する人迎と扶突の經穴



胃經の經穴である人迎は、人の機嫌ばかり
とって自分の感情を見失っている人に役
立ちます。

喉の詰まり、自信を奪われた状態、見下さ
れた感じ、心を閉ざしている、言いたいこ
とを言えない場合に人迎の經穴を使いま
す。

土のエレメントの人は、他人に迎合することは、必ずしもプラスにならないことを知る必要
があります。

大腸經の經穴である扶突は、過去に執着しているか、非現實的な未來を夢見て、他者とコミ
ュニケーションがとれない、話せない、人前で緊張してしまうなどの症状の際に用います。

恐れから自分を守るために生み出してしまった、靈的進化の妨げになっている自己保身や防
御プログラムなどの習慣を手放しやすくします。何かをやり遂げようとする意志はあっても、
行動に移せない、現實化することが出来ない人、精妙なエネルギーにつなげられない人にも有
用です。

この經穴は、エネルギー的に肺と繋がっているため、過去の深い悲しみ、古い思考パターン
や、未熟な意識を手放す悲しみを解き放ちます。そうすることで、現實的な未來を現實に創
造していき、輝かしいビジョンを見ることができるようになります。

前世、インナーチャイルドに關係する天容と天窓の經穴



てんよう ツボ
天容の經穴は、難聴、耳鳴り、喉の
痛み、頬の腫れ、喉の異物感に作用
し、詰まりを取り除きます。

S I てんよう
小腸經 17 天容
S I てんそう
小腸經 16 天窓
宇宙の法則を學ぶ時期が近づくに
つれ、地上人は「恐怖心」を抱きま
す。そこには「前世」からの隠され
た問題があります。

しかし、ほとんどの地上人は、隠された問題と向き合うことを「無意識に拒否」します。そして、その問題にフォーカスされないように、無意識に問題の焦点をすり替えようとします。

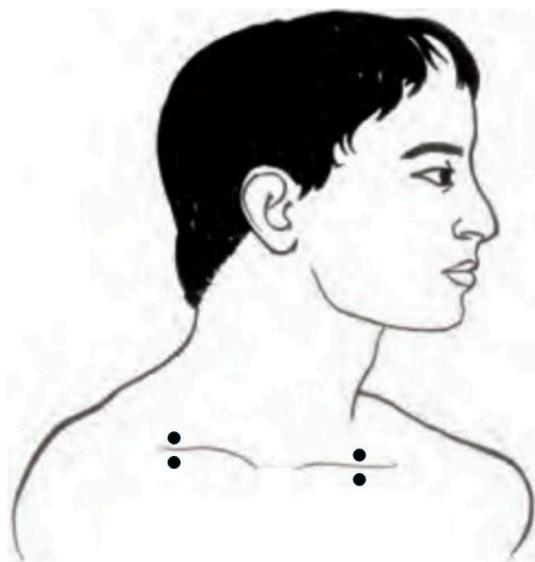
てんよう ツボ
天容の經穴は、そうした顯在意識による勝手な解釈、勘違いを浮き彫りにします。

エゴ D I K A G てんよう
EGHO意識を手放し、顯在意識が問題の解決に向き、自分が成すべきことを自覺します。天容
は、てんそう
天窓よりも、よりエネルギーの源に近いので、パワフルかつ精妙なツボになります。

てんそう ツボ
天窓の經穴は、突発性失声、耳鳴り、首の痛みにも有効です。痛みの原因が、見るべきものを直視できない、他人を責めるパターンにとらわれている場合に用います。あらゆる種類の感情的後退や、過去に關する未解決のパターンや問題に対処します。

PTSD やむち打ちによる意識の混濁やかすみ目にも有効です。スピリチュアルレベルの明晰さをもたらす、過去と未來を區別し、靈的本質への深いつながりをもたらすツボになります。そして、靈的世界への扉が開かれていきます。

氣エネルギーの循環に係る^{けつほん}缺盆と^{きこ}氣戸の^{ツボ}經穴



S T ^{けつほん} 胃經 1 2 缺盆
S T ^{きこ} 胃經 1 3 氣戸

胃經の^{ツボ}經穴である^{けつほん}缺盆は、鎖骨リンパの老廃物を排出し、咳、喘息、喉の痛みなどに用います。

老廃物を排出することで、顔のむくみを改善し、血色をよくします。また、喉の炎症などの症状などにも有効です。

リンパマッサージでは一番重要視されている箇所であり、温熱療法でも^{けつほん}缺盆のまわりを温めることで、フェイスラインを細くすることが可能です。また、言いたいことを言葉で表現できない人の場合、^{けつほん}缺盆の^{ツボ}經穴を刺激することで、きちんと相手に^{つた}傳わる形で表現することが出来るようになります。

胃經の^{ツボ}經穴である^{きこ}氣戸は、「氣管」「氣管支」を意味しています。^{れいたい}靈體は「氣」エネルギーを司ります。^{きこ}氣戸は「氣エネルギーの循環のゲートウェイ」であり、停滞した氣分を持ち上げたり呼吸器系の疾患に用いることの多い^{ツボ}經穴です。

人は恐れや悲しみにより、氣管支にダメージを受けると呼吸を乱します。^{かんぼう}感冒、氣管支炎、肺結核、胸膜炎、心臓の氣エネルギーの枯渇による心臓疾患、乳腺炎、肋間神経痛などの症状などに用います。人から何かを責められネガティブ思考になっている際に有効な^{ツボ}經穴です。

喉まわりの^{ツボ}經穴のセルフヒーリングは、自己表現にとって重要度の高い部位になります



第十六章

ハート、お腹のセルフヒーリング

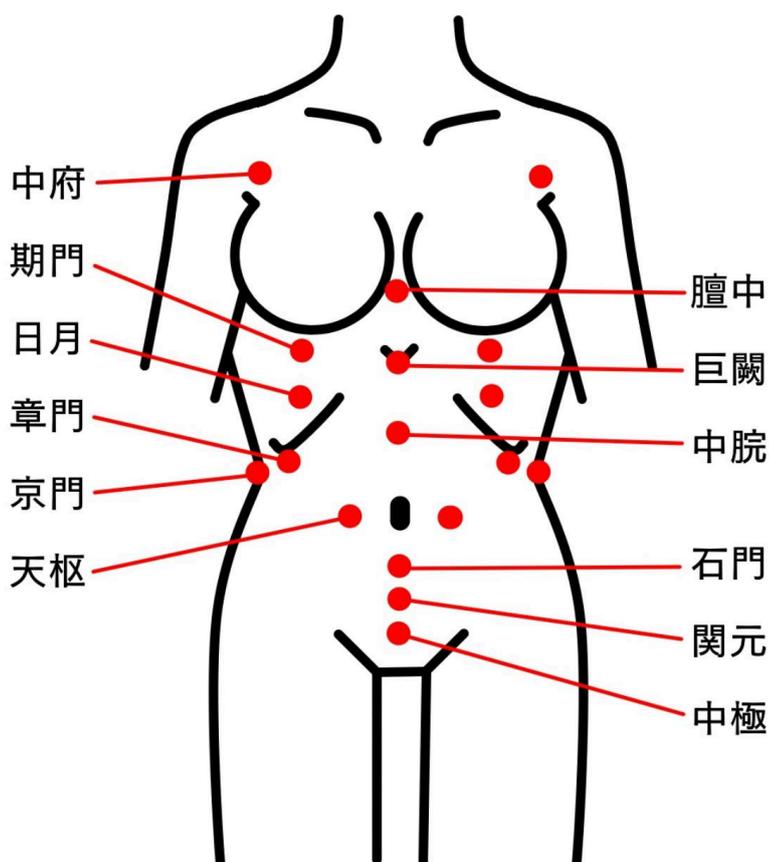
セルフヒーリングの極意は神意と感謝

EXA PIECO
靈の心の人生のプログラムと潜在意識の声

腸を通した潜在意識はすべてを記憶している



氣エネルギーが集まる募穴ほけつを使ったセルフヒーリング



五要穴の「募穴ほけつ」と「愈穴ゆけつ」は「一対いつつい」の関係性にあります。

正面ほけつ：募穴

背面ゆけつ：愈穴

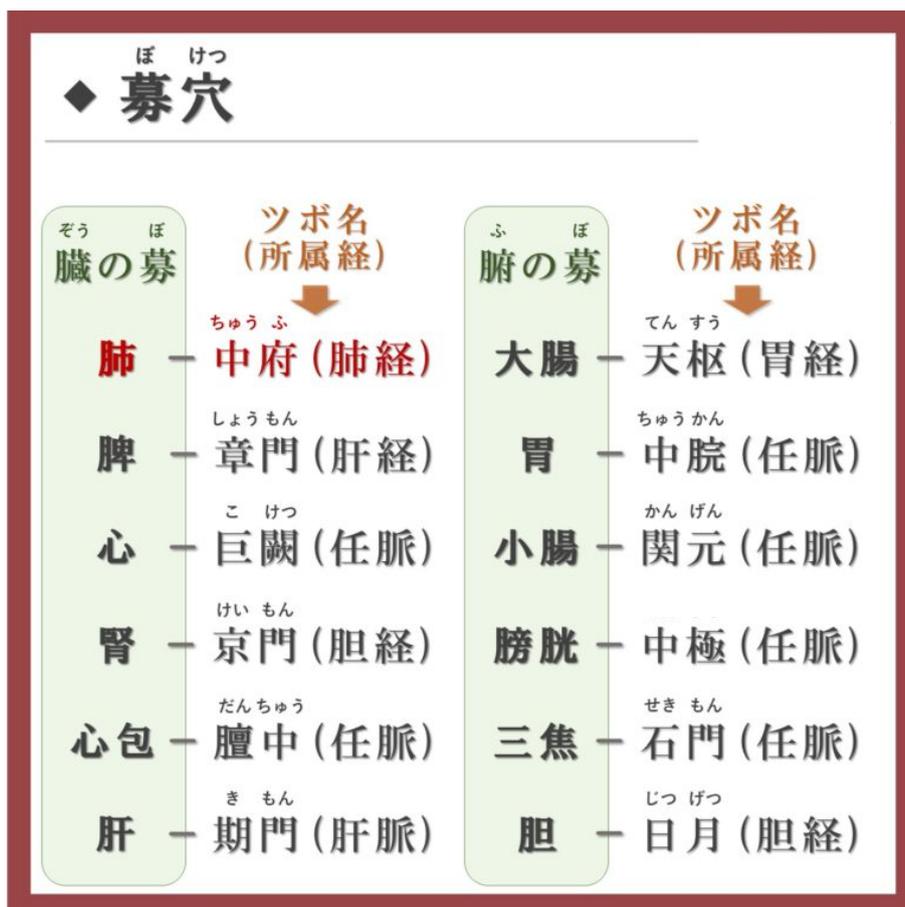
背面の愈穴ゆけつが各内臓の「氣の注ぎ口」であり、正面の募穴ほけつが各臓腑の「氣が集まるツボ経穴」です。

募穴ほけつは主にお腹まわりに集中しているのが特徴であり、そのため腸に全身の氣エネルギーが集まります。

自分自身の内臓のチェックをする際、基本的に「募穴ほけつ」と「腸心マップ」を通して内臓の状態を日々確認します。例えば腎臓ならば「京門けいもん」、肝臓ならば「期門きもん」の経穴ツボを通して、健康面で大切な「肝腎要」の状態をチェックします。

募穴ほけつは「正中線」に6個あるため、正中線をチェックするだけでも、その日の「氣」の状態が分かります。人間は「氣」に1日を左右されます。「氣」が精神や感情にも影響を与えるので、氣を整えることが自己コントロールの要であるとも言えます。

「氣とは万物に宿る自然法則」であり、万物は氣という自然法則に支配されています。天氣、空氣、氣象、陰氣、陽氣、氣圧、湿氣、香氣、臭氣、瘴氣しょうき、蒸氣、氣化、氣體きたい、換氣、氣分、氣持ち、氣まぐれなど、氣に関する言葉を羅列すると意味が分かると思います。



ここまでで情報を整理しますが、東洋思想には「^き氣、^{けつ}血、^{すい}水」の考え方があります。この中で募穴と俞穴は「^き氣」に該当し、原穴と郄穴は「^{けつ}血」に該当し、絡穴は陰陽の対のエレメントを繋げる^{ツボ}経穴なので「^{すい}水」に該当し、五要穴の考え方が完成します。

東洋思想の「 ^き 氣、 ^{けつ} 血、 ^{すい} 水」について			
東洋思想	エネルギーの流れ	エネルギーの分類	エネルギーの触媒
^き 氣	奇經八脈 (靈體)	靈的エネルギー (DNA)	宇宙、星々、音
^{けつ} 血	十二經絡 (肉體)	生命エネルギー (RNA)	太陽、地球、月
^{すい} 水	仙骨、蝶形骨、 ^{か だきょうせき} 華佗夾脊	シルバーコード (DNA/RNA)	海、川、髄液、リンパ液、血液

そのエネルギーは最終的に、カラダの中心の丹田（へその部分）に、合流した大きなエネルギーが集まってきます。その丹田を鍛えるのが「内丹術」と呼ばれる極意になります。

ぼけつ 募穴による内丹術の意味

道教の内丹術においては、カラダの中の氣、血、水のエネルギーに働きかけることと、感情に働きかけることは密接に関わり合っています。カラダの氣エネルギーの循環の障害の多くは、ネガティブな感情によって作られてしまったと考えられています。

募穴を刺激することにより、内臓に溜まったネガティブな感情を浄化し、滞ったエネルギーを有用な氣エネルギーへと引き戻し、内臓に自然に備わっている特質を高めること、内臓の持つ本質的なエネルギーである「徳」を積むことが出来ます。

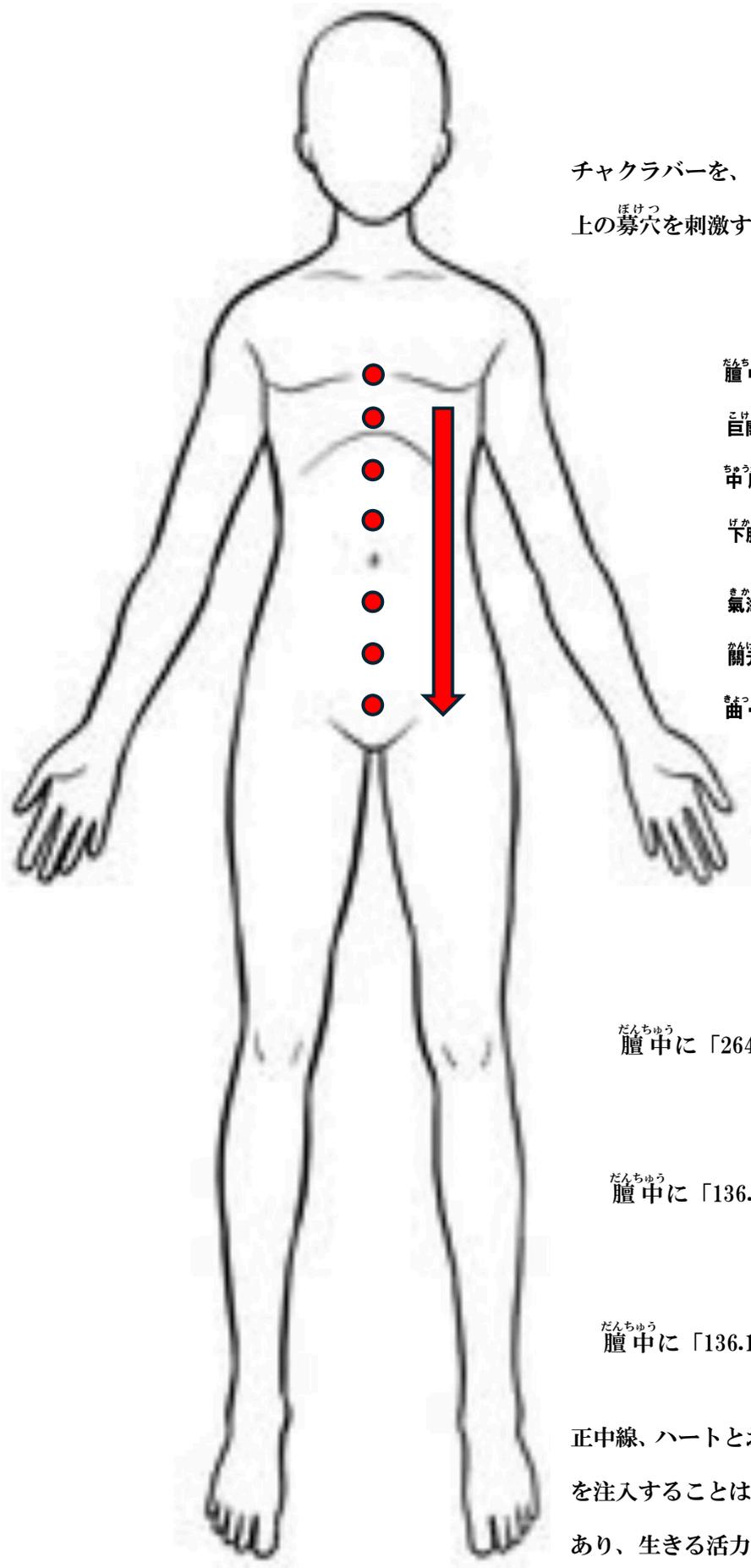
靈性の進化とは「善行」、「陰徳」を積み上げることが基本です。陰陽五行では、意志の強さ、徳の所有、徳の分かち合い、誠實さ、正義、叡智、智恵という徳が存在します。これらの徳を引き出すのが募穴の真髄なのです。

募穴を使ったセルフヒーリングは、「任脈」にある經穴を刺激するのが基本になります。任脈上には6個の募穴があります。「膻中（心包）」、「巨闕（心臓）」、「中脘（胃）」、「石門（三焦）」、「關元（小腸）」、「中極（膀胱）」になり、これを導入編セットおよび入門編セットで刺激し、氣エネルギーを練り上げます。

任脈上の募穴を使ったセルフヒーリングの方法は何パターンもありますが、1つ目のパターンは、1本目の音叉を膻中に当て、もう1本の音叉を任脈上に下がっていき募穴を刺激する方法と、2つ目のパターンは、1本目の音叉を曲骨に当て、もう1本の音叉を任脈上の膻中まで上がっていき刺激する方法などです。

満月から新月のサイクル時は、下がる方法が有効であり、新月から満月のサイクル時は上がる方法が有効です。また、特定の募穴のみに2本の音叉を当てる方法も有効であり、自分自身でセルフヒーリングの方法を創造していくことが大切です。

チャクラバーを、⁴F、³E、²D、¹Cと鳴らしてから任脈上の^{ほけつ}募穴を刺激すると、より効果的に内丹術が可能



臆中	639Hz
巨關	
中腕	528Hz
下腕	
氣海	
關元	417Hz
曲骨	396Hz

【導入編ツール】

臆中に「264Hz」、6個の^{ツボ}經穴に「132Hz」

【入門編ツール】

臆中に「136.1Hz」、6個の^{ツボ}經穴に「128Hz」

【初級編ツール】

臆中に「136.1Hz」、8個の^{ツボ}經穴に「68.05Hz」

正中線、ハートとお腹を同時に刺激し、氣エネルギーを注入することは、「生命力」をチャージすることであり、生きる活力を与えます。

胸まわりの募穴は「期門」と「中府」であり、この経穴も内臓の調整でよく使う経穴です。この経穴は十二経絡のラストとスタートの流れを司っています。

期門の経穴のソルフェジオ音叉の基音は「174Hz」であり、これは多臓器に働きかけ、筋肉を弛緩し瞑想的な音である「ゾディアック（172.06Hz）」と近似値が理由です。



肺經 1 中府

肝經 14 期門

期門と中府の経穴		
経穴	十二経絡	エネルギーの流れ
中府	肺經のスタート	エネルギーの循環のスタート
期門	肝經のラスト	エネルギーの循環のラスト

胸まわりの募穴の「膻中（心包）」、「期門（肝臓）」、「中府（肺）」、「日月（胆嚢）」は、「氣エネルギーの新陳代謝」に直結している経穴です。

【募穴のシステムのメインとサブ】

靈體のエネルギーの循環「期門、中府」と「巨闕、關元」

肉體のエネルギーの循環「日月、章門」と「中極、石門」

靈肉兩方を統合させる「中脘、膻中」と「天樞、京門」

これが募穴のシステムの中核です。

肝臓は氣エネルギーの循環の大きな通り道であり、肝臓が滞ると精神に變調をきたします。その大きな原因は「鬱積した感情」をカラダの中に飲み込んでしまっているためです。

期門への刺激は、感情の過剰な高ぶりを鎮め、肝臓の細胞をオープンにさせることにより、すべての経絡のエネルギーの流れをよくします。肝臓の機能が低下すると、様々な肉體的な問題が生じてきます。

夜に頻繁に起きてしまうなどのケースは、肝臓が動いていないことにより生じます。期門は俯瞰的なビジョンを授け、中府を通して宇宙に触れます。眞の自己、本質への重要なヒントを得て、生まれる前に決めてきた人生のテーマ、宿命につながる道を開きます。

アルコールの問題にも期門は対応しており、脂肪代謝に関連する消化器系の問題、糖尿病と低血糖、体重の増加、摂食障害、血液とリンパ液の不均衡に期門の経穴は有効です。新陳代謝促進などを含めたダイエット全般にも期門の経穴を用います。

肺経の始まりの経穴である中府は、肺の全エネルギーが集まる経穴です。期門で完結した経絡の流れを、新たなサイクルの始まりに繋げます。胸のエネルギーを調整する経穴として、喘息や咳、肺の滋養に用いられます。

中府の経穴のソルフェジオ音叉の基音は「285Hz」であり、多次元領域に働きかける音叉が有効です。惑星音叉の基音は「海王星 (211.44Hz)」です。

肺は心臓とバイナリーの関係であり、肺の「悲しみ」と心臓の「喜び」は感情ではありません。喜びと悲しみは「調和度の目安」であり、調和度というのが重要になります。喜びは、より精妙な宇宙の神意の振動波に同調する時のその存在のエネルギー反応。悲しみは、宇宙の神意の振動波から遠ざかる時のエネルギー反応です。

より「宇宙との調和度」の高い方向、靈的眞理に同調することを受け入れることを「素直」といいます。現状を維持するために靈的眞理を拒否しようとする反応が「反發」です。反發は顕在意識のEGHO意識が関わっており、その反發を抑えるのが中府の経穴になります。

募穴は、京門の經穴のみ背面であり、お腹まわりの募穴は日月、章門、巨闕、中脘、石門、關元、中極、天樞になります。その中で、京門以外でまだ説明していない募穴は、日月、章門、天樞の3つの經穴になります。



日月は胆嚢、章門は脾臓、天樞は大腸の募穴です。この3つの經穴はお腹のセルフヒーリングでも使う頻度の多い經穴であり、胃腸の調子を整えます。

G B 胆經 24 日月
L I V 肝經 13 章門
S T 胃經 25 天樞

日月、章門、天樞の經穴		
募穴	惑星音叉	意味
日月	火星「144.72Hz」	感情のコントロール
章門	土星「147.85Hz」	不安、取り越し苦勞の払拭
天樞	冥王星「140.25Hz」	手放せないEGO意識を手放す

胆嚢は「感情レベルのコントロール」を司ります。胆嚢に共鳴する惑星は「火星」であり、火星は胆嚢、副腎、赤血球、筋肉と密接に関係します。

火星は「行動力」を司り、日月は行動力に関係します。現代地球文化でいう感情とは「顯在意識レベルの疑い」であり、行動することへの疑いが日月に蓄積されます。身動き取れない状態から行動するには勇氣が必要になります。

日月の文字は「日と月」、「日と月」、「火水」を意味します。陰陽五行と言うように、地上世界は「二元性」に分ける習性がありますが、靈的世界は一元性の世界です。一元性とは、すべての本質は「大靈」を根源、原理にしているということです。日月のソルフェジオ音叉の基音は「285Hz」であり、二元性を一元性に導くために必要な周波数です。

脾臓、虫垂、盲腸は、「宇宙から調和のとれたエネルギーの直接入ってくる臓器、器官」です。その脾臓を刺激する經穴が章門ツボ しょうもんであり、靈的エネルギーが入るゲートです。その靈的エネルギーを阻害するものは「恐怖心」であり、人類最大の敵になります。

恐怖心こそ人類最大の敵です。恐怖心は人の心を蝕みます。恐怖心は理性を挫き、枯渇させ、マヒさせます。あらゆる苦難を克服させるはずの力を打ちひしぎ、寄せつけません。心を乱し、調和を破壊し、動揺と疑念を呼びおこします。

『シルバーバーチの靈訓 (一)』 p.61

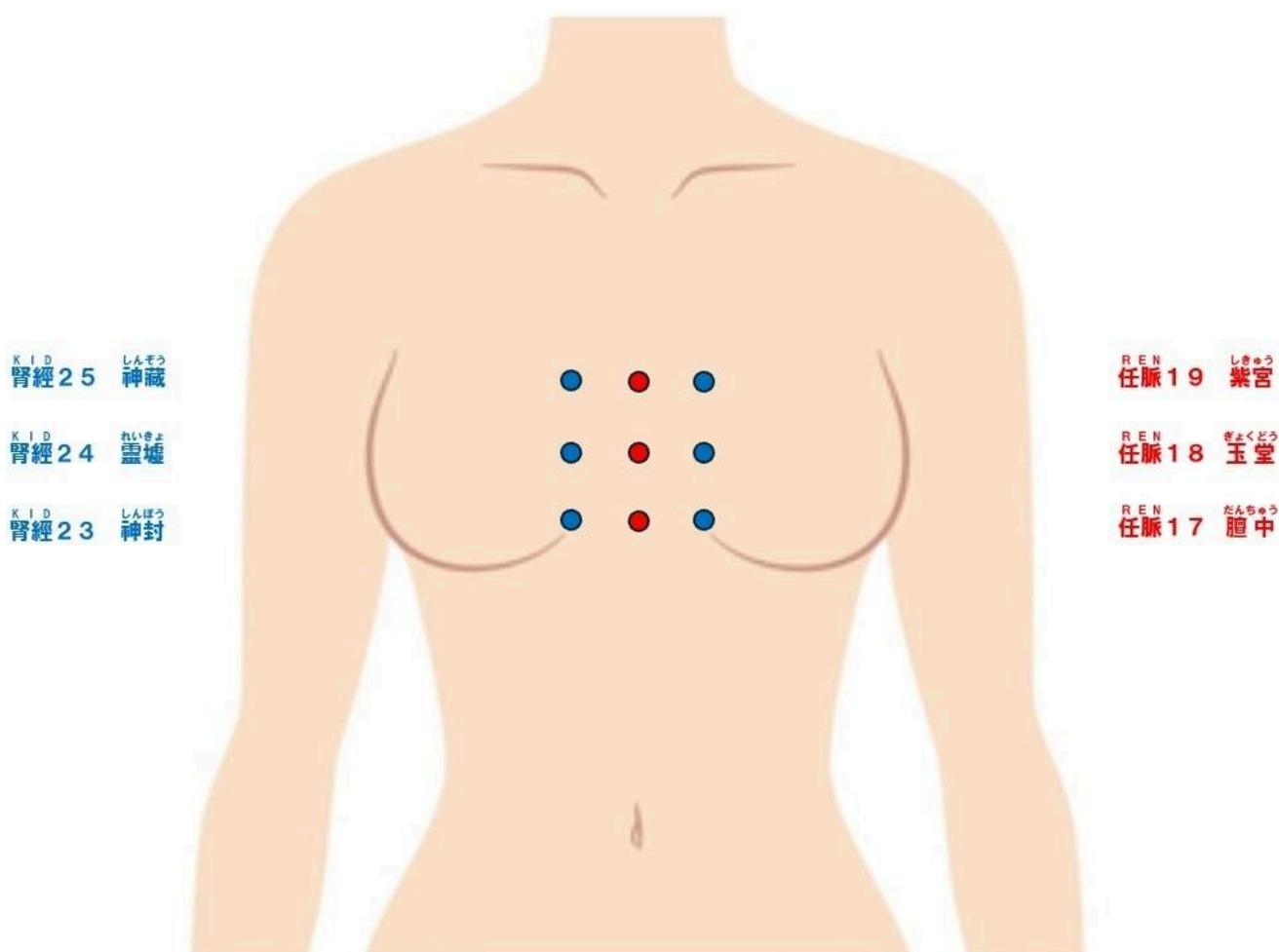
人間は不測の事態を常に不安に思いながら生きています。それは急激な現象の變化へんかがいつでも起こりうることを本質的に認識しているからです。病氣、事故、近親者の死などは特に人生の色相を一瞬にして塗り變える否定的な現象として不安の対象となっています。これらの衝撃は心身の平衡を保つことを困難にしがちです。

東洋醫學いがくの思想で脾臓は「不安」の感情を司っていますが、章門しょうもん ツボの經穴への刺激は、宇宙から調和のとれたエネルギーを肉體にくたいに直接注入することで、内なる静寂と安心感、宇宙のサポートへの信頼感を与えてくれます。

大腸の募穴ぼけつである天樞てんすうは、天と地のエネルギーが體內で交わるスポットです。樞は中樞など、中心を意味する文字です。天樞てんすうは、胃經のルートとして唯一頭と繋がっているルートであり、「潜在意識腸」と「顯在意識脳」を繋ぐ經穴ツボであり、ぐるぐる思考の方に特に有効な經穴ツボです。

この經穴ツボは、天と地のエネルギーをひとつに統合し、カラダに取り込むのをサポートします。肺のエネルギーともリンクしており、ガス、膨満感、消化不良、腸の痙攣けいれん（鋭い腹痛）、下痢、倦怠感けんたいかんなど、あらゆる消化器系の問題に役立ちます。疲勞ひろうにも有用で、地のエネルギーを天のエネルギーで満たします。

ハート ツボ 心臓のエリアの経穴の意味について



胸まわり、「心臓」と「心臓脳」のエリアには、「地上世界に誕生する前に決めてきた人生のブループリント青写真」が刻まれています。この図形が「算命學の人體星圖」と似ているのは偶然ではありません。古代中國よりの占星術である紫微斗數、算命學などの占星術は、「北極星」と「北斗八星」を基にした星圖であり、人生のブループリント青写真を読み解くための叢智でした。

天體の叢智が人體に反映されている、これが宇宙の眞理であり、人間は大靈に似せて造られた存在という神祕を感じます。この心臓、心臓脳を開く三大奥義が「水晶宮」、「仙骨八仙洞」、「奇經八脈」、そしてすべてを統合した最終奥義である「北斗八星ヒーリング」になります。すべては「靈の心と肉の心」を一致させ、「天命の九十始め」のために存在します。

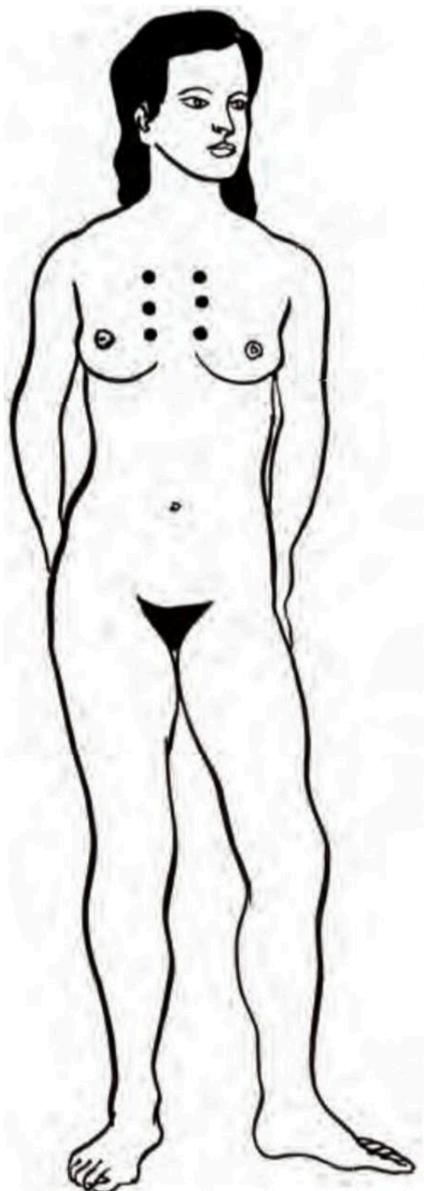
じんたいせいず ハート ツボ
 人體星圖と心臓のエリアの經穴

右、 ^{しんぞう にんみやく} 神藏（任脈） 前世	紫宮（ ^{しきゅう しょうみやく} 衝脈） SEPOU 背後靈	左、 ^{しんぞう とくみやく} 神藏（督脈） 幼少期
右、 ^{れいきよ いんいみやく} 靈墟（陰維脈） 家族との人間關係	玉堂（ ^{ぎよくどう} ） EXA PIECO 自分自身の靈、靈の心	左、 ^{れいきよ よういみやく} 靈墟（陽維脈） しゃかい 社會との人間關係
右、 ^{しんぼう ようきょうみやく} 神封（陽蹻脈） 晩年期	臆中（ ^{だんちゅう いんきょうみやく} 陰蹻脈） 兩親	左、 ^{しんぼう たいみやく} 神封（帶脈） 中年期

^{しんぞう}神藏は先天的な能力、持って生まれた資質や才能に關係する^{ツボ}經穴であり、^{れいきよ}靈墟は人間關係（左が^{しゃかい}社會での人間關係、右が家族での人間關係）を表す^{ツボ}經穴であり、^{しんぼう}神封は今世で後天的に培ってきた經驗、氣づきと學びが蓄積された^{ツボ}經穴です。

また、^{しきゅう SEPOU}紫宮が「背後靈（靈的世界の神の代理人）」、^{だんちゅう}臆中が「兩親（地上世界の神の代理人）」を表し、^{ぎよくどう}玉堂が「自分自身の本質」を表します。^{ぎよくどう}玉堂こそが、天地を統合する^{ツボ}經穴であり、これらは「人生の羅針盤」として生きる指針になる叡智です。

^{ハート}心臓を活性化させ、^{EXA PIECO}靈の心と繋がった状態で地上世界に生きることが^{いのち}生命の調律の目的です



K I D しんぞう
腎經 25 神藏

K I D れいきよ
腎經 24 靈墟

K I D しんぼう
腎經 23 神封

人間の本質は「^{にくたい}靈」であり、肉體は従者です。
^{心 臓 脳}靈の心は^{れいたい}靈體と^腸潜在意識に深く関わっている
ので、「腸心マップ」にも反映されます。

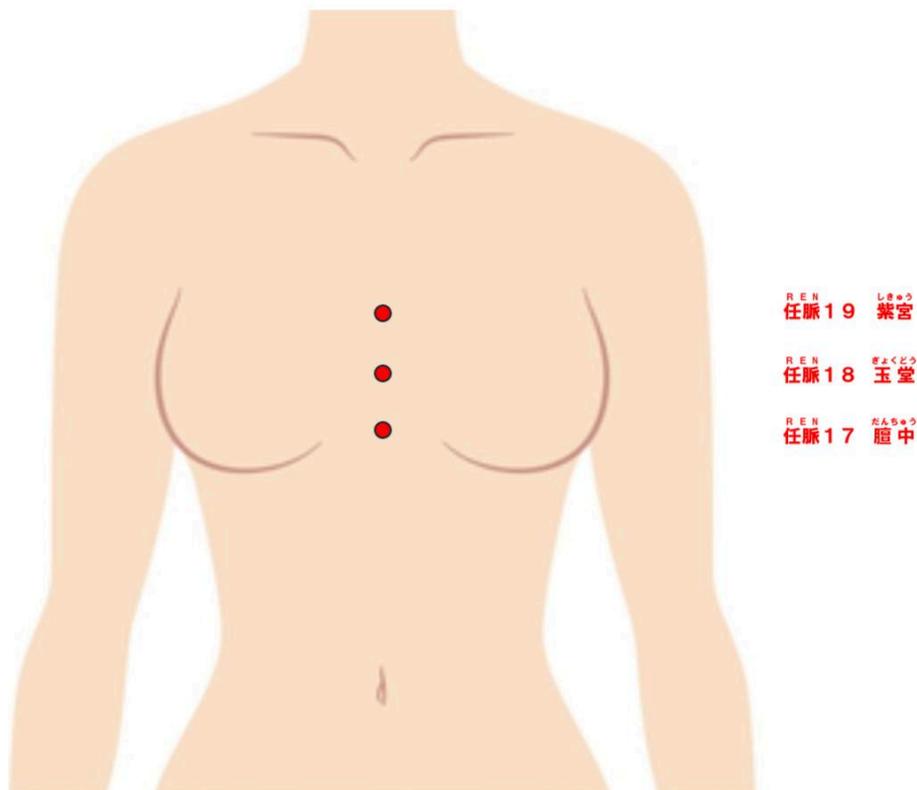
古 代 の 叡 智 を 思 い 出 せ
「Remember your Ancient Wisdom」

^{じんたいせいず}人體星圖として^{しんぞう}神藏、^{れいきよ}靈墟、^{しんぼう}神封の^{ツポ}經穴を活用
することが基本であり、占星術などと組み合わせ
ることで人生の羅針盤として3つの^{ツポ}經穴は
眞価を發揮します。

^{しんぞう}神藏、^{れいきよ}靈墟、^{しんぼう}神封の「^{ツポ}腎經の3つの經穴」が前
世、胎内記憶、幼少期、中年期、晩年期の人生
^{ブループリント}の青写真を記憶していること、そして家族や
^{しゃかい}社會とのコミュニケーションにも影響を与え
ていることを知ることは、^{ハート}心臓の力に気づくこ
との大切さに繋がります。

それは、「^{心 臓 脳}靈の心に基づく直観力」と「^{ハート}心臓に基づく直感力」を呼び覚ますことです。個々
の感じる力を取り戻す必要があるのです。それを促すために必要な3つの^{ツポ}經穴になります。
現代人は人間が本来備えている正しい感覚、感性を失ってしまっているのです。

音と周波数の神祕を正しく活用することで、本来の^{EXA PIECO DIKAG}心臓脳や大脳の活力を取り戻し、固定化
されてしまった思考から新しい思考への^{へんよう}變容を促します。何のために生まれ、何のために生
きるのか、自分自身とは何者か、生まれる前に決めてきた地上世界での靈性の進化を果たす
ために何が必要なのか、その情報が詰まった部位になります。



紫宮は第8チャクラ「アンタスカラーナ・チャクラ」であり、第7チャクラ「サハスラーラ・チャクラ」と連動し、背後靈との通信の要の経穴です。地上人は必ず守護靈がおり、指導靈と共に地上人を靈性の進化の方向に導こうと努力しています。そのガイダンスを受け取るための重要な経穴です。

膻中は第4チャクラ「アナハタ・チャクラ」であり、第1チャクラ「ムーラーダーラ・チャクラ」と連動し、両親との関係、幼少期に関係した経穴です。膻中はハートの宮殿と呼ばれ、エネルギーを開放し、胸の詰まりを取り除き、赤ちゃんの頃のような安心感を取り戻すことができます。

過去のトラウマによって、必要なものを受け取ることができなくなり、エネルギー的に遮断されている状態の時に使います。先祖代々のテーマと深く関わる経穴になり、世代間のパターンを乗り越えるための叡智が眠っています。家族間の問題を解決に導くために重要な経穴であり、それには「眞の感謝」が関係してきます。

腸心マップにより、自分自身の隠された感情と向き合う

腸を触って自己診断☆あなたの隠されたトラウマをチェック！

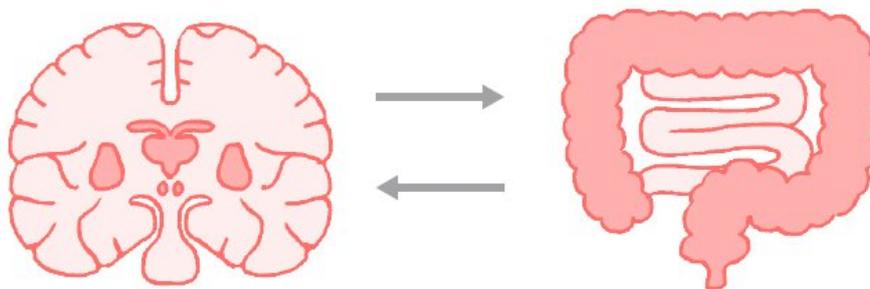


お腹（※腸）は、入門編からマスター編まで一貫して使う基本です。その理由は、「腸心マップ」を通して潜在的に眠っている感情のチェックを通して生命の調律をしていくからです。お腹の募穴^{ほけつ}を含め、腸心マップがセルフヒーリングの指針になります。

東洋医学^{いがく}の経絡のメカニズムでは、腸は陰、脳は陽の働きをしています。お腹は温めろ、頭は冷やせ、かつての日本人はそうした大切なことを知っていました。頭寒足熱^{ずかんそくねつ}という諺^{ことわざ}がありますが、お腹や足は温める必要があるのは古来よりの知恵なのです。

腸は潜在意識^{F I K}、脳は顕在意識^{D I K A G}と言われており、腸と脳は切り離せない関係性です。身体は潜在意識ありきで働いており、顕在意識は肉體^{にくたい}のコントロールの中樞ですが、身体すべてをコントロールしている訳ではありません。

霊體^{れいたい}も含めた生命維持の要は「腸」であり、腸は霊體^{れいたい}をコントロールしています



「腑に落ちない」の「腑」とは、はらわた、つまり、胃や腸のこと。
感情と胃腸が関連していることがことわざからもわかる。

日本語には「腹」や「はらわた」といった言葉を使った表現が沢山あります。また、^{かっこく}各国の言語でも「腸」が感情を表すといった表現が存在しています。それは、^{せいめいたい}生命體としての本能的なものを古代より人間は気づいていた証拠でもあります。

日本語でお腹を表す言葉

- 腹が立つ→はらわたが煮えくり返る
- 腑に落ちる
- 腹黒い
- 裏腹
- 腹を割って話す
- 切腹 (名譽^{めいよ}のため潔白を証明したとの説)

英語でお腹を表す言葉

- GUTS (腸、根性、ガッツ、精神、感情)
- have guts (腹がすわっている)
- gut feeling (直感)

ドイツ語でお腹を表す言葉

- aus dem bauch entscheiden 「直感で決める」
- Suhmetterlinge im bauch haben 「胸がドキドキする」(※直訳：お腹の中に蝶々がいる)

わたし達の^{しんたい}身體構造は、^{心 臓 脳} 靈の心と^{大 脳} 肉の心を「^{ニ ュ ー ロ ン}細胞的知性」が複雑にネットワークを形成し、思考、記憶、感覚、運動など、^{しんたい}身體のあらゆる機能を維持しています。そうした^{しんたい}身體の仕組みを「^{F I K}潜在意識」といいます。

日常生活において必要な機能の多くは自動的であり機械的です。筋肉、神経、細胞、繊維等々がいったん「^{心 臓 脳} 靈の心→^{大 脳} 肉の心→^{にくたい}肉體」と、^{ニ ュ ー ロ ン}細胞的知性が指示を受け、さらに連繋的に働くことを覚えたら、その後の繰り返し作業は^{F I K}潜在意識に委託されます。

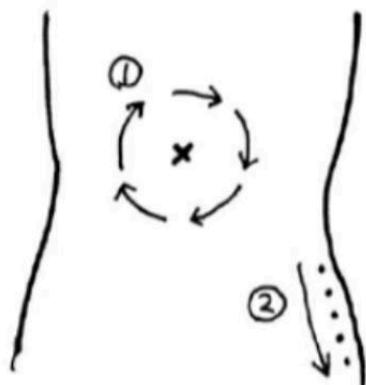
たとえば、物を食べる時皆さんは「無意識」の内に口を開けています。それは、アゴが動く前にそれに関連した神経やエネルギーの相互作用があったことを意味します。精神の^{ばいたい}媒体である^{大 脳}肉の心から^{ニ ュ ー ロ ン}細胞的知性を通して神経的刺激が送られて、それから口を開け、物を入れ、そして噛むという一連の操作が行われます。

これらは「^{ニ ュ ー ロ ン}細胞的知性（^{F I K}潜在意識）」がすべてが自動的に行っています。赤ん坊の時はその一つひとつを意識的にやりながら^{しんたい}身體に記憶していく必要がありました。しかし成長したらいちいち^{大 脳}肉の心で考えないで純粹に機械的に行います。人間の^{しんたい}身體上の、そしてかなりの程度の精神的機能も、大部分を^{F I K}潜在意識がコントロールしています。

その^{F I K}潜在意識をコントロールしているのが「^{すい臓}脾臓」と「^腸腸」なのです。腸にアプローチすることは、^{大 脳}大脳の記憶以上の古い記憶まで辿ることがあり、^{F I K}潜在意識は過去の記憶を管理する「^{ぐらな}倉庫番」みたいなものです。

^{大 脳}大脳を通した^{D I K A G}顕在意識では忘れてしまっている記憶でも、^腸腸を通した^{F I K}潜在意識はすべてを記憶しています。いくら表面を取り繕っても、内面の腹にはその人間の本性がしっかり刻まれており、嘘や偽りは通用しません。なので、^{腸心}腸心マップを通して自分自身の隠されていた感情と向き合うことが大切になります。

● 腸のマッサージを習慣にしよう



① 小腸もみ

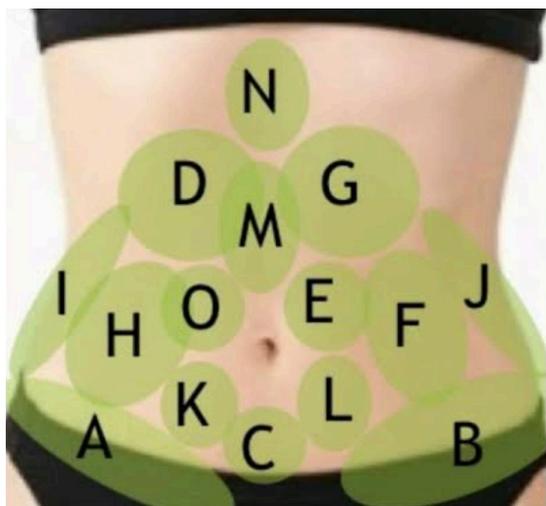
あお向けに寝た状態で、左のイラストのように、おへそのまわりを両手の指の腹の部分で押しもみしていく。硬く張りのある場所は重点的に行うこと。



② 大腸もみ

あお向けに寝た状態で右ひざを左ひざに乗せて右側に倒し、左わき腹が上に反る状態にする。この左わき腹の一带を、左手でゆっくりもんでいく。

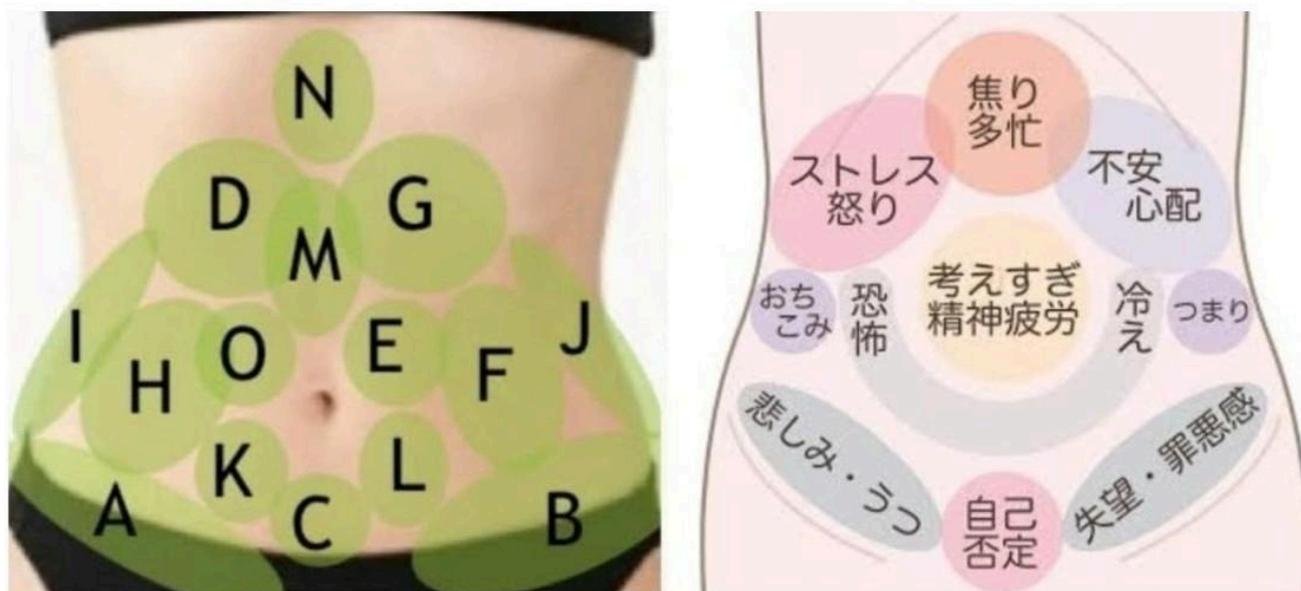
そして、「腸マッサージ」を習慣にすることを唱えている方々がいらっしゃいますが、当テキストでは「音叉で腸マッサージ」をすることをオススメします。腸をマッサージすることは、幸せホルモンである「セロトニン」を分泌させ、心を落ち着かせる効果があるからです。



記号	奇経八脈	ソルフェジオ周波数	どのような感情が眠っているか
A	任脈	528Hz+639Hz	感情のコントロールが出来ない、低い自尊心、自己否定
B	帯脈	417Hz+741Hz	他責、依存心、慾求不満、慾望、対立
C	任脈	174Hz+417Hz	自信、無力感、頑固さ、誇り
D	陰維脈	417Hz+528Hz	心配、受け入れられない、見捨てられ感、非難
E	陰維脈	639Hz+741Hz	自分への怒り、失敗、喜びすぎ、苛立ち
F	帯脈	285Hz+396Hz	怒り全般、憎しみ、憤り、落胆
G	陽維脈	639Hz+963Hz	不安、焦燥、絶望、無力感、混乱、パニック
H	陽蹻脈	396Hz+417Hz	悲しみ全般、裏切り、蔑ろな扱い、悲痛、拒絶
I	督脈	285Hz+528Hz	最近のストレス、三ヶ月以内の生活習慣など
J	衝脈	174Hz+285Hz	慢性的ストレス、継続的な生活習慣
K	陰蹻脈	741Hz+852Hz	悲しみ、罪悪感、実らない愛、傷つきやすさ、無価値
L	陽蹻脈	528Hz+852Hz	罪悪感、嫌悪、神経質
M	陽維脈	852Hz+963Hz	決断力、実らない努力、決められない、創造性の欠如
N	陰蹻脈	396Hz+639Hz	緊張をとまなうストレス
O	衝脈	396Hz+528Hz	孤独、屈辱、心痛、対立、支援なし

基本的には、腸心マッピングで自分自身の「カラダの声（^{F I K}潜在意識）」を聴く、感じる、そしてそれ^{たいおう}に対応したソルフェジオ音叉の組み合わせを耳元で鳴らしていくことで感情を解放していきます。

【腸心マッピング】



A 感情のコントロールが出来ない、低い自尊心、自己否定 [528Hz+639Hz]

ここは「自己否定」に繋がる感情が溜まりやすい場所です。自分のことがあまり好きではなかったり、自分を大切にすることが苦手だったり、綺麗に着飾ることに抵抗をおぼえたり。奥深い部分には、幼少期の両親との関係性が隠れていることも多く、「あまり大事にもらえなかった」「褒めてもらえなかった」といったトラウマが潜んでいる可能性があります。ここを解放することで、自分のことが好きになっていき、より自分らしく振る舞えるようになっていきます。

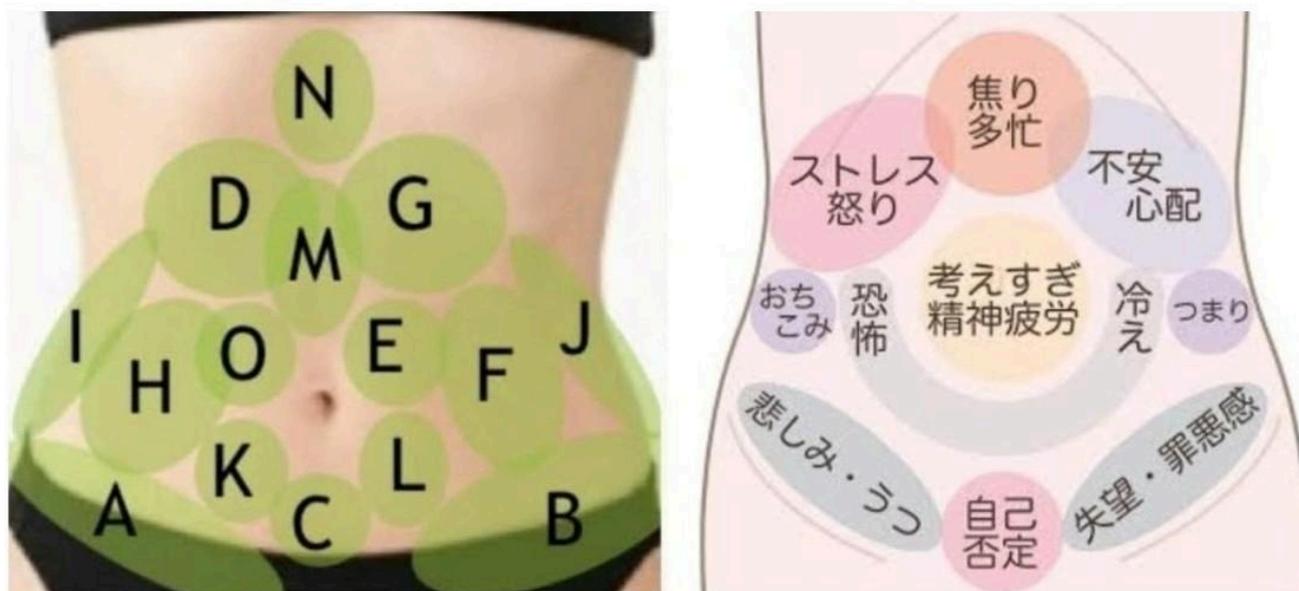
B 他責、依存心、欲求不満、欲望、対立 [417Hz+741Hz]

ここは、「他者への怒り」に繋がる感情の^{ないげん}体験や過去の記憶が溜まりやすい傾向にあります。怒りの中でも、特定の誰かといった風に、怒りの対象がはっきりしていることが多いです。苦手な人がいる、嫌いな人がいる、過去に嫌なことをされて、現在も忘れられない人がいる、誰かのことを恨んでいる、そうした感情が眠っています。また、怒りの背景に依存心が隠れている場合もありますので、奥深いところには、「誰かに期待して裏切られた」「誰かの言いなりになって失敗した」といったトラウマが潜んでいる可能性があります。ここを解放することで、他者を責める気持ちや依存心が薄れ、毎日のイライラが減っていきます。

C 自信、無力感、頑固さ、誇り [174Hz+417Hz]

ここは自身の「アイデンティティー」に直結する場所です。プライド（自尊心）やアイデンティティー（自己の存在）を傷つけられた記憶やトラウマが溜まりやすく、ここが固い人は、それらの^{ないげん}体験から自分に自信がなかったり、存在を否定されるかもしれない恐怖心で思い切った行動を起こせないといった傾向があります。また、ここには胎児期の記憶やパーストラウマ、過去世の記憶なども眠っています。ここを解放することで、自分自身の本質と繋がり、自分に自信を持って生きていけるようになります。

【腸心マッピング】



お腹を触るだけが腸診の方法ではありません。キネシオロジー、筋肉反射テスト、ダウジングなども腸診の方法として有効であり、様々な方法で眠っていた感情を自覚することが大切です

D 心配、受け入れられない、見捨てられ感、非難 「417Hz+528Hz」

モヤモヤした感情、思わず溜息をつきたくなるような感覚が溜まりやすい場所です。精神的な疲労が積み重なった結果、気分が浮き沈みが激しくなっていたり、鬱っぽい症状が出たりしているかもしれません。また、夜中に目が覚める、または逆に寝過ぎてしまう傾向がある時、集中力が落ちたり、疲れやすい、何もやる気が起きないといった時にも強く反応します。このあたりは、「人から受け入れられなかった」「愛されなかった」という思いや、「できて当然と思っていたことで失敗」したり、「自分を否定された」、「失敗を責められた」といった経験やトラウマが溜まりやすい場所です。そのため、何かにチャレンジする気持ちや積極性が失われています。ここを解放することで、モヤモヤした気持ちが薄れ、精神面が安定し、もう一度行動を起こす氣力が戻ってきます。

E 自分への怒り、失敗、喜びすぎ、苛立ち 「639Hz+741Hz」

ここは「自分に対する怒り」の感情やトラウマが溜まりやすい場所です。ここが固い人は、自分を許せないという気持ちが強く、自分を厳しく罰しようとする傾向があります。それが原因で、本当にやりたいことを我慢してしまったり、「こうあるべき」と自分を制限したり、自分が幸せになることに対してのブロックを抱えていることもあります。また、世間の常識や一般論に当てはめて、「こうあるべき」「～せねば」という思いが強い傾向もあり、それが出来なかった場合にも自分自身を許せない、自分自身の失敗を厳しく罰してしまいがちです。幼少期から両親に厳しく育てられた人も多いようです。ここを解放することで、もっと自由に好きなことを出来るようになっていきます。

スピリチュアリズムの地球人類救済計画の一翼、星信仰の復活

F 怒り全般、憎しみ、憤り、落胆 「285Hz+396Hz」

ここは「漠然とした怒り」の感情やトラウマが溜まりやすい場所です。対象物が割とはっきりしない、^{しやかいぜんたい}社会全体への不満、不公平さや不平等さといったものに対する怒りなどです。怒りっぽい人や、いつもイライラしている人も陶然と^{はんのう}反応します。ところが、これらの怒りは「正義感」からくることも多いので、ここが固い人は、実は心が優しい人も多いです。そのため、表面上はいつもニコニコ穏やかで、怒りたいときに我慢したり、怒らないように振る舞ったり、怒りの感情を外に出すことへの抵抗がある場合も^{はんのう}反応します。しかし、外に出さずに解放されなかった怒りが、ある一定量を超えると「キレル」という形で表れることもあるので注意が必要です。そとでは不満をもらさない分、家庭内ではグチっぽくなったりキレやすくなったり、お酒が入ったら^{ひょうへん}豹変することもあります。ここを解放することで、心が穏やかになり、感情的にならない自分に近づいていきます。

G 不安、焦燥、絶望、無力感、混乱、パニック 「639Hz+963Hz」

ここは「不安」や「焦燥感」に関わる感情やトラウマが溜まりやすい場所です。ここが固い人は、目標が高く、自分からハードルをあげてしまう傾向があり、完璧主義で適当に物事をやり過ごすことが苦手な場合が多いようです。「過去に大きな失敗をした」「親から過剰に期待されて育った」などのトラウマを抱えているかもしれません。「失敗しないように」とか、「すべてを上手くやらなければいけない」といった気持ちが強く、新しいことに挑戦する一歩がなかなか踏み出せない傾向にあります。また、一度にたくさんのことが起こったり、やらなければいけないことが同時にたくさんやってくると、焦燥感に襲われたり、処理しきれなくなって余計に焦ってしまいがちです。ここを解放することで、不安感が薄れ、失敗を恐れずにチャレンジできるようになっていきます。

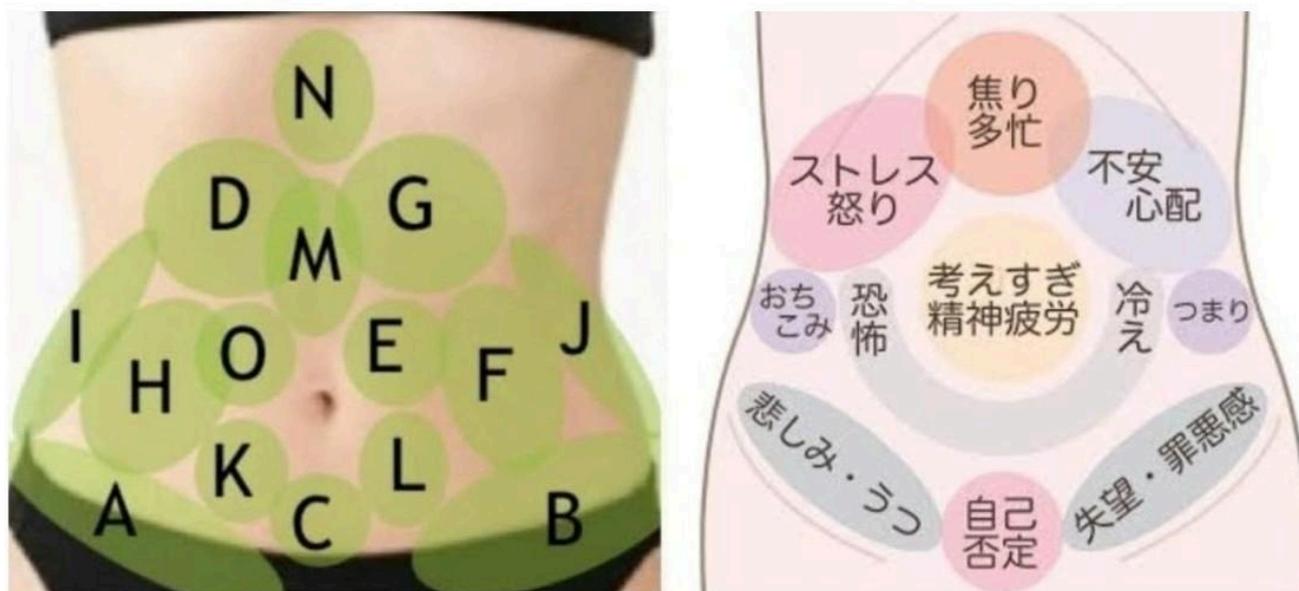
H 悲しみ全般、裏切り、蔑ろな扱い、悲痛、拒絶 「396Hz+417Hz」

ここは「悲しみ」の感情やトラウマが溜まりやすい場所です。ここには、近い人との死別、裏切られたという^{しつれん}想い、大切なものを失った経験、仲間はずれ、自分のしたことに対して評価されなかったことなどのトラウマが多く潜んでいます。ここが固くなっている方は、思い出すだけで涙が出るような^{たいげん}体験や、胸が締め付けられるような経験をたくさんしている傾向にあります。しかし、周りに心配かけたくないという思いなどから、人前では泣くことを我慢したり、本当は傷ついているのに平気な顔をしてみたり、もっと悲しくなるのを避けるために自分の感情を閉じ込めてしまったりと、自分の感情と向き合うことが得意ではありません。ここを解放することで、悲しみの感情が薄れ、一歩距離を置いてそれらの経験を冷静に見つめることが出来るようになっていきます。

I 最近のストレス、三ヶ月以内の生活習慣など 「285Hz+528Hz」

ここは「最近のストレス」が溜まっています。悪性の電磁波や音、食習慣などの乱れなどによる最近の無意識のストレスが溜まっている場所でもあります。感情面ならば、ごく最近に何か嫌な思いをした経験があったり、いま現在なんらかの悩みを抱えている状態である可能性があります。まだ無意識化（トラウマ化）されずに、ご本人の表層意識でも十分に認識が可能です。ストレスも早めに対処が肝心です。一説では、心理的ショックは72時間経過するとトラウマ化していくそうです。ご自身で認識できているうちに解消してしましましょう。ここを解放することで、ここ最近のストレスが解消されていき、気分が楽になります。

【腸心マッピング】



アドバイス：お腹への音叉は、ソルフェジオ音叉と組み合わせて使うのが効果的です

J 慢性的ストレス、^{けいぞく}継続的な生活習慣など 「174Hz+285Hz」

ここは「慢性的・長期的ストレス」が溜まりやすい場所です。特に家族関係や職場などの人間関係のトラブルで、長期間にわたり^{けいぞく}継続的にストレスがかかっている場合に強く^{はんのう}反応します。ご夫婦などのパートナーシップの問題や、親子関係、上司や部下の関係、同僚とのチームワーク、クラスメイトや友人との関係性の中で、神経を使いすぎたり、ずっと我慢を強いられているといった状態にあるかもしれません。または、ずっと忙しく、カラダや神経を酷使し^{つづ}續けて、精神的な疲れがかなり溜まっている可能性もあります。放置しておく、より深刻化する恐れもありますので、早めに対処することが大切です。ここが解放されることで、人間関係でストレスに感じるものが減り、心の^{ひろう}疲勞も解消していく効果が期待できます。

K 悲しみ、罪悪感、実らない愛、傷つきやすさ、無価値 「741Hz+852Hz」

ここは「自己犠牲的な感情」やトラウマが溜まりやすい場所です。ここが固い人は、とても優しい心を持っている人が多い傾向にあります。困っている人を助けてあげたいという思いから、苦しんでいる人に何もしてあげられなかったりした時に、「自分は役に立たない」「無力な人間」という風に思ってしまった、また、その罪悪感から自分より他人を優先する生き方をしている可能性があります。セラピストや看護師、ボランティアに従事している人などに多い腸相です。ただ、その背景には「人に好かれたい」という感情が隠れていることもあります。また、他人の役に立っているということが、自身の存在意義に繋がっているケースも見られます。人のために働けることは素晴らしいことですが、あまりに自己犠牲的になると大きなストレスとなってしまいます。ここを解放することで、ちょうど良い距離感での人助けが出来るようになっていきます。

スピリチュアリズムの地球人類救済計画の一翼、星信仰の復活

L 罪悪感、嫌悪、神経質 「528Hz+852Hz」

ここは「罪悪感」に関する感情やトラウマが溜まりやすい場所です。ここが固い人は、過去に悔やまれる失敗や、いつまでも後悔してしまうような^{たいけん}体験がたくさんある傾向にあります。どうしてもなかったことであっても、いつまでもクヨクヨし^つ續けたり、自分に非のないことでも、「自分も悪かったのではないか？」と何でも自分のせいにしようとして、必要以上に過去を振り返って自分を責める傾向にあります。また、過去への後悔から、「もっとうまくやらなければ」と、常に自分を追い込む癖がある人も多いようです。それらの背景には「自分は駄目な人間だ」という思い込みが隠れている可能性があります。ここを解放することで、昔のことばかり思い出したりクヨクヨすることが減り、過去にとらわれることなく「今」を大切にできる自分に近づいていきます。

M 決断力、実らない努力、決められない、創造性の欠如 「852Hz+963Hz」

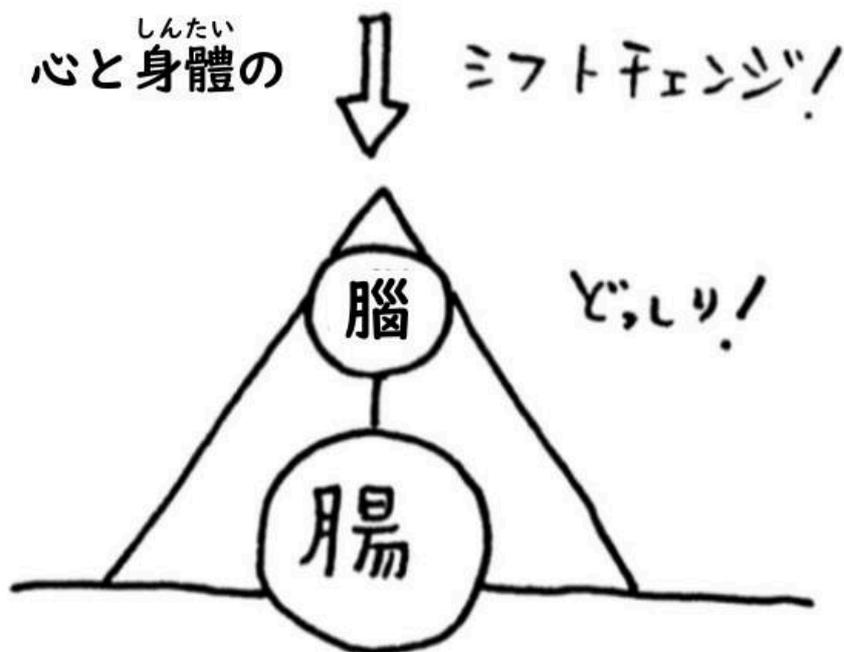
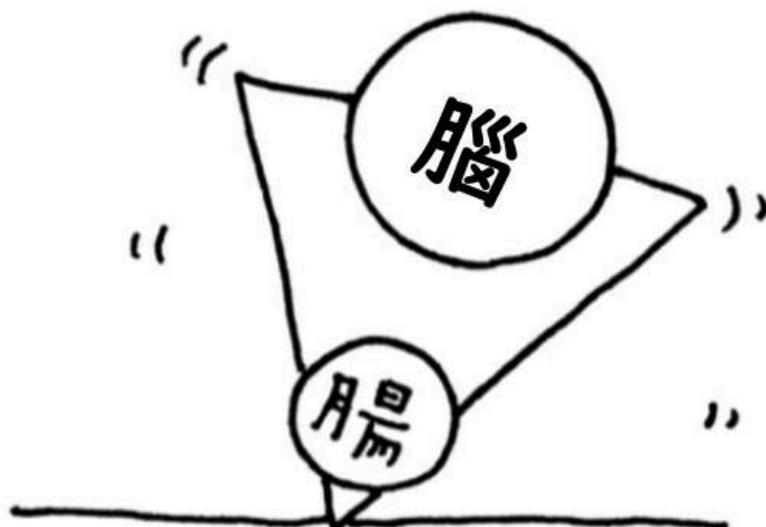
ここは「決断力の欠如」に繋がる感情やトラウマが溜まりやすい場所です。「自分にはあと一步何が足りない」「やりたいたことが何か分かっているけれど、なかなか前へ進めない」「決めなくてはいけないことがあるけれど、決めかねている」といった思いがある傾向にあります。また、あれこれ迷ってしまって一つのことを選べない、といった優柔不断なところはありますか？ここを解放することで、本来の自分自身への^{ゲート}扉が開き、意思や思考が明確になり、決断力がついていきます。

N 緊張をともなうストレス 「396Hz+639Hz」

ここは、「緊張をともなうストレス」が溜まりやすい場所です。元々、緊張しやすかったり、人前に出るとあがってしまうといった性質の人、プレッシャーに弱い人などが^{はんのう}反応します。または、近い^{しょうらい}将来に大きな仕事や大事なスポーツの試合、大切な受験などが控えていたり、今まさに緊張を強いられるような環境（仕事や作業）に身を置かれている状況でも^{はんのう}反応します。それ以外にも、職場の上司や苦手な人など、緊張を強いられる人間関係が^{つづ}續いている場合なども^{はんのう}反応します。ここを解放することで、緊張が薄れ、色々な物事に安心して取り組みやすくなるでしょう。受験、試合、大事なお仕事などで、本来の自分の力を発揮することにも繋がります。

O 孤独、屈辱、心痛、対立、支援なし 「396Hz+528Hz」

ここは「他者から与えられた傷」による感情やトラウマが溜まりやすい場所です。ここが固い人は、他者による影響（コントロール）によって、本来の自分を発揮したり、自由に行動したり、自然な感情の表現をすることが出来なくなっている可能性があります。過去に家族や友人から「理不尽な攻撃」を受けたことがあったり、誰かに無理やり従わされたり、好きなことをさせてもらえない、相手を怒らせないように^{つづ}気を遣い^{たいけん}續けていたなどの^{たいけん}体験がある可能性が高くあります。また、こういった経験から「被害者意識」が溜まっている可能性があり、「被害者意識のままでは他者の影響化に^{いつづ}居^{つづ}ける」ということにも繋がります。ここを解放することで、他者のコントロールから脱却し、他人の顔色を見ることもなくなり、自由に自分の感情を表現したり行動したりできるようになっていきます。

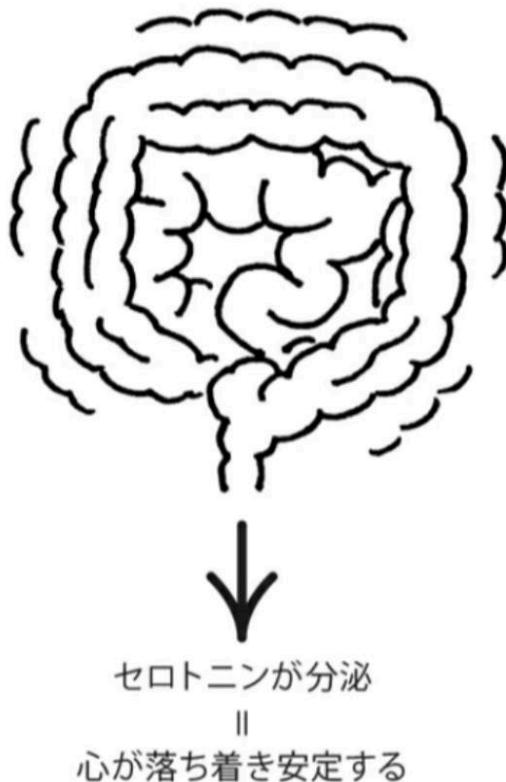


古方漢方家の奥田鳳作は、『長沙腹診考』において、「万病は多くの原因によると言っても、
腹侯ふくこうをもって準則とすれば、全體ぜんたいを総すべて漏らすことがない。これゆえ病を診察するときに、
腹をうかがって病毒の所在を知るのが、古いにしえの道である」と述べています。

また、吉益東洞は『醫斷いだん』にて、「腹は生有るの本であり、百病はここに根ざす」と言い、
『東洞遺稿』にて「まず胸腹びょうたいの病體を診察して後に、処方ひやうが定まる」と言い、『東洞遺書』
に「腹侯ふくこうを詳らかにしなければ、方を処すことはできない」と言っています。

● セロトニンの95パーセントは腸で分泌されている

腸がぜん動すると…



病を診察するには、まず腹をうかがうべきであり、他の証は二の次であり、^{ふくこう}腹侯が明らかにならなければ、他の証を詳らかにすることは出来ないと江戸後期の治療家から言われており、腸心マップで自分自身を診断することの大切さに繋がるお話です。

心のシルバーコードは^{しょうかたい}松果體にあり、^{EXA PIECO} 靈の心、^{D I K A G} 肉の心の2つの心を繋いでいます。そして、2つの心から形成される^{しんたい}身體のシルバーコードは^{しんけいそう}太陽神経叢にあり、^{れいたい}靈體は腸全般、^{にくたい}肉體は^{しんたい}脳全般が管理、コントロールして、^{しんたい}身體を構成しています。脳は^{にくたい}肉體を管理する司令塔であり、腸は^{れいたい}靈體を管理する司令塔という違いがあるのです。

お腹のセルフヒーリングの施術方法

お腹のセルフヒーリングの方法は、正直なところ、様々な方法があるのでメソッドじたいは気にしなくても構いません。それよりも、腸心マップによってどこに隠されていた感情があるのかを知り、その感情に^{ひかり}光を当て昇華できるかがポイントです。

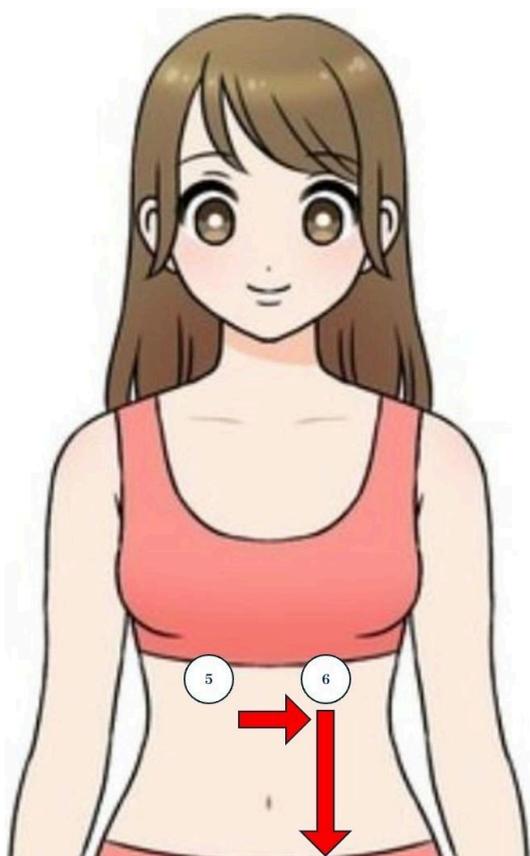
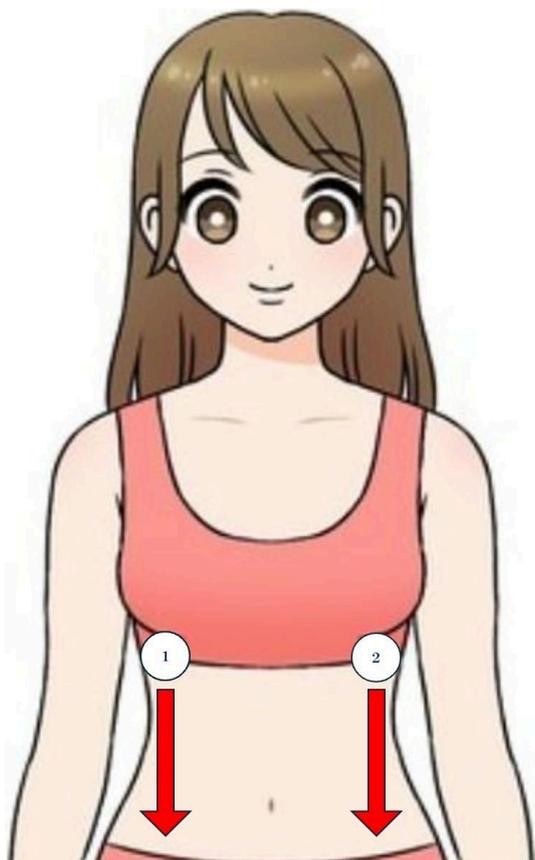
音叉セルフヒーリングは「^{いの}禱り」であり、^{いの}禱りとは「^{EXA PIECO}霊の心の所作」であり、心を正すための行爲です。なので、必要なのは「心の在り方」であり、技術や知識は二の次であり、とにかくセルフヒーリングを試行錯誤し工夫することが大切です。

導入編ツールならば「132Hz&264Hz」、入門編ツールならば「128Hz&136.1Hz」、初級編ツールならば「68.05Hz&136.1Hz」を使い、お腹に「いのり」を描いていく方法は、自分自身の心、精神、感情、^{しんたい}身體を調律するために有効な方法のひとつです。

※サウンドツールは、ヘヴィーフォークタイプだけでなく、ヘヴィーフォーク&フォークの組み合わせも可能であり、それこそソルフエジオ音叉はお腹の様々な^{ツボ}経穴に試してほしい

また、特定のお腹の^{ツボ}経穴、腸心エリアに音叉を当て^{つづ}続けることも可能であり、^{F I K}潜在意識に溜まった感情を無視し^{つづ}続けると、一番^{しんたい}身體の弱いところパワフルな形で症状で出ます。しかしこれはその問題と向き合うチャンスが与えられたということを意味しています。そして、その問題に対し、逃げずに真正面から向き合うこと、心の声に耳を傾けることが大切です。

セルフヒーリングの極意は「^{あい}神意」と「感謝」であり、他者との繋がりによる感謝の心を持つことで、よりバランスがとれたセルフヒーリングが可能になります。^{あい}神意は「恐怖心」よりもパワフルなもの。恐れではなく、^{あい}神意をもとにヒーリングを行うと、最もパワフルなヒーリングをすることが出来ます。

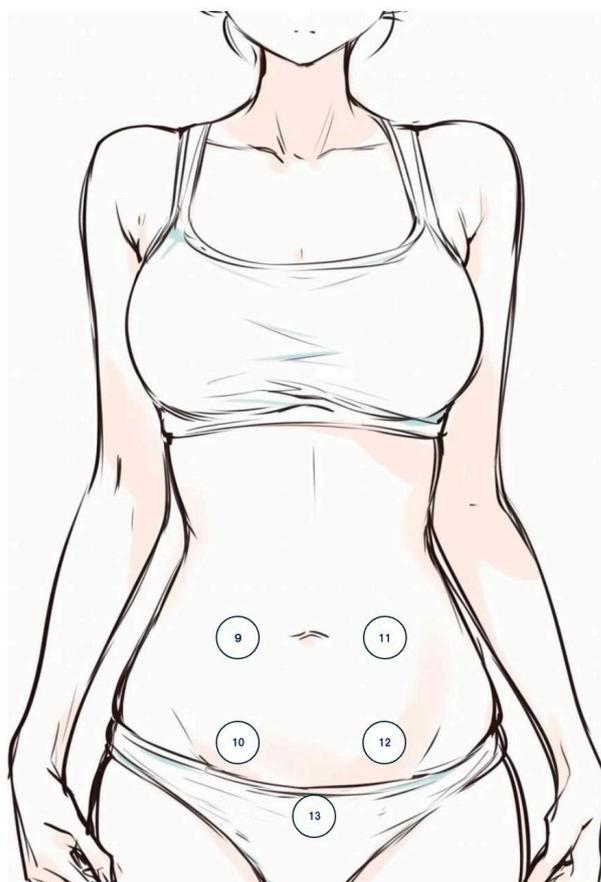
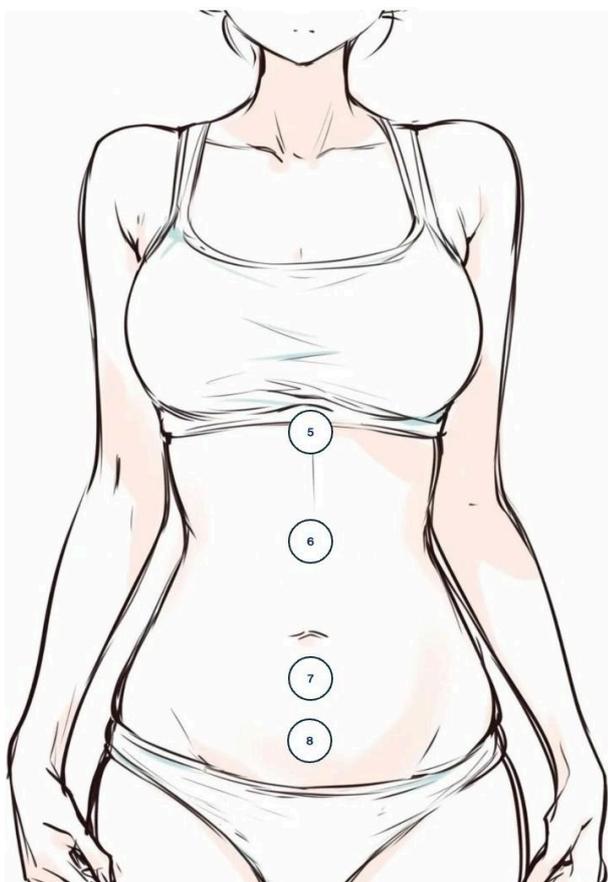
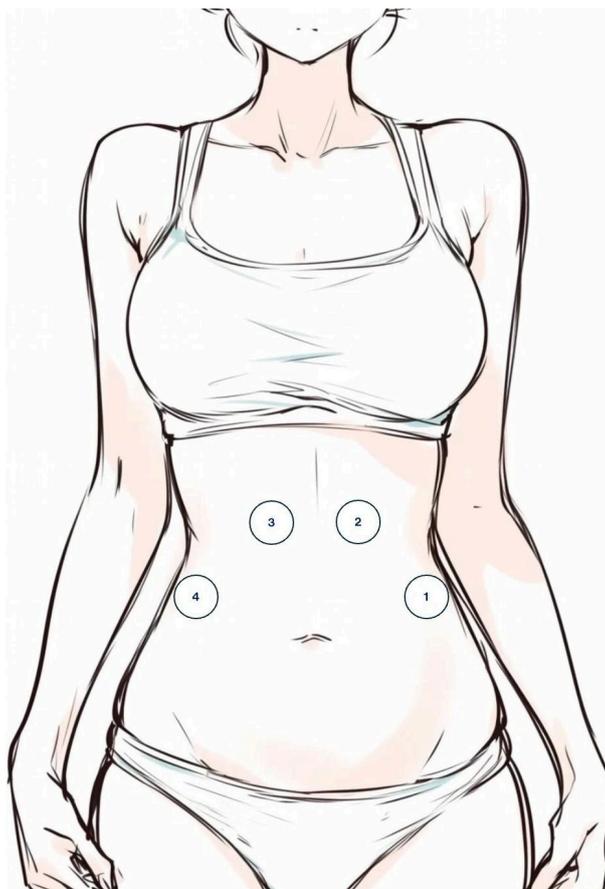


入門編セルフヒーリングでのお腹の主要の ^{ツボ} 経穴			
番号	^{ツボ} 経穴	経絡	^{ツボ} 経穴の位置
①、④	^{しょうもん} 章門	肝経	第11肋骨の下、キワ
②、③	^{ゆうもん} 幽門	腎経	剣状突起から指2本分下、そこから指1本外側
⑤	^{きゅうび} 鳩尾	任脈	肋骨が交わる骨のへりから1~2cm下がったくぼみ
⑥	^{ちゅうかん} 中脘	任脈	へそから指4本分上、 ^{しんけいそう} 太陽神経叢、臍臓
⑦	^{きかい} 氣海	任脈	へそから指2本分下、氣の貯蔵庫
⑧	^{かんげん} 關元	任脈	へそから指4本分下、第2チャクラ
⑨、⑪	^{てんすう} 天樞	胃経	へそから指3本分横
⑩、⑫	^{すいどう} 水道	胃経	^{てんすう} 天樞から指4本分下
⑬	^{きよっこつ} 曲骨	任脈	恥骨の上のくぼみ

お腹の特定の^{ツボ}経穴を刺激する場合、入門編ツールならばチャクラバーの「²D + ³E」を鳴らし、「528Hz ヒーリングパイプ、528Hz エナジーバー、1056Hz エナジーバー、2112Hz エナジーバー」を鳴らしてから、「2本」の音叉をお腹の^{ツボ}経穴に^{すうかい}数回当てます。

2本の音叉は、「ヘヴィーフォーク2本」の組み合わせが基本になりますが、「様々な周波数の^{ホームトーン}基音」と「フォークタイプの音叉の^{インターバル}音程」の組み合わせが可能であり、腸は^{F I K}潜在意識であり無意識を司るので、とにかく様々な周波数の組み合わせを試行錯誤することが大切です。

あくまでもお腹の^{ツボ}経穴は沢山あるので、この使い方は入門編に過ぎません。入門編でのお腹のセルフヒーリングに慣れてきたならばここで紹介している以外の^{ツボ}経穴も積極的に使うことをオススメします。



しょうもん ツポ 章門の經穴は肝臓の經絡上にありますが、脾臓の募穴であり、脾臓の失調に効果があります。脾の氣が多く集まるところで、脾に失調があると反應が出ます。また、肝の失調であるイライラやストレス改善にも効果をあたえ、かつ臓器全般の失調にも改善効果を促します。特に「ダイエット」に有効な經穴です。

ゆうもん ツポ 幽門の經穴は腎臓の經絡上にあります。「幽」は奥深く静かな空間、「門」は出入り口を意味し、靈體と肉體の狭間である「幽體」に最も働きかけます。なので、精神面の安定に効果があります。名称通り、胃の「幽門部」そのものにアプローチし、腹痛、お腹の張り、嘔吐、下痢、消化不良など消化器系に働かけます。

きゅうび ツポ 鳩尾は「心臓」に關係のある經穴であり、文字通り「みぞおち」の經穴です。緊張性のストレスを抱えていると痛みが出やすい場所であり、心臓は睡眠の質とも關係しているので、不眠の改善をする効果が期待できます。怒り、心配ごとや不安な気持ちなどストレスを抱えたまま寝る時間を迎えると、何だか寝付けないうまま布団の中で過ごす時があると思います。精神を落ち着かせるために使用する經穴になります。

ちゅうかん しんたい しんけいそう ツポ leitai 中脘は「身體のシルバーコード」がある「太陽神經叢」の經穴であり、靈體を奇經八脈と腎臓、肉體を十二經絡と脾臓が管理、コントロールしています。十二經絡は中脘でエネルギーの流れが始まり、中脘でエネルギーの流れが終わります。人間は心のシルバーコードが切れたら「脳死」と判断され、身體のシルバーコードが切れたら「死亡」と判断されます。人間の身體上の、そしてかなりの程度の精神的機能も、大部分を中脘を通して潜在意識が生命活動をコントロールしています。

氣海^{きかい}は、全身の氣エネルギーの貯蔵庫です。エネルギーを全身に送り、またエネルギーの戻ってくる場所です。氣海^{きかい}のエネルギーのタンクが枯渇すると、慢性疲労^{ひろう}に繋がってきます。腎臓は「靈體^{れいたい}」を管理し、氣海^{きかい}と關元^{かんげん}のエネルギー量に影響されます。腎臓の機能は、髪の状態、記憶力、聴力、骨密度に関連し、若さもエネルギーのバッテリー量に左右されます。恐れ、ショック、トラウマにより、充電量^かが変わります。胃腸や脾臓と繋げ、エネルギーをチャージしておくこと、全身のあらゆる症状の改善に有効になります。

關元^{かんげん}は、「命門」の、「火」のエネルギーを宿す經穴^{ツボ}であり、第2チャクラの位置になります。カラダの中でも最も深遠なエネルギーが住む場所であり、腎臓のエネルギーを上げる經穴^{ツボ}になります。關元^{かんげん}は、カラダ全體^{ぜんたい}に活力を与え、陰陽の統合を深め、腰と膝を強くします。また、人の宿命は「奇經八脈と腎臓」に刻まれてます。エネルギーは音の鳴る方に動きます。グラウンディングを促すことで、祖先への情報にアクセスし、なぜ地球に生まれてきたのかを知りたい時に關元^{かんげん}の經穴^{ツボ}を用います。新しい細胞パターンを再編成するためには、大きなエネルギーの蓄えが必要になりますが、カラダのエネルギーを補充するのにも關元^{かんげん}の經穴^{ツボ}は役立ちます。第2チャクラは、腎臓のエネルギーを光^{ひかり}に変換^{へんかん}する役割がありますが、大切な經穴^{ツボ}の一つなのは間違いありません。

胃經の經穴^{ツボ}である天樞^{てんすう}は、「潜在意識^腸」と「顯在意識^腦」を繋ぐ經穴^{ツボ}であり、天と地が體內で交わる經穴^{ツボ}で、天樞^{てんすう}は、胃經のルートとして唯一頭と繋がっているルートであり、肺のエネルギーとリンクしており、ぐるぐる思考の方に特に有効な經穴^{ツボ}です。ガス、膨満感、消化不良、腸の痙攣^{けいれん}、下痢^{けんたいかん}、倦怠感など、あらゆる消化器系の問題に役立ちます。また、疲労^{ひろう}にも有用で、地^腸のエネルギーを天^腦のエネルギーで満たします。妊娠中には禁忌^{ツボ}の經穴^{ツボ}のひとつであることを決して忘れないでください。

胃經の經穴である水道はカラダの水分代謝を整え、余分な水分排出を促す經穴です。体内の水分の流れを整える効果があるとされています。特に浮腫や排尿障害の改善に効果的で、体内の余分な水分を適切に排出する機能を持っています。水道は泌尿器系の症状に特に効果的です。排尿困難、尿量減少、排尿回数の異常、排尿痛などの症状改善が期待できます。また、腎臓炎、尿道炎、前立腺肥大症などの泌尿器疾患にも効果があるとされています。

曲骨は、任脈にある經穴で尿道炎や膀胱炎頻尿、トイレが近い方に効果があります。またこの經穴は子宮の上であり、直接子宮に刺激を与える事が出来、子宮周辺の汚血（古い・滞った悪い血）を流し、固くなったお腹を柔らかくし、經穴刺激により子宮内膜を厚くし、着床しやすくします。不妊症でお悩みの方にも心強い經穴です。また、女性はオリモノ関係、男性は前立腺肥大にも有効です。

入門編で扱うお腹の基本的な經穴は9個ですが、すべての經穴ごとに基音の音程を變化させ、様々な組み合わせを試行錯誤しながら試していくのが大切です。例えば章門は肝經の經絡上にありますが、脾臓の募穴です。

肝臓に対応する惑星は木星、脾臓に対応する惑星は土星になります。また、肝臓はエネルギーの循環器系の働き、脾臓は調和のとれたエネルギーを受けとる入口の働きを考慮した上で音叉を選定することが、ひとつひとつの學びに繋がります。

臓器に対応して音叉を選定するならば惑星音叉、エネルギーの働きに対応して音叉を選定するならばソルフェジオ音叉が有効であり、最終的にはソルフェジオ音叉と惑星音叉を組み合わせるセルフヒーリングをしていくのが生命の調律の要になってきます。



第十七章

手と下半身のセルフヒーリング

第2の脳「手」、第2の心臓「足」

にくたい
肉體の健康學の眞髓は下半身の筋肉

血液循環こそが運動をすることの本質

しんたい
身體の健康學の眞髓は「き氣・けつ血・すい水」の代謝不良



西洋手相術と人體 ^{じんたい} の器官の関連性		
部位	器官	手の丘
親指	腦 ^{D I K A G} （顯在意識）	ヴィーナス 金星丘
親指と人差し指の谷間	腸（消化吸収）	マーズ 火星平原
人差し指	胃（消化器系）	ジュピター 木星丘
中指	肝臓（循環器系）	サターン 土星丘
薬指	神経系統	アポロ 太陽丘
小指	呼吸器、性器	マーキュリー 水星丘

また、手相は占いではなく「^{のうかがく}脳科学」という考え方もあり、左手が「^{本質}右脳」、右手が「^{現実}左脳」の映し鏡という考え方であり、少なくとも脳、手相、占星術すべてが相關關係にあるのは間違いありません。

ナポレオン・ヒルは自己啓發で「思考は現實化する」ことを唱えています。手相が^か変わるということは「^{へんか}思考癖が變化する」ことであり、それが現實に影響を及ぼすことを古代人は直觀的に理解しており、占いとして成り立っていった^か経緯が想像できます。

NYでマスターヒーラーと呼ばれるケン・コバヤシさんは先祖代々ユダヤの血を引き、新潟で350年^{つづ}續く治療師の家系に生まれていますが、2歳の時からすでに父親の患者に鍼治療を施し、病人を癒していました。

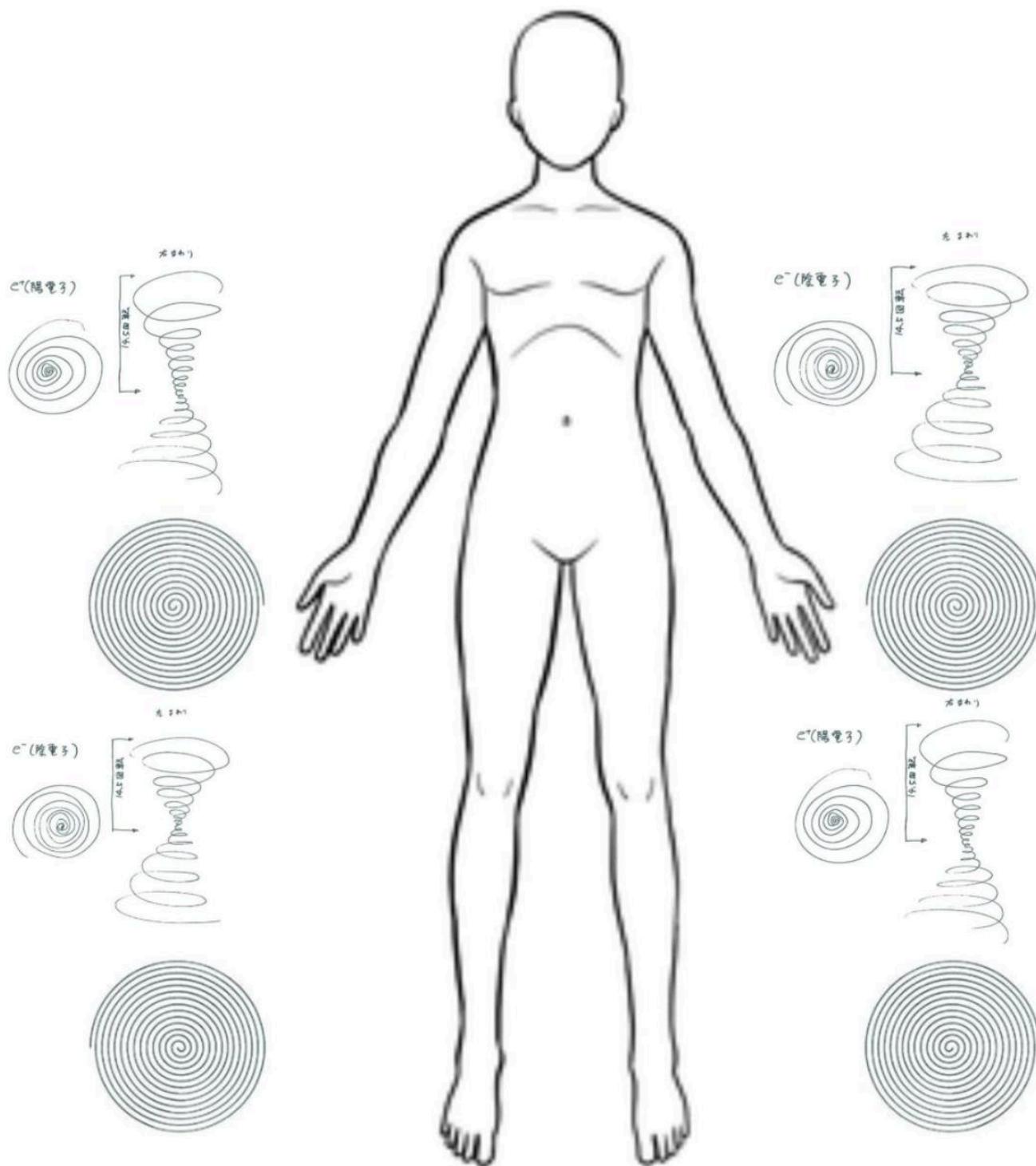
ケン・コバヤシさんは、「全部の指の^{おけつ}瘀血を淨血すると、殆どの病氣は治る」と述べており、親指がブレイン、親指と人差し指の間の谷間が腸、人差し指が胃、中指が肝臓、薬指が神経、小指が呼吸器と性器と繋がっていると話していますが、その話と^{アストロ パーミストリー}Astso・Palmistryの考え方が完全に一致しているのです。

トウリーディング



また、アメリカのアリゾナ州で1990年代に確立した、インド^{ぶっきょう}佛教の思想がベースの「トウリーディング」という「足の形、指から、隠れた自分の性格や人生のヒントを読み解く」という手法も存在します。

足指は「足」と「魂」の「ホログラム」であり、^{F I K}潜在意識や人生の課題、感情、人間関係などが現れると考えられています。この手法は、心身の癒しや自己理解を深めることを目的とし、アメリカでKCミラー氏によって生み出されました。



様々な文献、情報を元に人體^{じんたい}のメカニズムの研究をした結果、手足は「陰電子」と「陽電子」が絡んでおり、左手、右足が「右脳、心臓脳^{ハート}（靈體^{れいたい}）」と連動し、右手、左足が「左脳、大脳^{マインド}（肉體^{にくたい}）」と連動していることが明らかになりつつあります。手足はある意味、2つで1つのセットとして考える必要があるのです。

手を使うことが、そのままセルフヒーリングに繋がる

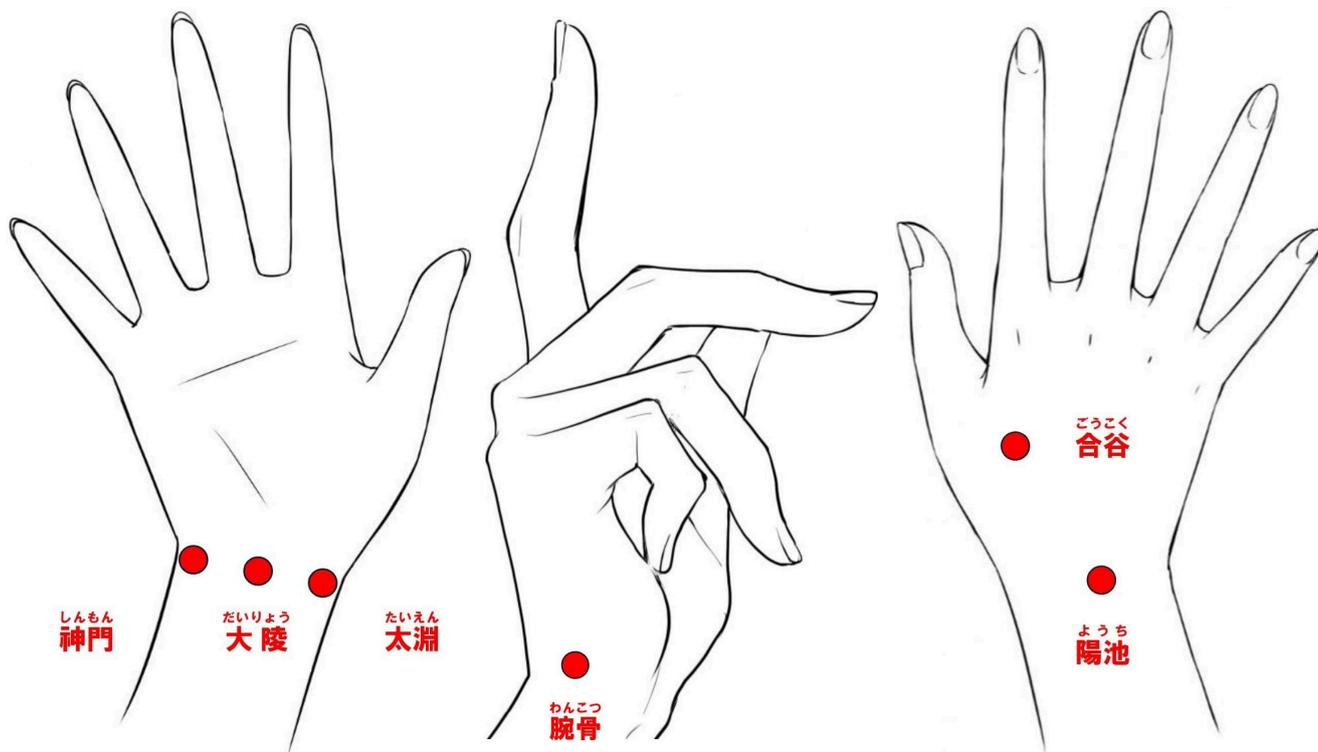


鍼灸の治療家などは、東洋醫學^{いがく}の脈診で五臓六腑の状態をチェックする方法に長けている傾向にあります。盲目の治療家の方は、その傾向が特に顕著であり、生命のリズムをチェックすることで治療方針を決めます。

事実、脈診で十二経絡のエネルギーの流れはチェックできます。奇經八脈と十二経絡は星々の^{サイクル}運行と連動しているので、^{れいたい}靈體と^{にくたい}肉體のエネルギー状態を判別できます。奇經八脈の8つの^{こうえけつ}交会穴、十二経絡の^{げんけつ}原穴が手首、足首まわりにあるのは偶然ではありません。

音叉セルフヒーリングでは、1本のヘヴィーフォーク音叉を選定し、特定の手の^{ツボ}經穴に^{すうかい}數回以上音叉を当てるのが基本になります。手のセルフヒーリングの場合、^{げんけつ}原穴の^{ツボ}經穴を刺激するのが一番簡単なセルフヒーリングになります。

げんけつ 手の原穴一覧



入門編では、十二経絡の^{げんけつ}原穴、奇経八脈の^{こうえけつ}交会穴である「^{こうけい}後谿」「^{れっけつ}列缺」「^{ないかん}内關」「^{がいかん}外關」を覚えるぐらいで、セルフヒーリングで使う機会は他の部位よりは少なくなります。

そもそも手は第二の脳と呼ばれているので、音叉でのセルフヒーリング以上に大切なのは、手先を動かし、脳を活性化させることです。實は脳の最大のボケ防止とは、料理を作る時に包丁を使う時や、裁縫などの細かい作業をしている時とされています。

手を動かすことは脳の運動であり、足を動かすことは血液循環を高める運動であり、手足を動かすことは、人間の健康でもかなり大切なことなのです。

なので、音叉を使って各部位をセルフヒーリングするということは必然的に手のセルフヒーリングにも繋がり、脳のボケ防止に繋がっています。もし真剣に手の部位を學ぶとしたら、セルフヒーリングではなく対面ヒーリングでハンドヒーリングは學ぶことになります。

下半身の調整は肉體の健康にとって一番重要



人間の肉體の健康學で一番重要なのは、「下半身の調整」です。下半身の調整の意味は「血液學」、「酵素學」、「適度な運動」の3つの考え方、そして「万病一元、血液の汚れから生ずる」という思想が根底にあります。

筋肉の7割は下半身にあり、筋肉が血液の循環に影響しています。筋肉は、「塩の浸透圧」によって働くので、塩がなければ下半身に力が入りません。簡単に言うならば、塩の浸透圧と筋肉によって、血液を全身に運んでいるのです。

靈體の健康學は「細胞」を一番重要視し、細胞を構築するのがリンパ液であり、肉體の健康學は「筋肉」を一番重要視し、筋肉によって血液を循環させているのです。

にくたい
肉體に關して最も大切なことは、日常的に「適度に歩く」ことです。それがにくたい
肉體の健康學の大原則です。歩くことが筋肉を鍛え、血液の新陳代謝を促進させるからです。また、酵素が必要な理由は「肥満」にならないためです。

そもそも自然界の野生のどうぶつ達には肥満は存在しません。「肥満＝病氣＝死」に直結するからであり、本来、自然法則に適った食生活、質の高い睡眠、適度に歩くことをしていたら肥満になることは絶対にありません。

たいけい
體型というのは、その人間が規則正しい生活習慣を守っているのか、だらしない生活習慣をしているのかが一目瞭然で分かります。肥満の人間はだらしない生活習慣をしているので、その人間の言う言葉を簡単に信用してはなりません。

そもそも、重い上半身を支えている下半身は上半身の歪みを吸収し、内臓の歪みを反映しています。足の指、硬い足腰、筋肉の縮んだ膝裏を柔らかくし、足先、腰から肩までの中心のエネルギーの通りを良くすることで、歪んだ股関節を整え、血液循環を正常化させ、冷え性や便秘、根幹からのたいしつ
體質改善に役立ちます。

下半身のセルフヒーリングは、厳密には「臀部」、「太腿」、「ふくらはぎ」、「足首」、「足の甲」、「足裏」という風に、エリアが多いのが特徴です。入門編で使うのは、足裏、足の甲、足裏、ふくらはぎが中心で、臀部と太腿はあまり使いません。

※入門編セルフヒーリングでは臀部と太腿はあまり使わないだけで、初級編以降には使う頻度は多くなります

下半身は全部、1チャクラバー+2チャクラバーの組み合わせです。1チャクラバーのレギュラータイプは湧泉のエリアの刺激、2チャクラバーはかんげん
關元のエリアの刺激だからです。



足裏の施術は、^{ちゅうごく}中国式、台湾式、^{イギリス}英國式、官足法など、あらゆる^{くに}國が、様々な考え方に基
づいて、手技か棒で足裏を施術します。わたしの場合は、足裏のセルフメンテナンスでは「棒」
を使ったり、音叉を使ったり、指を使ったり、使い分けてメンテナンスをしています。

手技には手技の良さがあり、棒には棒の良さがありますが、足裏を音叉でアプローチする方
法はわたしが検索したり、調べたりする限りでは地球にはあまり存在していないようです。
手技、棒が一般的であり、殆どの方は音叉で足裏をアプローチする発想がないのかもしれま
せん。

足裏へのアプローチでの最大の難点は、手技でも棒でも基本的には「痛みが伴う」です。ま
た、足裏のメンテナンスを自分でするのが「面倒くさい」という声も多く聞きます。なので
足裏のメンテナンスの普及とは、2つの課題を如何にクリアするかにかかっているというこ
とです。

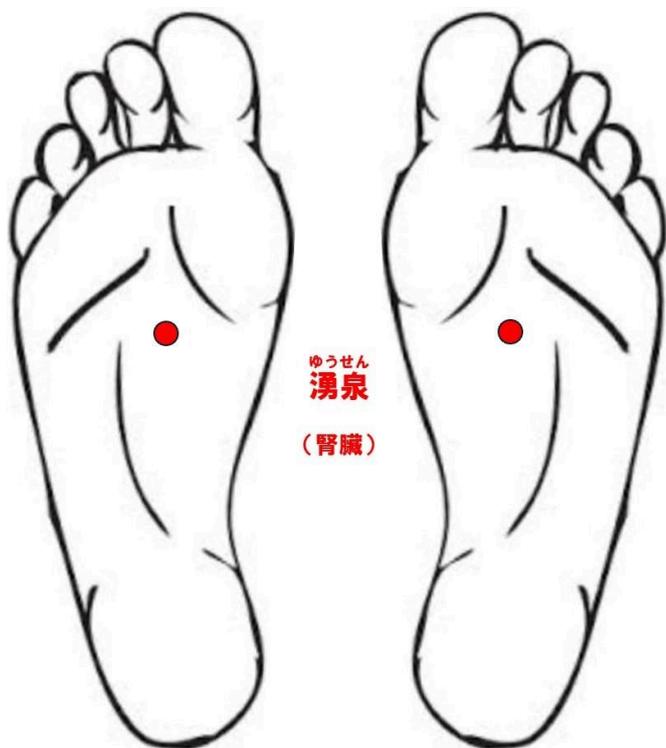


イラストを見れば気づくかもしれませんが、足裏の反射区は、「全身の背面」とリンクしており、足裏の反射区をアプローチしていただいても全身のアプローチが可能であり、肉體面にくたいのメンテナンスには効果的であることに理解がいくと思います。

足裏のメンテナンスをする際、手技も棒もわたしは使いますが、一番使いやすいのは「音叉」であり、「痛みが伴う」、「面倒くさい」という課題をクリアできるのも音叉になります。色々と複合して足裏をメンテナンスするのが理想です。

足裏は「重金属のデトックス」にも重要な部分でもあり、電磁氣（エネルギー）の影響が一番に受けるのも足裏です。そういった意味を含めて、下半身、足裏のメンテナンスは定期的に必要なことです。

腎經の經穴、湧泉と太谿について



湧泉は、地球とつながり、グラウンディングするのに非常に大切なツボです。足裏の土踏まずの少し上のくぼみに位置します。

湧泉の名称は、湧きでる泉として、「水」と関わる名称であり、腎經のスタートのツボになります。

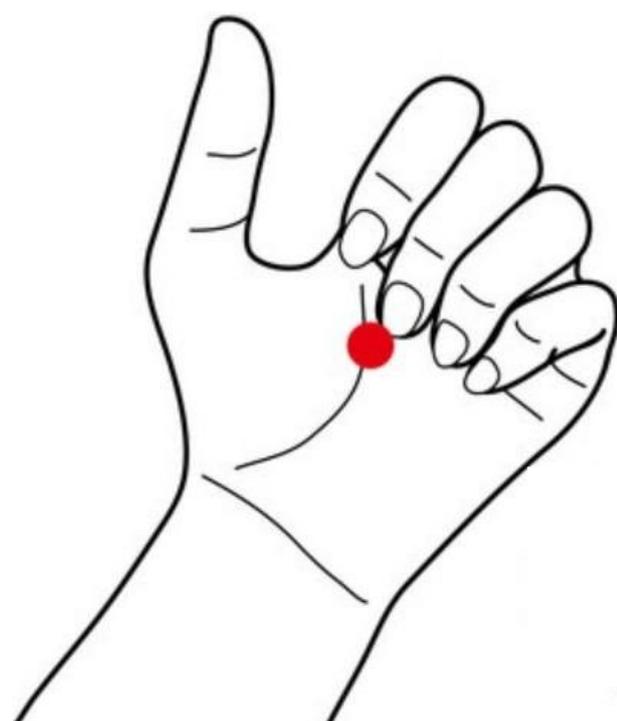
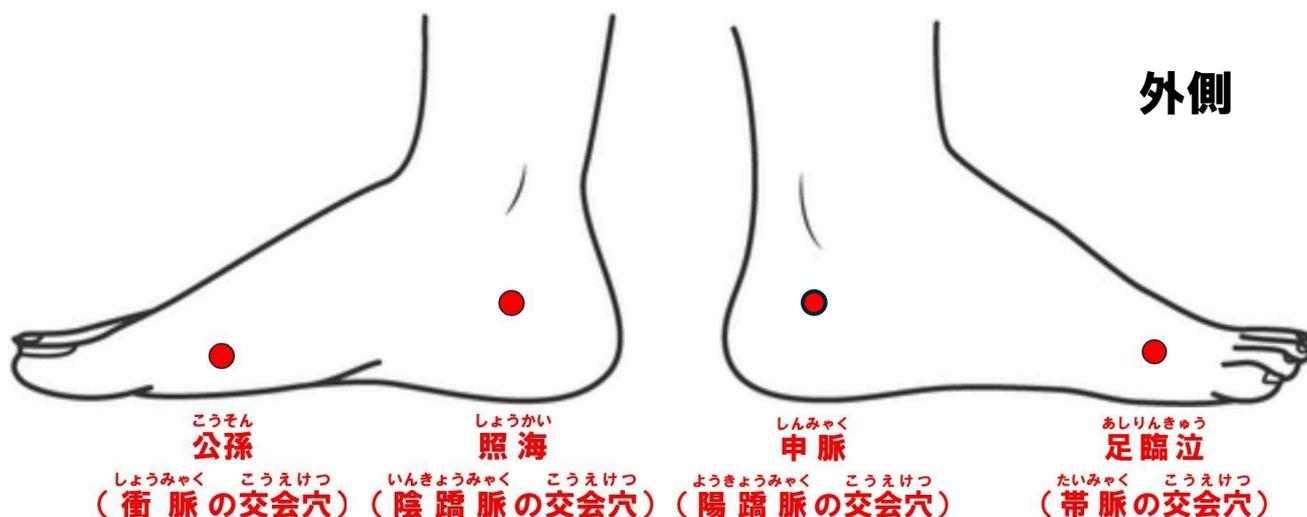
奇經八脈は腎臓が管理し、十二經絡は脾臓が管理していますが、奇經八脈にアクセスするために必要な經穴になります。

湧泉をセルフヒーリングすることは、「サーカディアンリズム」を再調整するのに役立ちます。また、更年期障害や、疲労回復、血行促進など冷えにはかかせないツボとしても知られます。傲慢に思い上がったエネルギーを下げ、落ち着かせたり、ハイテンションやイライラを鎮め、地に足をつけさせます。

湧泉は、肉體オーラと靈體オーラ、電磁氣のフィールド両方のエネルギーの影響を一番受け、そのエネルギーを膝裏の「委中」の經穴を通して精鍊し、靈的エネルギーとして質を變化させる特性があります。

兩足の湧泉の經穴が開いていると、地球との結びつきが強くなり、カラダの姿勢を安定させることが出来ます。反対に、この經穴が閉じていたり、詰まっていたりすると、地球との結びつきが弱くなり、地に足がついていない精神状態になってしまいます。

湧泉と奇經八脈の交会穴を組み合わせ



ろうきゅう 勞宮

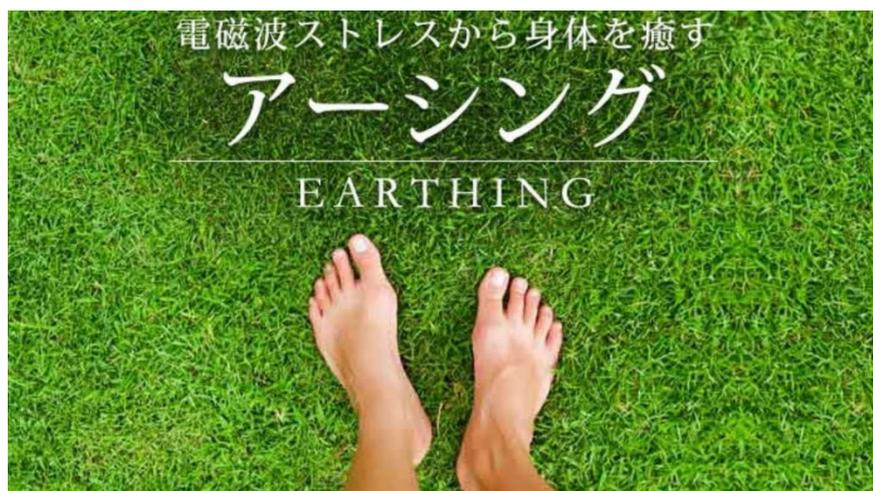
(脾臓)

奇經八脈は腎臓が管理し、十二經絡は脾臓が管理し、湧泉は奇經八脈にアクセスするために必要な經穴になります。

反対に十二經絡にアクセスする經穴は、手の平の「勞宮」の經穴になり、これは陰陽一対の關係の經穴になります。

湧泉を刺激すると奇經八脈を活性化させることになり、足の各交会穴と合わせることで氣エネルギーを活性化させることが可能です。また、勞宮を刺激すると十二經絡を活性化させることになり、各經穴と組み合わせることで血液循環を活性化させることが可能です。

湧泉は氣エネルギーの循環、勞宮は血エネルギーの循環に關係した經穴なのです



導入編ツールの場合、両足の湧泉^{ゆうせん}を「132Hz+264Hz」で「交互」に刺激し、^{すうかい}数回刺激していき、両足の湧泉^{ゆうせん}のツボ^{ツボ}の経穴が開き、地球との結びつきが強くさせ、カラダの姿勢を安定させます。

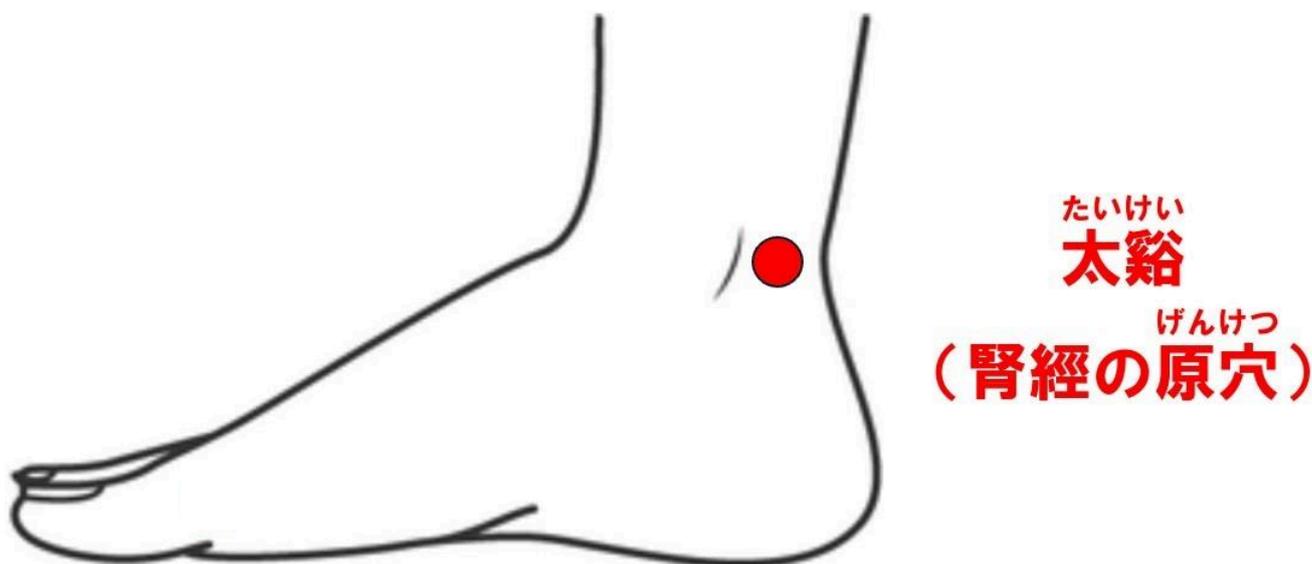
その後、片側ずつ湧泉^{ゆうせん}を刺激していきます。入門編セットで湧泉^{ゆうせん}を刺激するのに適した音叉は「オーム音叉+285Hz 音叉」の組み合わせです。285Hz は「アーススター・チャクラ」であり、足下20cm～30cmに強く作用する周波数です。

足裏は「電気、磁気の磁場（電磁気のフィールド）」の影響を一番受けます。285Hzは不調和なエネルギーを「アーシング」させる効果があります。アーシングとは、素足や素手で直接大地に触れることで、^{たいたい}体内に溜まった電気（電磁波や静電気）を放電し、大地から電子（エネルギー）を取り込む健康法です。

現代人は電化製品に囲まれ自然との触れ合いが減っているため、^{しんたい}身体に電気が帯電しやすく、^{ひろろ}疲労やストレスの原因になると考えられており、裸足で土や海に触れることで心身のバランスを整えることを目指します。

オームは地球の四季のサイクル、285Hzは多次元領域に働きかけ、水星や冥王星の周波数に近く、カラダに溜まった毒素をデトックスする効果が期待できます。

腎経の原穴「太谿」は、遺傳子の構造變換中、必須の經穴

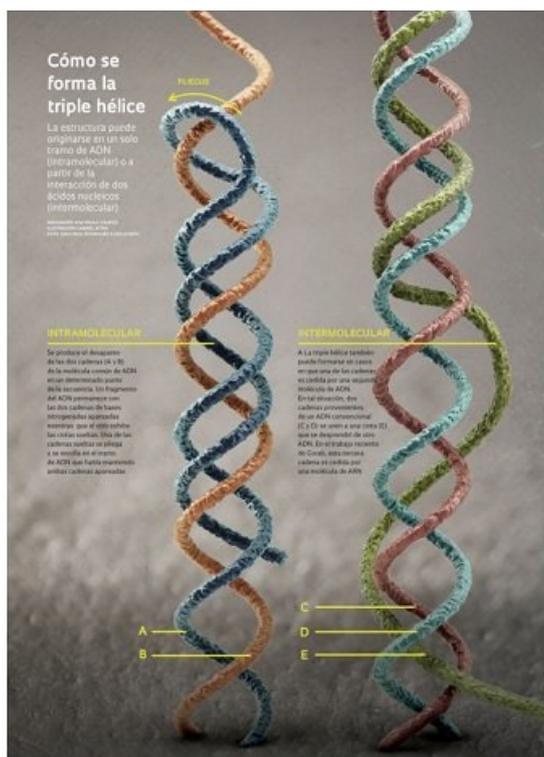


DNAは、火山噴火や氣象變動、宇宙波などの大きな磁氣變動により變化、變容することが2008年に米國スタンフォード大學から發表されています。そして2009年10月には「DNAは音（言葉と振動）の影響で頻繁に再プログラムされている証拠が見つかった」という衝撃的な内容が、ロシアの科學者たちにより發表されています。

DNAはわたし達の肉體を作る元となる（データを記憶している）だけではなく、コミュニケーションの記憶も蓄積している可能性があるということや、ジャンクDNA（働いていないとされるDNA。DNA全体の90%~97%がジャンクDNAといわれている）は、さまざまな周波数の刺激により、スイッチが入ったり、變容したりすることも判明しています。

それは、「DNAの進化は音で出来るということの科學的証明」であり、DNAを進化させる最大の鍵は「水晶宮」、^{クリスタルパレス}「仙骨八仙洞」、^{かがく}「奇經八脈」と「天球の音楽」であり、わたし達は音叉セルフヒーリングによりDNAを常にアップデートできる立場にいるのです。

そのアップデートの際に、毎日自分自身で太谿の經穴を刺激することは必須になります



本来、DNA は十二螺旋構造であり、靈的な進化とは、
有機的^{にくたい}肉體の再構成と靈的アップグレード
(DNA/RNA を新しい次元の細胞に新生) させるこ
とです。

しかし、「遺傳子^{いでんし}の構造變換^{へんかん}」を成功させるためには
乗り越えなければならない試練も多々あります。

そのために必ず踏まえてなければならないことと
は、變容^{へんよう}、進化とは必ず苦しみと痛みが伴うという
現實です。

太谿^{たいけい}の經穴^{ツボ}は腎經^{けんけつ}の原穴であり、「恐怖心」と深く関係しています。腎經および腎の氣に深
くアクセスを促します。この經穴はDNAが急速に變化する、變容^{へんか}の時期に重要です。

變容^{へんよう}とは「破壊的なプロセス^{破壊的なプロセス}」であり、變容^{へんよう}は古い信念やマインド、肉體^{にくたい}のパターンが崩
れないと起こりません。變容^{へんよう}にあがなうと辛い思いをする。變容^{へんよう}を許可すると、最初は多少
の痛みが伴うが、意識が拡張し、平和の感覺を得られます。

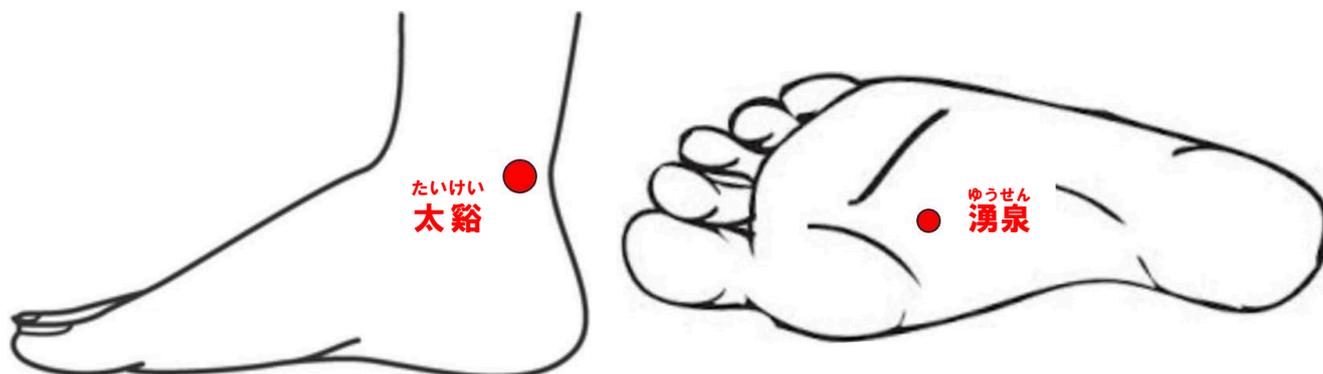
地上世界はカオスで膨大な變化^{へんか}を通過中ですが、殆どの方が變化^{へんか}に抵抗しようとしています。

變容^{へんよう}するには、必ず古いものを手放さないといけない。そこに苦しみが生じるのです。

太谿^{たいけい}の經穴^{ツボ}は、異なる世界とのギャップを乗り越えるのを助け、別の世界に旅立ちながらも、
しっかりしたグラウンディングを保つのに役立ちます。對應する症状は、ひどい腰痛、副腎^{たいおう}
疲勞^{ひろう}、グラウンディングの弱さ、恐怖感などを緩和、軽減する効果があります。

この經穴^{ツボ}に適した周波数は「128Hz 音叉 + 396Hz 音叉」、「396Hz + 528Hz 音叉」になります。

たいけい ゆうせん ツ ボ
太谿と湧泉の經穴を組み合わせ



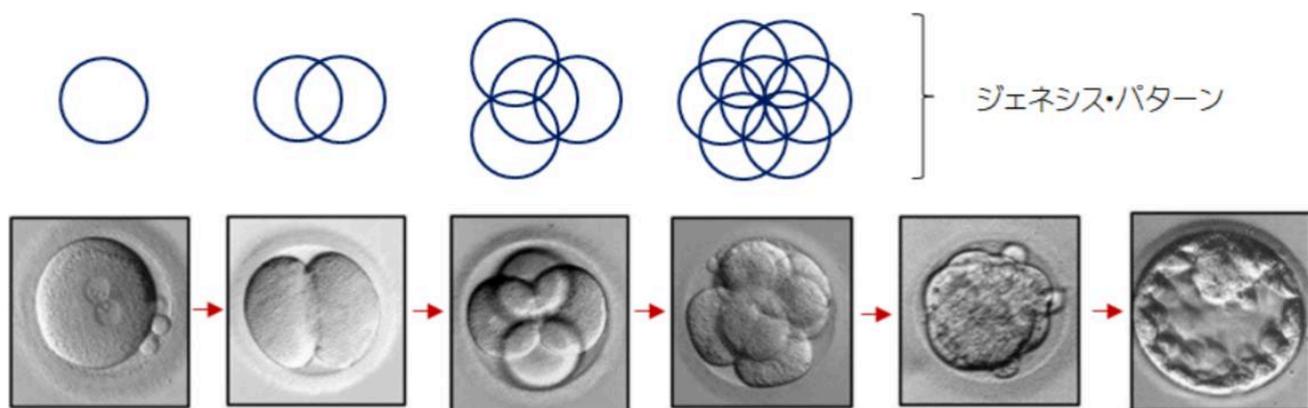
128Hz+396Hz の組み合わせは、「恐怖心を乗り越えて、人生を前進させる」意味があり、DNAの構造^{へんかん}變換の前後というのは恐怖心に支配され、隠されてきた感情が浮上して暴走してしまうケースがありますが、太谿^{たいけい}にこの組み合わせで刺激することで恐怖を克服することを促します。

396Hz+528Hz の組み合わせは、「被害者意識を取り除き、人を責める^{エゴ}EGHO意識を改めさせる」意味があり、そもそもEGHO意識の元は「責任^{てんか}轉嫁」であり、「まわりのせいにする」という意識、「自分は悪くない」という思考癖が^{エゴ}EGHO意識の始まりです。

宇宙の仕組みは「原因と結果の法則」に支配されています。なので、「すべての結果は自己責任であり、自分の責任」です。誰のせいでもありません。こうした悪癖を改めることは、^{スピリチュアルジャーニー}靈的巡礼の旅を歩む上で必須です。

組み合わせとして、「湧泉^{ゆうせん}→太谿^{たいけい}」は、エネルギーを上昇させる作用、「太谿^{たいけい}→湧泉^{ゆうせん}」はグラウディングを促す作用があります。また、腎經同士の^{ツボ}經穴の組み合わせですので、水のエレメントのネガティブ^{はんのう}反應である「恐怖、被害妄想」という感情を、「希望」というエネルギーに^{へんかん}變換させる作用があります。

げんけつ ツポ
足の原穴の経穴について



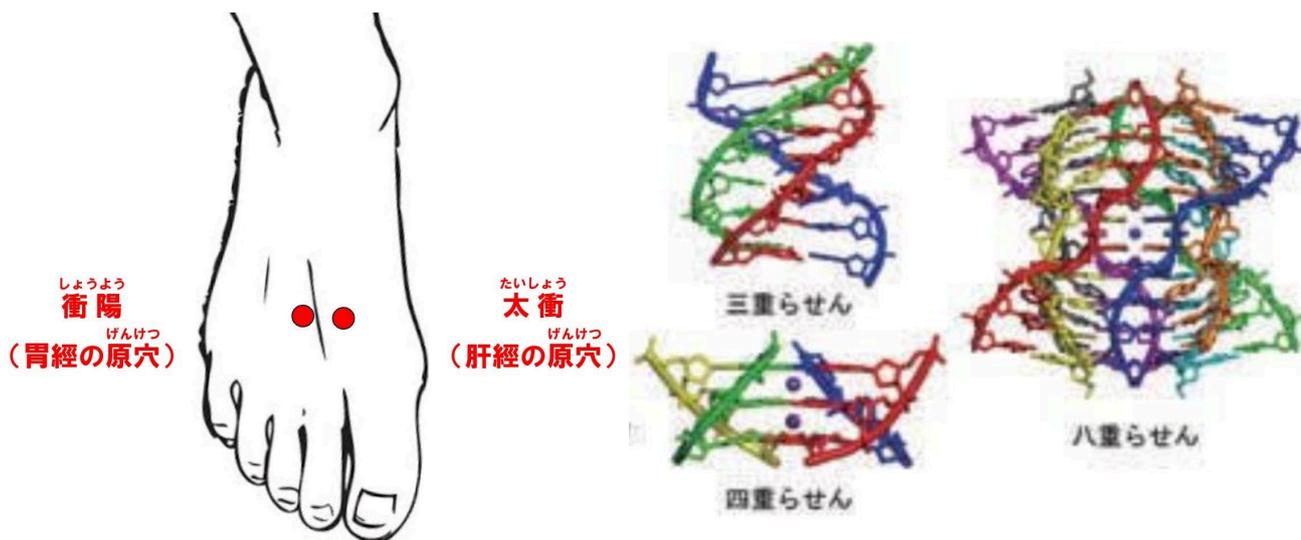
奇経八脈の^{こうえけつ}交会穴は「8つの原型細胞」を司り、十二経絡の^{げんけつ}原穴は「十二螺旋DNA」を司ります。この2つは「^{いのち}生命の^{せつけいず}設計圖」そのものであり、奇経八脈の^{こうえけつ}交会穴と十二経絡の^{げんけつ}原穴の^{ツポ}経穴が近くにあるのは偶然ではありません。

奇経八脈：腎臓が^{れいたい}靈體として管理、コントロール（8つの原型細胞）

十二経絡：^{にくたい}腠臓が肉體として管理、コントロール（十二螺旋DNA）

太陽神経叢の^{しんけいそう}シルバーコードが、^{れいたい}靈體と^{にくたい}肉體を繋いでいる

しかし、奇経八脈から十二経絡としてエネルギーの通り道を通して^{いでんし}遺傳子は働く仕組みになっていますが、現代地球文化は奇経八脈のエネルギーの通り道が閉ざされています。



足の原穴の基音と音程				
五行	げんけつ 原穴	ホームトーン 基音	ソルフェジオ音程	惑星音程
水のエレメント	陰：たいけい 太谿 (腎經)	128Hz	396Hz、528Hz	キロン、ニビル
	陽：けいこつ 京骨 (膀胱經)		174Hz、963Hz	太陽、天王星
土のエレメント	陰：たいはく 太白 (脾經)	136.1Hz	639Hz、174Hz	土星、太陽
	陽：しょうよう 衝陽 (胃經)		741Hz、285Hz	水星、土星
木のエレメント	陰：たいしょう 太衝 (肝經)	132Hz	528Hz、285Hz	木星、火星
	陽：きゅうきよ 丘墟 (胆經)		417Hz、528Hz	火星、木星

そのため、地上人類の殆どの人間のDNAの90%~97%近くが「ジャンクDNA」として眠っている状態です。DNAは、「督脈と任脈という正中線 (チャクラ)」しか働いていない状態であり、殆どの地上人類は靈的には居眠りしている状態が常態化しています。

DNAを進化させる最大の鍵は「^{クリスタルパレス}水晶宮」、「仙骨八仙洞」、「奇經八脈」の三大奥義を刺激し眠っているDNAのスイッチを押し、その後十二經絡の原穴を通して遺傳子の構造變換を完成させ、十二螺旋DNAに戻すことが大切なのです。

げんけつ たいおう 足の原因の対応する症状		
げんけつ ツボ 原穴の経穴	入門編セットの組み合わせ	たいおう 対応する症状
たいけい 太谿	128Hz + 396Hz	恐怖心の緩和、腰痛の緩和、更年期障害
けいこつ 京骨	128Hz + 174Hz	我慢によるストレスの軽減、脊髄の痛みの緩和
たいはく 太白	136.1Hz + 639Hz	後頭部の痛みの軽減、副甲状腺の炎症の緩和
しょうよう 衝陽	136.1Hz + 741Hz	不安、心配の昇華、消化器系（胃腸）の不調の軽減
たいしょう 太衝	132Hz + 528Hz	停滞している物事の前進、鬱症状の緩和、呼吸器系の改善
きゅうきよ 丘墟	132Hz + 417Hz	骨盤、臀部の歪みの調整、血液循環の促進

足の原因は基本的に全部使うのが理想です。この中で特にオススメの経穴は「丘墟」であり、丘墟の経穴は胆經に属するため、決断力や実行力を高める働きも期待できます。胆嚢は赤血球の生成に関わり、感情のコントロールを司るからです。

骨盤からなる下半身の歪み、足首、膝、股関節の痛み、坐骨神経痛などの改善、そしてむくみ、足先の冷えの改善などに効果的であり、下半身の歪みを改善する場合、必ず使う経穴になります。胆經はカラダの側面を通るルートであり、偏頭痛、自律神経の乱れにも良いとされています。

太衝の経穴は肝臓を通る経絡にある経穴であり、肝臓の疲れはもちろん、肉體疲勞や精神疲勞だけでなく「眼精疲勞」にも効果的です。アーユルヴェーダでは、眼の症状は肝臓と言われており、眼の疾患を改善するには肝臓を回復させる必要があるのです。

頭のほうに詰まっているエネルギーを下に流れるように調整し全身の氣エネルギーの巡りをよくします。イライラ、緊張型頭痛、肩こり、のぼせ、月経前症候群（PMS）などが氣になるときは、太衝の経穴を刺激するとよいでしょう。また、太衝の経穴は「合谷」と合わせて使う「四關穴」という組み合わせがあります。

太白の^{たいはく}經^ツ穴^ボは東洋^{いがく}醫學において脾胃の機能強化に重要な役割を果たすとされています。太白は「消化^{きけつ}吸収力の向上」と「氣^{きけつ}血の改善」に効果があるとされています。氣^{きけつ}血を補い、全身の氣力を高める作用があり、^{ひろろ}疲^{たいりよく}勞回復や體力増進にも役立つとされています。

消化不良、胃もたれ、食欲不振、腹痛、便秘などの胃腸の不調や、だるさ、むくみにも効果が期待でき、特に胃腸の働きを高め、食欲不振や消化不良、腹部膨満感などの症状に効果的です。生命力を蘇生させる^ツ經^ボ穴という認識でよいと思います。

衝陽^{しょうよう}の^ツ經^ボ穴は、^脳顯在意識と^腸潜在意識を繋ぐ胃經のルートであり、顔面部の症状で、顔面神經麻痺、浮腫、美肌効果、免疫力向上、目の痛みなどに使用されることがあります。邪氣の^{たいりゅう}滯留を防いで、お顔^{ぜんたい}全體のリフトアップと首周りのデトックスをサポートする^ツ經^ボ穴です。

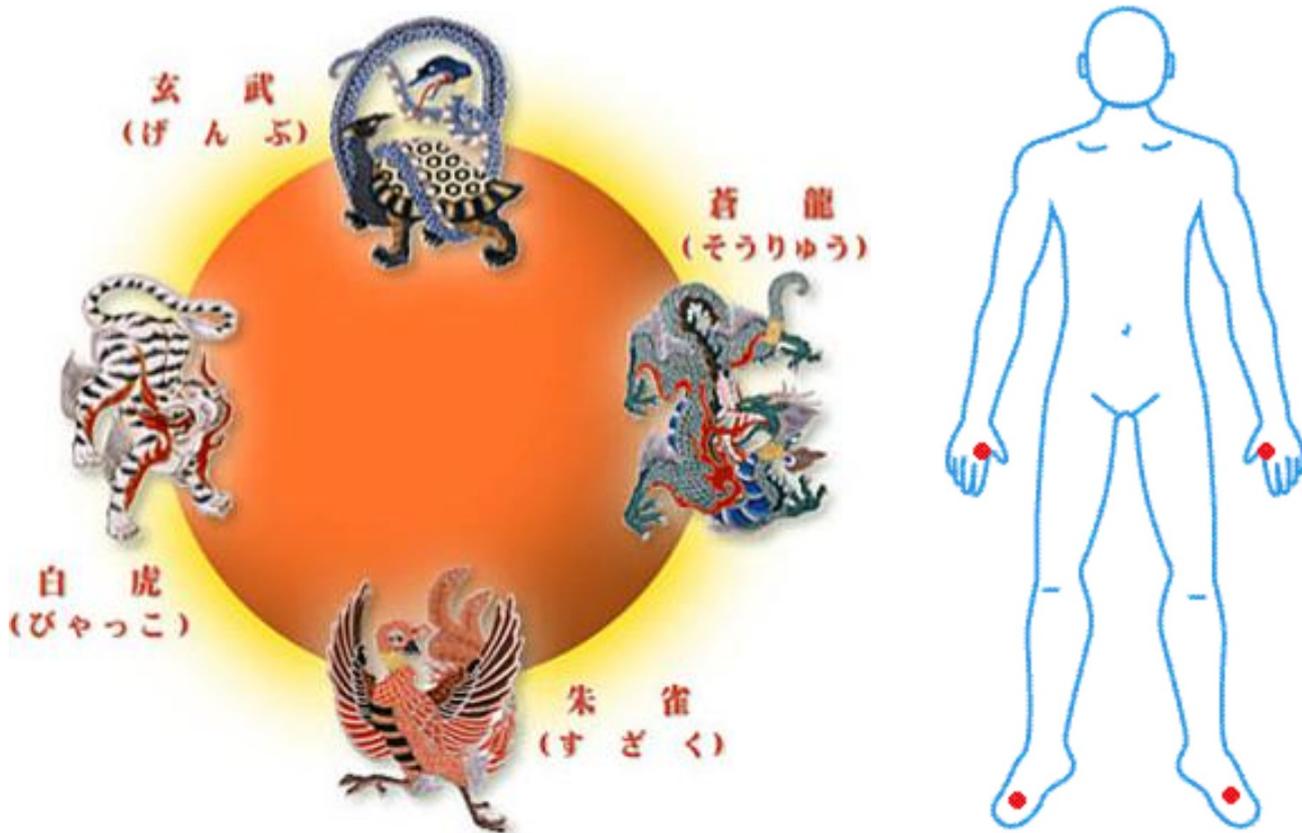
また衝陽^{しょうよう}の^ツ經^ボ穴は、夏の胃の疲れや心因性の食欲不振に効果的です。^{いかいよう}胃潰瘍の進行を初期症状で抑え、悪化を防いでくれます。お腹が張る、吐き氣、胃の痛みなどの症状を軽減させます。また、足の疲れや麻痺、低血圧や^{たいしつ}虚弱體質、アレルギー^{たいしつ}體質の改善にも効果的です。

京骨^{けいこつ}は「足の太陽膀胱經」の^ツ經^ボ穴であり、「京骨」の「京」とは、「都」「中心地」「集まる場所」を意味する文字です。「足の太陽膀胱經」の^{げんけつ}原穴として、^{ゆけつ}愈穴を通して全身を管理、コントロールしています。

京骨^{けいこつ}は^{C S F}腦脊髄液を分泌させ、後頭部の筋肉の緊張を緩和するのに特に効果を発揮します。腦幹からなる^{てんかん}癩癩、めまい、頭痛、肩凝り、結膜炎、近くの物が見づらいなどの老眼的症状を緩和してくれます。

また、^{C S F}腦脊髄液を分泌させることで脊髄全般の症状に有効であり、背中の痛み、腰痛、膀胱疾患、坐骨神經、痛風などにも効果があります。また大腿部の痛み、そして足の疲れにも有効です。

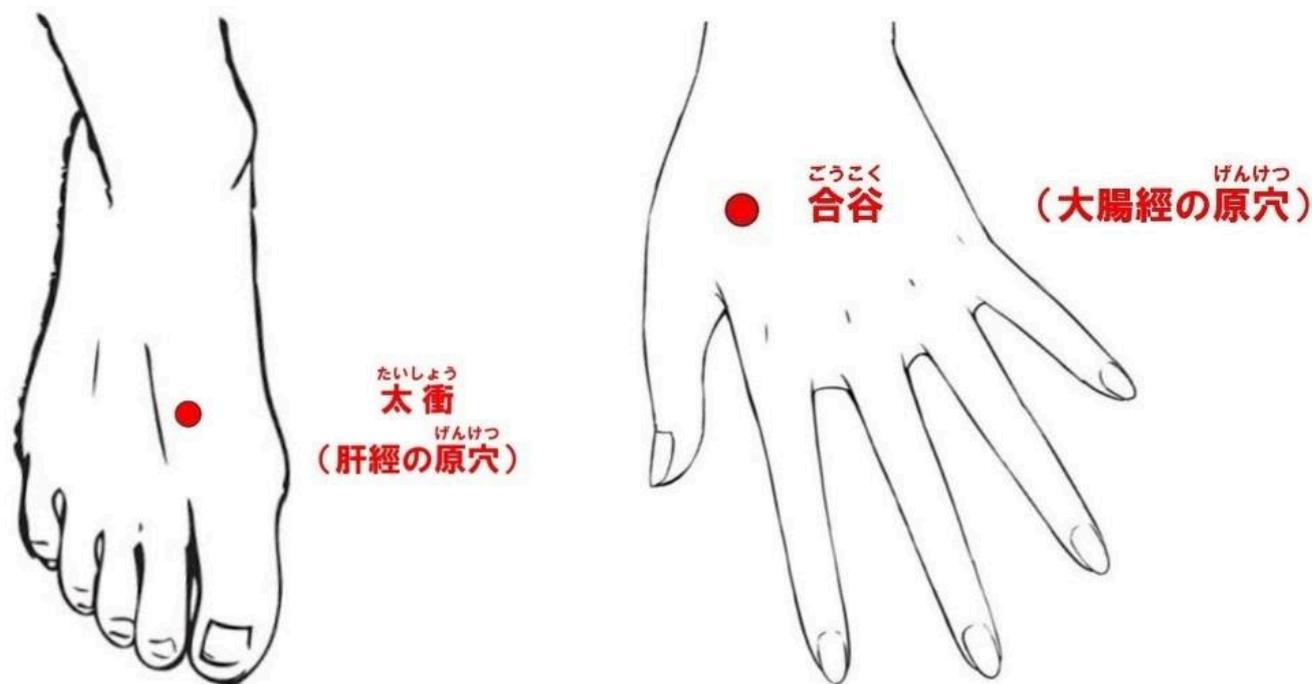
手足の親指の付け根の經穴、^{ツボ}四關穴^{しかんけつ}について



水晶宮は「^{せいめい}晴明」という^{ツボ}經穴に「^{しはく}四白」と「^{ぎよう}魚腰」を組み合わせて八卦を描いていくメソッド、仙骨八仙洞は「^{はちりょうけつ}八髎穴」に「^{ほうこう}胞肓」と「^{ちっぺん}秩辺」を組み合わせて八卦を描いていくメソッドです。四白、^{ぎよう}魚腰、^{ほうこう}胞肓、^{ちっぺん}秩辺は「^{しはく}方位」を表しており、四聖と関係しています。

奇經八脈の^{こうえけつ}交会穴の場合、そのような^{ツボ}經穴がありません。その^か變わり、「^{ごうこく}合谷」と「^{たいしやう}太衝」の^{ツボ}經穴を合わせて使う「^{しかんけつ}四關穴」、英語で「4 ^{ゲイツ}GATES」の^{ツボ}經穴が四聖と関係する^{ツボ}經穴になります。「^{だいじやう}大腸經」と「^{かん}肝經」の^{ツボ}經穴を奇經八脈の^{こうえけつ}交会穴で使わない理由はそこにあります。

4 ^{ゲイツ}GATES の別名は「4 ^{スターゲイザー}STARGAZER」であり、これは「^{きたきよく}北極星を見つめるもの」を意味します。^{しかんけつ}四關穴は地球の歳差運動に関係しており、25920年の叡智を内包し、アカシックレコードにアクセスするための^{ツボ}經穴の組み合わせとされており。



四關穴による鍼治療が「アルツハイマー病患者の脳のつながりを強化」という記事もありますが、特徴として、全身の痛みを動かします。大腸と肝臓を繋げ、デトックスの機能を高める役割もあります。妊娠中は禁忌であり、合谷は大腸だけでなく、子宮も目覚めさせます。妊娠から出産を誘発する場合は OK です。

四關穴は頭部や顔面、自律神経の調整、鼻炎や花粉症、頭痛、イライラ、全身の氣血を調和させます。眠りが浅い、寝つきが悪いなどの症状は「肝臓の過剰な昂り」により引き起こされますが、肝臓の過剰な昂りを鎮め、睡眠の質を向上させるのにも有効です。

また、スピリチュアル的な意味として、25000年以上の止まっていた時間を再び大きく動かします。落ち着いた状態、リラックスした状態で宇宙情報にアクセスするのに四關穴を用います。

四關穴は合谷と太衝を「左手の合谷、右足の太衝」、「右手の合谷、左足の太衝」というような当て方をします。周波数の組み合わせは、合谷に「174Hz or 528Hz」、太衝に「132Hz」の組み合わせが有効です。

下半身にある様々なツボ



あしさんり 足三里は「下の方にある氣海」とも呼ばれ、エネルギーを取り戻し、増進する働きをします。消化を良くし、胃を強壮するのに用いられます。ガス、膨満感、吐き氣、軟便など、あらゆる消化器系の問題に良いツボです。

また、免疫系を増進し、根底的にサポートします。「かんげん + あしさんり 足三里」の組み合わせは末梢神経障害の治療に用いられます。

音叉の組み合わせは、導入編ツールだと「132Hz+264Hz」、入門編ツールだと「285Hz+オーム」が免疫機能を高めてくれるのでオススメです。



いんこく 陰谷は、水を司る経絡である腎經の「すいけつ 水穴」のツボであり陰エネルギーにより深くアクセスする必要がある時、前世にアクセスする際に使用します。また、しっか 膝下リンパや膝に痛みがある際には使用します。

いんこく 陰谷のみを刺激する場合は、片足のいんこく 陰谷のツボにオーム音叉+396Hz 音叉で刺激し、陽エネルギーの滋養を与えて下半身に熱エネルギーを送ることを促します。

ゆうせん 湧泉+いんこく 陰谷を刺激する場合は、いんこく 陰谷に 264Hz の音叉を当て、ゆうせん 湧泉に 132Hz の音叉を当て、世代間のパターン、前世から持ち越されたパターンを満了に導きます。



さんいんこう ツボ
三陰交の経穴は脾經の経絡であり、脾經、肝經、腎經から成る、足から流れる3本の陰の経絡が交わるツボ経穴です。

このツボのエネルギーは、血に滋養を与え、血を増進し、血のエネルギー、女性エネルギーの流れを司ります。

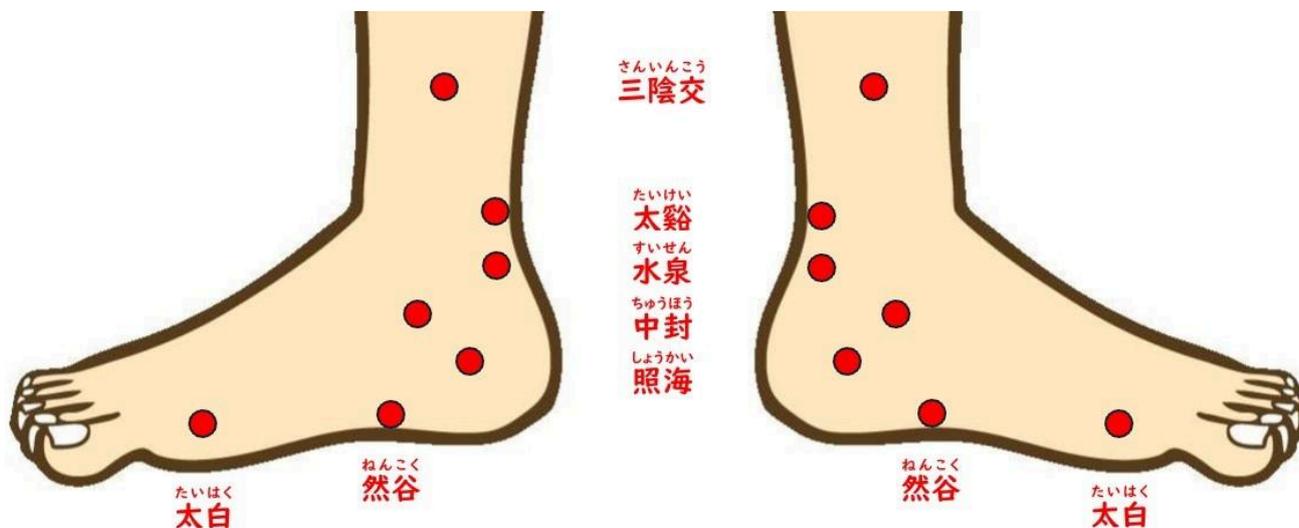
不安、不眠、虚による頭痛、多くの婦人科疾患に優れた効果を發揮します。オームチューナー&396Hzで氣と血を増進し、身體に滋養を与えた後、オームチューナー&528Hzで軟便や脾陽虚（脾の陽氣の虚衰）による内臓下垂や臓器脱を改善します。婦人科系、泌尿器系、消化器系、性、感情にまつわるあらゆるバランスを調整するのに非常に重要なツボ経穴です。



けんしょう ツボ
懸鐘の経穴は胆經の経絡であり、精のエネルギー、男性エネルギーが豊富に貯えられています。首、喉の詰まり、脚部の筋萎縮に役立ちます。

けんしょう ツボ へんよう
懸鐘の経穴は、變容に行き詰まっている人、高次の靈的本質を體現していない人に、根底的な部分を見直すようにメッセージを送ってくれます。

別名を「絶骨」といい、「懸」には吊り下げるといった意味があります。胆經は下肢に向かい下降していて、腓骨の先が現われ外踝に繋がる姿が鐘の形に似ているので、懸鐘と呼ばれています。オームチューナー&174Hzの組み合わせで精のエネルギーを補充し、潜在的な資質を開花し、體現するのをサポートします。

【足の主要な陰經の經穴^{ツボ}】

足の陰經は「腎經」「脾經」「肝經」ですが、入門編で扱う下半身の陰經の經穴^{ツボ}は、この辺りの經穴^{ツボ}になります。

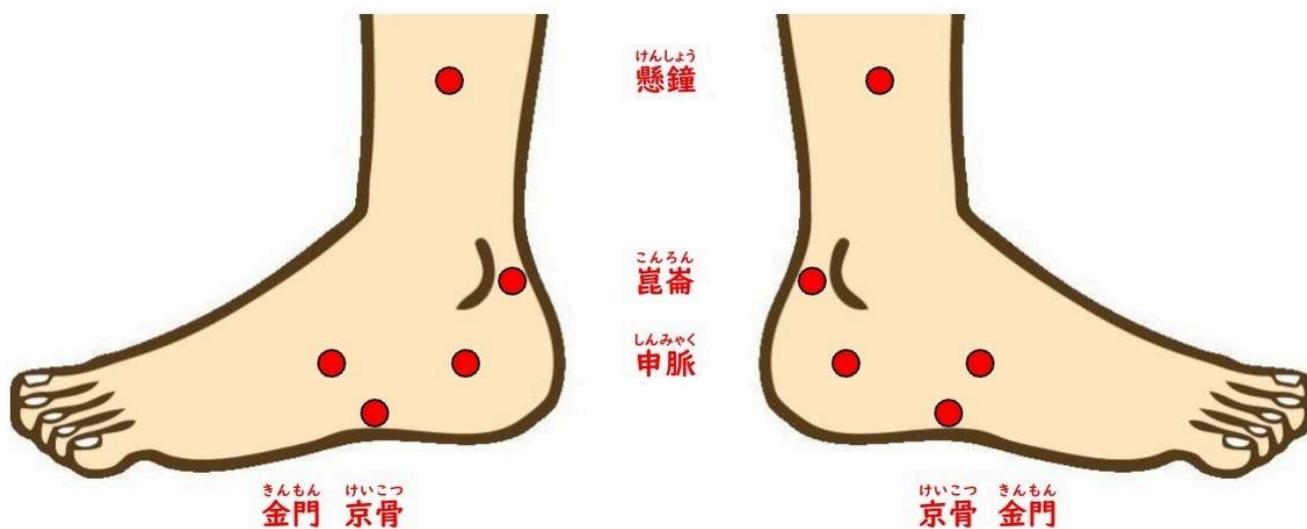
經穴^{ツボ}の組み合わせは様々なパターンが存在しますが、入門編では基本的に「太谿^{たいけい}」の經穴^{ツボ}と違う經穴^{ツボ}を組み合わせることが多くなります。「太谿^{たいけい}+太白^{たいはく}」や、「太谿^{たいけい}+湧泉^{ゆうせん}」などを多く扱うことになるでしょう。

他には「郄穴^{げきけつ}」同士の組み合わせとして「水泉^{すいせん}（腎經の郄穴^{げきけつ}）+築賓^{ちくひん}（陰維脈の郄穴^{げきけつ}）」などを組み合わせて急性の症状^{たいおう}に対応する方法なども存在します。2つの經穴^{ツボ}は「水のエレメントの經穴^{ツボ}」であり、恐怖心を打ち消すために必要な經穴^{ツボ}の組み合わせになります。

足裏の反射區の考え方で組み合わせを考えるならば「然谷^{ねんこく}（膀胱の反射區）+太白^{たいはく}（副甲状腺の反射區）」を刺激するのも効果的な經穴^{ツボ}の組み合わせです。2つの經穴^{ツボ}は「甲状腺と生殖器のフィードバック」に関する經穴^{ツボ}であり、「インナーチャイルド」の癒しに繋がります。



【足の主要な陽經の經穴】



足の陽經は「膀胱經」「胆經」「胃經」になりますが、入門編で扱う下半身の^{ツボ}經穴は、この辺りの^{ツボ}經穴になります。

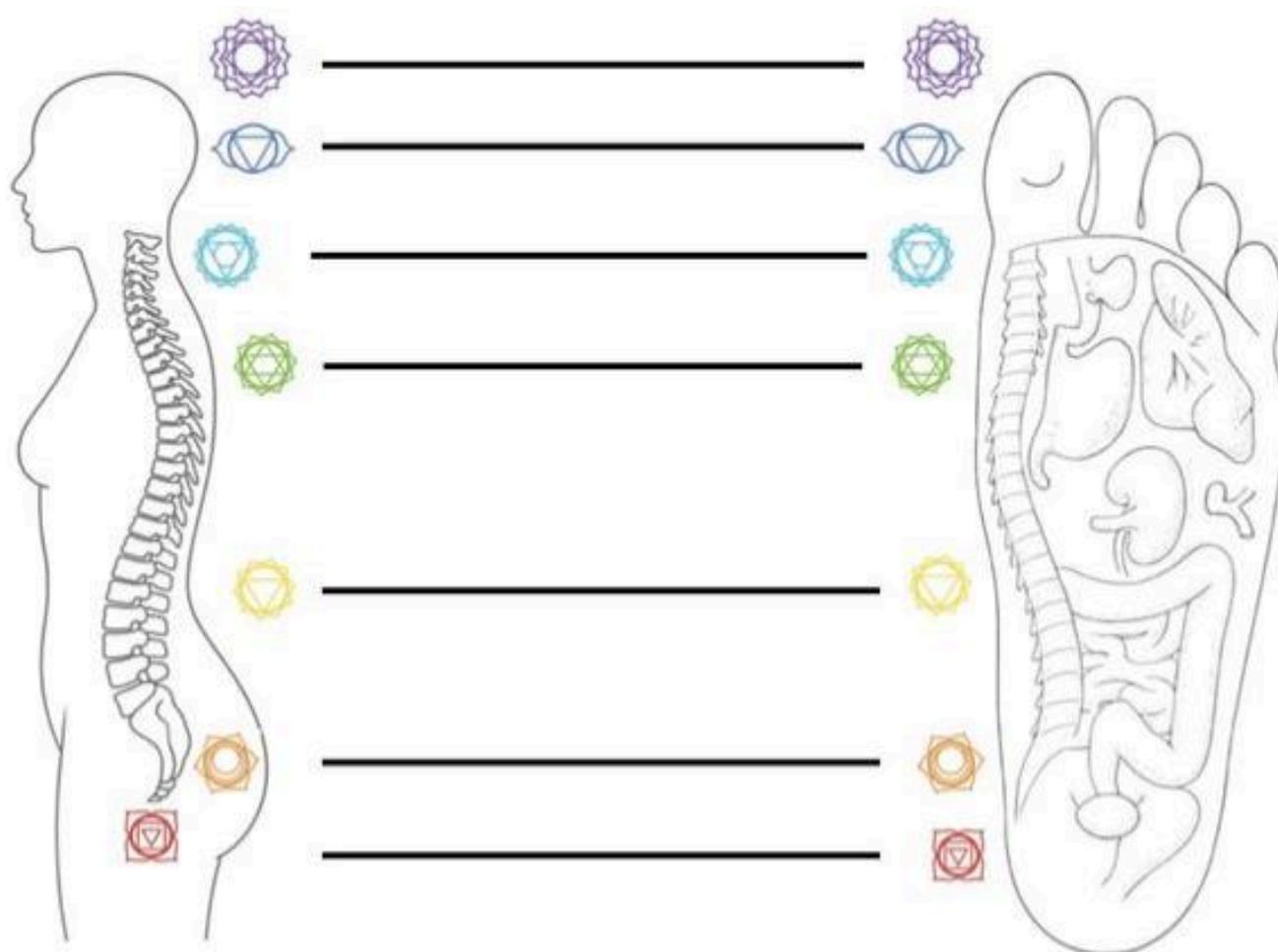
他にも足の陽經の^{ツボ}經穴は、胆經のラインである「足臨泣^{あしりんきゅう} (帶脈)」や「丘墟^{きゅうきょ} (胆經の^{げんけつ}原穴)」、「衝陽^{しょうよう} (胃經の^{げんけつ}原穴)」などがあります。陰經は「靈體^{れいたい}メイン」、陽經は「肉體^{にくたい}メイン」のアプローチであり、靈體^{れいたい}と肉體^{にくたい}が交わる^{ツボ}經穴が「奇經八脈の^{こうえけつ}交会穴」になるのです。

靈體^{れいたい}の健康は「氣の循環」であり、その真髓は「呼吸」です。肉體^{にくたい}の健康は「血の循環」であり、その真髓は「運動」です。その「氣^{れいたい} (靈體) と血^{にくたい} (肉體) の循環」こそが眞の健康學でも鍵になります。

幽體^{ゆうたい}とは「氣 (靈的世界) と血 (物質世界)」を融合するものであり、その真髓は「水の循環」であり、水の循環に必要なものが「音とミネラル」になります。そして、それらの統合を促す足の陽經の^{ツボ}經穴は「申脈^{しんみやく}」「足臨泣^{あしりんきゅう}」「懸鐘^{けんしょう}」の3つの^{ツボ}經穴になります。

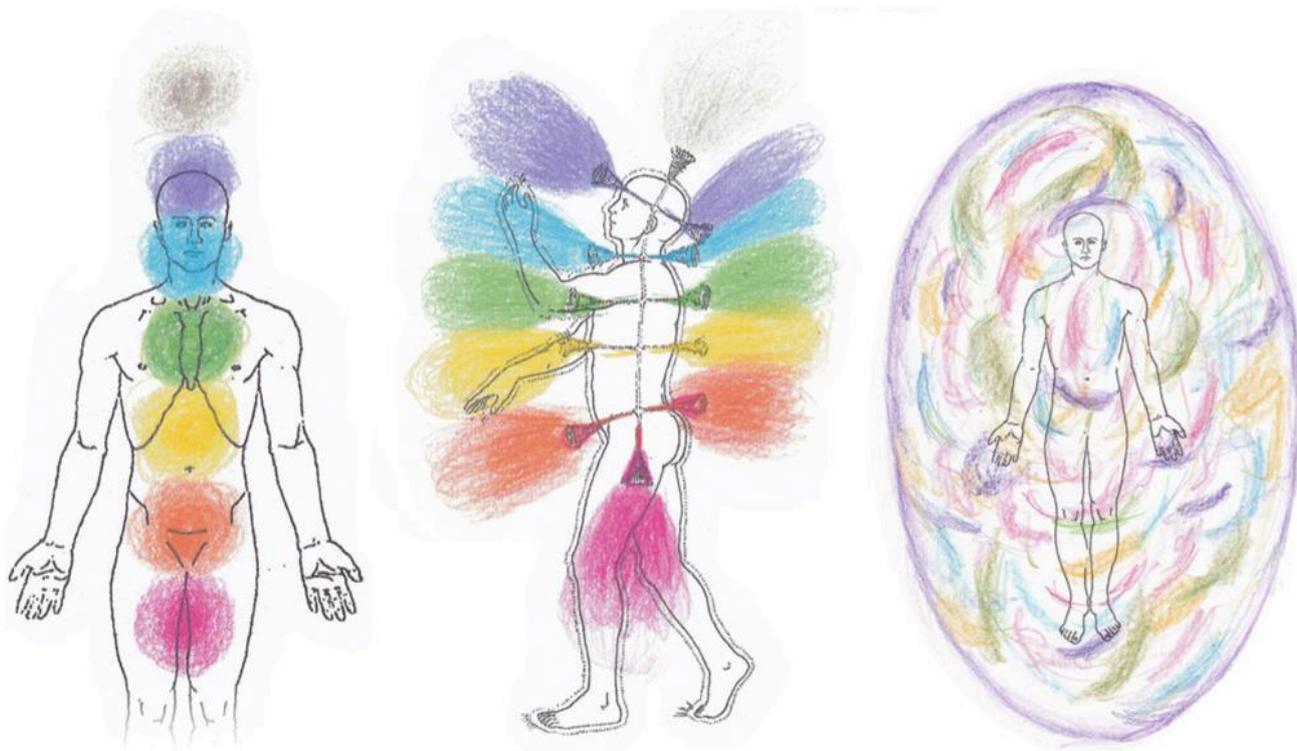


足裏のセルフヒーリングに重要な「チャクラバー」



足裏の反射区は、「全身の背面」とリンクしており、足裏の反射区をアプローチしていただだけでも全身のアプローチが可能です。下半身のセルフヒーリングは、足裏の反射区を覚えることでオリジナルメソッドを生み出すことが無限に可能であり、足裏のセルフヒーリングは様々な可能性を秘めています。

音叉セルフヒーリング入門編の真髄では、「足裏の反射区」と「各チャクラ」の関係性を理解することで、「各チャクラバー＋足裏の反射区」を融合して足裏を通して心身の調律をしていきます。更に音叉セルフヒーリング上級編は、「各チャクラバー（倍音）＋各惑星エナジーバー」を組み合わせて足裏の足裏の反射区へアプローチしていきます。



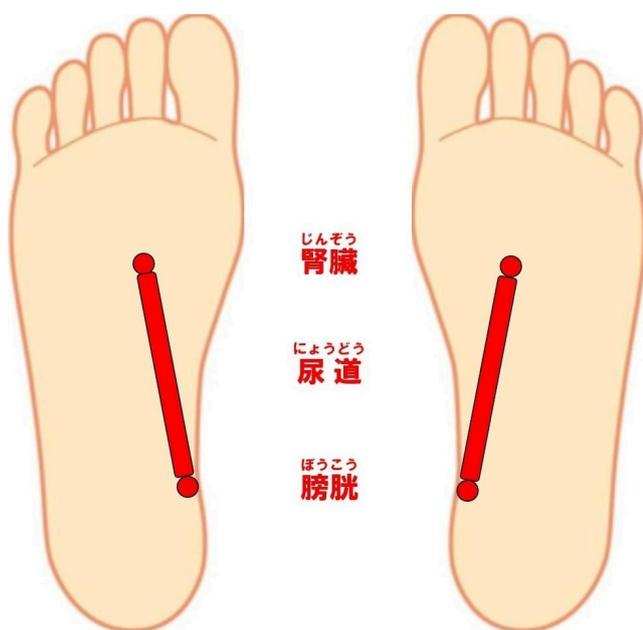
チャクラは「エネルギーのアンテナ」とされており、「2本のシルバーコード」を中心に
心臓脳 大脳 れいたい にくたい
霊の心と肉の心、霊體と肉體を繋いでいます。音叉セルフヒーリング初級編では「チャクラ
バー（ハーモニックタイプ）8個セット」が追加され、足裏のセルフヒーリングを通して心
身を深く調律していきます。

足裏は一番「磁場」の影響を受けるので、チャクラバーにより磁場の影響をクリアリングす
ることは、カラダに溜まった静電気を抜いたり、心身の安定にとっても大切なことです。な
ので反射区ごとにチャクラバーは細かく^{へんか}變化して使っていく工夫をしてください。

また、足裏は^{にくたい}肉體の健康において最重要な「血液」と「筋肉」に深く関係しており、人間の
^{にくたい}肉體生命は血液に支えられているという考えに基づき、その血液をいかに綺麗にするか、血
液を造血しているといわれている「小腸」の機能をいかに高めるかが思想の根本になります。

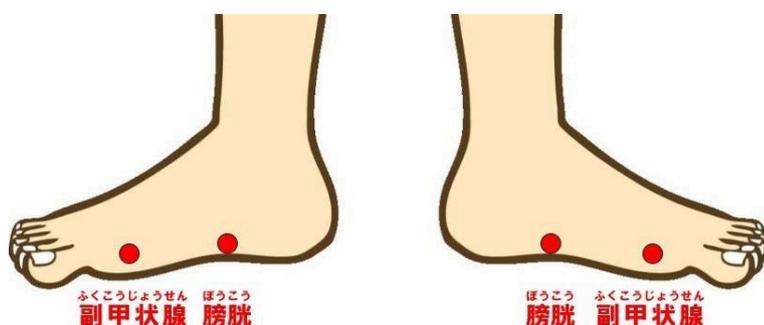
血液を全身にスムーズに循環させる、その結論は「塩」と「入浴」と「散歩」であり、すべ
てに共通するキーワードは「下半身の筋肉」になります。

入門編で扱う主な足裏の反射区について



入門編ツールの場合、腎臓（湧泉）に当てる音叉は 132 Hz チューナー、尿道を動かしていく音叉は 128Hz チューナーが基本になります。

膀胱（然谷）に当てる音叉は 132Hz チューナーと 264 Hz チューナーの倍音セットで膀胱を刺激すると効果的です。他にも組み合わせは沢山ありますので工夫してみましょう。



膀胱（然谷）と副甲状腺（太白）は第2チャクラと第5チャクラであり、喉と生殖器のフィードバックの関係性であり、前世のカルマ、胎内記憶の解消にも有効な経穴です。

膀胱の反射区である「然谷」の経穴は、泌尿器・婦人科系、特に頻尿、尿漏れ、生理不順の改善や、自律神経の乱れ、熱を冷ます効果が期待される経穴です。頻尿、残尿感、膀胱炎などの不調時に痛みや膨らみを感じやすく、尿トラブルの改善に役立ちます。

副甲状腺はカルシウムの新陳代謝をコントロールしており、副甲状腺が弱くなるとカルシウムの吸収が悪くなり、血液中のカルシウムバランスが悪くなり、それを補おうとして、骨からカルシウムが溶け出し、血液に移動し骨の中に空洞が生じ、骨粗鬆症の原因になります。



小脳と^{のうかすいたい}脳下垂体の反射区は足の親指にあります。親指全域は「大脳」の反射区になり、親指は「頸部」、「三叉神経」、「鼻」など頭部に関係するエリアになります。

小脳は後頭部の不調、首の不調を改善するのに効果的であり、^{のうかすいたい}脳下垂体は眼、鼻など顔面の不調を改善するのに効果的です。

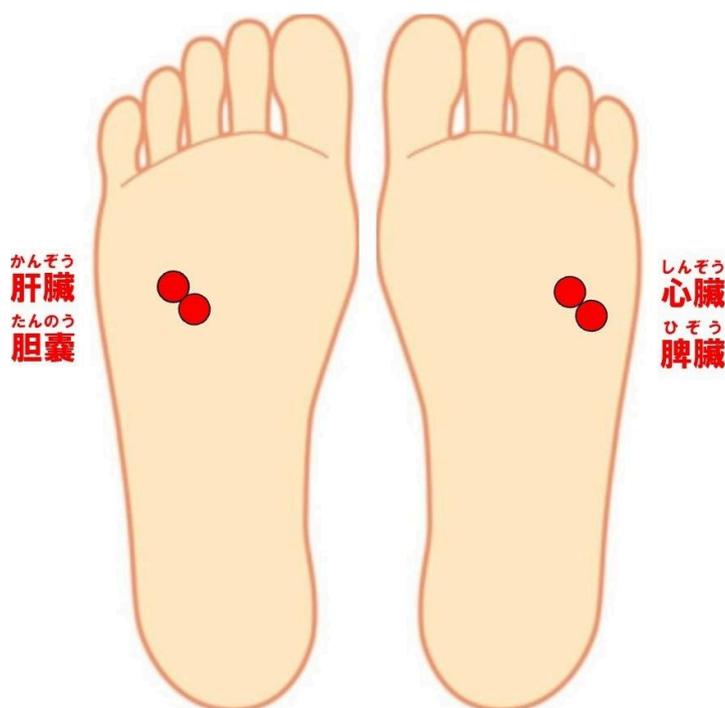
5本の指の上部は「^{ぜんとうどう}前頭洞（※眉の奥にある^{ふくびくう}副鼻腔）」というエリアであり、この部分はインスピレーションの受振にも関係してきます。



眼、耳の反射区は、指の付け根、少し膨らんだ箇所になります。目の疲れ、かすみ、耳鳴り、耳の不調に効果的です。

僧帽筋は肩甲骨の筋肉であり、僧帽筋の緊張を緩和し、四十肩、五十肩、肩こりなど肩、腕に関する症状の改善に有効であり、肩の可動領域を高めてくれます。

特に、眼の反射区は眼の疾患を改善するのに役立ってくれます



足裏の反射区で、左足と右足で反射区が違うのは、左足は「心臓」「脾臓」の反射区、右足は「肝臓」「胆嚢」の反射区になります。

基本的に左足の「心臓と脾臓」のセット、右足の「肝臓と胆嚢」のセットで反射区を刺激します。この対になる反射区は「氣（右足）」と「血（左足）」を表わしています。

心臓と脾臓の反射区は、「左足の裏」に位置し、心臓の反射区は、免疫力向上、冷え性改善、血流促進に効果が期待できます。脾臓の反射区は、免疫力アップ（リンパ液の流れ改善）、消化機能の不調改善、疲労回復が期待できます。

肝臓と胆嚢の反射区は、「右足の裏」に位置し、肝臓の反射区は、慢性疲労、肝硬変、肝炎、脂肪肝など肝臓疾患、情緒不安定、不眠症などに効果が期待できます。胆嚢の反射区は、消化不良、胆のう炎、胆のう結石などに効果が期待できます。

この中で特に重要な反射区は「脾臓」であり、「氣エネルギーの入口が脾臓」、「氣エネルギーを血エネルギーに変換しているのが胆嚢」、「血エネルギーを循環しているのが心臓」、「氣エネルギーを循環しているのが肝臓」であり、「靈體」と「肉體」のバランスを保っています。

不安、心配の感情により脾臓が弱くなると、氣エネルギーが遮断され、貧血（だるさ、息切れ）、出血しやすくなる（あざ、鼻血）、お腹の張りや痛み（左上腹部や背中）、食欲不振（胃の圧迫）、疲れやすいなどの症状が出ます。



足裏の「胃・膵臓・十二指腸」の反射区は、「土踏まず」周辺に集中しており、消化不良や疲れ、ストレスによる胃痛、吐き気などの緩和が期待できます。特に膵臓は「潜在意識」として十二経絡の流れをコントロールしている中樞になります。

【主な症状】

胃・・・・・・・・胃痛、胃もたれ、胃弱、胃炎、嘔吐、胃潰瘍など

膵臓・・・・・・・・糖尿病、新陳代謝障害、慢性・急性膵炎など

十二指腸・・・・・・・・十二指腸潰瘍、消化不良、腹部膨満など

膵臓の不調は、慢性的な「喜びの欠如」「甘えの過剰」、あるいは「自分を甘やかしてばかりで責任を負わない姿勢」を示唆すると言われます。腎臓は「霊體」、膵臓は「肉體」をコントロールしている「多臓器」という本質を忘れないようにしましょう。

音叉セルフヒーリングで使う足裏一覧表

はんしゃく 反射区	ソルフェジオ音叉	惑星音叉	各種エナジーバー（※上級ツール含む）
じんぞう 腎臓	285Hz	セドナ	$\overset{1}{C} + \overset{1}{C}$ ハーモニック+地球+月
しょうどう 尿道	396Hz	海王星	$\overset{1}{C} + \overset{1}{C}$ ハーモニック+太陽+海王星
ぼうこう 膀胱	417Hz	金星	$\overset{2}{D} + \overset{2}{D}$ ハーモニック+海王星+金星
ふくこうじょうせん 副甲状腺	741Hz	金星	$\overset{5}{G} + \overset{5}{G}$ ハーモニック+水星+金星
しょうのう 小脳	852Hz	海王星	$\overset{6}{A} + \overset{6}{A}$ ハーモニック+水星+海王星
のうかすいたい 脳下垂体	963Hz	天王星	$\overset{7}{B} + \overset{7}{B}$ ハーモニック+太陽+天王星
め 眼	852Hz	木星	$\overset{6}{A} + \overset{6}{A}$ ハーモニック+木星+海王星
みみ 耳	285Hz	冥王星	$\overset{6}{A} + \overset{6}{A}$ ハーモニック+冥王星+海王星
そうぼうきん 僧帽筋	639Hz	ゾディアック	$\overset{4}{F} + \overset{4}{F}$ ハーモニック+太陽+水星
しんぞう 心臓	639Hz	太陽	$\overset{4}{F} + \overset{4}{F}$ ハーモニック+太陽+木星
ひぞう 脾臓	174Hz	土星	$\overset{4}{F} + \overset{4}{F}$ ハーモニック+土星+金星
かんぞう 肝臓	528Hz	木星	$\overset{4}{F} + \overset{4}{F}$ ハーモニック+木星+月
たんのう 胆嚢	417Hz	火星	$\overset{4}{F} + \overset{4}{F}$ ハーモニック+火星+金星
い 胃	741Hz	水星	$\overset{3}{E} + \overset{3}{E}$ ハーモニック+水星+土星
すいぞう 膵臓	528Hz	ゾディアック	$\overset{3}{E} + \overset{3}{E}$ ハーモニック+木星+金星
じゅうにしちよう 十二指腸	396Hz	冥王星	$\overset{3}{E} + \overset{3}{E}$ ハーモニック+冥王星+地球

ここまでが「音叉セルフヒーリング入門編テキスト実践編」の具体的な実践内容になります。

この情報は、地上人類の誰しものが必要な情報であり、わたし達が「宇宙の音」に真の意味で

耳を傾けることは「スピリチュアルジャーニー霊的巡礼の旅」のため、そして真の健康のためにも欠かせないものです。

「このテキストが、皆さまの霊性の向上と健康に役立つことを願っています」



入門編最終章

地球という惑星の人類のために

スピリチュアリズム リーダー
地球人類救済計画の総責任者、イエス

その願いは、地球人類を救うことである

救いとは、幸せとは「靈的成長」である

その想いを引き継ぐことが、生まれてきた意味

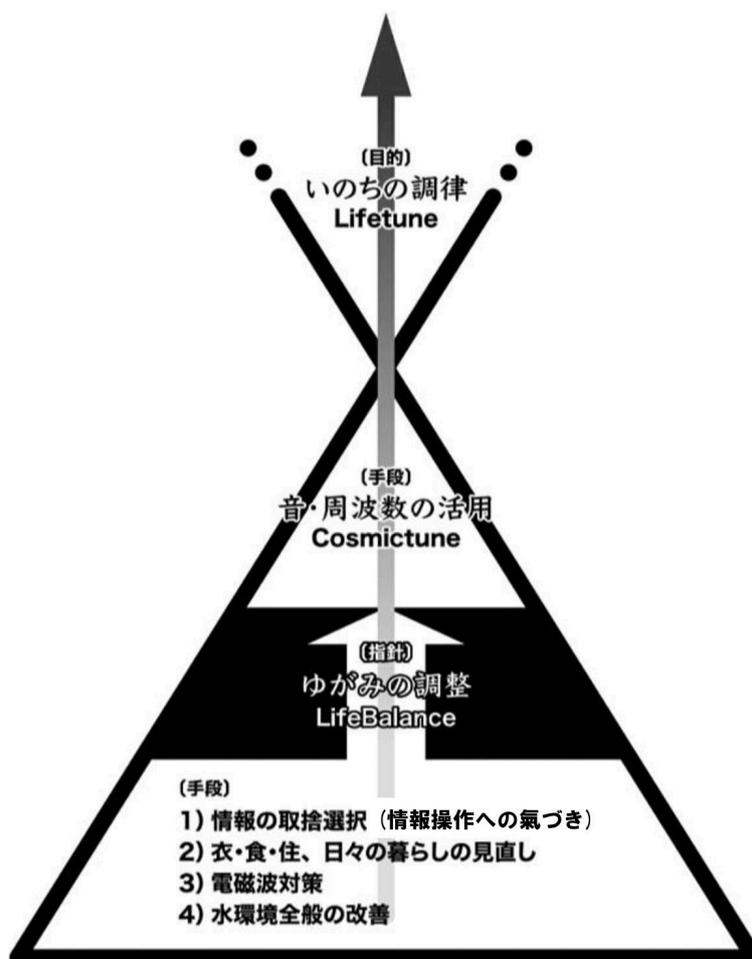


自然法則 ライフスタイル シフト
古代の叡智に基づいた生活習慣への移行



スピリチュアリズム 地球人類救済計画とは、「ナザレのイエス」がリーダー総指揮者となった靈界主導の大規模な計画のことです。その計画の中樞が2つあり、それは「宗教の統合」と「星信仰の復活」という二大テーマに分類されます。

音叉によるセルフヒーリングは「心霊治療」の分野として、「星信仰の復活」というテーマに組み込まれており、スピリチュアリズム地球人類救済計画の必要な要素として存在しています。そのことに気づくことが人生の鍵になります。



いのちの調律のことを「いのり」と呼び、「^{いのち}生命とは靈であり、^{いのち}靈とは生命」であり、音叉によるセルフヒーリングは^{いのち}生命の調律という目的の最高峰の手段です。それは、生まれる前に決めてきた本来の生き方に戻ることを意味しています。

惑星地球の地上人類は、地上世界を支配する「裏の権力者」によって情報操作をあらゆる分野で受けており、間違った教育と情報により、自然法則に反した生き方を80億の人間の殆どがしている状態です。

地上人類は生まれてから今日まで、気づかない間に多くの洗脳を受け^{つづ}續けてきています。支配者層から始まり、^{せんしんこく}先進國、政府、マスメディアなどのテレビ、ラジオ、CM、新聞。そして宗教や家庭の教育により祖父母、両親、親戚、兄弟姉妹などからの偏った教育など。

マスメディアは、^{いとてき}意圖的に支配者層によって都合のいい方向に人類を誘導するために作られた組織であり、いまだにその影響力は絶大です。さらには、教育機関も洗脳のための機関であり、^{がっこう}学校、教師も間違った方向で生徒を教育ではなく調教し、奴隷として生きるように促しています。

また自由な情報発信ができると言われるネットやSNSにおいても、別の新しい方法論による洗脳、誘導、かく乱などが行われており、友人や知人は本、ネット、SNSなどから拾ってきた實質的には何の役にも立たない情報を信仰している人が沢山います。

地上世界はあらゆる分野が自然法則に反した方向、全宇宙の中で最下位の^{エゴ}EGHO文化を築き上げています。今の時代に大切なのは、「^{EXA PIECO}靈の心を基準に、^{D I K A G}肉の心でしっかりした判断力で選択する力」を養うことです。

そのために、信頼できる人々に直接会って正しい情報に触れていくことで、自然と、嘘や偽り、^{いとてき}意圖的な誘導、洗腦的な働きかけに違和感を感じられるようになり、それらの影響から離れていくことができるようになっていきます。

音叉による^{いのち}生命の調律が進んでいくと、これまで慣れ親しんだ価値観や習慣、好きだった食べ物や好きだった場所、好きだったモノなどに対する興味や関心が薄れてくるのを^{たいけん}體驗するようになります。その^{へんか}變化は、好きだった音楽、本、テレビ番組やブログ、SNSでのコミュニケーション、グルメ、旅行、ショッピングなどにとどまらず、交友関係などの人間関係にまで及びます。

これはまさに、内なる周波数の^{へんか}變化による影響で、音叉によって^{いのち}生命の調律が順調に進んでいる証です。^{マインド}大脳から^{ハート}心臓脳へ生き方がシフトし、本来の^{ハート}靈の心に基づく生き方になることで、日々の暮らし方、生き方を改善していけるようになるのです。



いのち生命を調律していくプロセスでは、自己の内側の^{EXA PIECO}霊の心との繋がりを取り戻していくことで、これまでの^{D I K A G}顕在意識の^{エゴ}EGHO意識に基づく生活から、^{自然法則}「古代の叡智」に基づく^{ライフスタイル シフト}生活習慣に移行していきます。

ただしこれは、自分で考えることをやめて、他者から聞いた^{自然法則}古代の叡智といわれるものを盲目的に受け入れることではありません。それはある種の洗脳であり、^{いのち}生命の調律が指し示す未来ではありません。

あくまでも健全なる心身の状態のもと、自身の内側に^{EXA PIECO}霊の心との繋がりを取り戻し、自主的に^{自然法則}古代の叡智に適った生き方に自分自身の生き方を改善していくというプロセスが大切で、それが^{いのち}生命を調律していくという意味なのです。

自分自身を^{へんか}変化、進化させる力を養うこと



いのちの調律に音を活用していく際に欠かせないのが、^{てんたい}天體と^{じんたい}人體との関係を理解し、活用していくことです。これは古代からの叡智の一つであり、古來各地で、さまざまな方法によって活用されてきました。

古代の人々がそうであったように、わたし達も音と周波数の神祕、^{じんたい}人體と^{てんたい}天體の関係、魂と惑星の祕密などを知り、活用し、いのち生命を調律していくのです。

その際、重要なのが電氣を使わない、自然な倍音が豊かに含まれた各種のサウンドツールを用いて、^{いのち}生命を調律していく方法を本テキストでは^{つた}お伝えしています。

そして、^{心臓脳}靈の心が本当に目覺め、眠っていたDNAのスイッチをオンにし、^{自然法則}古代の叡智との繋がりを取り戻していくためには、自分が氣持ちよく感じ、欲している星々の音を見つけ、存分に取り入れていくことが近道です。

惑星の周波数の一覧表

てんたい 天體	周波数	音階	じんたい たいおう 人體への対応	てんたい 天體の簡単な説明
サン 太陽	126.22 Hz	B #	心臓、神経系	万物を育む ^{ひかり} 光、エネルギー。温かさ、暖かさ
セドナ	128.1 Hz	C	たいえき 体液全般	フラワーオブラيف、 ^{ちようでんどうたい} 超傳導體、カルマの除去
オーニス	136.1 Hz	C #	経絡全般	宇宙の始まりの音、地球の四季のサイクル
フルート 冥王星	140.25 Hz	C #	肛門、直腸	重金属を排出 ^{デトックス} 、深層部へのアプローチ
マーキュリー 水星	141.27 Hz	C #	甲状腺	コミュニケーション。 ^{DIKAG} 情報と ^{F.L.K} 経験の統合。知性
火星	144.72 Hz	D	胆嚢、赤血球	力、エネルギー、熱、行動と実行力の強化
サターン 土星	147.85 Hz	D	脾臓、骨、皮膚	にくたい 肉體の内分泌系の管理、コントロール
キロン	151.27 Hz	D #	傷の癒やし	心身と魂の傷を癒す。シフトのサポート
ニビル	161.26 Hz	E	いでんし 遺傳子	^{E.V.S.A.P.J.E.C.O.O} の ^構 再構成と ^構 靈的アップグレード
ヒュゲイア	166.84 Hz	E #	微生物、菌	薬草の女神、婦人科系の疾患に用いる
ゾディアック	172.06 Hz	F	膵臓	黄道帯、25920 年の叡智、多臓器
ジュピター 木星	183.58 Hz	F #	肝臓	広げる。より高い個性、新しい考え方への視野を拡大
アース 地球	194.71 Hz	G	生命力	腸内に有用な微生物を育み生命力を高める
ウラナス 天王星	207.36 Hz	G #	しょうたい 松果體	新たな靈線を繋ぎ、直観力を高める
ニュームーン 新月	210.42 Hz	G #	仙骨	感情の浄化
ネプチューン 海王星	211.44 Hz	G #	髄液	想像力と創造力を高め具現化を加速させる
ヴェーナス 金星	221.23 Hz	A	膀胱	調和、共感力。 ^{しょうたい} 松果體の活性と心臓の調和の促進
フルムーン 満月	227.43 Hz	A #	蝶形骨	感情を満たす

※厳密には、各惑星に関連するチャクラや臓器は、^{れいたい} 靈體と^{にくたい} 肉體で違いがあります

天體^{てんたい}と、わたし達の臓器や個々の細胞、エネルギーポイントなどとの関係性は知れば知るほど面白く、多くの数学者^{すうがくしゃ}や哲学者^{てつがくしゃ}が晩年のテーマとして音に行き着いているのもうなずけます。そもそも宇宙の全ては振動^{バイブレーション}であり、周波数を放っています。

そしてある形態と振動する周波数には密接でダイレクトな関係性があり、人もまた振動^{バイブレーション}を發しており、その振動^{バイブレーション}が「光^{ひかり}」を生み出しており、靈止はエネルギー^{ひと}の複合體^{ふくごうたい}なのです。

星々の周波数と、わたし達の魂、精神、身體^{しんたい}との関係性を學び、それを日々の生活に活かしていくと、無理なく必要な振動^{バイブレーション}の刺激を受け取れます。すると、魂、精神、身體^{しんたい}が銀河の周波数に慣れ、人々の生命^{いのち}は徐々に調律されていきます。

わたし達が母親の體内^{たいない}で受精卵として生命^{いのち}を宿し、この世に生まれるまでの十月十日^{とつきとおか}に受ける惑星の位置^{ポジジョン}と軌道^{サイクル}から注がれる周波数やリズムが、全身の細胞に波形を送り、それぞれの場の形状との連鎖によって心身や各臓器のエネルギー特性や強弱にも影響を与えているのです。

生命^{いのち}を調律していったときに取り戻す性質の中で、最も重要といえるのが「自分自身を變^かえていく力」というものです。なぜならば、「原因」と「結果」というこの自然世界の法則が宇宙をコントロールしており、すべての結果は「自己責任」だからです。この法則は絶対であり、例外はありません。

わたし達は他人を本質的に變^かえることはできず、自分自身によってしか本質的に變^{へんか}化していくことができないからなのです。つまり、自分自身を變^かえていく力を取り戻し、それを繼續^{けいぞく}し強くたくましくしていくことでのみ、さまざまな状況を乗り越えて、生命^{いのち}を調律していくことが可能になってくるのです。



いのち
生命の調律は、最初は他者から学び、それを元に日常生活の生活習慣を徹底的に見直すことがスタートです。数年はそのような期間が続きます。しかしこの期間においても、生命の調律の實踐は自分自身でしかできないことであり、他の人に自分自身の人生を生きてもらふことはできません。

その期間に、音叉ヒーリングのワークを受けたり、様々なセルフヒーリングの方法、日常生活の改善方法を学ぶことは、いのち
生命を調律していくうえでの根幹であり、欠かすことはできない要素です。しかし、その上で、自分自身の日々の暮らし方、生き方を徹底的に改善していかなければ生命は調律されません。

またある程度、いのち
生命の調律が進むと、「大 靈 自然法則」の「FUGEHEKIN」との繋がりを取り戻し、その眞理、叡智を自身の内側に思い出すことができるようになってきます。一見それは素晴らしいように思えるのですが、そうした変化によって、顯在意識ではかえって戸惑いを感じることもあります。何故ならば、靈的眞理はこれまでの地上人生で慣れ親しんできた価値観や習慣とは眞逆だからです。

にくたい
肉體という物質の牢に閉じ込められ、意識を制限された状態で物的生活を送っているあなた方には、靈（※^大FUGEHUKONと^靈FUNEKON）と心（※^{EXA PIECO}靈の心、^{D I K A G}肉の心）と^{しんたい}身體（※^{れいたい}靈體、^{にくたい}肉體）の関係について明確な理解をもつことは不可能です。

^{きぐろう}氣苦勞の絶え間がありません。^{しんたい}身體の要求を満たしてやらなくてはなりません。金銭の問題にも関わらなくてはなりません。そうした息つく暇もない生活の中であなた方はついに意識の焦点を外し、支援しようとして待機している^{SEPOUW}背後靈の存在を忘れがちです。

『シルバーバーチの靈訓（二）』 p.68

地上人類は物質中心の生活をしているために^{バイブレーション}振動が低くなっています。朝、目を覺まし、まだ^{D I K A G}顯在意識が完全に働かないうちから、あれやこれやと煩わしいことや心配事の波にのみ込まれています。大きい悩み、小さい悩み、本質の悩み、取り越し^{くろう}苦勞に過ぎぬもの等々いろいろあります。

いずれにせよ全ては一時的なものにすぎないのですが、そういうものに心を奪われてしまうと、^{SEPOUW}背後靈が働いてくれている事実を忘れ、^{D I K A G}顯在意識の思考の流れの中から靈的要素を閉め出してしまう、^{SEPOUW}背後靈が^{バイブレーション}振動により靈的エネルギーを流入をしようとしているのを遮断する一種の壁を作ってしまう。

これは眞理普及の仕事に携る人にもよくある話です。奉仕の情熱、落胆、試練、そして悟り、このパターンの繰り返しです。これは^{D I K A G}肉の心が^{EXA PIECO}靈の心に触れ、内在する神性を開發せんとして必死にあがく一種のシーソーゲームのようなものです。地上世界はこうした状況に戸惑いを感じる人が多いのです。

しかし、戸惑いこそすれど、慣れ親しんだ古い価値観や習慣を手放すことが靈性の進化のために必要であり、こうした眞理を受け入れる受容性が鍵になります。

人間の「呼吸」するというなんでもない動作一つでも、それを可能にしているのは、宇宙を創造し、惑星や恒星の運行を司り、太陽に無尽蔵のエネルギーを与え、大海の干満を司り、あらゆる植物の種子に芽を出させ、地上に千變万化の彩りを添えさせているところの根源的生命力、すなわちと^大FUGE^靈HUKONと同じものです。

人間は1日に平均2万5920回(平均18回/分×60分×24時間)呼吸していますが、太陽が黄道12星座を通過するのにかかる年数、いわゆるプラトン周期もほぼ同じです。太陽は黄道12星座を72年で1度動きますが、これは人間の平均寿命に相当します。

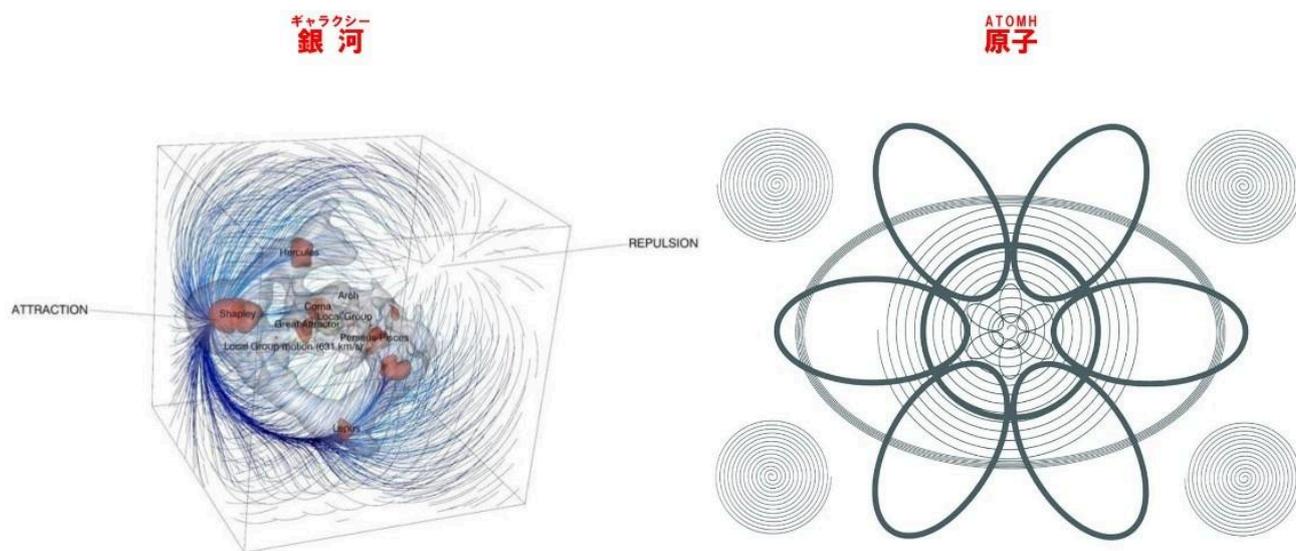
この72年というのは、およそ2万6000日であり、これは1日の呼吸数、あるいは太陽が天界を1周する時間に匹敵します。そして、人間の呼気と吸気の間には、過呼吸を防ぐためのわずかな間があり、地球の1年のサイクルにも同じような間があります。

たとえば夏至の日、太陽は東の間の「休息」をとり、その後、反対方向に回轉します。その力はかつて一度たりとも働きを狂わせたことはありません。こうした^{自然法則}FUGEHEKIは完璧であり、海の干満が止まったことが一度でもあったでしょうか。地球の^{じてん}自轉と^{こうてん}公轉の^{かいてん}回轉が止まったことがあったでしょうか。自然法則が機能しなかったことがあったでしょうか。

こうした靈的知識を有する者はそれを正しく運用して、物的要素に偏らないようにならなければなりません。靈的要素の方に比重を置かなければいけないということです。正しい靈的視野に立って考察すれば、^{D I K A G}顯在意識で焦点を正しく定めれば、日常生活での心の姿勢さえ正しければ、物的要素に対して最小限度の考慮を払い、決して偏ることはないでしょう。

そうなれば^{EXA PIECO}靈力が靈の心を通して意のままに働いてあなたを支配し、生活全般を改革せしめるほどの靈力が漲り、ついには物的要素に絶対に動かされない段階にまで到達します。それは^{いのち}生命の調律を通して可能なのです。

星の叡智により DNA の進化を促す



てんたい
天體の一分一厘の狂いのない運行をみれば分かるように、宇宙には偶然の巡り合わせとか偶
然の一致、ひよんな出来事といったものは決して起きません。大 靈 自然法則
D I K A G
顯在意識ではかえって戸惑いを感じる理由は、これまでの地上人生で慣れ親しんできた価値
観や習慣とは真逆だからです。

その最たる例は「宇宙と靈止は同じ」であるという事実です。マクロコスモス ミクロコスモス しょうおう
關係」にあり、てんたい じんたい しょうおう
關係」にあり、天體と人體は必ず照應關係にあり、大宇宙と靈止は同じ創りです。大宇宙
は「大靈」であり宇宙を表し、ミクロコスモス
は「靈」であり人間を表します。人間は宇宙の縮圖
です。

てんたい
宇宙の天體は必ず「靈的世界」と「物質世界」が存在します。日本語で靈的世界のことを靈
界、物質世界のことを地上世界と呼びます。その靈的世界と地上世界とが水も漏らさぬよう
に區別されているのではなく、互いに融合し合い調和し合っています。

大 靈 自然法則
この絶対的なFUGEHUKONのFUGEHEKINを知ることが靈的人生の分岐点です

大^{たい}靈^{れい}と靈^ひ止^と、大^{マクロコスモス}宇宙^{ミクロコスモス}と小^{ミクロコスモス}宇宙^{マクロコスモス}、靈^{れい}的^{たい}世界^{にくたい}と物^{にくたい}質^{たい}世界^{にくたい}、靈^{れい}體^{たい}と肉^{にくたい}體^{たい}、太^{たい}陽^{たい}と月^{にくたい}、男^{にくたい}性^{たい}と女^{にくたい}性^{たい}、火^かと水^み（火^か水^み）、創^{くわ}造^{ぞう}と破^は壊^{くわい}、これら^{これら}の陰^{いん}陽^{やう}はす^すべて^べて^てセ^せツ^つト^とで^であ^あり^り、バ^ばラ^らバ^バラ^ラに^に捉^とめ^めて^てい^いる^る限^{げん}り^り永^{えい}遠^{えん}に^に自^じ然^{ぜん}法^{ぽう}則^{そく}の本^{ほん}質^{しつ}には^に氣^きづ^づき^きま^ませ^せん^ん。互^{たがひ}に^に融^{ゆう}合^{ごう}し^し合^あい^い調^{てう}和^わし^して^てい^いく^くこ^こと^と、分^{ぶん}離^り意^い識^しか^から^ら統^{とう}合^{ごう}意^い識^しに^に向^{むか}う^うこ^こと^とが^が大^{だい}切^{せつ}な^な氣^きづ^づき^きに^に繋^{つな}が^がる^るの^ので^です^す。

地球^{ちきう}の現^{げん}代^{だい}科^か学^{がく}に^にお^おい^いて^て、す^すべ^べて^ての^の存^{ぞん}在^{ざい}物^{ぶつ}は^は「素^そ粒^{りゅう}子^し」、「元^{げん}素^そ」、「原^{げん}子^し核^{かく}」、「原^{げん}子^し（中^{ちゆう}性^{せい}子^し、陽^{やう}子^し）」、「分^{ぶん}子^し」、「電^{でん}子^し」で^で成^なり^り立^たっ^って^てい^いる^ると^とさ^され^れて^てい^いま^ます^す。し^しか^かし^し、そ^その^の本^{ほん}質^{しつ}に^につ^つい^いて^ては^は現^{げん}代^{だい}科^か学^{がく}で^では^は殆^{たい}ど^ど何^{なに}も^も分^{ぶん}か^かつ^つて^てな^ない^い状^{じょう}態^{たい}で^です^す。

何^{なに}故^こな^なら^ら、「大^{マクロコスモス}宇宙^{ミクロコスモス}と小^{ミクロコスモス}宇宙^{マクロコスモス}、宇^ひ宙^とと靈^{てんたい}止^{じんたい}、天^{てんたい}體^{じんたい}と人^{じんたい}體^{じんたい}を^を分^{ぶん}離^りし^して^て捉^とめ^めて^てい^いる^る」か^から^らで^です^す。

こ^この^の意^い識^しの^の状^{じょう}態^{たい}で^で「宇^{マクロコスモス}宙^{ミクロコスモス}の^の法^{ぽう}則^{そく}」を^を知^しる^るこ^こと^とは^は不^ふ可^か能^{ねい}で^です^す。「星^{せい}信^{しん}仰^{やう}の^の復^{ふく}活^{かつ}」と^とは^は、大^{マクロコスモス}宇^{マクロコスモス}宙^{ミクロコスモス}と^と小^{ミクロコスモス}宇^{マクロコスモス}宙^{ミクロコスモス}、宇^ひ宙^とと靈^{てんたい}止^{じんたい}、天^{てんたい}體^{じんたい}と人^{じんたい}體^{じんたい}の^の照^{しょう}應^{おう}關^{かん}係^{けい}と^と言^いう^う「古^こ代^{だい}の^の叡^{えい}智^ち」を^を現^{げん}代^{だい}に^に甦^そら^らせ^せる^るこ^こと^とで^です^す。

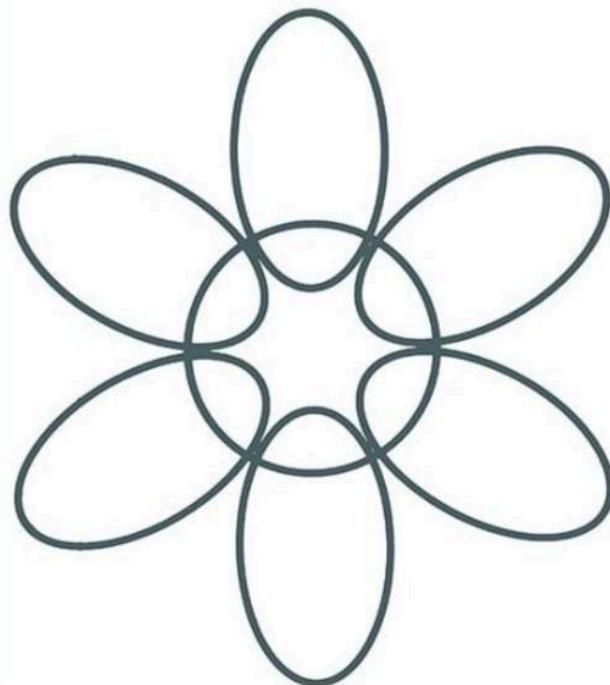
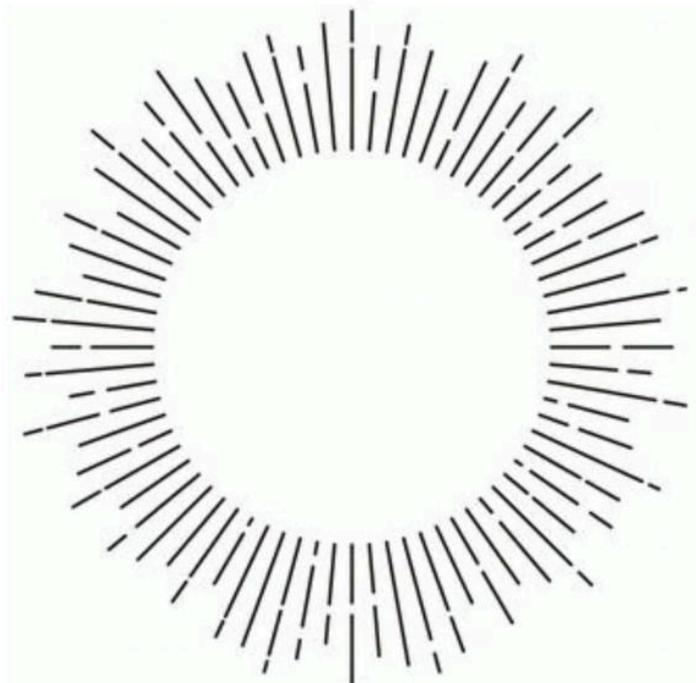
生^{せい}命^{めい}の^のあ^ある^ると^とこ^ころ^ろに^には^は必^{ひつ}ず^ず運^{びん}動^{どう}が^があ^あり^り、リ^りズ^ずム^むが^があ^あり^り、鼓^こ動^{どう}が^があ^あり^りま^ます^す。存^{ぞん}在^{ざい}す^する^るも^もの^のは^はす^すべ^べて^て振^{びん}動^{どう}し^し、何^{なに}か^かを^を放^{はう}射^{しゃ}し^し、活^{くわつ}動^{どう}し^して^てい^いま^ます^す。靈^{れい}的^{たい}世^{せい}界^{かい}と^と地^ち上^{じやう}世^{せい}界^{かい}が^が繋^{つな}が^がつ^つて^てい^いる^るの^のも^もバ^バイ^イブ^ブレ^レー^ーシ^ショ^ウン^ンの^のお^おか^かげ^げで^です^す。

靈^{れい}的^{たい}世^{せい}界^{かい}は^は物^{ぶつ}的^{てき}感^{かん}覺^{かく}の^の領^{りやう}域^{いき}を^を超^こえ^えた^たバ^バイ^イブ^ブレ^レー^ーシ^ショ^ウン^ンの^の世^{せい}界^{かい}で^であ^あり^り、言^いわ^わば^ば「オ^おク^くター^{ター}ブ^ブの^の高^{たか}い^い世^{せい}界^{かい}」で^での^のこ^こと^とで^です^す。そ^その^のオ^おク^くター^{ター}ブ^ブの^の世^{せい}界^{かい}に^に足^{あし}を^を踏^ふみ^み入^いれ^れる^るの^のが^が「倍^{ばい}音^{おん}」に^にな^なり^りま^ます^す。靈^{れい}的^{たい}エ^えネ^ねル^るギ^ぎー^ー、靈^{れい}的^{たい}パ^ぱワ^わー^ー、靈^{れい}的^{たい}現^{げん}象^{じやう}は^はこ^こと^とこ^こと^とく^く物^{ぶつ}質^{しつ}よ^より^り感^{かん}度^どの^の高^{たか}い^い、精^{せい}妙^{めう}で^でデ^デリ^リケ^ケー^ート^トな^なバ^バイ^イブ^ブレ^レー^ーシ^ショ^ウン^ンか^から^ら成^なり^り立^たっ^って^てお^おり^りま^ます^す。

生^{せい}命^{めい}は^は活^{くわつ}動^{どう}せ^せず^ずに^には^はい^いら^られ^れな^ない^いも^もの^ので^です^す。静^{じやう}止^しし^したり^り惰^だ性^{じやう}的^{てき}に^にな^なつ^つたり^りす^する^るも^もの^ので^では^はあ^あり^りま^ませ^せん^ん。生^{せい}命^{めい}に^には^は常^{じやう}に^に運^{びん}動^{どう}が^が付^つ随^{ずい}し^しま^ます^す。こ^この^の秘^ひ密^{みつ}を^を知^しつ^つた^た者^{しや}は^は、音^{おん}又^{ごう}に^によ^よる^るセ^セル^るフ^フヒ^ひー^ーリ^リン^んグ^ぐが^が何^{なに}故^こ必^{ひつ}要^{やう}な^なの^のか^かを^を理^り解^{かい}し^した^たこ^こに^にな^なり^りま^ます^す。

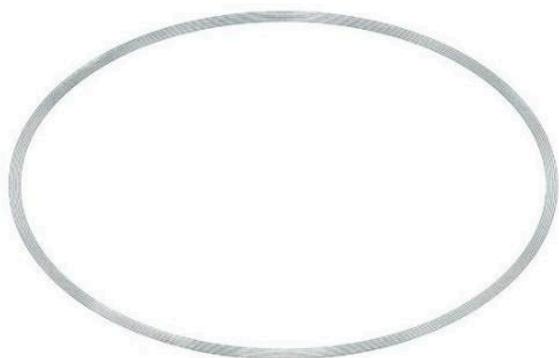
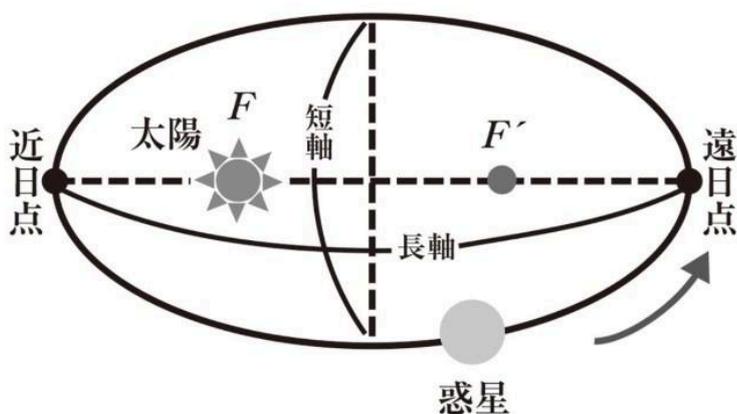
スター
恒星

O D E O
中性子



プラネット
惑星

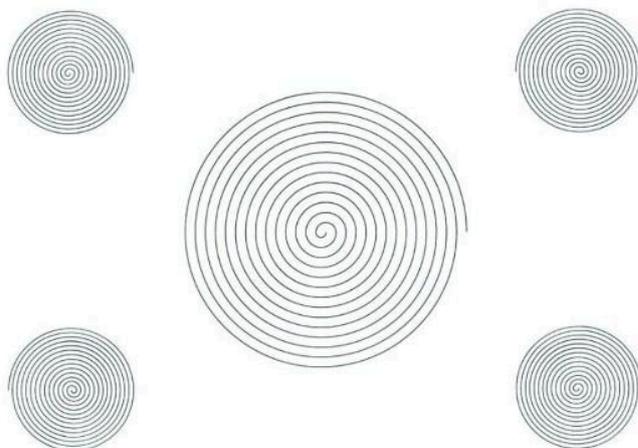
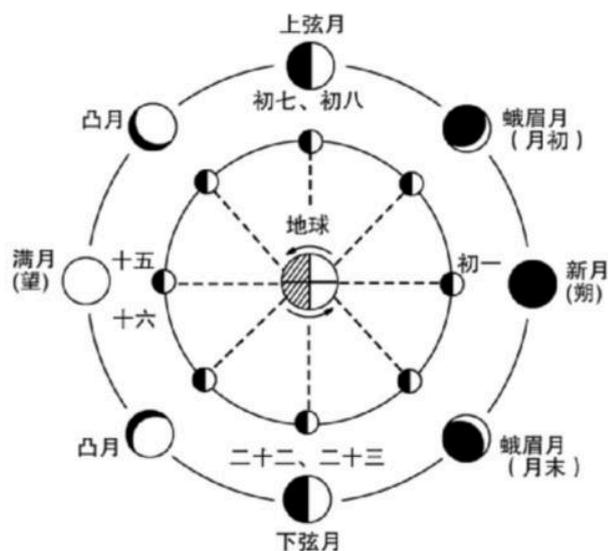
TOBE
陽子



地球は、太陽のみが「恒星」であり、他の天体は「惑星」に分類されます。その恒星は中性子と相関関係にあり、惑星は陽子と相関関係にあります。その2つが組み合わさったものが銀河であり原子になります。そして、原子が「酸素」というものを生み出します。そして、各惑星の軌道にある月などの衛星は電子に直接関係しており、陰電子が新月、陽電子が満月に関係してきます。この電子が「水素」というものを生み出します。

サテライト
衛星

CUNIEO
電子



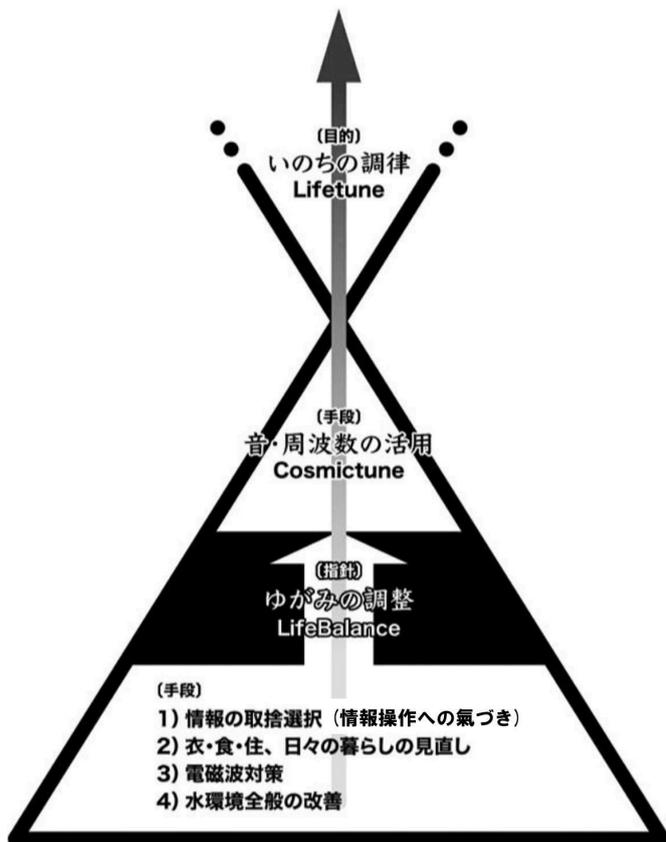
その酸素と水素の回轉により「空氣」といものが生まれます。その空氣は酸素と窒素で99%成り立ちます。その空氣に元素が含まれることで「光」が生まれます。酸素、水素、窒素が化合すると炭素という生命素が生まれ、有機的肉體の創造に繋がります。

人間の四大元素は酸素、水素、窒素、炭素で構成されており、これDNA/RNAの塩基配列にも関係しています。音叉セルフヒーリングにより生命の調律が進み、古代の叡智を取り戻していくと、自分自身の意志で、DNA/RNAのアップグレードを促していくことができるようになります。

2009年10月に、「DNAは音（言葉と振動）の影響で頻繁に再プログラムされている証拠が見つかった」という衝撃的な内容が、ロシアの科学者たちにより発表されています。

これらは現代地球文化の現代科学では完全には原理が明らかにされていない情報ですが、靈的世界からまだ地上世界には知らされていない最先端の情報として受け止めてください。こうした生命原理に、音叉による生命の調律は深く関わっており、音叉セルフヒーリングを通して生命の神祕、謎を解明することが可能です。

自然法則に適った正しい生活習慣を身につけること



音叉による生命の調律は、音、周波数の活用により、魂心身のゆがみの調整することが目的です。

スピリチュアリズムが明らかにした日常の靈的実践論は、すべて同時に実践することが大切であり、どれかひとつが欠けても成り立ちません。

そして人間が健康で暮らすには「自然法則に適った正しい生活習慣を身につける」ことが、生命の調律に必要なこととなります。

人生を變えるのは「習慣（人生観）」と「想い（靈の心優位）」と「行い（調和の実践）」が一致し、「苦しみへの正しい対処（眞の感謝）」を身につけることです。なので、付け焼き刃で形だけマネをしても、すべてが正しく整わない限り、そのメッキはすぐに剥がれ落ちます。

【スピリチュアリズムが明らかにした日常の靈的実践論】

- ① 靈の心優位の努力（^{いのち}祈り、靈的眞理の學習、欲望のコントロール） 想い
- ② 調和（^{DEVICK}、^{あい}神意、奉仕、利他、分かち合い、協調）の實踐 行い
- ③ 靈的眞理に適った苦しみへの正しい対処 感謝
- ④ 自然法則に適った正しい生活習慣を身につける 習慣

靈的知識を手に入れば、その時点からその活用の仕方に責任が付加されます。その知識の分だけ生活水準が高まらないといけません。高まらなかったら、その代償を支払わされます。(中略) 知識がそこにあることを知りつつそれを活用することができないでいると、それによって逆にその人の靈性が弱められ、害をこうむることになりかねません。

『シルバークーチの靈訓 スピリチュアリズムによる靈性進化の道しるべ』 p.227

人生の目的である靈性の進化は、長い長い期間をかけた厳しい靈的成長のための努力によって得られるものです。別の表現をするならば「自然法則に一致した厳しい日常生活の努力が、そのまま靈性の進化のための修行になっている」ということです。

日常生活を自然法則に適った生き方にする生活習慣、衣食住の暮らしの徹底的な見直しをしていき、質素な生き方、欲望をコントロールする生き方を身につけ、魂、精神、^{しんたい}身體の健康を保つことがスタートラインです。そのためには電磁波対策、水環境の改善なども必要になってきます。

そして^靈FUNEKON優位、^{靈の心}EXA PIECO 優位の努力を通して「靈的視野」を身につけていき、自分の利益を忘れた犠牲的な調和の實踐を通して「犠牲精神」が培われ、苦しみへの正しい対処を通して「眞の感謝」をしていき、^{SEPOUW}背後靈への純粋な道具意識を通じて「靈界への道具意識」が養われるものなのです。これ以外に本物のスピリチュアルな能力を身につける方法はありません。

靈性の向上は、^{こうえんかい}講演會やセミナーやワークのような短期間の實習で身につくものではありません。全身全靈で地球人類のために奉仕しようとしている高級靈の助力を引き寄せるには、ひたすら純粋で自己を滅却した犠牲精神が必要とされます。お金を払って講座を聴き、わずかばかりの知識の習得や實習をして身につくような次元の低いものではありません。

手段の目的化を起こさないこと

(質問)——これからは心霊治療^{ヒーリング}がもっとも重大な分野となるように計画されているのでしょうか？

迷うことなく“そうです”と申し上げます。これからは、病気に苦しむ人々の治療の分野に靈力を顯現させていく計画が用意されています。病氣や障害のために人生が侘^{わび}しく、陰うつで、絶望的にさえ思っている人々に、靈的な治癒エネルギーが存在することを証明してあげるのです。

靈力——生命力そのものであり、数多くの治療家を通して注入される無限のエネルギーは、病氣や障害によって痛めつけられ苦しめられている身體^{しんたい}に、新たなエネルギーを注ぎ込んで活気づけ、いかに疑り深い人間でも、地上の用語では説明できない力が存在することを認めざるを得なくしてしまいます。

皆さんが生きておられる今の時代にぜひ必要だからこそ、そう計画されているのです。

『シルバーバーチの靈訓 靈的新時代の到来』 p.224

音叉による生命^{いのち}の調律は「地球人類救済計画^{スピリチュアリズム}」の計画の中に組み込まれています。それは古代靈シルバーバーチがいうように「皆さんが生きておられる今の時代にぜひ必要だからこそ、そう計画されているのです」という言葉が物語っています。

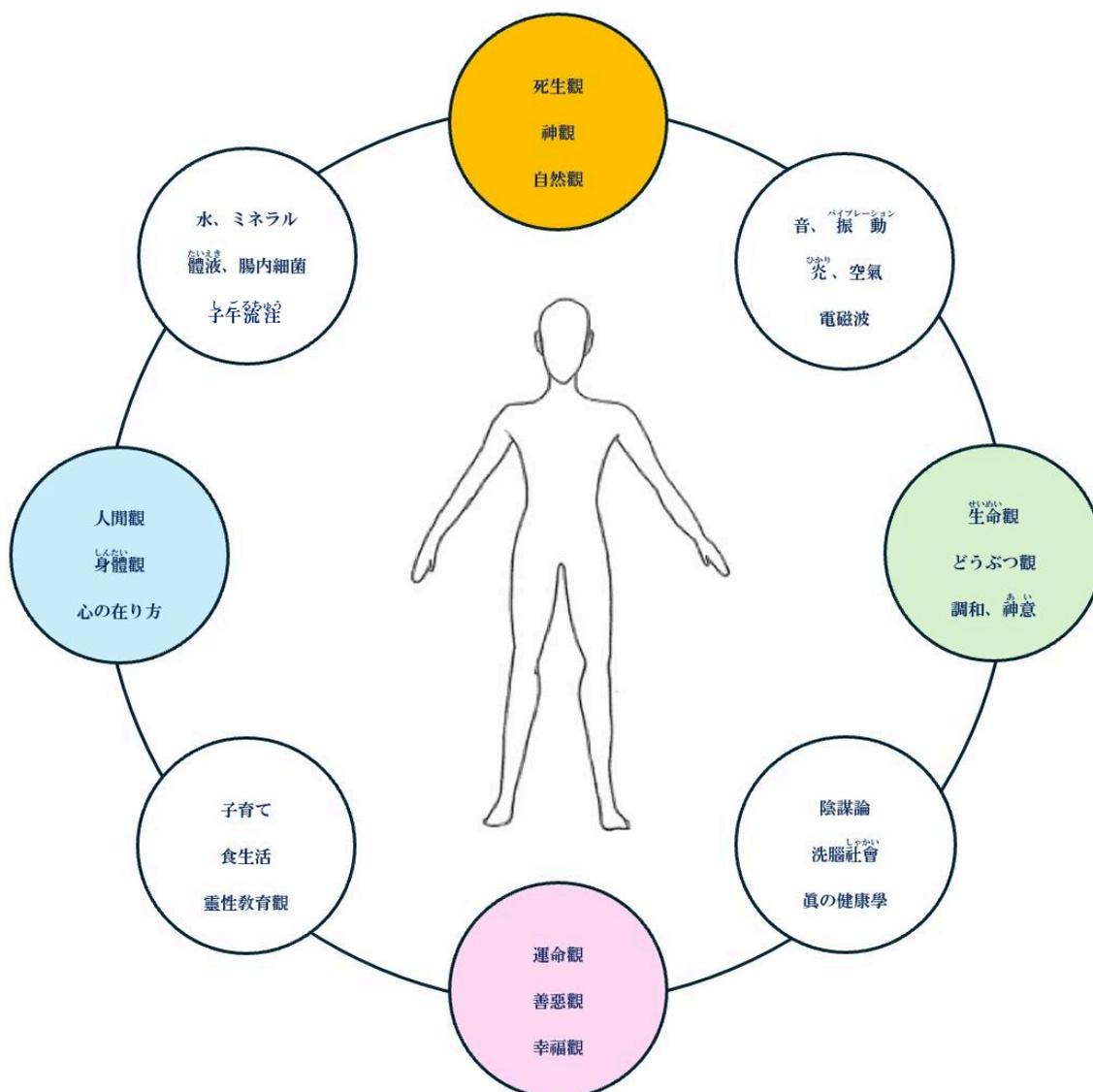
しかし、生命^{いのち}の調律は音叉だけが方法ではなく、あくまでも日常の生活の見直しをし、自然法則に適った生き方^{シフト}に移行することが目的です。そうして、調和の實踐をすることでこの惑星地球文化と地球人類を正常に蘇生することが地球人類救済計画の最大の目的です。

【ホリスティック健康學に必要な人生觀】

神觀、調和、^{あい}神意、自然觀、死生觀、人間觀、心の在り方、^{しんたい}身體觀、生命觀、どうぶつ觀、運命觀、善惡觀、幸福觀

【ホリスティック健康學に必要な實踐論】

音、^{バイブレーション}振動、^{ひかり}光、空氣、電磁波、水、ミネラル、^{たいえき}體液、腸内細菌、^{しごるちゆう}子午流注、靈性教育論、食生活、子育て、陰謀論、^{しゃがい}洗腦社會、眞の健康學



忘れてならないことは、「^{いのち}生命の調律は、あくまでも目的に至るための手段であって目的そのものではない」ということです。地上世界の人々はうっかりすると、本来は手段であったものが、いつのまにか目的化してしまいます。そして本来の目的は忘れてしまうのです。

EXA PIECO ^{デヴィック}霊の心優位での調和（※DEVIK、奉仕、利他）の実践を通して、その^{じったいけん}實體験から人は気づき、
学びを深めていき、改善を繰り返していくことで^{霊的進化}をしていく、それを可能な限り最善を尽くして実行し、地上世界をより善い世界にしていき、自分自身の^{霊性}を進化させていく、これが何のために生まれ、何のために生きるのかの目的です。

これは日常生活や仕事上のこと、^{しゃかい}社会的な関係性においてなど、さまざまな場面で起こりうることで、ときには人生そのものにおいてさえ「手段の目的化」を起こしてしまうのです。これは非常に危険なことです。

本来、生きること（健康や長寿、仕事や生活、生活必需品の確保）そのものはあくまでも^{霊的成長}のための手段であり、人生の本質的な目的は^{EXA PIECO}霊の心優位での調和の実践により、この惑星地球をより善い^{てんたい}天體にするという生きる目的を意識しながら毎日を生きている人、その目的に向けて日々工夫を重ねているような人は少ないのではないのでしょうか。

勘違いなさらないでいただきたいのは、地上にあるかぎり、^{ろりよく}思念は仕事や^{ろりよく}労力や活動の代用とはならないということです。強力な補助とはなっても、代用とはなりません。やはり地上の仕事は（※^{にくたい}肉體と）五感を使って成就していくべきです。（※^{にくたい}肉體と五感という）^{ろりよく}労力を使わずに思念だけで片付けようとするのは、邪道です。

『シルバーバーチの霊訓 地上人類への最高の福音』 p.160

音叉のセルフヒーリングを含む^{いのち}生命の調律は、調和の実践という目的のための手段なのです

いのちの 禱り（※生命の調律）には目的があります。魂の開発を促進するという靈的な目的です。ただし、だからといっていのちの 禱り（※生命の調律）が（※調和の實踐という）人間的努力の代用、もしくは俗世からの逃避の手段となるかに解釈してもらっては困ります。

『シルバーバーチの靈訓（七）』 p.205

にくたい 肉體的な健康のために音叉を購入し、使う人も多くいます。痛みの解消、リラックス、美容、悩みの解決などのために音叉を選び、特定の種類の音叉だけを繰り返し使っている方も多くいます。もちろんその場合でも、はじめはへんか たいけん 変化を體驗される場合が多いようです。

しかし、そのまま個人のエゴ的な目的で音叉を續けていては対症療法的に用いてしまう結果となり、「生命を調律し、調和の實踐を通して、靈的進化をしていく」という本来の目的を忘れてしまうケースが大半です。

そして一番最悪のケースは、音叉セルフヒーリングの効果を自分自身が實體験し、それを無償の奉仕と自己犠牲の方向に使わず、「自分自身の顯在意識のEGHO意識を満たすために他人に音叉を使うケース」です。

要するに、靈的眞理の學びが抜け落ちているために、自分自身の低俗な欲望を満たすために音叉ヒーリングを悪用し、金儲けの手段にするケースが最悪のケースです。これは死後、重い罪にあたり、当人の幽界での地獄のような苦しみは確實に避けられません。あくまでも音叉はセルフヒーリングを通してスピリチュアリズムに貢献するために存在します。

しかし、生命の調律が進み、自ら靈的眞理を學び實踐するようになると、人間という生命形態としての本質的な目的を思い出していきます。それはにくたい 肉體を持った存在だからこそできる地上世界ならではの手段を通じて、「輪廻再生」を抜け出し、さらに高次の世界に向かう靈的巡礼の旅路です。生命を調律していくとは、まさにこの道を歩んでいくプロセスです。

何よりも地上人類が學ばなければならない「分かち合い」について

「大自然の攝理^{せつり}から叡智^{えいち}を學ぶにはどうしたらよいのでしょうか」

叡智はあなた自身の靈性の進化とともに學んでいくのです。そのためにはまず第一に、誤った知識と信仰、理性が承服しないもの、大靈^{たいれい}の神意^{あゐ}と叡智とは思えないもののすべてを捨て去ることができなければいけません。

つまり、新しいものを學ぶ前に古いものを學び直さないといけません。精神の自然な思考を妨げるものは全部捨て去らないといけません。そこから魂が開發され、靈性が進化し、より高い叡智を受け入れる準備が整うわけです。

皆さんはこの場に集い合っている間にも魂が開發されております。そして大靈^{たいれい}の叡智が入手しやすくなっております。この場で皆さんは心靈現象を演出する法則の働きを學べると同時に、日常の生活を支配している攝理^{せつり}の働きについても學んでおられるのです。そして進歩した分だけ、より高い叡智を身につけていかれるのです。

『シルバーバーチの靈訓 スピリチュアリズムによる靈性進化の道しるべ』 p.196

宇宙の仕組み、「靈的眞理」に氣づくには、「こだわり」と「プライド」を捨て去る必要があります。靈的眞理への氣づきが起きて、時空から直觀で正確に情報が入るようになり深まるにつれて、「こだわり」と「プライド」は、いかに自然の仕組みに反した状態かを知ります。

使命、使命感というのは、顯在意識^{D I K A G}の自我意識が30%くらい入りますが、使命、使命感はこだわりとプライドから生じます。使命感をもたない状態で役割をする、これが重要ですが、現代地球文化というのは、使命感がすごく重要な状態になっています。自我意識とは平たく言えば個的存在にこだわりすぎ、自分が偉いと思っているところから生じています。

人間が何かを實現させたいと願う時は、何らかの形で背後靈^{SEPOUW}からのメッセージを受け取っているといえますが、顯在意識^{D I K A G}の^{エゴ}EGHO意識が多く含まれ欲望、こだわり、プライドの振動波が増幅しているとメッセージを自分の都合のよいように解釈し、歪めて受け止めます。

そして、顯在意識^{D I K A G}の自我、欲望によって、何か良いものを手に入れると、それを他人のために使用せずに独り占めしようとしてきました。そしてそうした間違っただけあり方ゆえに、いずれ崩壊するに違いない^{しゃかい}社會システムを構築しようとしてきたのです。

こうして、地上世界は地上世界にしか通用しないシステムの上に人生を築こうと努力してきました。間違っただけ教育と教養を求め、大靈^{たいれい}の自然法則からかけ離れた文明をつくり上げようとしてきました。地上世界の人類が墮落してしまったのは、そのためなのです。

古い時代の文明が破滅してしまったように、現代の物質文明は完全に破綻状態に陥っています。地上人類は自らの間違っただけ考え方による愚行から、地上世界を破滅の寸前にまで追いやっています。

その靈的世界と地上世界とが水も漏らさぬように區別されているのではなく、互いに融合し合い調和し合っています。そして、何と言おうと、靈界と地上世界は互いに助け合って進歩していくものなのです。

何よりもまず地上人類が學ばなければならないのは、大靈^{たいれい}の^{おんちよう}恩籠は皆で分け合わなくてはいけないということです。現在の地上世界には、今日の食べ物にも事欠く人がいる一方で、度を越した飽食に走っている人がいます。もちろんこれは間違っています。あり余るほど持っている人は、足りない人に分けてあげなくてははいけません。

大靈^{たいれい}自然法則^{じぜんぽうそく}のFUGEHEKIN、すなわち靈的眞理を普及し、^{じぜんぽうそく}FUGEHEKIに忠實に生きるなら、人類は^{おんちよう}恩籠は皆で分かち合うことが可能になるのです。

肝心なことは、それを人生においてどう^{たいげん}體現していくかです。心が豊かになるだけではいけません。個人的満足を得るだけで終わってはいけません。今度はそれを他人と分かち合う義務が生じます。分かち合うことによって靈的に成長していくのです。

『シルバーバーチの靈訓（一）』 p.118

靈的世界がいう、異文化の共存共生の成否を決定づける最も肝要なポイントは、自我意識の滅却への努力です。人間ひとりひとりが自分自身の自我意識を常に滅却の方向づけようとする努力が「分かち合い」を推進します。

靈界の高級靈達は、地上人類がいかにして魂の自由を獲得し、いかにして大靈の^{たいれい おんちょう}恩寵を分かち合い、いかにして間違った教えの足枷を解きほどくかに注力しています。それは容易な仕事ではありません。なぜなら、いったん間違った教えに洗脳されたら最後、靈的眞理がその厚い迷信の壁を突き通すまでには大變な時間^{たいへん}を要するものだからです。

自然法則の大原則、分かち合い、「必要な時に、必要な場所で、必要な誰もが分かち合える」ようにする、それを地上世界で如何に具現化するかが人生の課題です。そもそも靈性の高い人間は、幸福を独り占めしようしません。

なぜなら本当の幸福とは、他人と、また人類全員と大靈の^{たいれい おんちょう}恩寵を分かち合うところに發生するものだからです。もし「幸福を独り占めしたい」という欲望を持つと靈界にはいられなくなり、自動的に幽界の下層に追いやられることになります。

わたし達は眞っ先に靈的眞理を知った存在です。なので「見返りを求めない、自分のことを忘れて、ただ相手の靈的成長という幸福を願うことができる限りの^{デヴィック}DIVIKをする、相手が誰であれ差別をしない、相手の態度に感情的な^{はんのう}反應をしない、分かってくれたら喜び、拒否されたら相手に同情し哀れに思う」、これがわたし達が地上世界でなすべきことなのです。

様々な質問に答える

Q 音叉による生命の調律の最重要ポイントとは何でしょうか？

A 人間の霊のメカニズム、心のメカニズム、身体しんたいのメカニズムの理解です。霊的法則、心霊的法則は別物ですが、ナザレのイエスは霊的指導者でもありヒーラーでもありました。イエスがヒーラーとして結果を出せたのは、霊格の高さ以上に、むしろ心霊的法則を理解し、かつそれを自在に使いこなすことができたからです。

Q その心霊的法則を理解するには、どうすればいいですか？

A 天體てんたいと人體じんたいとの関係を理解し、活用していくことです。これは正直難しいことではないはずなのですが、地上世界の間違っただ常識に洗脳されている人にとっては難しく感じるようです。わたし達の身体しんたいは霊體れいたいと肉體にくたいの二重構造で成り立っていますが、肉體にくたいは地球とほぼ同じ造り、霊體れいたいは宇宙空間とほぼ同じ造りであり、それを素直に受け入れるだけです。

Q 肉體にくたいが地球、霊體れいたいが宇宙空間とほぼ同じ造りの意味をお教えてください。

A 星屑、隕石と、我々のミネラル成分は99%一緒というのが現代科学かがくで明らかになっています。血液は海水にくたい、肉體にくたいは大地、奇経八脈や十二経絡は星々の運行と共鳴し、各臓器、各器官、各組織は太陽系の天體てんたいと共鳴関係にあることも現代科学かがくで明らかにされています。これは古代の賢人達が唱えていた思想が正しかったことを意味します。

Q その情報源はどこからですか？

A アキュトニクスアキュトニクス統合いがく醫學研究所、ハートマス研究所など、様々な機関の公式な情報です。

Q 天體てんたいと人體じんたいの関係性をもう少し詳しく教えてください。

A 惑星音叉については上級編から詳しく学びます。入門編ではあまり詳細はお伝え出来ませんが、一番重要なのは「惑星と惑星の音程インターバル」であり、これを「星のダンス」と表現します。これらの音程インターバルについて學ぶと、宇宙の仕組みの神祕の奥深さを感じ取れるようになります。惑星と惑星の音程インターバルにより、各臓器、各器官、各組織への働きかけが變化へんかします。惑星音叉の組み合わせ次第で千差万別にヒーリングの効果は變化へんかするということです。

Q せめて、太陽系の惑星の意味について少し教えてください。

A 簡潔に惑星の意味を述べるなら、水星は甲状腺と脳の中樞神経、冥王星は肛門と直腸、金星は腎臓と膵臓で多臓器、海王星は脳脊髄液たいえきと體液全般、地球は氣エネルギーと生命力、天王星は松果體しょうかたいとメラトニン、火星は胆嚢と筋肉と赤血球、土星は脾臓と骨と内分泌系、木星は肝臓と循環器系、こうした人體じんたいへの作用があります。

Q これだけで、様々な症状が改善するのですか？

A 『波動の法則』という書籍では、人間は24億種類の波動の組み合わせで成り立っているとの情報であり、「波動の組み合わせ方法が無限に等しいほど存在する」ということです。しかし、あくまでも組み合わせ方には「一定の方程式」が存在し、この方程式をスクールでは學び、そこから皆さんが直観でヒーリングの手順プロトコルを作成していく力を養うのです。

Q 音叉セルフヒーリングは本当に地上世界最先端の予防醫學いがくなのですか？

A 迷うことなく「そうです」と答えます。予防醫學いがくとしては間違いなく地上世界最先端であり、疑う余地は、周波数の情報を調べれば調べるほど、なくなります。

Q 音叉のツールは何を購入したらよろしいのですか？

A これは、音叉を使う「目的」によって^か変わります。当スクールは、導入編から順番にサウンドツールを増やすことをオススメはしていますが、例えばヘルニアの後遺症で歩けないのを治したいとか、脳梗塞後の後遺症で半身不随とか、不眠を改善したいとか、特定の症状を改善したい場合、その人の症状の改善に^{たいおう}対応した音叉セットを購入してもらう場合があります。

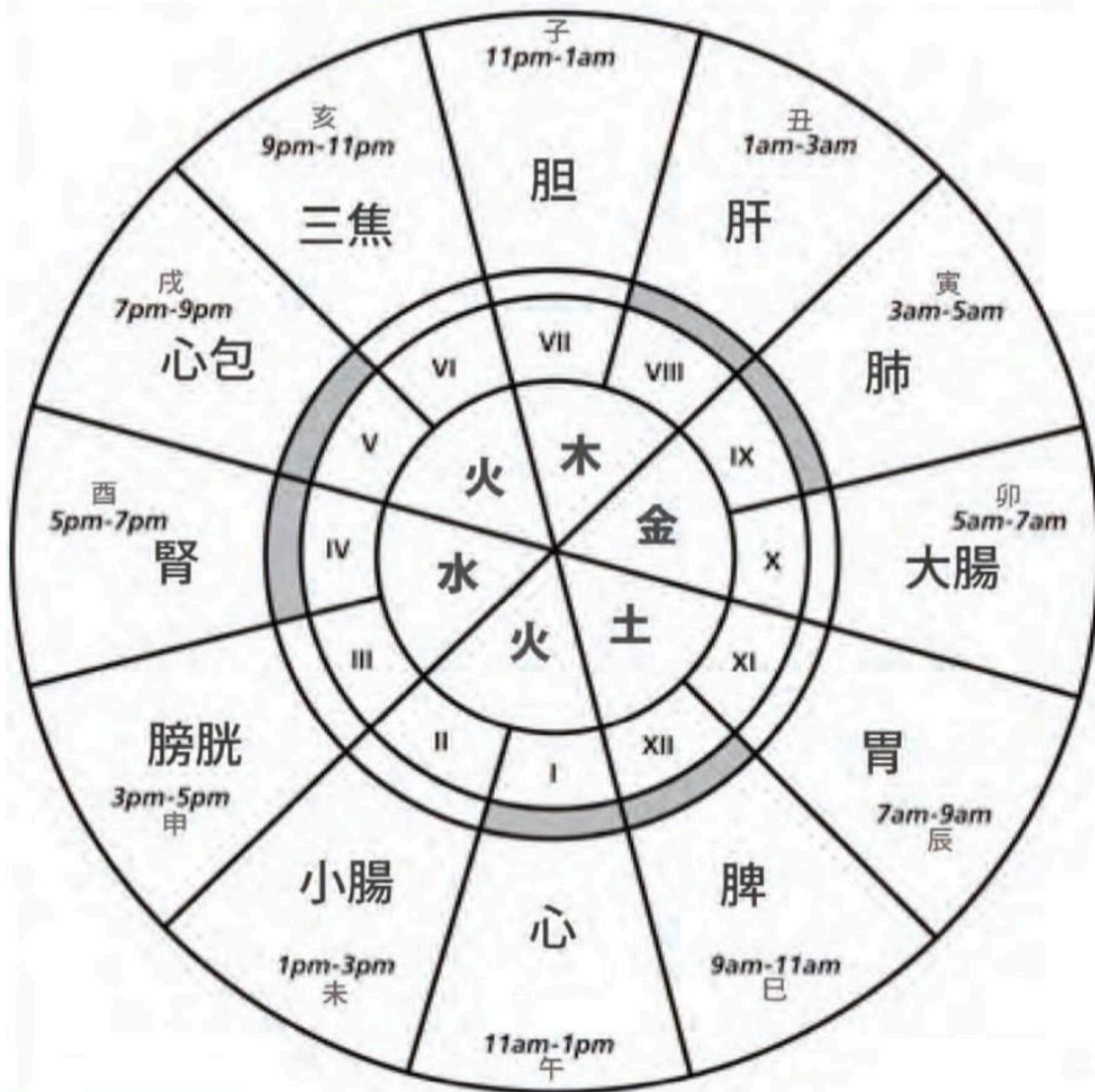
そもそも音叉は古代エジプトで約400本使われていたことが判明しています。400本すべてを^{おうへん}臨機應變に使いこなすのが理想ですが、正直、そのレベルに到達できる人は地上世界には殆ど存在しません。なので^{霊界}として、基本のセットを順番に購入することが王道であり、正しい方程式、正しい^{プロトコル}手順で音叉を使えるようになることが大切であると述べています。

当スクールでは、528Hz 倍音トライアルセット、オットー音叉、オーム音叉、チャクラエナジーバー、聖なるソルフエジオ音階9本セットを基軸に、初級編以降はすべてのサウンドツールに^{オクターブ}「倍音」を追加していき、上級編で惑星音叉の^{インターバル}「音程」と^{オクターブ}「倍音」を学び、マスター編でソルフエジオ音叉と惑星音叉の「複合音」を学びます。その手順で音叉ツールを購入するのが一番王道でしょう。

Q 音叉セルフヒーリングはいつ、何処でしたほうがいいのですか？

A ^{いのち}生命の調律をするときには、誰もいない、自分一人だけの時間と場所をつくること理想です。時間帯は、初級編から本格的に学ぶ「サーカディアンリズム」に沿って、時間ごとにセルフヒーリングの方法論が^か変わります。また、場所については細かく言うと色々ありますが、^{いの}部屋でも^{禱り}に適したポイント、適さないポイントというのが存在します。

し ころちゅう
子午流注（サーカディアンリズム）



Q サークアディアンリズムとは何ですか？

A ^{たいない}体内時計のことで、自然法則に適った^{ルーティン}生活習慣を身につけるとは、「^{し ころちゅう}子午流注（^{たいない}体内時計）に適った^{ルーティン}生活習慣を身につける」という意味であり、基本的に奇数の時間ごとに、十二経絡ごとの時間帯が存在し、そのリズムが^{いのち}生命の調律でも重要になってきます。

Q サーカディアンリズムについてを、もう少し詳しく説明をお願いします。

A まず、十二経絡の始まりは「AM3:00～AM5:00 (肺)」の時間、十二経絡の終わりは「AM1:00～AM3:00 (肝)」になります。この時間は「細胞修復」のために睡眠をしてなければならない時間帯で、脳波でいうと「デルタ波」になります。

AM5:00～AM7:00 (大腸) は起床する時間の理想であり、脳波は「シータ波」になり、一番靈的世界と繋がりやすい時間になります。この時間帯こそ一番^{いのち}生命の調律に適した時間帯であり、理想としては「奇經八脈」をセルフヒーリングですると^{SEPOUW}背後靈と繋がりやすくなります。

AM7:00～AM9:00 から、人のカラダは交感神経優位に切り替わり始める時間帯であり、脳波はシータ波から「アルファ波」に移行します。この時間は、玄米の朝ご飯を食べ、エネルギーを新陳代謝させなくてはならない時間であり、あまり音叉セルフヒーリングに適した時間帯ではありません。

基本的に一般人は「AM9:00～PM7:00」までは仕事をしているので、セルフヒーリングは出来ない人が大半でしょう。ここまでは脳波は「ベータ波」であり、「PM7:00～PM9:00 (心包)」から脳波はアルファ波に移行し、「PM9:00～PM11:00 (三焦)」で脳波は「シータ波」になります。そしてPM11:00～AM5:00 までが睡眠の時間であり、脳波は「デルタ波」になります。

このサーカディアンリズムを規則正しくするのが健康の真髄です。例えば「PM9:00～PM11:00 (三焦)」は^{へそ}お臍に氣エネルギーが集中するので、お腹のセルフヒーリングが適した時間帯になります。また、睡眠前でしたら、頭に昇った陽エネルギーを沈めるために下半身のセルフヒーリングをすることも有効です。

逆に日中にもセルフヒーリングが出来るなら、首から上のセルフヒーリングをすることで大脳を活性化させることも出来ます。このように時間帯によって色々と方法論が違うのです。

Q 音叉セルフヒーリングが、なぜ^{スピリチュアリズム}地球人類救済計画の計画のひとつなのですか？

A 音叉はひとつのツールに過ぎません。その真髄は、「直観」にあります。宇宙語で直観は「^{トニング}TUNING」といいます。音叉は英語で「^{チューニング フォーク}TUNING FORK」であり、音叉は直観のためのツールです。目指す最終地点は、地上人類全員の霊能力が開花し、霊的世界と地上世界が自由に交信できることです。それを「テレパシー」といい、直観の本質的意味に繋がります。

Q 直観とテレパシーは同じ意味なのですか？

A そうです。ただ、間違えないでほしいのは「直観」と「直感」はまったく原理が違うので一緒にしてはいけないことです。言語で説明するのは容易ではないのですが、端的に違いを述べます。

直観：（インチュイション）… 高級^{心 臓 脳}霊と^心霊の心のテレパシー通信

直感：（インスピレーション）… ^{SEPOUW}背後^{れいたい}霊と^{F I K}霊體の潜在意識の機能を使った間接的通信

これが違いであり、音叉も段階的にツールを増やしていき、正しくツールを使用することで、最終的に直観のステージに到達します。これらは導入編～マスター編までのステップを正しく踏むことで誰しもが可能です。

Q 直観と直感の磨き方は違うのでしょうか？

A 違います。直感^{にくたい}は肉體の五感の延長線上であり、どちらかという「食生活」の影響が強くなります。直感が狂うのは「肉食」と「白砂糖」が二大巨悪であり、電磁波も含めると三大巨悪になります。また、ワクチン、クスリ、化学物質、重金属なども感覚を鈍らせるものであり、日常生活で対策をしていくことが直感、感覚を正常に戻すために必要なことです。

Q その対策方法を教えてください。

A 色々ありますが、肉食を辞めること、白砂糖を控えることは絶対条件です。また、電磁波や化学物質は「生體^{せいたい}ミネラル水」を使うことで対策することをオススメしています。他には「エノレコン」という^{ファルフ}FALF製品も電磁波や化学物質の対策のひとつです。また、導入編セットである「528Hz 倍音トライアルセット」を使うことも大きな対策法のひとつです。

Q 直観はどうやって磨くのですか？

A これは非常に条件が厳しいです。高級靈と靈^{心臓脳}の心のテレパシー通信ですから、簡単には出来ません。まず、2021年のイエスの地上再臨を認めること、ナザレのイエスの教えである『シルバーバーチの靈訓』を正しく理解し、信仰実践していることが絶対条件です。そして、命懸けで「調和の実践」をし靈性を進化させていくこと、これが直観を磨く方法です。

Q イエスの地上再臨はどうやって知れますか？

A イエスの地上再臨の足場になったスピリチュアリズム^{ふきゅうかい}普及會のHPに詳細が書かれています。そこに書かれているイエス再臨の情報は、高級靈達曰く、100%正確な情報と断言されています。そして、それを信じる信じないは皆さんの自由です。

Q イエスを^{リーダー}総指揮者にした靈界^{スピリチュアリズム}主導の地球人類救済計画は、いつ達成されますか？

A これは、地上人類次第です。靈界の見解としては数百年から千年はかかるだろうと認識しています。まず宗教界を根こそぎ改革してから、地上世界のあらゆる分野を改革し、最終的に地上世界に平和をもたらしますが、それにはイエスの教えである『シルバーバーチの靈訓』を地上人類全員のバイブルにすることが絶対条件です。

Q 宗教の統合とは何ですか？

A 地上の宗教は、靈界から見たらすべて失格です。宗教は教育そのもの、人生の思想そのものに関わってきますが、宗教の二大テーマは「死について」と「神について」です。地上の宗教で死について、神について正しい宗教はひとつもありません。死について、神について100%正しいとえる情報はイエスの教えである『シルバーバーチの靈訓』であり、地上世界の宗教を根こそぎ靈界の教えに統合することを宗教の統合といいます。

Q 星信仰の復活とは何ですか？

A ^{スピリチュアリズム}地球人類救済計画のもうひとつのテーマ「心霊治療」に該当するものです。音叉ヒーリングの本質は、天球の音楽を再現し、^{宇宙}靈的エネルギーと^{大地}生命エネルギーを^{じんたい}人體に取り入れるための画期的な方法論です。星々の音が「靈界からの治療エネルギー」、「^{ふかつせい}賦活性を持った放射線」そのものに該当します。^{ふかつせい}賦活性とは「機能や働きを活発化させること」を意味し、惑星音叉、ソルフェジオ音叉は^{ふかつせい}賦活性を持った放射線そのものであり、それを^{じんたい}人體に取り入れることで生命力を蘇生させます。それを地球人類誰しものが音叉により自分自身で出来る時代にすることが星信仰の復活です。

Q 音叉ヒーリングであらゆる病氣は治せるのですか？

A これは、YESともNOとも言えません。原理上は可能ですが、あくまでも原理上だけです。その理由は、病氣はカルマの法則によってコントロールされているからです。治るだけのタイミングに来ている人なら治りますし、治るだけのタイミングじゃなければ治りません。そもそも病氣の治療の目的は^{いのち}「生命の調律」であり、魂が靈性に目覺め、本人が生まれる前に^{ブループリント}決めてきた青写真に人生を修正することが目的であり、^{じんたい}身體の病氣を治すことが目的ではありません。

Q 音叉ヒーリングを他人にしてもいいのでしょうか？

A わたし達には、癒したい人を誰でも癒していいという権利はありません。たとえ手当たり次第、人々に触れただけで完璧に人々を癒すことができたとしてもです。それはルール違反なのです。自分がそうしたいから、あるいは相手がそれを求めたり望んだりしているからというだけでヒーリングを行うことはできません。

まず^{SEPOUW}背後霊から本来はヒーリングの許可を得なくてはならないのです。癒やしてあげたいと思う気持ちは理解できますが、これには本人の^{たいけん}学びを奪い取る危険性があるからです。その苦しみ^{たいけん}が本人の必要な^{たいけん}体験の場合、必要なタイミングが来るまでは誰も勝手にヒーリングをしてなりません。これは^{たいけん}霊界がはっきり述べている自然法則のルールなのです。

Q 無料だとしても他人に音叉ヒーリングをしては駄目なのですか？

A 自分自身の^{SEPOUW}背後霊の許可、相手の許可、相手の^{SEPOUW}背後霊の許可、すべての条件を満たしたならばヒーリングをしても構いません。それが他人にヒーリングをする場合の絶対条件です。これは無料だろうと有料だろうと同じであり、^{SEPOUW}背後霊の確認が取れないならばヒーリングは控えたほうがいいでしょう。例え本人がヒーリングをしてほしいと望んだとしても、^{SEPOUW}背後霊から許可が降りない場合はヒーリングはしてはいけません。

Q ^{SEPOUW}背後霊にどのように確認を取るのですか？

A 基本的に「ダウジング」か、「Oリングテスト」で確認をとる形になるでしょう。また、筋肉反射テストは慣れてきたならば、自分自身の首や腕でも YES/NO の確認がとれるようになります。ただ、^{れいたい}霊体オーラをかなり消耗するので、あまり使いすぎないように注意が必要です。使いすぎるとエネルギーを消耗し、低級霊に憑依される危険性もあります。

Q 靈的眞理の普及が、なぜ最大の利他、最大の奉仕になるのですか？人の役に立つならば、そこに拘らなくてもよろしいのではないのでしょうか？

A それは靈的世界のことを知らないから言えるのです。人間は死後も永遠に生き續ける存在であり、厳密には「死とは靈界という高時空元移動」、「生とは地上という低時空元移動」であり、地上人は幼稚園児、靈界人は社會人しゃかいじんみたいなものです。地上で學ぶべきことを學ばず幽界行きになると、そこから改心するのが容易ではなく、靈的眞理は地上世界で學ぶのが自然なことなのです。

まず、現時点の地上人類の8割以上は、死後に幽界で地縛靈になります。これは間違った宗教、間違った地上世界の習慣や慣習を信じているために起こります。宗教信者はひとり残らず幽界最下層で地縛靈になるのが今の地球人類の状況なのです。また、これは宗教だけに限らず、地上世界のかがく科學、いがく醫學という唯物主義、政治、經濟の利己主義を通した生き方でもほぼ十中八九、幽界地縛靈になります。

また、ニューエイジ系と呼ばれる精神世界系、スピリチュアル系、自己啓發系も、チャネリングと呼ばれる靈界通信の99.99%が低級靈、邪惡靈からの通信であり、そういった低級靈の情報を鵜呑みにし、エゴEGHO意識を増大させる生き方をしている十中八九、幽界最下層で地獄のような苦しみたいけんを體驗することになります。

靈的眞理の普及とは、靈的世界でも地上世界でも通用するたいれい大靈の自然法則のルールを學ぶことであり、今の地上人類は、地上世界でしか通用しないエゴEGHO文化を築きあげてしまっています。人間は死後も生き續ける、地上世界は靈界で通用する生き方を學ぶための學校というD I K A G顯在意識での認識が大切になります。地球人類の救いは、地上人類共通のバイブルをイエスの教えである『シルバーバーチの靈訓』にし、靈優位で調和の實踐をする人間が徐々に増えることでしか果たされません。だから最大の利他、最大の奉仕は靈的眞理の普及なのです。

Q 音叉セルフヒーリングの普及は、靈的眞理の普及に該当しますか？

A まず、地上人類の悲劇の根本原因は「靈的無知」による利己主義、物質主義が原因で起こります。しかし、靈的無知の原因は、「一般人の眞理への無關心」と「一部の見識者の無口」により無知という悲劇が発生します。「無知は罪」と言いますが、「無口はもっと罪」であり、「最大の罪は一般人の眞理に関する無關心」が地上世界の悲劇の根本原因です。

生前のキング牧師の言葉で「最大の悲劇は、悪人の圧制や残酷さではなく、善人の沈黙である。沈黙は、暴力の陰に隠れた同罪者である」という有名な言葉があります。この言葉は、不正義に対して沈黙している善良な人々を非難し、無關心と行動しないことの罪を指摘しています。

シルバーバーチは「肝心なことは、それを人生においてどう^{たいげん}體現していくかです。心が豊かになるだけではいけません。個人的満足を得るだけで終わってはいけません。今度はそれを他人と分かち合う義務が生じます。分かち合うことによって靈的に成長していくのです」と述べていますが、靈的眞理を分かち合う、これは生きる上での責任と義務です。

ということは、これで答えはお分かりですね。音叉セルフヒーリングの普及も靈的眞理の普及の一部であり、生命の^{いのち}調律は靈的眞理の中の^{いの}禱りとして重要な実践項目です。しかし、それはあくまでも靈優位での^{デヴィック}調和（※DEVICK、奉仕、利他）の実践をするための最大の手段であり、すべては惑星地球をより善い^{てんたい}天體にするという目的のために靈的眞理の普及も音叉セルフヒーリングの普及も必要なのです。

この惑星地球をより善い^{てんたい}天體にする、そのために靈的世界と地上世界は二人三脚で仕事をする必要があります、そのために音叉セルフヒーリングの普及も必要なひとつなのです。それが、6000年前より^{スピリチュアリズム}地球人類救済計画を始めたイエスの願いであり、想いなのです。

あとがき

地上世界には、今すぐにでも対処し^{ぜせい}是正しなければならない問題があふれています。しかし、改善のためにさまざまな努力が^{つづ}続けられているにもかかわらず問題は増え^{つづ}続け、深刻さの度合いが増しているという事実気づいている人はどのくらいいらっしゃるのでしょうか？

和平へ向けていろいろと努力が爲されながら、ことごとく失敗しています。しかし、唯一試みられていないのは「靈的眞理」の適用という方法です。それが実行されないかぎり、地上世界に戦争と流血が終わることはなく、ついには地上人類が誇りに思っている物質文明も破綻し、破滅するでしょう。

本当の平和は靈的眞理を適用することによってしかもたらされないということを、地上人類はいつになったら悟るのでしょうか。戦争はもとより、人間の愚かな^{エゴ}EGHO意識が生み出す流血、悲劇、混沌、破綻といったものの元凶は「人間さえよければ、自分さえよければという利己主義」なのです。

人の役に立つという奉仕精神が利己主義に取って代わることによってのみ、平和が訪れることを地上人類は學ばなければなりません。しかし、靈的世界の存在が地上世界の問題を取り除くことはできません。あくまでも地上人類の努力によって、新しい地上世界を誕生させなければなりません。

靈界はあくまでも地上世界にメッセージを送り、それを実行し、具現化するのには地上の人間の仕事だからです。そして、靈性が進化し、靈的世界に対する直観力、感覺力、感性などの感受性が鋭くなるにつれ、人間は地上世界の悲劇、悲しみをより強く感じるようになり、心を痛めるという犠牲を払うこととなります。この地上世界は地獄のような世界だということを感じ、必然的に地上人類の愚かさに絶望する^{たいけん}體驗をすることとなります。

そもそも、他の人間が飢えているのに、自分だけが満ち足りて平気であるようでは、靈格が高い人間ではありません。靈格が高い人間が、地上世界にまだまだ改革すべきことが沢山ありながら、自己満足していられるでしょうか。

生きるうえで欠かせないものに不自由し、貧困、飢餓、病気で苦しんでいる人々が沢山いることを知って、自分だけ安穩としていられるでしょうか。地上世界のどこもかしこも混乱し、無秩序な状態にあるのを見て、心を痛めずにいられると思われませんか。

靈的指導者の人生は全て同じパターンをたどります。むごい仕打ちを受ける試練の時期があり、人生の基盤としていたものが全て瓦礫し、悲哀が身に染み煩悶する危機的な時期があります。信賴していた人間に裏切られ、殺されそうになり、もはや地上世界のいかなる者からも救いの手は差し伸べてもらえないと思える深淵まで心が沈み絶望します。

そこまでの絶望に至って初めて^{EXA PIECO}靈の心が目を覺まし、靈的世界から届けられる豊かなインスピレーション、神意と^{あい}叡智と導きを受け入れる用意が整うのです。絶望の^{たいけん}體驗の目的は、地上人類に対する慈悲の心を芽生えさせることにあったのです。なぜかと言えば、慈悲の心なくしては靈覚者も治療家も、本当の意味で人を救う仕事はできないからです。

そして、自分自身が先頭に立って未開拓の道を切り開き、後に^{つづ}續く者が少しでも楽に通れるようにしてあげる必要があります。やがてそこに新しい道ができ上がり、通るほどに平坦になっていきます。

要するに靈的眞理を知った者は毎日の生活の中で、^{いのち}生命の調律を通して靈優位を心がければこれだけ立派な生き方ができるのだということを率先して人々に示すことが大切なのです。それが、わたしが心がけている生き方であり、^{EXA PIECO}生命懸けでしていることです。^{EXA PIECO}生命懸けでなかったら本当の意味で生きているとは言えないからです。

大切なことは、音叉による^{いのち}生命の調律により内なる声、^{EXA PIECO}霊の心の声に耳を傾けることを毎日の習慣として^{けいぞく}継続させることです。宇宙の^{インターバル}音程に眞の意味で耳を傾け、自分自身の癒しと^{へんよう}変容の過程を辿るには宇宙の音とサイクルにつながる時間をとることは欠かせません。

その時間をとることで、^{EXA PIECO}霊の心と^{D I K A G}肉の心は繋がりはじめ、^{SEPOUW}背後霊から直観という形で人生のガイダンスが手に入るようになっていきます。そのための叡智を惜しみ無くシェアさせていたしましたが、これを^{D I K A G}顕在意識で理解しようとする、不調和な方向に向かってしまう危険性もあります。

わたし達の心は、何かを望むとき、たとえそれが「^{いのち}生命を調律しよう」というときでさえ、うっかりすると欲望になり、執着を生み出してしまいやすいものです。そのとき、心は緊張し、乱れ、不調和な波動を生み出してしまいます。

肝要なのは、ここで得た知識を日常生活に取り入れていくことで、皆さんが生き方を^{霊優位}の生き方、隣人への^{あい}神意、人類への^{あい}神意、物欲に偏らない生き方、調和の^{実践}の方向に生き方を新生させることです。そのための音叉によるセルフヒーリングテキストであり、ただの知識として閉まっておかれては困ります。

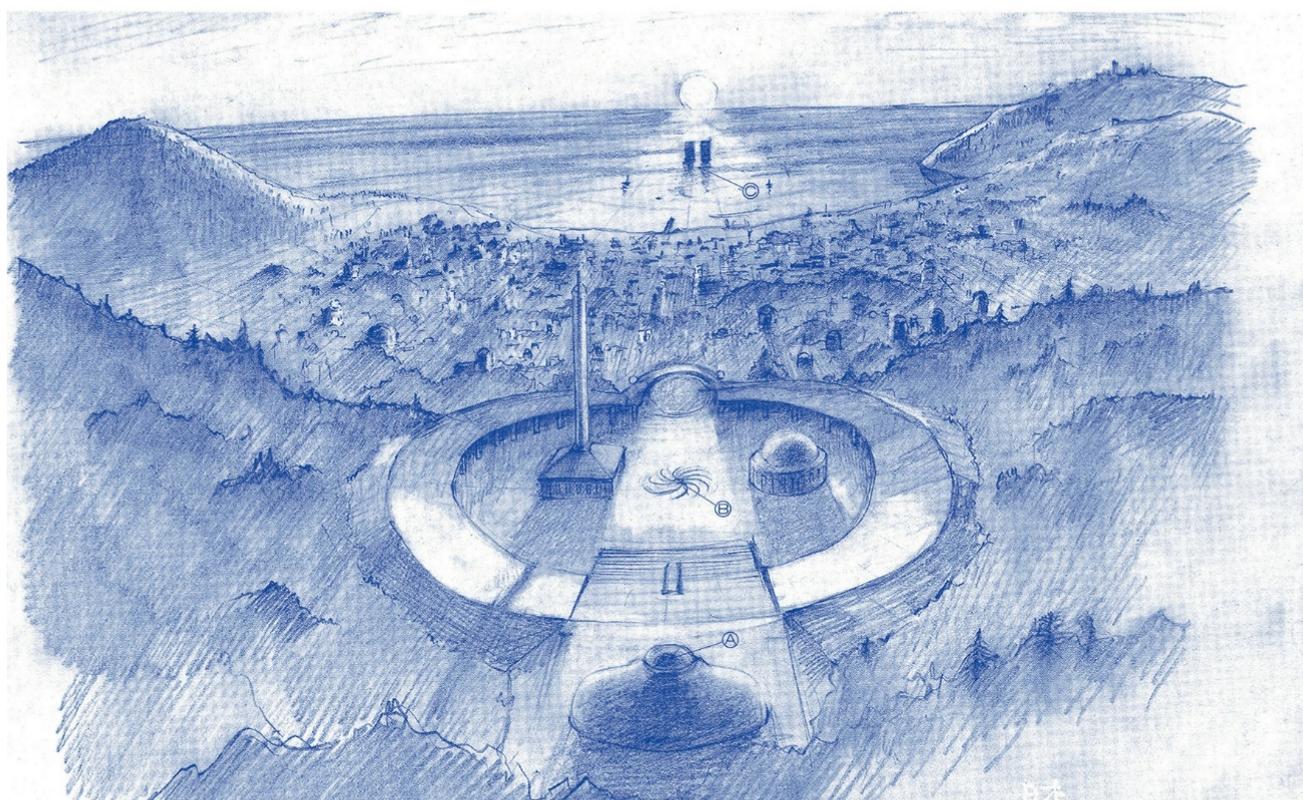
^{いのち}生命の調律が進み、他者に目が向き始めるとおのずと生まれてくる性質が、慈しみや、万物を育む^{あい}神意の性質です。全ての存在、生命は繋がり循環し、皆等しく平等で、尊重されるべきであるという理解が深まるにつれ、全ての存在を傷つけず、尊重し、大切に育んでいこうとする気持ちが生まれてくるのです。

例えば日常の生活において、肉食を止め、穀物や野菜などの植物性の食事をしていこうと思いは始めるケースもあります。それは健康面からの考えではなく、^{いのち}生命を慈しむ心から生まれる^{へんか}変化です。これが最も理想的な生き方の新生といえます。

地上世界は何世紀、何世代にもわたって意圖的^{いとてき}に行われてきたさまざまな洗腦的^{いんねうてき}の行爲により、地上人類の大半はすっかり靈性という概念を失い、目に見えない存在とのコミュニケーション能力も閉じられてしまっています。またあらゆるところで眞理ではない価値観を刷り込まれ、その結果、日常的に無用な判断をする癖が備わってしまっています。

いのち^{いのち}の調律が更に進むと、徐々にこれらの障害が取り払われていくのですが、その過程^{プロセス}でわたし達の心に寛容さと忍耐と言う性質が育ってきます。すると、どのような相手に対しても、その人の側に立って状況を理解し、まずはあるがままに受け入れることができるようになってくるのです。

相手の言葉を遮ることなく最後まで耳を傾け、相手が理解できるであろうことを話しかけ、相手がその混乱や苦しみの状況から抜け出す手助けをすることができるようになってきます。この、相手の立場に立つ、相手の立場を想像することが思いやりの本質なのです。



今回、音叉セルフヒーリングを学ぶことにより、皆さんは地球人類救済計画という地球人類^{スピリチュアリズム}全体^{ぜんたい}のための予定表というものがあることを知りました。その計画は、ナザレのイエスという高級霊によって考え出されたものです。

その目的は、受け入れる用意の出来た地上の人々を靈的に、精神的に、そして身体的に^{しんたい}眞の意味で自由にするためです。地上世界^{ぜんたい}全体の単位の計画があり、^{こっか}國家単位の計画があり、個人単位の計画があります。少しずつ靈界主導、高級霊と背後^{SEPOUW}霊の協調関係を通して着実にすべての計画は運ばれており、決して性急に仕事はしません。

地上人類は、地球人類全部を包み込んだ崇高な計画に参加している以上、背後^{SEPOUW}霊を無視して自分勝手な行動をしたり、せっかちな行動は許されません。地上世界すべての問題を解決しなくてはなりません、問題があまりに多くて、背後^{SEPOUW}霊を無視して先走りした行動をするわけにはいかないのです。

そして、音叉による生命^{いのち}の調律は、地上人類が靈的^{いのち}新生を成就するための最先端の知識であり、背後^{SEPOUW}霊との二人三脚、眞の意味での人類への奉仕をするための画期的な手段であり、音叉セルフヒーリングを普及することは、靈界と協調関係を深めるために必要なことなのです。

願わくば、正しい形で音叉による生命^{いのち}の調律が地上人類に徐々に普及し、靈性という生き方に人類が回帰し、地上世界の悪弊がなくなり、様々な悲劇を減らし、より多くの神意^{あい}をもたらし、人間同士、そしてまた人間と共にこの天體^{てんたい}を共有しているどうぶつ達に対しても慈悲の心^{てんこく}を向けられるようになり、いつの日か地上天國を実現することを夢見ています。

音叉によるセルフヒーリングテキスト入門編 後編（実践編）

第一刷 2026年2月1日

著者 廣瀬仁

【プロフィール】

1986年生まれ。茨城県出身。2011年にシルバーバーチの靈訓と音叉ヒーリング出会い、スピリチュアリズムの靈的眞理と音叉による^{いのち}生命の調律を^{どくがく}実践形式で^{どくがく}独學で學んできた。また、健康に關しても追窮してきて、靈的眞理に適ったホリスティック健康學の理論を完成させる。地上人生で一番大切なことは靈優位による利他、奉仕の實踐を通した靈性の進化と確信を持ち、その思想を信仰實踐している。

【自己表現プロジェクト】

〒442-0807 愛知県豊川市谷川町洞 163-2 ペルシーモ 203

ホームページアドレス <https://self-expression.jimdosite.com/>

遠隔ヒーリング系 YouTuber 戸田英子が贈る【奇跡の村 ch】

<https://youtube.com/@enkaku-healing?si=KR4RFMflw2C5fAke>